

平成 25 年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区
自然環境調査業務

報 告 書

平成 26 年 2 月

環境省東北地方環境事務所

目 次

1. 業務概要.....	1
1.1 業務の目的.....	1
1.2 業務概要.....	1
1.3 業務項目.....	2
1.4 業務箇所.....	3
1.5 業務のフローチャート.....	5
1.6 業務の内容.....	6
1.6.1 計画準備.....	6
1.6.2 ヒアリング調査.....	6
1.6.3 業務計画書の作成.....	12
1.6.4 報告書・報告書概要・GISデータとりまとめ.....	13
1.6.5 モニタリング方針の検討.....	13
1.6.6 業務履行期限.....	13
1.6.7 成果物.....	13
1.7 業務工程.....	14
1.8 担当者.....	15
1.9 業務場所.....	15
2. 調査(既存文献調査).....	16
2.1 調査方法.....	16
2.2 調査結果.....	17
2.2.1 鳥類の飛来状況.....	19
2.2.2 植生及び植物相.....	30
2.2.3 底生動物.....	45
2.2.4 地形及び土地利用(明治以降).....	49
3. 調査(現地調査).....	66
3.1 調査実施状況.....	66
3.2 調査結果.....	80
3.2.1 鳥類調査.....	80
3.2.2 底生動物調査.....	109

4. 調査結果のGISデータ化ととりまとめ	138
4.1 調査結果のGISデータ化.....	138
4.2 震災前後の生物相、植生、地形、土地利用等の変化	139
4.3 鳥獣保護区の保護管理における課題.....	140
5. モニタリング方針の検討	142
6. 資料編.....	143

1. 業務概要

1.1 業務の目的

宮城県に位置する仙台湾沿岸は、シギ・チドリ、ガンカモ類の集団渡来地として昭和 62 年に国指定仙台海浜鳥獣保護区に指定されている。特に、蒲生干潟及び井土浦は、その豊かな生態系を反映し、多様な渡り鳥の休息地であるなどの理由から特別保護地区に指定、保護管理されてきた。

しかしながら、平成 23 年に発生した東日本大震災の津波被害により、それらの自然環境は大きく変化し、また、各種復旧・復興事業が計画されているところである。

本業務は、仙台海浜鳥獣保護区及び仙台湾岸における鳥類の飛来状況や植物の分布状況、地形変化等に関する情報及び調査状況を収集・整理するとともに、自然環境について現地調査を実施する。収集した情報及び現地調査の結果を基に、モニタリングの方針を検討し、当該区域の保護管理方法や保護区見直しの基礎資料とすることを目的とした。

1.2 業務概要

業務の概要は、表 1.1 のとおりである。

表 1.1 業務の概要

項目	概要	摘要
業務名	平成 25 年度国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査業務	
業務委託料	¥4,962,500 - (うち取引に係る消費税額¥712,500-)	
業務箇所	仙台海浜鳥獣保護区及び仙台湾岸	
工期	平成 25 年 6 月 22 日～平成 26 年 2 月 28 日	
発注者	東北地方環境事務所	
受注者	株式会社建設技術研究所 東北支社	

1.3 業務項目

業務項目は表 1.2 のとおりである。

表 1.2 業務項目一覧

種別	細別	単位	数量	摘要
調査	計画準備	式	1	業務計画書の作成、ヒアリング
	既存文献調査	式	1	鳥類の飛来状況について 植生及び植物相について 底生動物について 地形及び土地利用について(明治以降)
	現地調査	回	8	鳥類調査
		回	2	底生動物調査
	調査結果とりまとめ	式	1	
	モニタリング方針の検討	式	1	
	報告書作成	式	1	
打合せ協議	設計協議	回	4	

1.4 業務箇所

業務箇所は、国指定仙台海浜鳥獣保護区の中の蒲生特別保護地区と井土浦特別保護地区、宮城県指定鳥獣保護地区の鳥の海鳥獣保護区（普通地域）とする。これらの指定状況を表 1.3 に、位置を図 1.1 に示す。

表 1.3 鳥獣保護区の指定状況

地区	区分	存続時間	指定区分	目的(抜粋)
蒲生特別保護地区	国指定 仙台海浜鳥獣保護区の中の蒲生特別保護地区	平成 19 年 4 月 1 日から平成 39 年 3 月 31 日まで	集団渡来地の保護区	渡り鳥にとって好適な採餌、休息のための条件が整っていることから、国指定仙台海浜鳥獣保護区の中でも、特に渡り鳥の飛来数が多い区域である。特に南蒲生海岸等では、コクガンが越冬し、蒲生海岸ではコアジサシの生息が確認されている。このように蒲生特別保護地区は、保護を図る必要があると認められることから、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 29 条第 1 項に規定する特別保護地区に指定し、当該区域に渡来・生息する鳥類の保護を図るものである。
井土浦特別保護地区	国指定 仙台海浜鳥獣保護区の中の井土浦特別保護地区	平成 19 年 4 月 1 日から平成 39 年 3 月 31 日まで	集団渡来地の保護区	渡り鳥にとって好適な採餌、休息のための条件が整っていることから、国指定仙台海浜鳥獣保護区の中でも、特に渡り鳥の飛来数が多い区域である。鳥類の種類は 192 種で水鳥類の種類数が豊富である。このように井土浦特別保護地区は、保護を図る必要があると認められることから、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 29 条第 1 項に規定する特別保護地区に指定し、当該区域に渡来・生息する鳥類の保護を図るものである。
阿武隈河口域	宮城県指定 鳥の海鳥獣保護区(普通地域)	平成 18 年 11 月 1 日から平成 38 年 10 月 31 日まで	集団渡来地の保護区	記載なし

【出典】国指定仙台海浜鳥獣保護区蒲生特別保護地区指定計画書(環境省,2007)

【出典】国指定仙台海浜鳥獣保護区井土浦特別保護地区指定計画書(環境省,2007)

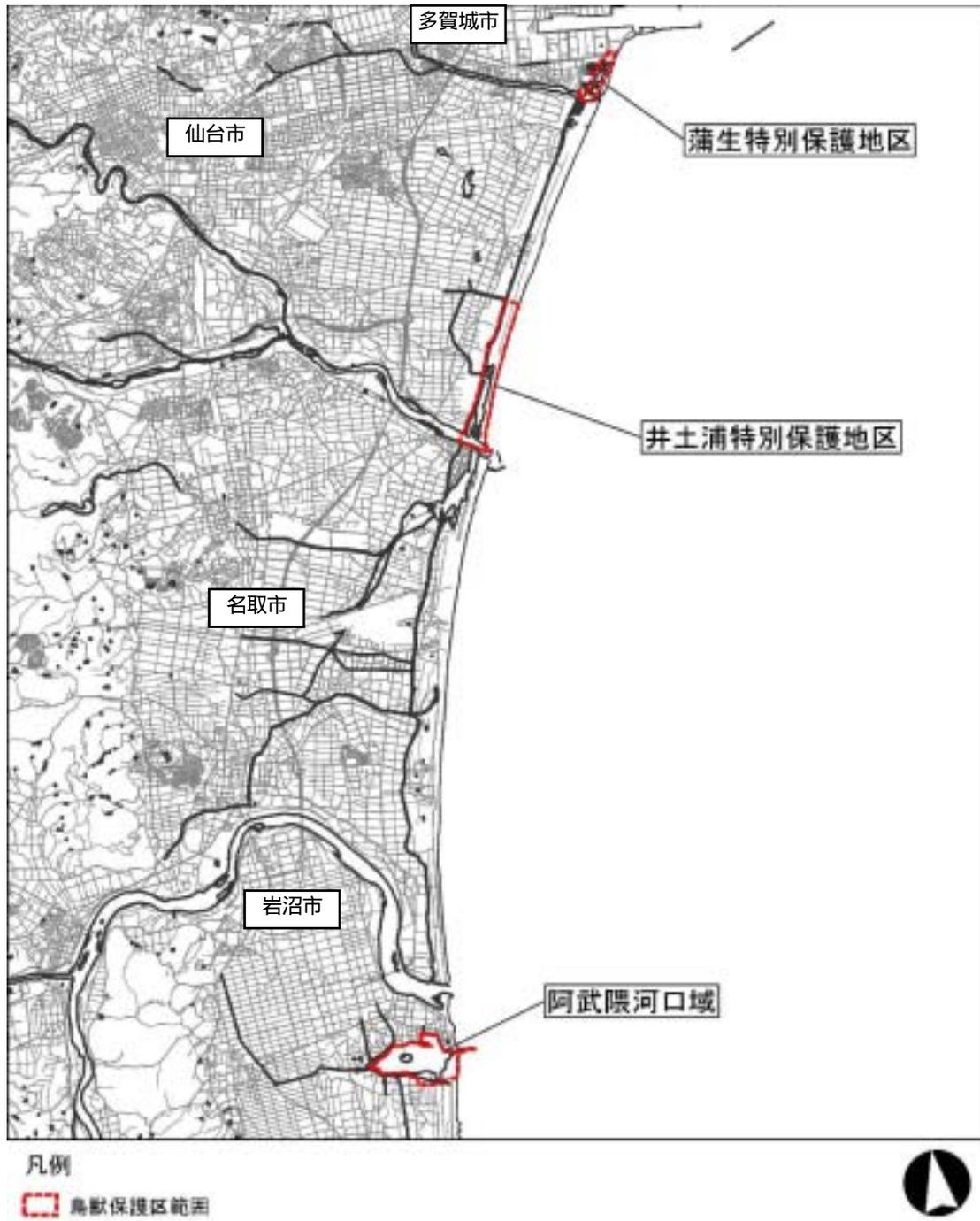


图 1.1 業務箇所位置図

1.5 業務のフローチャート

業務のフローチャートは図 1.2 に示す手順で実施した。

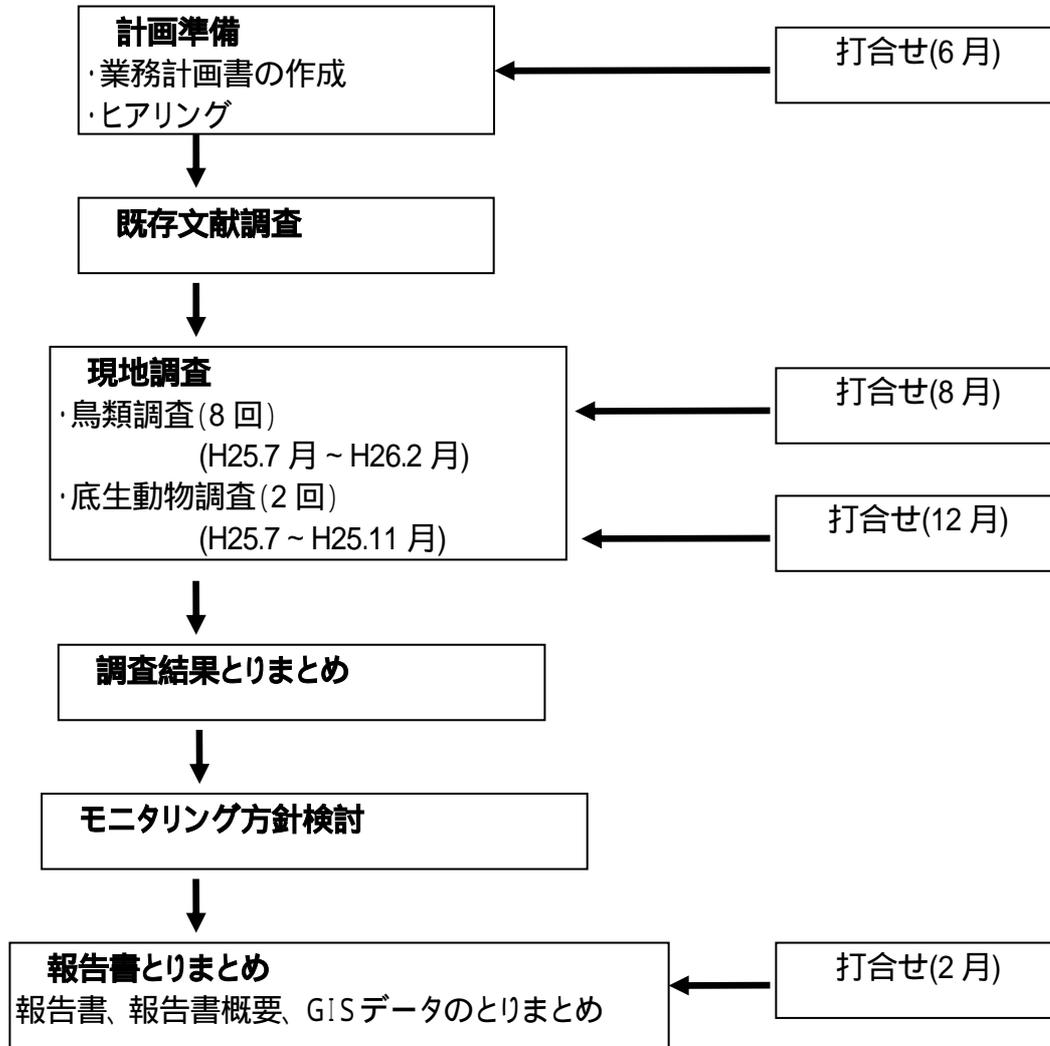


図 1.2 業務のフローチャート

1.6 業務の内容

1.6.1 計画準備

業務着手時打合せ(平成 25 年 6 月)、中間打合せ(平成 25 年 8 月及び 12 月)、納品前(平成 26 年 2 月)の計 4 回、仙台自然保護官事務所(以下、「事務所」という。)にて担当官と業務打合せを行った。本業務に必要な過年度報告書等については、事務所より貸与するか、適宜指示するものとした。

- ・業務着手時打合せ(6 月)：業務内容確認、必要資料の確認・貸与
- ・第 1 次中間打合せ(8 月)：調査結果第 1 次中間報告、報告書構成検討
- ・第 2 次中間打合せ(12 月)：中間報告書確認
- ・納品前打合せ(2 月)：成果物の確認

1.6.2 ヒアリング調査

事務所担当官と調整の上、業務着手時打合せの後、業務の手順及び工程表並びに遂行に必要な書類をまとめた業務計画書を作成した。なお、業務計画書作成にあたっては、鳥類調査、植物調査、底生動物調査について、有識者各 1 名にヒアリングを行った。ヒアリング調査の結果を表 1.4～表 1.8 に示す。

表 1.4 鳥類調査に関するヒアリング結果(1)

<p>ヒアリングした有識者: 日本野鳥の会宮城県支部 支部長 竹丸 勝郎 氏 日 時: 平成 25 年 7 月 11 日(木) 14:00 ~ 16:00</p>
<p>【調査ルート等や最近の鳥類の確認情報について】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 蒲生・井土浦地区は平成 24 年度調査ルート・地点を基本にして必要に応じて柔軟に設定すると良い。・ 鳥の海地区の調査ルートは南側の湖岸に設置すると鳥類が確認しやすい。また調査定点は、ガン・カモやシギ・チドリ等の水鳥のほか、陸鳥が確認できる草地や海岸林にも設置すると良い。・ 鳥の海で見られたサギのコロニーは、伐採により移動してしまい、現在は役場近くにある。そのほか、オオタカ、ハヤブサ、ノスリ、ミサゴが海岸林で繁殖している。・ 最近であるが、蒲生地区ではオオセッカが確認されるようになった。干潟近くのヨシ草地で越冬しているようである。・ 名取川河口左岸に設置された消波ブロックではメリケンキアシシギが確認されたことがある。・ コアジサシは牛橋でも繁殖していない。今年は鳥の海よりも南の地域で 4 巣であるが繁殖が確認されている。・ 震災前後で鳥類相はあまり変化していないが、環境が変わっているので渡りの滞在期間が短くなってきている。個体数も減少しているが、これは全国的な傾向である。 <p>【調査時期について】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 調査時期は、毎月ベースで時期設定すると良い。・ 秋の渡りの時期に確認種数が増加する。このほか冬はコクガンを確認することができるかもしれない。・ 潮がひきはじめの時間帯に観察すると、分散する前の鳥類が観察できる。・ ゴカイが産卵する大潮の満月の夜に抜けゴカイを確認することが出来れば、打ち上げられたゴカイを採餌するシギ・チドリを確認することができる。シギ・チドリは夜でも採餌している。

表 1.5 鳥類調査に関するヒアリング結果(2)

【調査方法について】

- ・ 底生動物の調査は、二枚貝、巻貝、カニ類、ゴカイ類等の上位の分類群による記録が良いが、量的な比較ができるような記録をすると良い。
- ・ 井土浦では鳥類の確認が少ないが、底生動物の生産が少ないことによる可能性がある。これらの裏付けが取れるような量的な評価を行うと良い。

【調査地域の文献について】

- ・ 収集予定文献一覧にある文献で、鳥類に関する文献資料は概ね網羅されている。鳥の海については震災前の鳥類相を記録した文献はあまり良い物が無い。

【その他の情報について】

- ・ 鳥の海に関する巨理町の管理計画を確認したほうが良い。
- ・ 蒲生干潟などの最近の観察から、仙台海浜は地形が未だ安定していないようである。今回の調査についても、地形や環境が不安定な時期の調査であることを認識したほうが良い。

以上

表 1.6 植物調査に関するヒアリング結果

ヒアリングした有識者: 東北学院大学教養学部 地域構想学科教授 平吹 喜彦 氏 日 時: 平成 25 年 7 月 18 日(木) 8:30 ~ 10:30
【調査地域の文献について】 ・ 文献調査については、以下の文献・事例が挙げられる。 「自然環境保全基礎調査 宮城県(生物多様性センター)」宮城県自然保護課で所有、1960 年以降 3 回の調査が実施されている。 「歴史かおる潮騒の森整備事業基本構想作成調査報告書」宮城県・宮城県林業公社、仙台湾全体の植物について整理している。 「宮城県土木部でのレーザ測量データ(国際興業受注)」南蒲生において、2012 年 9 月のデータを使い、植生と地形の解析を行なっている。 「東日本大震災後における自然環境基礎調査業務委託(平成 25 年 2 月 仙台市)」 「平吹氏、菅野氏により 2010 年の蒲生干潟海浜調査のデータ」宮城県自然保護課所蔵 「鳥の海、牛橋における鳥類、昆虫、植物の調査結果データ」農政局亘理・山元土地改良建設事業建設所所蔵 「植生学会 HP にて公開された震災に関する文献一覧」 杉山さん、菅野正道さんの所有する現地調査データ
以上

表 1.7 底生動物調査に関するヒアリング結果(1)

<p>ヒアリングした有識者: 東北大学大学院生命科学研究所 生態システム生命科学専攻 群集生態分野 理学博士 鈴木 孝男 氏</p> <p>日 時: 平成 25 年 7 月 18 日(木) 15:00 ~ 17:00</p>
<p>【調査時期について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋の調査時期は、シギ・チドリの生息場所を確認した後に調査地点を設置すると良い。 <p>【調査方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様書にある方形区調査は、現在では採用されていない。「モニタリングサイト 1000」の調査方法を参考に、15cm 径のコアサンプラーを使用した採集調査を行うのが良い。 ・ 調査地点は、鳥の分布・採餌環境から干潟をゾーニングし、地点を設置すると良い。それぞれの地点で 10 サンプルを目安としてコアをサンプリングするのが良いだろう。サンプリング後の篩(ふるい)は 2mm 目合で十分である。生物量が多い場所では、3 コア程度に減らしても良いが、採集の努力量が分かる記録を行うと、他の調査との比較ができる。 ・ 鳥の餌資源把握が目的とするならば、とくにゴカイ類、二枚貝に着目して、湿重量やサイズ計測等、努力量に対する捕獲生物量が分かるような調査方法を採用すると良い。スピオ類はちぎれやすく鳥が嫌う可能性があるため、可能ならばゴカイ類はスピオ類とカワゴカイ類が分けられると良い。 ・ 消波ブロックなどでは、コアサンプルが難しいカニやヨコエビなどの出現が考えられる。これについては、単位時間内での観察個体数などで定量化した記録をすると良い。 <p>【調査地域の文献について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文献調査については、以下の文献・事例が挙げられる。 「平成 24 年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務報告書(生物多様性センター)」 「生物自然環境保全地域」仙台湾での 2002 と 2012 年の同一地点でのデータを比較している 「亘理町史 自然誌編(非公開)」鳥の海の震災前のデータがある 「日本ベントス学会誌」 「金谷氏の所有する蒲生干潟のデータ」 「アースウォッチジャパン」の東日本復興モニタリングのデータ 「蒲生干潟における自然再生事業関連の資料」 「蒲生の堤防整備前のベントス調査結果」宮城県土木部河川課での成果 「2010 年までの岩手南～福島北までの 83 件の文献を整理したベントス目録(鈴木氏所有)」宮城県レッドリストの基礎資料

表 1.8 底生動物調査に関するヒアリング結果(2)

【その他の情報について】

- ・ 平成 25 年度は、平成 24 年度に引き続き、生態系監視調査を井土浦地区、鳥の海地区で実施している。
- ・ 蒲生地区については、鈴木先生は調査を実施していないが、「金谷氏(国立環境研究所)」が調査地点を 43 設置してモニタリングを実施している。
- ・ 鳥の海地区は西半分で淡水の影響が強くなっている。予定されている排水路が整備されたら汽水も改善すると考えられる。

以上

1.6.3 業務計画書の作成

事務所担当官と調整の上、業務着手時打合せの後、ヒアリング調査結果を参考に、表 1.9 の条件に基づき業務の手順及び工程表並びに遂行に必要な書類をまとめた業務計画書を作成した。

表 1.9 調査の条件

調査区分	調査対象	調査時期・回数	調査方法	備考
鳥類調査	鳥類	夏季(7～8月):2回 秋季(9～11月):3回 冬季(12月～2月):3回	ラインセンサス法、定点観察法	
底生動物	底生動物	7～11月:2回	ふるい掛け調査	
その他	業務計画書作成にあたっては、鳥類調査、植物調査、底生動物調査について、有識者1名にヒアリングをおこなう。			

(1) 現地調査

1) 調査区域

本業務は、蒲生特別保護地区、井土浦特別保護地区、阿武隈河口域の鳥獣保護区域内を調査対象とした。

2) 現地調査計画

十分な成果が得られるように現地調査地点、調査時期、調査方法等の検討を行い、現地調査計画を策定し、調査職員の承諾を得るものとした。

3) 現地調査内容

植物調査、動物調査についての調査内容を下表に示す。

現地調査地点の選定について、発注者と協議の上決定した。

調査地点、調査方法、調査回数については発注者と協議の上変更した。

表 1.10 調査時期等

調査項目	調査地区	調査地点・回数	調査手法
鳥類	蒲生特別保護地区	6定点、1ルート・8回	定点観察、ランセンサス調査
	井土浦特別保護地区	6定点、1ルート・8回	〃
	阿武隈河口域	6定点、1ルート・8回	〃
底生動物	蒲生特別保護地区	5地点・8回	ふるいかけ調査
	井土浦特別保護地区	5地点・8回	〃
	阿武隈河口域	5地点・8回	〃

1.6.4 報告書・報告書概要・GISデータとりまとめ

本編として「業務目的」「調査内容」「調査方法」「調査結果」「考察」を、資料編として「調査結果詳細(生データ)」「参考文献一覧」を報告書(200項程度)にとりまとめた。

また、本業務の報告書概要(20項程度)をとりまとめた。

なお、位置情報のあるデータについては、GISデータ化し電子媒体(3部)にとりまとめた。

1.6.5 モニタリング方針の検討

とりまとめた調査結果をもとに、当該区域における鳥類、植物、底生動物に関するモニタリング方法を整理し、今後のモニタリング方針の検討を行った。

1.6.6 業務履行期限

平成25年6月22日～平成26年2月28日

1.6.7 成果物

本業務の成果物は、以下のとおりである。

- 報告書 20部(A4判製本、200頁程度)
- 報告書及び報告書概要並びにGISデータを収納した電子媒体(DVD) 3枚
- 報告書及びその他電子データの仕様及び記載事項は業務仕様書別添による。
- 提出場所 仙台自然保護官事務所
- 提出期限 平成26年2月28日(金)

1.7 業務工程

業務工程は下記に従い実施した。

表 1.1 工程表

工期(自)平成 25 年 6 月 20 日 (至)平成 26 年 2 月 28 日

工種・種別・細別		単位	数量	摘要	予定工程											
					6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
計画準備	業務計画書の作成	式	1		—											
	ヒアリング	式	1		—											
既往文献調査		式	1			—	—									
現地調査	鳥類調査	式	1			—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	底生動物調査	式	1			—	—	—	—	—	—	—	—	—		
調査結果とりまとめ		式	1				—	—	—	—	—	—	—	—		
モニタリング方針の検討		式	1							—	—	—	—	—		
報告書作成		式	1										—	—		
打合せ協議		式	1													

1.8 担当者

業務担当者は、以下のとおりである。

表 1.2 担当者一覧

氏名	所属・資格等	連絡先	備考
柏崎 雄一	東北支社総合技術部 環境室 主幹 技術士(建設部門・環境部門)	Tel:022-261-6853 Fax:022-264-2465 E-mail:kashiwaz@ctie.co.jp	業務における第 二連絡先
野口 将之	東北支社総合技術部 環境室 室長 技術士(建設部門)	Tel:022-261-4542 Fax:022-264-2465 E-mail:m-noguchi@ctie.co.jp	
細谷 治夫	東北支社総合技術部 環境室 主任 生物技能検定1級	Tel: 022-261-6910 Fax:022-264-2465 E-mail: hosoya@ctie.co.jp	業務における主 要連絡先
紀國 聡	東北支社総合技術部 環境室 主任 技術士(建設部門)	Tel:022-261-6909 Fax:022-264-2465 E-mail:kinokuni@ctie.co.jp	
伊藤 智	東北支社総合技術部 環境室 主任 RCCM(建設環境)	Tel:022-261-6825 Fax:022-264-2465 E-mail:satoshi-itou@ctie.co.jp	

1.9 業務場所

業務場所は、以下のとおりである。

表 1.3 業務場所

担当区分	事業所及び部室・住所・連絡先
業務担当	<ul style="list-style-type: none"> ● 東北支社 総合技術部 環境室 ● 仙台市青葉区本町 2-15-1 ルナール仙台 ● TEL:022-261-4542(管理技術者ダイヤルイン) FAX:022-264-9721
契約担当	<ul style="list-style-type: none"> ● 東北支社 営業部 ● 仙台市青葉区本町 2-15-1 ルナール仙台 ● TEL:022-261-4261(代表) FAX:022-264-4423

2. 調査(既存文献調査)

2.1 調査方法

蒲生特別保護地区、井土浦特別保護地区、阿武隈川河口域(潟湖・鳥の海を含む)を対象に、震災前後の文献を収集した。収集文献は有識者ヒアリングを参考にしたほか、「平成24年度東北地方太平洋沿岸自然環境調査」等を参考に、関係行政機関等から以下の項目について収集した。

鳥類の飛来状況について

植生及び植物相について

底生動物について

地形及び土地利用について(明治以降)

2.2 調査結果

打合せと有識者ヒアリングを参考に、蒲生特別保護地区、井土浦特別保護地区、阿武隈川河口域を対象に鳥類、植物及び植生、底生動物、地形及び土地利用に関する調査を行った文献として、20文献を整理した。整理した文献の一覧を表 2.2に示す。

目録を整理するにあたって、種の配列、学名等は「河川環境データベース河川水辺の国勢調査ための生物リスト（平成24年、水情報国土データ管理センター）」を参考にした。また、重要種の選定には表 2.1の資料を選定基準とした。

表 2.1 重要な種の選定基準

区分	重要種の選定根拠	凡例の意味
文化財	文化財保護法(同法に基づく地方公共団体の文化財保護条例を含む) [昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号]	特天:国指定特別天然記念物 国天:国指定天然記念物 県天:県指定天然記念物 市天:町指定天然記念物
保存法	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 [平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号]	国内:国内稀少野生動植物種 特定:特定国内稀少野生動植物種 緊急:緊急指定種
環境省 NRL	レッドリスト(絶滅のおそれのある野生動物の種のリスト)の見直し 第4次レッドリストの公表について [環境省 平成 24 年 8 月 28 日発表]	絶滅:EX (わが国ではすでに絶滅したと考えられる種) 野生絶滅:EW (飼育・栽培下でのみ存続している種) 絶滅危惧 A類:CR (ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種) 絶滅危惧 B類:EN (A類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種) 絶滅危惧 類:VU (絶滅の危機が増大している種) 準絶滅危惧:NT (現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種) 情報不足:DD (評価するだけの情報が不足している種) 地域個体群:LP (地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群)
宮城県 RL	「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドリスト 2013 年版 -」 [宮城県 平成 25 年]	絶滅:EX (本県ではすでに絶滅したと考えられる種) 野生絶滅:EW (飼育・栽培下でのみ存続している種) 絶滅危惧 類:CR + EN (本県において絶滅の危機に瀕している種) 絶滅危惧 類:VU (本県において絶滅の危機が増大している種) 準絶滅危惧:NT (現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する要素のある種) 情報不足:DD (評価するだけの情報が不足している種) 地域個体群:LP (地域的に孤立しており絶滅のおそれが高い個体群) 要注目種:要注目 (普通に見られるものの特徴ある生息・生育状況等により注目すべき種)

表 2.2 既往調査文献の一覧

文献 No.	文献名	出典	発行	対象			
				鳥類の 飛来状 況	植生及 び植物 相	底生動 物	地形及 び土地 利用
1	平成 24 年度東北地方太平洋沿岸地 域自然環境調査等業務	環境省自然環境局生 物多様性センター	2012				
2	第七回自然環境保全基礎調査 浅 海域生態系調査(干潟)	環境省	2007				
3	平成 24 年度国指定仙台湾海浜鳥 獣保護区 鳥類モニタリング調査報 告書	公益財団法人 日本 鳥類保護連盟	2012				
4	平成 24 年度 国指定仙台海浜鳥獣 保護区 蒲生特別保護地区植生モニ タリング業務	東北緑化環境保全 株式会社	2013				
5	コアジサシ等定点調査業務報告書 (2000-2009)	環境省	2005- 2009				
6	コアジサシ保全方策検討調査業務報 告書(2010-2011)	環境省	2010- 2011				
7	定点調査報告書 シギ・チドリ類 (1989-2004)	環境省	1989- 2004				
8	モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ 類調査(2004-2012)	環境省	2005- 2012				
9	ガンカモ類生息調査 (1968-2012)	環境省	1968- 2012				
10	モニタリングサイト 1000 ガン・カモ 類調査(2004-2012)	環境省	2005- 2012				
11	東日本大震災に係る陸域に生息す る鳥類への影響把握調査	公益財団法人 日本 鳥類保護連盟	2012				
12	仙台海川国道事務所管内被災域水 辺環境調査業務	株式会社 建設技術 研究所	2013				
13	地図と写真で見る荒浜の歴史	千葉宗久	2003				
14	亘理町の 50 年	亘理町	2005				
15	仙台市史 特別編 1 自然	仙台市史編さん委員 会	1994				
16	塩竈の地形図 2 万 5000 分の 1 塩 竈	国土地理院	1912- 1998				
17	仙台の地形図 2 万 5000 分の 1 仙 台東南部	国土地理院	1912- 1995				
18	荒浜の地形図 2 万 5000 分の 1 荒 浜	国土地理院	1928- 1995				
19	国指定仙台海浜鳥獣保護区蒲生特 別保護地区指定計画書(環境省案)	環境省	2007				
20	国指定仙台海浜鳥獣保護区井土浦 特別保護地区指定計画書(環境省 案)	環境省	2007				

発行年が複数年度にまたがる文献は、その期間中に発行された文献を全て整理対象とした。

2.2.1 鳥類の飛来状況

(1) 既往調査の状況

鳥類の飛来状況に関する既往文献について、震災前後の調査実施状況を表 2.3に示す。

鳥類に関連した既往調査は、環境省の実施するガン・カモ類調査が昭和44年度から開始されて以来、ほぼ毎年実施されている。しかし、鳥類すべてを対象とした鳥類相調査は、井土浦特別保護地区では震災前後、蒲生特別保護地区では震災後に実施され、阿武隈河口域では実施されていなかった。このため、阿武隈河口域の震災前後、蒲生特別保護地区の震災前の鳥類相については、詳細な情報を得ることが出来なかった。

対象をコアジサシ調査とガン・カモ類調査に限定した調査は、すべての地区で震災前後に実施されている。また、シギ・チドリ類調査が蒲生特別保護地区と阿武隈河口域において震災前後に実施されている。このことから、以後の鳥類の飛来状況に関する整理は、ガン・カモ類、シギ・チドリ類について着目して行うこととした。

表 2.3 既往調査の状況

文献 No.	文献名	震災前(H22 以前)			震災後(H23 以降)		
		蒲生	井土浦	阿武隈	蒲生	井土浦	阿武隈
3	平成 24 年度国指定仙台湾海浜鳥獣保護区 鳥類モニタリング調査報告書	-	-	-	鳥類相		-
5	コアジサシ等定点調査業務報告書(2000-2009)	コアジサシ調査			-	-	-
6	コアジサシ保全方策検討調査業務報告書(2010-2011)	コアジサシ調査			コアジサシ調査		
7	定点調査報告書 シギ・チドリ類(1989-2004)	シギ・チドリ類調査	-	シギ・チドリ類調査	-	-	-
8	モニタリングサイト1000 シギ・チドリ類調査(2004-2012)	シギ・チドリ類調査	-	シギ・チドリ類調査	シギ・チドリ類調査	-	シギ・チドリ類調査
9	ガンカモ類生息調査 (1968-2012)	ガン・カモ類調査			ガン・カモ類調査		
10	モニタリングサイト1000 ガン・カモ類調査(2004-2012)	ガン・カモ類調査	-	-	ガン・カモ類調査	-	-
11	東日本大震災に係る陸域に生息する鳥類への影響把握調査	-	-	-	コアジサシ調査		
12	仙台海川国道事務所管内被災域水辺環境調査業務	-	鳥類相	-	-	鳥類相	-

注) 文献No.は表 2.2の文献No.と対応する。

(2) 鳥類の飛来状況

鳥類相については、14目39科189種の鳥類が確認された。調査地区別で見ると、蒲生特別保護地区では11目29科116種、井土浦特別保護地区では14目35科149種、阿武隈河口域では7目13科63種が確認されている。確認種数は阿武隈河口域が他の地区に比較して少ないが、これは阿武隈河口域ではコアジサシ調査、シギ・チドリ調査、ガン・カモ調査のみが実施されていることによる。

確認種の一覧を表2.4～表2.10に示す。なお、注) 調査年度下の数字は以下の文献を示す。

- 文献 3:平成 24 年度国指定仙台湾海浜鳥獣保護区 鳥類モニタリング調査報告書((財) 日本鳥類保護連盟,2012)
- 文献 5:コアジサシ等定点調査業務報告書(2005-2009) (環境省,2005-2009)
- 文献 6:コアジサシ保全方策検討調査業務報告書(2010-2011) (環境省,2010-2011)
- 文献 7:定点調査報告書 シギ・チドリ類(1989-2004) (環境省,1989-2004)
- 文献 8:モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ類調査(2004-2012) (環境省,2005-2012)
- 文献 9:ガンカモ類生息調査 (1968-2012) (環境省,1968-2012)
- 文献 10:モニタリングサイト 1000 ガン・カモ類調査(2004-2012) (環境省,2005-2012)
- 文献 11:東日本大震災に係る陸域に生息する鳥類への影響把握調査((財) 日本鳥類保護連盟,2012)
- 文献 12:仙台河川国道事務所管内被災域水辺環境調査業務((株) 建設技術研究所,2013)

表 2.5 既往文献による鳥類の確認状況（蒲生特別保護地区）

No	目名	科名	種名	学名	文化財	保存法	重要種	重要種	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S58	S60	S61	S62	S63	H1	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
							重要種																								
76			オオロシギ	<i>Limosa limosa</i>																											
77			オオソリハシタギ	<i>Limosa lapponica</i>																											
78			オオソコギ	<i>Numenius arquata</i>				VU																							
79			オソコギ	<i>Numenius madagascariensis</i>				VU	NT																						
80			オソソコギ	<i>Numenius phaeopus</i>																											
81			オソソコギ	<i>Gallinago gallinago</i>																											
82		セメ科	オソソコギ	<i>Gallinago chloropus</i>																											
83		セメ科	オソソコギ	<i>Numenius himantopus</i>																											
84		セメ科	オソソコギ	<i>Phalaropus lobatus</i>																											
85		セメ科	オソソコギ	<i>Phalaropus lobatus</i>																											
86		セメ科	オソソコギ	<i>Phalaropus lobatus</i>																											
87		セメ科	オソソコギ	<i>Phalaropus lobatus</i>																											
88		セメ科	オソソコギ	<i>Larus delawarensis</i>																											
89		セメ科	オソソコギ	<i>Larus californicus</i>																											
90		セメ科	オソソコギ	<i>Larus californicus</i>																											
91		セメ科	オソソコギ	<i>Larus californicus</i>																											
92		セメ科	オソソコギ	<i>Larus californicus</i>																											
93		セメ科	オソソコギ	<i>Larus californicus</i>																											
94	ハト目	ハト科	ハト	<i>Sterna albifrons</i>																											
95	ハト目	ハト科	ハト	<i>Sterna albifrons</i>																											
96	キツネ目	キツネ科	キツネ	<i>Dendrocygus olivaceus</i>																											
97	スズメ目	スズメ科	スズメ	<i>Alauda arvensis</i>																											
98	スズメ目	スズメ科	スズメ	<i>Alauda arvensis</i>																											
99	スズメ目	スズメ科	スズメ	<i>Alauda arvensis</i>																											
100		セキレイ科	セキレイ	<i>Motacilla alba</i>																											
101		セキレイ科	セキレイ	<i>Motacilla alba</i>																											
102		セキレイ科	セキレイ	<i>Motacilla alba</i>																											
103		セキレイ科	セキレイ	<i>Motacilla alba</i>																											
104		セキレイ科	セキレイ	<i>Motacilla alba</i>																											
105		セキレイ科	セキレイ	<i>Motacilla alba</i>																											
106		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
107		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
108		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
109		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
110		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
111		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
112		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
113		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
114		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
115		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
116		ウグイス科	ウグイス	<i>Caprimulgus vociferus</i>																											
計	11目	29科	116種																												

表 2.7 既往文献による鳥類の確認状況（蒲生特別保護地区）

No	目名	科名	種名	学名	文化財	保存法	重要種 重要種RUI	重要種 重要種RUI	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24																										
76			オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>																																										
77			オソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>																																										
78			ダイオウシギ	<i>Numenius arquata</i>																																										
79			赤ウロコシギ	<i>Numenius macrotarsus</i>																																										
80			チユウシヤクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>																																										
81			クシギ	<i>Gallinago gallinago</i>																																										
82			オオシギ	<i>Gallinago borealis</i>																																										
83			セイウカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>																																										
84			ハイロビレアシシギ	<i>Phalaropus fulicarius</i>																																										
85			アキカビレアシシギ	<i>Phalaropus lobatus</i>																																										
86			ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>																																										
87			カモメ	<i>Larus argentatus</i>																																										
88			オオウロコモエ	<i>Larus schistisagus</i>																																										
89			カモメ	<i>Larus canus</i>																																										
90			カモメ	<i>Larus argentatus</i>																																										
91			オオウロコモエ	<i>Larus schistisagus</i>																																										
92			オオウロコモエ	<i>Larus argentatus</i>																																										
93			オオウロコモエ	<i>Larus argentatus</i>																																										
94	ハト目	ハト科	ハト	<i>Columba livia var. domestica</i>																																										
95			キツバト	<i>Streptopelia orientalis</i>																																										
96	キツバ目	キツバ科	キツバ	<i>Dendrocygus bicolor</i>																																										
97	スズメ目	ビバウ科	ビバウ	<i>Alauda arvensis</i>																																										
98		ツバキ科	ツバキ	<i>Hirundo rustica</i>																																										
99			イロツバキ	<i>Dolichonyx oryzivorus</i>																																										
100		セキレイ科	セキレイ	<i>Motacilla alba</i>																																										
101			セキレイ	<i>Motacilla alba</i>																																										
102		ビヨドリ科	ビヨドリ	<i>Hyphantornis amurensis</i>																																										
103		キヌカサ科	キヌカサ	<i>Lanius borealis</i>																																										
104		ツグミ科	ツグミ	<i>Phoenicurus phoenicurus</i>																																										
105			ツグミ	<i>Phoenicurus phoenicurus</i>																																										
106		ウグイス科	ウグイス	<i>Turdus merula</i>																																										
107			ウグイス	<i>Turdus merula</i>																																										
108		シジュウカラ科	シジュウカラ	<i>Acrocephalus scirpaceus</i>																																										
109			シジュウカラ	<i>Acrocephalus scirpaceus</i>																																										
110		ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza hortulana</i>																																										
111			ホオジロ	<i>Emberiza hortulana</i>																																										
112		アトリ科	アトリ	<i>Passer montanus</i>																																										
113		ハクオビ科	ハクオビ	<i>Spizella monticola</i>																																										
114		ムクドリ科	ムクドリ	<i>Sturnus vulgaris</i>																																										
115		カラス科	カラス	<i>Corvus corone</i>																																										
116			カラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>																																										
計	11目	29科	116種	-	1	4	19	8	20	7	3	1	16	11	1	10	6	1	12	10	16	1	10	12	7	13	4	13	15	12	9	14	17	11	14	16	15	17	9	16	17	14	58	12	14	16

(3) コクガンの飛来状況

蒲生特別保護地区の保護区設定の根拠の一つであるコクガンの飛来状況について表 2.11に整理した。

コクガンは蒲生特別保護地区のみで確認され、もっとも早い記録は文献8（ガン・カモ類調査）における平成12年の記録であった。以後は、平成13、17、18、20年度と断続的に確認され、平成22年度以降は連続して毎年確認されている。

表 2.11 コクガンの確認状況

年度	確認文献
H12	文献 9
H13	文献 9
H14～16	確認されていない
H17	文献 9、10
H18	文献 9、10
H19	確認されていない
H20	文献 8、9、10
H21	確認されていない
H22	文献 9、10
H23	文献 9、10
H24	文献 3、9、10

(4) コアジサシの飛来状況

蒲生特別保護地区の保護区設定の根拠の一つであるコアジサシの飛来状況について、表 2.12に整理した。

蒲生特別保護地区では、平成15年度に繁殖、平成16年において繁殖行動、平成17年度に2個体の飛来が確認された以降、コアジサシの飛来は確認されていない。井土浦特別保護地区においても同様に、平成18年度以降はコアジサシの飛来が確認されていない。阿武隈河口域については、平成22年度以降、100個体が飛来し営巣したとの情報があるが、場所や環境、繁殖状況などの詳細な情報は不明であった。

表 2.12 コアジサシの確認状況

年度	確認状況	確認数		
		蒲生	井土浦	阿武隈
H12	蒲生干潟で上空を飛翔	不明		
H13	名取川河口に成鳥 1 羽飛来、繁殖なし			1
H14	蒲生干潟成鳥 1 羽、名取川河口成鳥 22 羽	1	22	
H15	蒲生干潟成鳥 6 羽、名取川河口成鳥 127 羽	6	127	
H16	蒲生干潟成鳥 22 羽、名取川河口成鳥 1 羽	22	1	
H17	蒲生干潟成鳥 2 羽、名取川河口成鳥 8 羽	2	8	
H18	営巣地としては蒲生干潟、名取川河口があげられる。いずれも飛来数は少なく、近年では平成 15 年に蒲生干潟で数番の繁殖が確認された以外、繁殖は確認されていない。今年度も名取川で 3 羽の飛来が確認されたのみで、繁殖行動は確認されなかった。		3	
H19	営巣地としては蒲生干潟、名取川河口一帯があげられる。いずれも飛来数は少なく、近年では平成 16 年に蒲生干潟で数番の繁殖行動が確認されて以降、繁殖は確認されていない。蒲生干潟では、平成 17 年度から砂浜に縄を張り、デコイの設置を行って誘致を計っているが、今年度は両調査地共に飛来を確認することはできなかった。			
H20	営巣地としては蒲生干潟、名取川河口一帯があげられる。いずれも飛来数は少なく、近年では平成 16 年に蒲生干潟で数番の繁殖行動が確認されて以降、繁殖は確認されていない。蒲生干潟では、平成 17 年度から砂浜に縄を張り、デコイの設置を行って誘致を計っているが、今年度は両調査地共に飛来を確認することはできなかった。			
H21	営巣地としては蒲生干潟、名取川河口一帯があげられる。いずれも飛来数は少なく、近年では平成 16 年に蒲生干潟で数番の繁殖行動が確認されて以降、繁殖は確認されていない。蒲生干潟では、平成 17 年度から砂浜に縄を張り、デコイの設置を行って誘致を計っているが、昨年度に引き続き、今年度も両調査地共に飛来を確認することはできなかった。			
H22	宮城県鳥の海と牛橋海岸で飛来、営巣したとの情報があったが、詳細は不明であった。いずれも平成 21 年からの営巣である。本年度は飛来当初は飛来数も多かったが、最終的な営巣数は数番のみのである。			100
H23	宮城県鳥の海と牛橋海岸で飛来、営巣したとの情報があった。飛来が確認されたのは鳥の海で約 15 羽、牛橋海岸で約 8 羽と少数であり、営巣数の詳細は不明であった。いずれも平成 21 年からの営巣である。当地は東日本大震災による津波の影響を大きく受けたが、少数ながら営巣が確認されており、来年度以降も営巣が期待される。			15

【出典】コアジサシ等定点調査業務報告書(環境省,2005-2009)

【出典】コアジサシ保全方策検討調査業務報告書(環境省,2010-2011)

2.2.2 植生及び植物相

(1) 既往調査の状況

植生及び植物相に関する既往文献について震災前後の調査実施状況を表 2.13に整理した。

植生については、平成24年度に空中写真の判読を中心に震災前後の概略植生図が作成されている。また、同じ平成24年度の蒲生特別保護地区では、現地調査をもとにした詳細な植生図が作成されている。

植物相では、蒲生特別保護地区において現地調査による植物相調査が震災後の平成24年度に実施されている。井土浦特別保護地区では平成12年度～平成24年度に植物相調査が実施されている。

表 2.13 既往調査の状況

文献 No.	文献名	震災前(H22以前)			震災後(H23以降)		
		蒲生	井土浦	阿武隈	蒲生	井土浦	阿武隈
1	平成24年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務	植生			植生		
4	平成24年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 蒲生特別保護地区植生モニタリング業務	-	-	-	植生、 植物相	-	-
12	仙台河川国道事務所管内被災域水辺環境調査業務	-	植物相	-	-	植物相	-

注)文献No.は表 2.2の文献No.と対応する。

(2) 植物相の状況

植物相については、117科753種の植物が確認された。調査地区別にみると、蒲生特別保護地区では59科247種、井土浦特別保護地区では116科719種が確認されている。確認種の一覧を表 2.14～表 2.21に示す。

井土浦特別保護地区に比べ蒲生特別保護地区では確認種数が少ないが、これは井土浦特別保護地区では震災前後に調査を実施しているのに対し、蒲生特別保護地区では震災後の平成24年度にのみ調査を実施していることによる。

なお、井土浦特別保護地区の確認種について震災前後の出現で対比すると、震災前にクロマツ林内に生育していたと考えられるハマカキランやシダ類などは、震災後には確認されなくなっていた。

表 2.16 植物相の確認状況（文献調査結果）

No.	科名	和名	学名	重要種				清生			井土浦				
				文化財	保存法	環境省指定	重要種	H23	H24	全体	H13	H19	H20	H22	H24
201	ユキノシタ科	ガクアジサイ	<i>Hydrangea macrophylla f. normalis</i>												
202		ハルウツギ	<i>Hydrangea paniculata</i>												
203		タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>				NT								
204		ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i>												
205		イワガラミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i>												
206	トベラ科	トベラ	<i>Pittosporum tobira</i>												
207	バラ科	キンズビキ	<i>Agrimonia japonica</i>												
208		ヒメキンズビキ	<i>Agrimonia nipponica</i>												
209		ヘビイチゴ	<i>Duchesnea chrysantha</i>												
210		ヤブヘビイチゴ	<i>Duchesnea indica</i>												
211		ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i>												
212		ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i>												
213		ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>												
214		ズミ	<i>Malus toringo</i>												
215		ヒメヘビイチゴ	<i>Potentilla centrifera</i>												
216		ミツバツクリ	<i>Potentilla freyniana</i>												
217		オヘビイチゴ	<i>Potentilla sundaica var. robusta</i>												
218		カマツカ	<i>Pourthiaea villosa var. laevis</i>												
219		ケカマツカ	<i>Pourthiaea villosa var. zollingeri</i>												
220		チロウジサクラ	<i>Prunus apetala</i>												
221		イヌザクラ	<i>Prunus buergeriana</i>												
222		ウロミスザクラ	<i>Prunus qiavana</i>												
223		ヤマザクラ	<i>Prunus ianasaakura</i>												
224		エドヒガン	<i>Prunus pendula f. ascendens</i>												
225		エノヤマザクラ	<i>Prunus sargentii</i>												
226		カスミザクラ	<i>Prunus verecunda</i>												
227		ソメイヨシノ	<i>Prunus x vedoensis</i>												
228		シャリンバイ	<i>Rhaphiolepis umbellata</i>												
229		マルバシャリンバイ	<i>Rhaphiolepis umbellata var. integerrima</i>												
230		シロヤマブキ	<i>Rhodotypos scandens</i>				EN								
231	ライバラ	<i>Rosa multiflora</i>													
232	ハマナス	<i>Rosa rugosa</i>				NT									
233	テリハノイバラ	<i>Rosa wichuraiana</i>													
234	クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i>													
235	クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i>													
236	ニカイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i>													
237	モミジチゴ	<i>Rubus palmatus var. coptophyllus</i>													
238	ナウシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>													
239	エビガライチゴ	<i>Rubus phoenicolasius</i>													
240	ウレモコウ	<i>Sanquisorba officinalis</i>													
241	アズキナシ	<i>Sorbus alnifolia</i>													
242	コゴメウツギ	<i>Stephanandra incisa</i>													
243	マメ科	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>												
244		ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i>												
245		イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>												
246		ヤブマメ	<i>Amphicarpaea edgeworthii var. japonica</i>												
247		ホドイモ	<i>Aplos fortunei</i>												
248		カワラケツメイ	<i>Cassia mimosoides ssp. nomame</i>												
249		エニシダ	<i>Cytisus scoparius</i>												
250		ヌズビトハギ	<i>Desmodium podocarpum ssp. oxyphylum</i>												
251		ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i>												
252		ノアスキ	<i>Dunbaria villosa</i>				CR+EN								
253		ツルマシ	<i>Glycine max ssp. soja</i>												
254		コマツナギ	<i>Indigofera pseudotinctoria</i>												
255		マルバヤハズソウ	<i>Kummerowia stipulacea</i>												
256		ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i>												
257		ハマエンドウ	<i>Lathyrus japonicus</i>												
258		レンリソウ	<i>Lathyrus quinquevenerius</i>												
259		ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor</i>												
260		キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i>												
261		メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i>												
262		ハイメドハギ	<i>Lespedeza cuneata var. serpens</i>												
263		ネコハギ	<i>Lespedeza otilosa</i>												
264		ミヤギノハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i>												
265		セイヨウミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i>												
266		ミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus var. japonicus</i>												
267		イヌエンジュ	<i>Maackia amurensis var. buergeri</i>												
268		コメツブウマゴヤシ	<i>Medicago lupulina</i>												
269		コウマゴヤシ	<i>Medicago minima</i>												
270		シロバナシナガワハギ	<i>Melilotus officinalis ssp. alba</i>												
271		クス	<i>Pueraria lobata</i>												
272		ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>												
273		クララ	<i>Sophora flavescens</i>												
274		センダイハギ	<i>Thermopsis lupinoides</i>				VU								
275		コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>												
276		ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>												
277	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>													
278	ツルフジハカマ	<i>Vicia amoena</i>													
279	ヤハズエンドウ	<i>Vicia angustifolia</i>													
280	クサフジ	<i>Vicia cracca</i>													
281	スズメノエンドウ	<i>Vicia hirsuta</i>													
282	カスマグサ	<i>Vicia tetrasperma</i>													
283	ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis var. nipponensis</i>													
284	フジ	<i>Wisteria floribunda</i>													
285	カタバミ科	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>												
286		ウスアカカタバミ	<i>Oxalis corniculata f. tropaeoloides</i>												
287		ムラサキカタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>												
288		エゾカタバミ	<i>Oxalis fontana</i>												
289		オウタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i>												
290	フウロソウ科	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>												
291		ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>												
292	トウダイグサ科	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>												
293		ノウルシ	<i>Euphorbia adenochlora</i>				NT								
294		オオニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>												
295		コニシキソウ	<i>Euphorbia supina</i>												
296		アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>												
297	ユズリハ科	ユズリハ	<i>Daiphniophyllum macropodum</i>												
298	ミカン科	ミヤマシキミ	<i>Skimmia japonica</i>												
299		ツルシキミ	<i>Skimmia japonica var. intermedia f. repens</i>												
300		カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i>												

表 2.21 植物相の確認状況（文献調査結果）

No.	科名	和名	学名	重要種					蒲生				井土浦					
				文化財	保存法	環境省NRL	省域NRL	重要種	H23	H24	全体	H13	H19	H20	H22	H24	全体	
701	ガマ科	コガマ	<i>Typha orientalis</i>															
702	カヤツリグサ科	ハタガヤ	<i>Bulbostylis barbata</i>															
703		エナシヒゴクサ	<i>Carex aphanolepis</i>															
704		クロカワズスゲ	<i>Carex arenicola</i>															
705		ナルコスゲ	<i>Carex curvicolis</i>															
706		カサスゲ	<i>Carex dispalata</i>															
707		ハマアオスゲ	<i>Carex fibrillosa</i>															
708		カワラスゲ	<i>Carex incisa</i>															
709		ジュズスゲ	<i>Carex ischnostachya</i>															
710		ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i>															
711		コウボウムキ	<i>Carex kobomugi</i>															
712		ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i>															
713		アオスゲ	<i>Carex leucochlora</i>															
714		イトアオスゲ	<i>Carex puberula</i>															
715		コウボウシバ	<i>Carex pumila</i>															
716		オオクグ	<i>Carex rugulosa</i>			NT	NT											
717		シオクグ	<i>Carex scabrifolia</i>															
718		アスマナルコ	<i>Carex shimidzensis</i>															
719		アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i>															
720		オニナルコスゲ	<i>Carex vesicaria</i>				NT											
721		チャガヤツリ	<i>Cyperus amuricus</i>															
722		ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>															
723		タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>															
724		ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>															
725		コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>															
726		カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>															
727		アオガヤツリ	<i>Cyperus nipponicus</i>															
728		ウシクグ	<i>Cyperus orthostachyus</i>															
729		イガヤツリ	<i>Cyperus polystachyos</i>															
730		カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>															
731		マツバイ	<i>Eleocharis acicularis</i> var. <i>longiseta</i>															
732		ハリイ	<i>Eleocharis congesta</i> ssp. <i>japonica</i>															
733		クログワイ	<i>Eleocharis kuroquwai</i>															
734		ヌマハリイ	<i>Eleocharis mamillata</i> var. <i>cyclocarpa</i>															
735		シカクイ	<i>Eleocharis wichurae</i>															
736		テンツキ	<i>Fimbristylis dichotoma</i>															
737		ホタルイ	<i>Schoenocleetus hotarui</i>															
738		イヌホタルイ	<i>Schoenocleetus juncooides</i>															
739		フトイ	<i>Schoenocleetus tabernaemontani</i>															
740		カンガレイ	<i>Schoenocleetus triangulatus</i>															
741		サンカクイ	<i>Schoenocleetus triquetus</i>															
742		アブラガヤ	<i>Scirpus wichurae</i>															
743	ショウガ科	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i>															
744	ラン科	キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>			VU	VU											
745		ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i>															
746		サイハイラン	<i>Crematista appendiculata</i>															
747		シュラン	<i>Cymbidium goeringii</i>															
748		ハマカキラン	<i>Epipactis papillosa</i> var. <i>sayekiana</i>			VU	NT											
749		ミヤマウスラ	<i>Goodyera schlechtendalana</i>															
750		クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i>															
751		オオヤマサキソウ	<i>Platanthera sachalinensis</i>															
752		ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i> var. <i>amoena</i>															
753		ヒメツボクロ	<i>Tipularia japonica</i>															
計	117科	753種	-	0	0	9	16	752	135	223	247	512	319	400	377	320	719	

注) データは以下の文献を整理した。

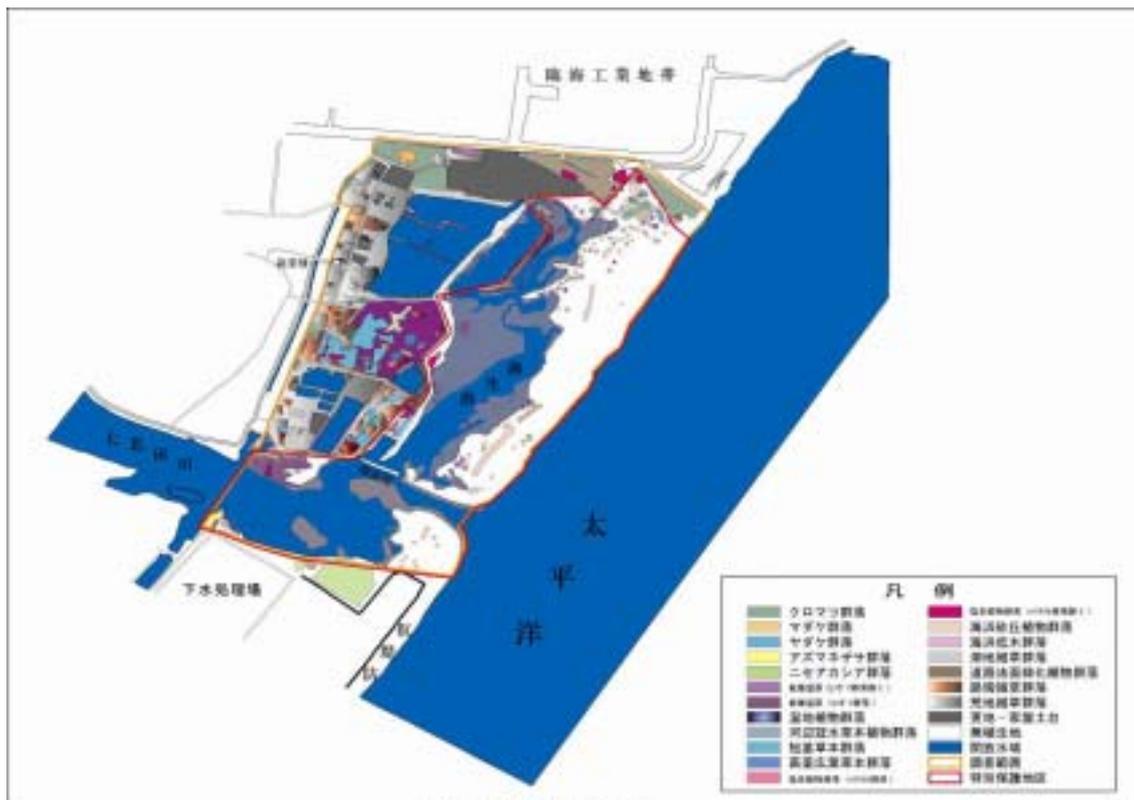
蒲生特別保護地区: 文献番号 4 平成 24 年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 蒲生特別保護地区植生モニタリング業務(東北緑化環境保全(株),2013)

井土浦特別保護地区: 文献番号 12 仙台海川国道事務所管内被災域水辺環境調査業務((株)建設技術研究所,2013)

(3) 植生の状況

1) 蒲生特別保護地区

植生は、平成24年度に現地踏査をもとにした詳細な植生図（図 2.1）が作成されている。また同じ平成24年度には、仙台湾一帯の震災前後の情報整理の一環として、空中写真の判読を中心に震災前後の概略植生図（図 2.2）が作成されている。これによると、震災前に干潟周辺に成立していた湿性草原、塩沼地・砂丘植生、二次草原が消失し、自然裸地や空き地雑草群落、開放水域へと変化していることが分かる。



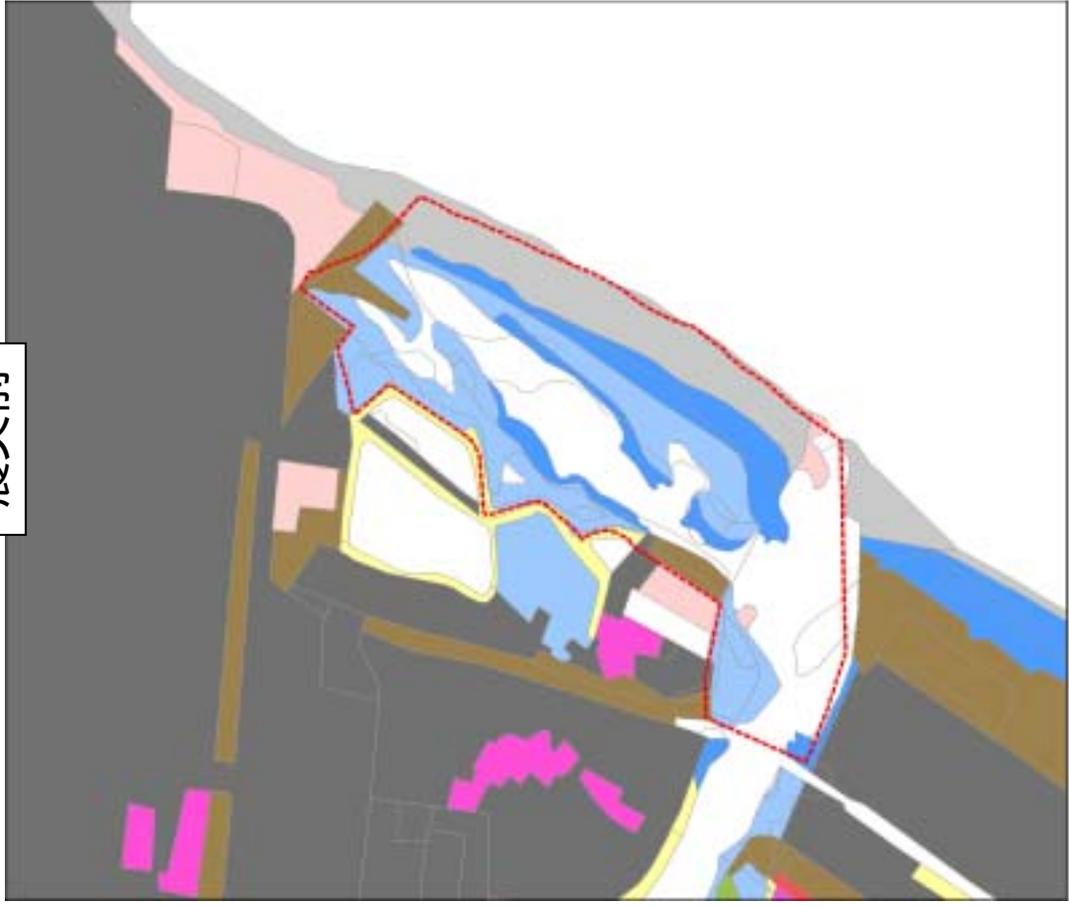
【出典】平成 24 年度 国指定仙台湾浜鳥獣保護区 蒲生特別保護地区植生モニタリング業務
(東北緑化環境保全 株式会社,2013)

図 2.1 震災後の植生図

震災後



震災前



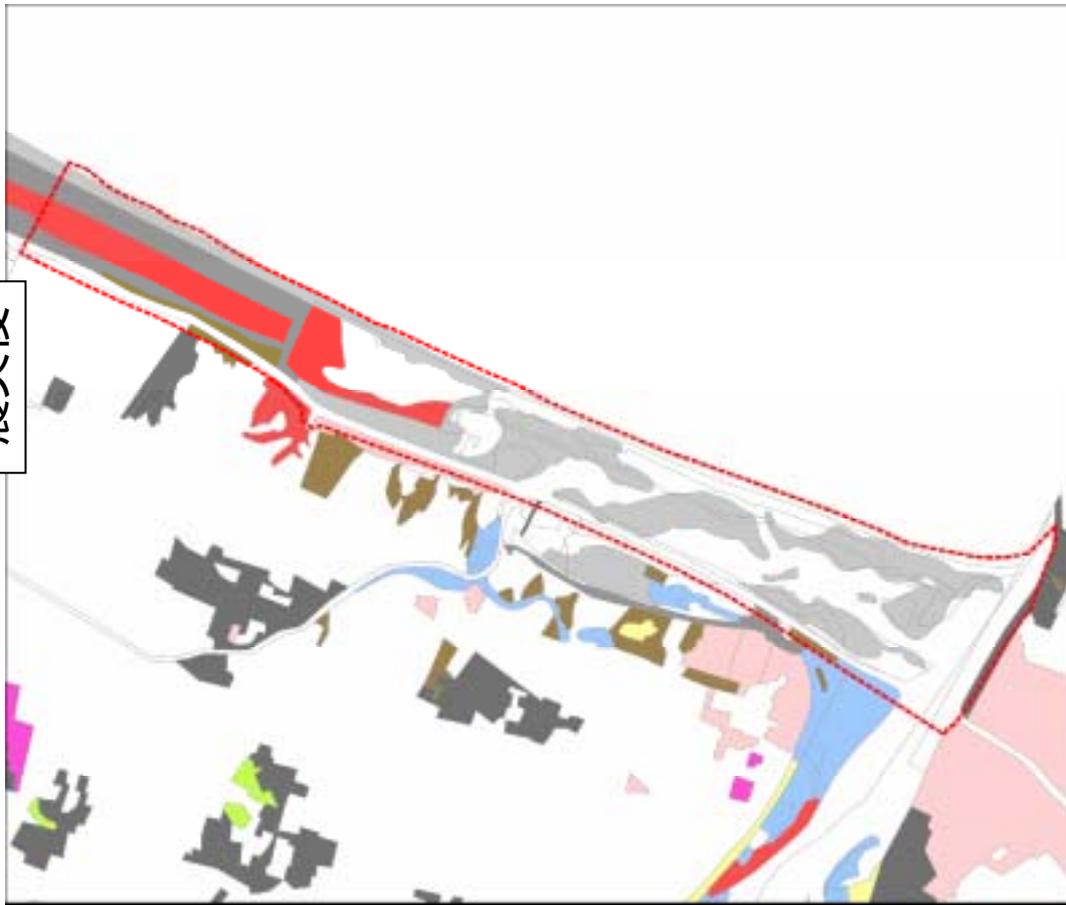
【出典】平成 24 年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務（環境省自然環境局生物多様性センター,2014）

図 2.2 震災前後の植生の変化（蒲生特別保護地区）

2) 井土浦特別保護地区

植生については、平成24年度に仙台湾一帯の震災前後の情報整理の一環として、空中写真の判読を中心に震災前後の概略植生図(図 2.3)が作成されている。これによると、干潟周辺に成立していた塩沼地・砂丘植生、植林(クロマツ林)、湿性草原が大きく消失し、自然裸地や外来種木本群落、開放水域へと変化している。

震災後



震災前



【出典】平成 24 年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務（環境省自然環境局生物多様性センター,2014）

図 2.3 震災前後の植生の変化

3) 阿武隈川河口域

植生については、平成24年度に仙台湾一帯の震災前後の情報整理の一環として、空中写真の判読を中心に震災前後の概略植生図（図 2.4）が作成されている。これによると、左岸の海浜や蛭塚に成立していた塩沼地・砂丘植生、植林（クロマツ林）が消失し、自然裸地や空き地雑草群落へと変化している。

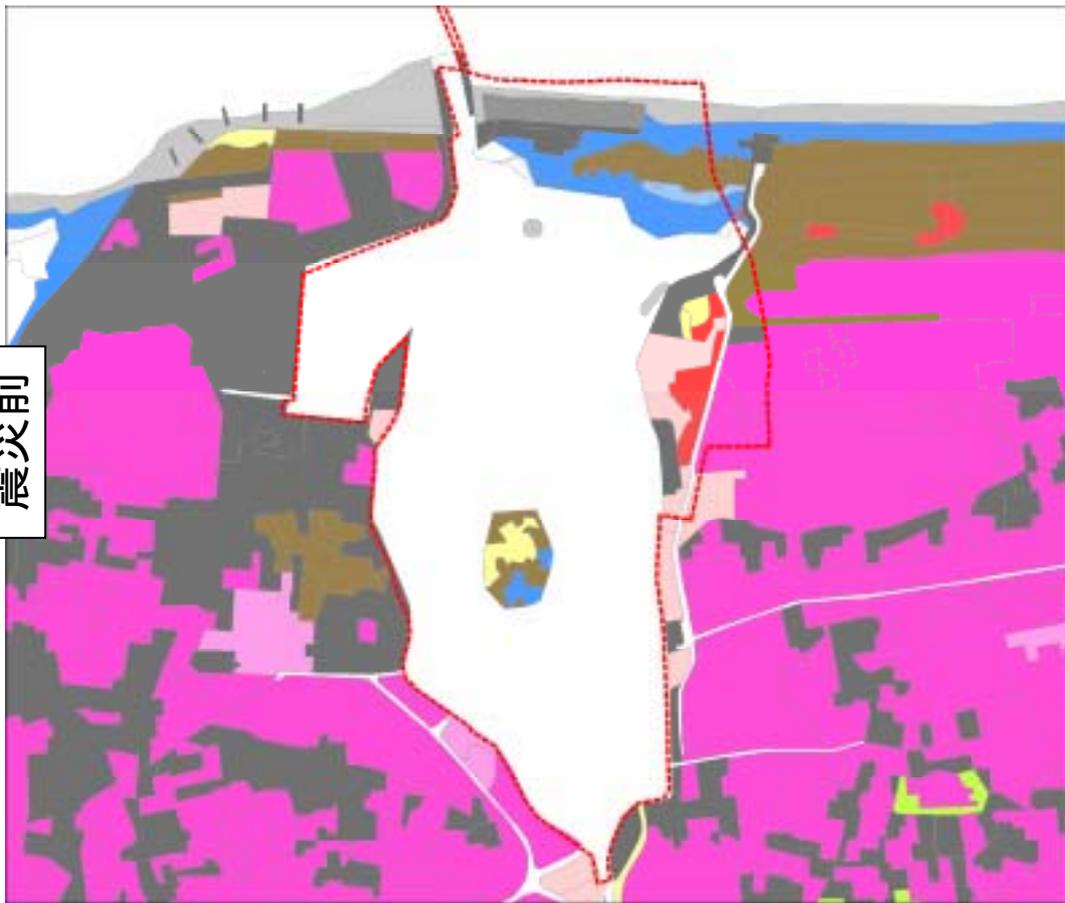
震災後



凡例



震災前



凡例



【出典】平成 24 年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務（環境省自然環境局生物多様性センター,2014）

図 2.4 震災前後の植生の変化

2.2.3 底生動物

(1) 既往調査の状況

底生動物に関する既往文献について、震災前後の調査実施状況を表 2.22に整理した。

底生動物については、自然環境保全基礎調査の一環として平成16年度と平成24年度に、調査地点や調査方法等を合わせた現地調査が実施されている。自然環境保全基礎調査以外では、井土浦特別保護地区において震災前の平成12年度、13年度、20年度に、震災後の平成23年度に採集調査が実施されている。

表 2.22 既往調査の状況

文献No.	文献名	震災前(H22 以前)			震災後(H23 以降)		
		蒲生	井土浦	阿武隈	蒲生	井土浦	阿武隈
1	平成 24 年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務	-	-	-	底生動物相		
2	第七回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査(干潟)	底生動物相			-	-	-
12	仙台河川国道事務所管内被災域水辺環境調査業務	-	底生動物相	-	-	底生動物相	-

注) 文献No.は表 2.2の文献No.と対応する。

(2) 底生動物の状況

底生動物相については、13綱33目78科141種の底生動物が確認された。調査地区別でみると、蒲生特別保護地区では10綱19目38科51種、井土浦特別保護地区では11綱30目67科123種、阿武隈河口域では10綱21目47科72種が確認されている。確認種の一覧を表2.23～表2.25に示す。なお、各年度の既往調査は、以下の文献を整理した。

平成 16 年: 文献 1: 平成 24 年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務(環境省自然環境局生物多様性センター,2012)

平成 24 年: 文献 2: 第七回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査(干潟)(環境省,2007)

平成 12、13、24 年: 文献 12: 仙台河川国道事務所管内被災域水辺環境調査業務(国土交通省 仙台河川国道,2013)

2.2.4 地形及び土地利用 (明治以降)

(1) 既往調査の状況

地形及び土地利用に関する既往文献について、震災前後の調査実施状況を表 2.26に整理した。

震災前では、仙台市、亶理町の市町史として土地利用等の変遷が整理されているほか、2万5000分の1の地形図が大正元年以降から定期的に整理されている。

震災後では、簡易的ではあるが、オオセッカの生息環境調査の一環として地形変化について整理されている。また国土地理院、宮城県、環境省東北地方環境事務所が、個別に震災後の空中写真を撮影している。

表 2.26 既往調査の状況

文献No.	文献名	震災前(H22 以前)			震災後(H23 以降)		
		蒲生	井土浦	阿武隈	蒲生	井土浦	阿武隈
11	東日本大震災に係る陸域に生息する鳥類への影響把握調査	-	-	-	オオセッカ生息環境		
13	地図と写真で見る荒浜の歴史	-	-	地形・土地利用	-	-	-
14	亶理町の50年	-	-	地形・土地利用	-	-	-
15	仙台市史 特別編1 自然	地形・土地利用		-	-	-	-
16	塩竈の地形図 2万5000分の1 塩竈	地形・土地利用	-	-	-	-	-
17	仙台の地形図 2万5000分の1 仙台東南部	-	地形・土地利用	-	-	-	-
18	荒浜の地形図 2万5000分の1 荒浜	-	-	地形・土地利用	-	-	-
19	国指定仙台海浜鳥獣保護区蒲生特別保護地区指定計画書(環境省案)	-	-	地形・土地利用	-	-	-
20	国指定仙台海浜鳥獣保護区井土浦特別保護地区指定計画書(環境省案)	-	-	地形・土地利用	-	-	-

注) 文献No.は表 2.2の文献No.と対応する。

(2) 地形及び土地利用の状況

1) 蒲生特別保護地区

大正元年以降の地形・土地利用の変遷を図 2.5に示す。

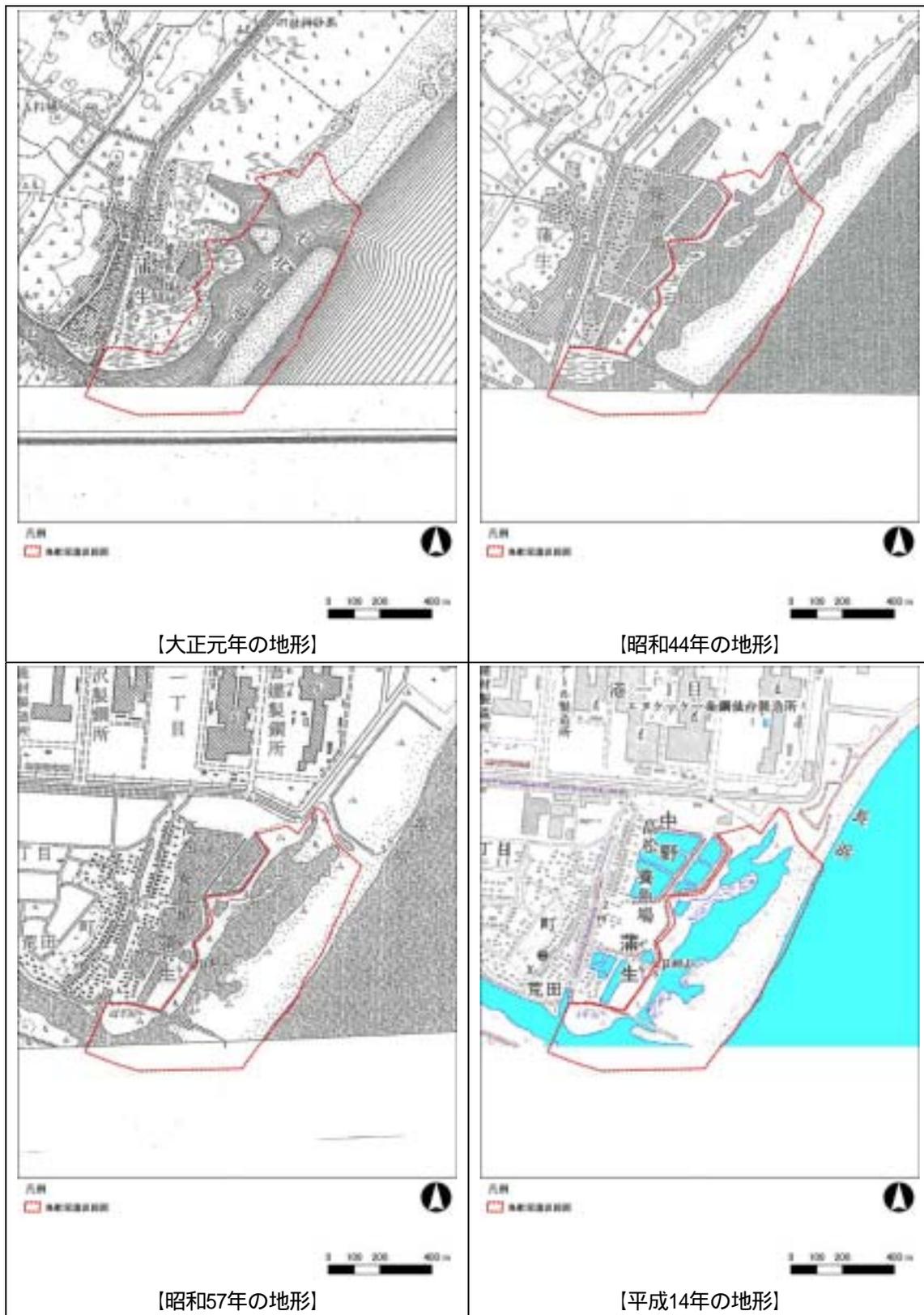
大正元年の蒲生特別保護地区周辺は、七北田川が大きく蛇行した河道の一部となっており、河口は現在よりも北側に位置している。また、蒲生集落には既に養魚場が整備されているが、周辺は針葉樹林や荒地などがおもである。

昭和44年には、七北田川の蛇行は直線化し、これまでの河道が干潟化している。昭和44年には、すでに現在の蒲生特別保護地区の干潟地形が形成されたことが分かる。また、蒲生集落の養魚場は拡大し、現在とほぼ同様な規模となっている。

昭和57年には、地形等に変化は殆ど無く現在と同様であるが、昭和44年に比較して周辺の針葉樹林が減少し、工場や土地利用などが発達している。一方、図 2.6によると昭和57年においても井土浦特別保護地区の南側海岸は広くクロマツ植林として利用されている。

震災後の地形の変化は「東日本大震災に係る陸域に生息する鳥類への影響把握調査（（財）日本鳥類保護連盟,2012）」（図 2.7）や空中写真（図 2.9、図 2.10、図 2.11）が分かりやすい。これによると、震災後には、保護区東に位置する砂浜が大きく損なわれ、震災前に干潟であった箇所が海に直接面するように変化している。（図 2.9）その後七北田川の河口が閉塞し、蒲生干潟が七北田川の河道となった期間もあった。（図 2.10）閉塞後は河口を掘削するなどして、震災前の地形に近い形に回復している（図 2.11）が、地質の状態は震災前の泥干潟から砂質の干潟に変化したと思料される。

なお、大正元年から確認される蒲生集落の養魚場は、震災以降に放棄されており、今でも復旧している様子は確認されていない。図 2.8の「蒲生北部地区の再整備事業計画に関する事業計画「最終案」説明会資料（仙台市,2013）」によると、鳥獣保護区の指定境界と交差する配置で堤防整備が計画されており、本計画が保護区の指定境界に影響を与える可能性が考えられた。



【出典】塩竈の地形図 2万5000分の1 塩竈(国土地理院)

図 2.5 蒲生特別保護地区における地形・土地利用の変遷



【出典】仙台市史 特別編1 自然(仙台市,1994)

図 2.6 昭和 59 年の植林と家並み等の分布

着色部の凡例
 [灰色] 消失した地形
 [黄緑] 影響の見られなかったヨシ原
 [赤] 瓦礫や土砂の流入等により消失したヨシ原
 [青] 土壌の流出による地形変化で消失したヨシ原



[出典] 東日本大震災に係る陸域に生息する鳥類への影響把握調査 ((財)日本鳥類保護連盟,2012)

図 2.7 震災後の地形の変化



[出典] 蒲生北部地区の再整備事業計画に関する事業計画「最終案」説明会資料(仙台市,2013)

図 2.8 仙台市の蒲生北部地区の再整備事業計画



図 2.9 空中写真による震災後の地形変化（国土地理院 H23.03.12 撮影）



図 2.10 空中写真による震災後の地形変化（宮城県 H23.09.25 撮影）



図 2.11 空中写真による震災後の地形変化（東北地方環境事務所 H25.08.26 撮影）

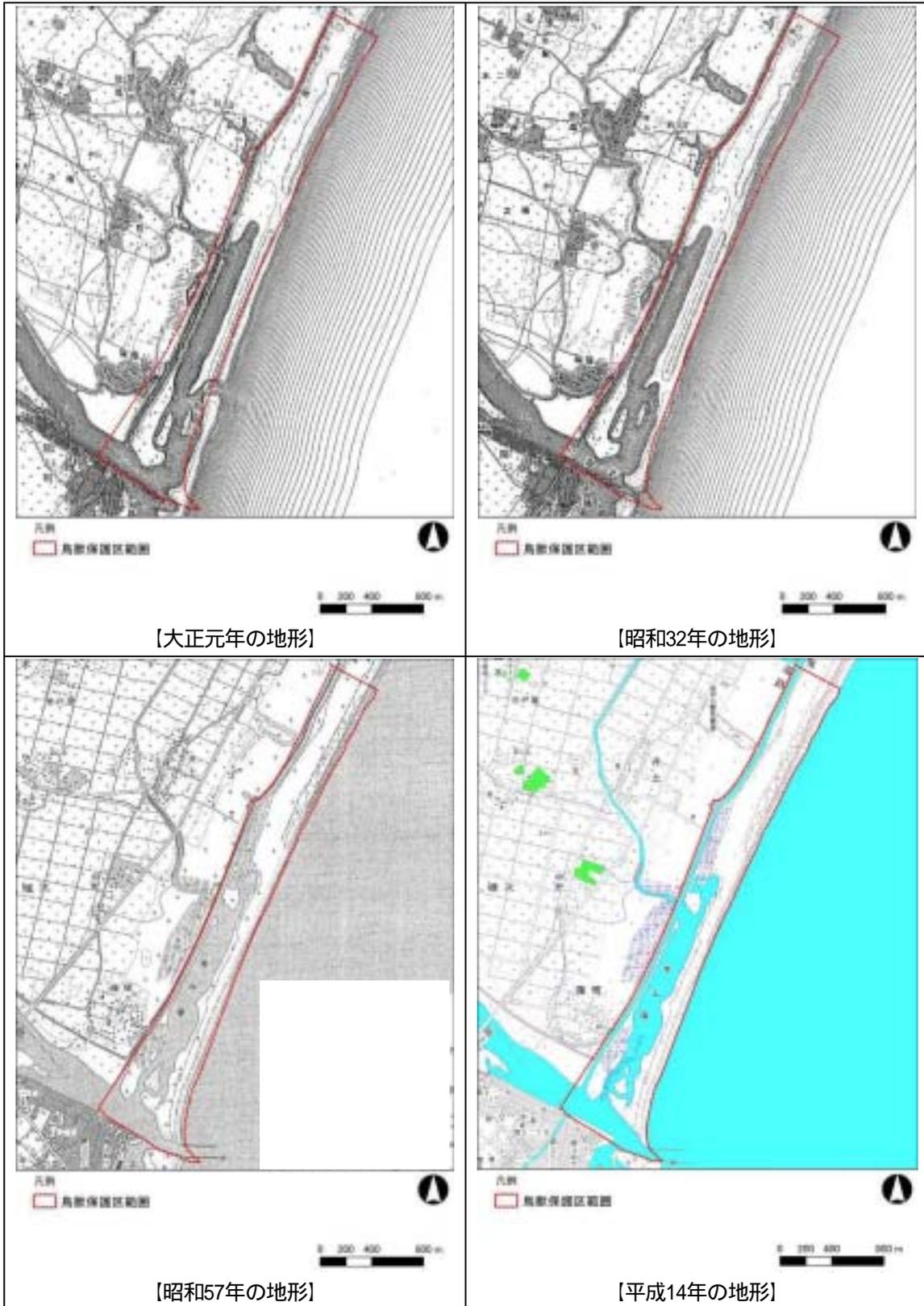
2) 井土浦特別保護地区

大正元年以降の地形・土地利用の変遷を図 2.12 に示す。

大正元年の井土浦特別保護地区周辺は、名取川が大きく蛇行した河道の一部とそのワンドとなっており、河口は現在よりも北側に位置している。昭和32年には、七北田川の蛇行は直線化し、これまでの河道が干潟化している。昭和32年には、すでに現在の井土浦特別保護地区の干潟地形が形成されている。昭和57年、平成14年には地形等に変化は殆ど無く現在と同様である。

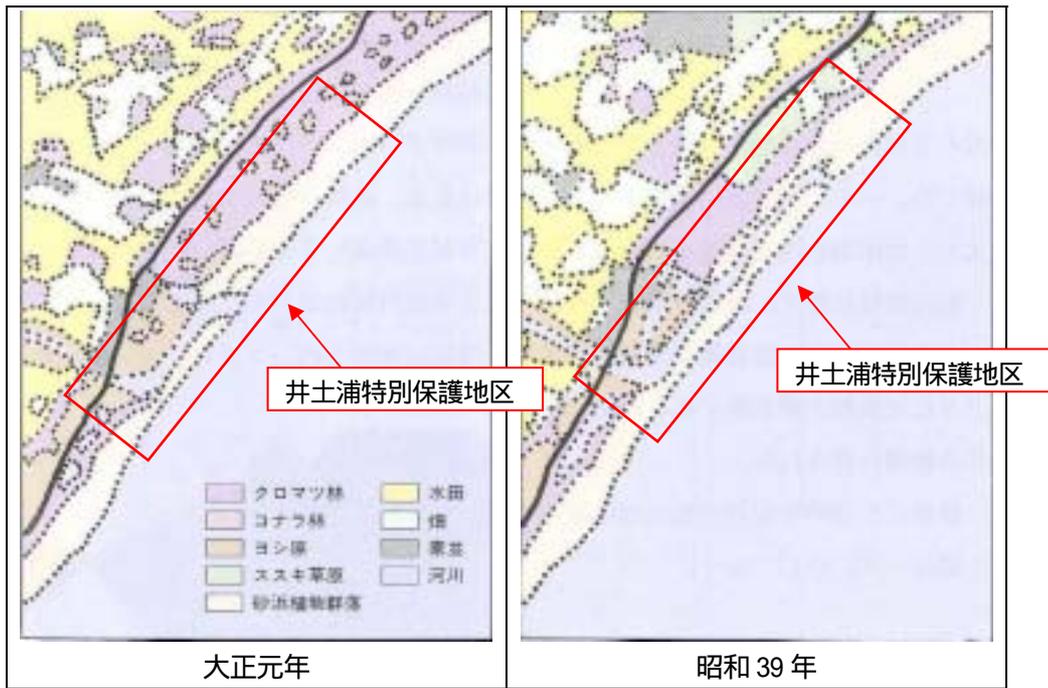
「仙台市史」によると、仙台海岸は藩政時代から砂防・防砂・防風の目的で植栽されたクロマツ林が分布していたとされる。図 2.13を見ると、井土浦特別保護地区周辺は大正元年からクロマツ林として利用されており、それは昭和39年においても変わらず維持されている。また図 2.6では昭和57年頃でもやはりクロマツ林が主要な植生であり、大正元年から現在に至るまで積極的な土地利用がなされてこなかったことが示される。

震災後の地形の変化は、「東日本大震災に係る陸域に生息する鳥類への影響把握調査（（財）日本鳥類保護連盟,2012）」（図 2.15）や空中写真（図 2.16、図 2.18）が分かりやすい。これによると、震災後には、保護区東に位置する砂浜が大きく損なわれ、震災前に干潟であった箇所が海に直接面する様に変化している。（図 2.16）その後、損なわれた砂浜は大部分が復元し、震災前の地形に近い形に回復したが、震災前に干潟と名取川とを連絡していた水路は、河口に発達した砂州により閉塞している。（図 2.17、図 2.18）なお、地形の回復過程では河口付近などでは砂州や干潟の形状が変化しており、地形が未だ流動的であると考えられる。



【出典】名取の地形図 2万5000分の1 名取（国土地理院）

図 2.12 井土浦特別保護地区における地形・土地利用の変遷



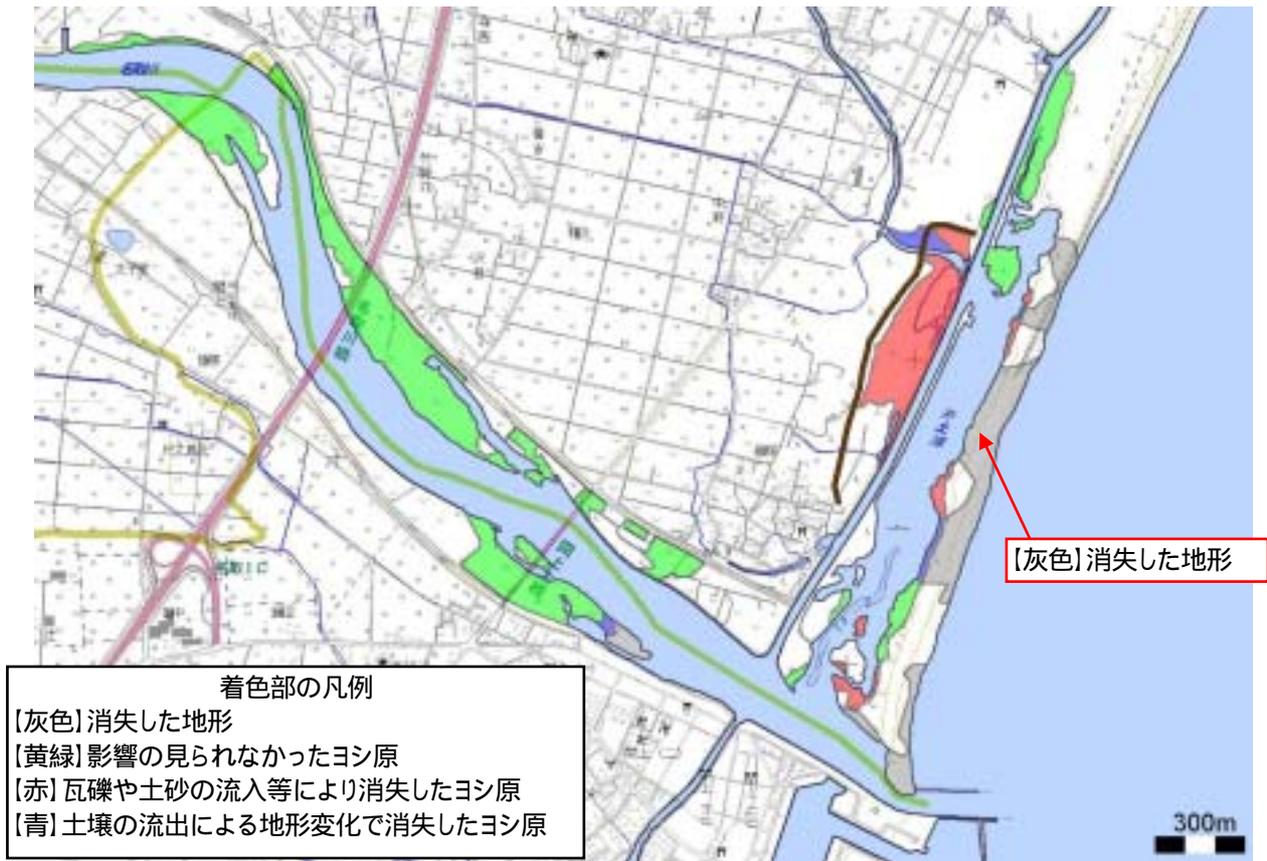
【出典】仙台市史 特別編1 自然(仙台市,1994)

図 2.13 大正元年、昭和 39 年の植林と家並み等の分布



【出典】仙台市史 特別編1 自然(仙台市,1994)

図 2.14 昭和 59 年の植林と家並み等の分布



【出典】東日本大震災に係る陸域に生息する鳥類への影響把握調査((財)日本鳥類保護連盟,2012)

図 2.15 震災後の地形の変化



図 2.16 空中写真による震災後の地形変化（国土地理院 H23.03.12 撮影）



図 2.17 空中写真による震災後の地形変化（東北地方環境事務所 H24.02 撮影）



図 2.18 空中写真による震災後の地形変化（東北地方環境事務所 H25.08.26 撮影）

3) 阿武隈川河口域

昭和3年以降の地形・土地利用の変遷を図 2.19 に示す。

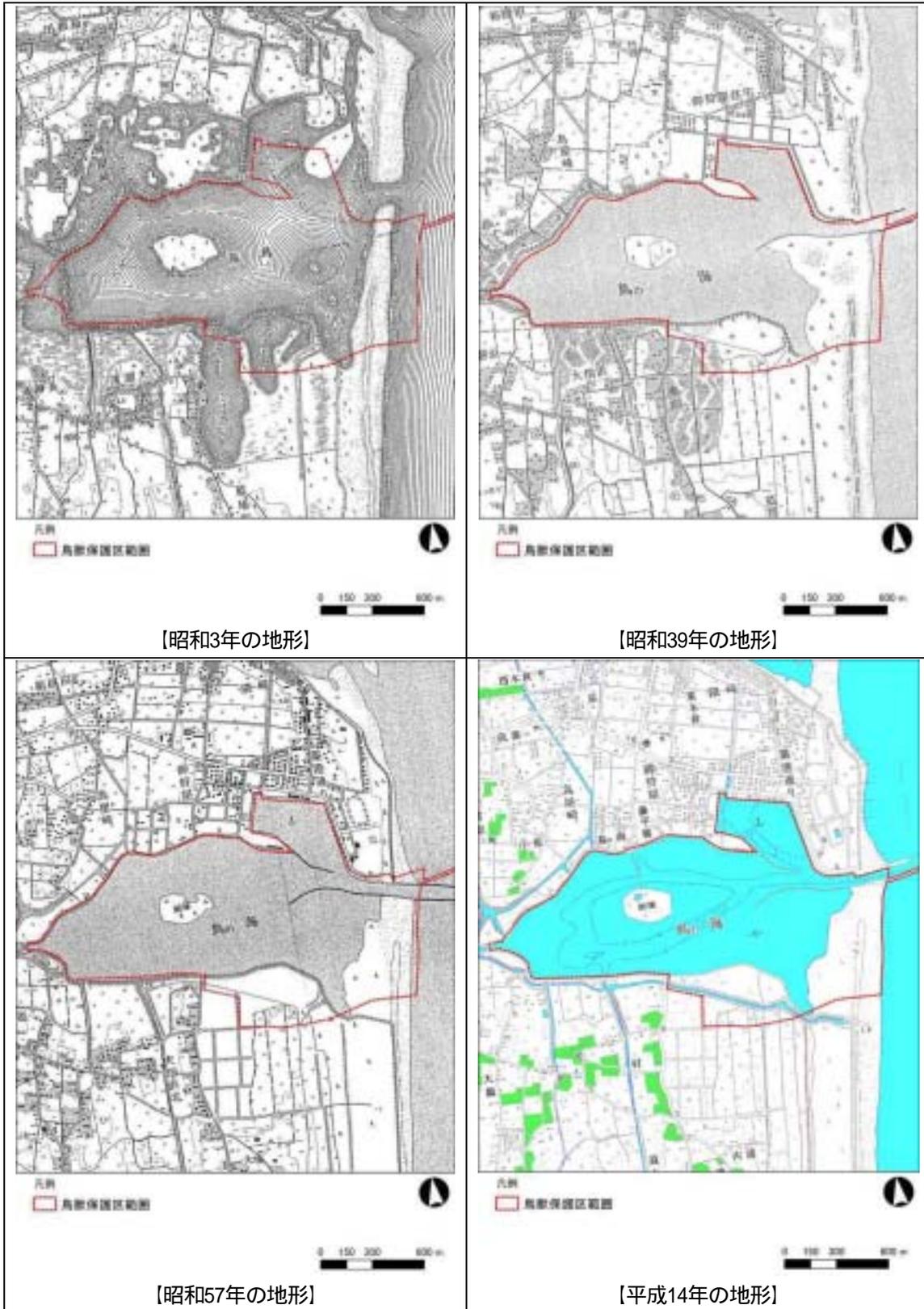
昭和3年の阿武隈河口域周辺は、阿武隈川の旧河口の湿原地形が既に形成されている。主要な流下河川が鎧川である点も現在と同様である。一方、北西側の鳥屋崎、南側の東向などでは、水涯線が大きく湾入し、北側では阿武隈川に連続している。昭和39年以降は、湾入地形は水田などに干拓され、水涯線は護岸整備により直線的に変化した。水域の形状は現在見られるもの変わらない配置となった。昭和57年、平成14年では水涯線に大きな変更は無いが、周辺の市街地が年ごとに周辺の水田などへ拡大する様子が認められた。

図 2.19を参照すると、鳥獣保護区の指定範囲は平成14年の地形をもとに設定されている。一方で、保護区南東部分のラインは、地形、土地利用のいずれとも整合の取れない配置となっている。

「巨理町の50年」によると、鳥の海ののり、かきの養殖は戦前から養殖事業が成功し、昭和30年代まで盛んだったが、その後、鳥の海の水質悪化や還流不良が進み養殖に適さなくなったとされる。すでに昭和30年代には、現在と同様な水質汚染が深刻であったことが読み取れる。

震災後の地形の変化は、「東日本大震災に係る陸域に生息する鳥類への影響把握調査（（財）日本鳥類保護連盟,2012）」（図 2.20）や空中写真（図 2.21、図 2.22）が分かりやすい。これによると、震災後には、保護区南東に位置する砂浜が海に面した箇所で大きく損なわれている。一方、内陸の水際には目立った変化は認められなかった。（図 2.21）その後損なわれた砂浜は大部分が復元し、震災前の地形に近い形に回復した。（図 2.22）

なお、平成25年の現地調査では、回復した砂浜や内陸の護岸、水路では、復旧・復興事業として鳥の海一帯の護岸工事が着手されていた。



【出典】荒浜の地形図 2万5000分の1 荒浜（国土地理院）

図 2.19 阿武隈川河口域における地形・土地利用の変遷



【出典】東日本大震災に係る陸域に生息する鳥類への影響把握調査((財)日本鳥類保護連盟,2012)

図 2.20 震災後の地形の変化



図 2.21 空中写真による震災後の地形変化（国土地理院 H23.03.12 撮影）



図 2.22 空中写真による震災後の地形変化（東北地方環境事務所 H24.02.28 撮影）

3. 調査(現地調査)

3.1 調査実施状況

(1) 鳥類調査

1) 調査時期

調査時期は、既往調査時期と有識者ヒアリング結果を参考に、表 3.1に示す時期に設定した。調査は、夏鳥を対象に2回(1~2回目)、シギ・チドリを対象に3回(3~5回目)、越冬鳥類を対象に3回(6~8回目)の合計8回を実施した。

表 3.1 調査時期等

調査回	調査のターゲット	調査時期	備考
1回目	夏鳥	平成25年7月27~28日	晴れ
2回目	夏鳥	平成25年8月22~23日	晴れ
3回目	シギ・チドリ等	平成25年9月19~20日	晴れ
4回目	シギ・チドリ等	平成25年10月23~24日	曇り
5回目	シギ・チドリ等	平成25年11月19~20日	晴れ
6回目	越冬鳥類等	平成25年12月16~17日	晴れ
7回目	越冬鳥類等	平成26年1月6~7日	晴れ
8回目	越冬鳥類等	平成26年1月27~28日	晴れ

2) 調査方法

調査方法は、定点観察法、ラインセンサス法により表 3.2に示す調査方法を実施した。

表 3.2 調査方法

調査方法	調査内容	備考
ラインセンサス調査	調査ルートの両側 50m の範囲に出現する鳥類の種名、個体数、確認状況、確認された環境類型区分、繁殖に係る行動等を記録した。	-
定点観察調査	調査定点から双眼鏡及び直視型望遠鏡を用いて、観察される鳥類の種名、個体数、確認位置、確認状況(採餌、休憩等)、確認された環境類型区分、繁殖に係る行動等を記録した。	定点から干潟の状況についてパノラマなどの写真撮影を実施した。



KY チェック(安全確認)状況 7月

調査状況(ラインセンサス調査)

図 3.1 調査実施状況(鳥類調査)

3) 調査地点、ルート

調査地点とルートは、既往調査結果とヒアリング結果を参考に蒲生特別保護地区に6地点1ライン、井土浦特別保護地区に5地点1ライン、阿武隈河口地区に5地点1ラインを設定した。調査地点、ラインを図 3.2～図 3.4に示す。

a) 蒲生特別保護地区

調査地点、ルートの設定理由を表 3.3 に示す。

表 3.3 鳥類調査の調査地点・ルートの設定理由

地点名	設定理由
St.1	七北田川左岸に面した定点地点。七北田川の左岸を中心に河口付近を眺望する。
St.2	蒲生干潟の駐車場近くの堤防上に配置した定点地点。干潟中央を西から東に眺望する。
St.3	蒲生干潟と旧養魚場の間に位置する定点地点。干潟の中央と旧養魚場の池を眺望する。
St.4	蒲生干潟北側に位置する定点地点。干潟北側と中央、鳥獣保護区北側の樹林を眺望する。
St.5	七北田川左岸に面した定点地点。七北田川の左岸を中心に右岸までの河口付近、海浜砂浜を眺望する。
St.6	海岸砂浜に面した定点地点。調査地区の北側の樹林と東側の海岸砂浜を眺望する。海に面した鳥類を確認する必要が生じた 3 回目調査以降に追加した地点。
L1	St.1 を起点に干潟東側、北側樹林、干潟西側、海浜砂浜をとおりラインセンサールート。定点調査では把握しづらい干潟中央部と海浜砂浜を眺望できる



凡例

- - - 鳥獣保護区範囲
- H25鳥類調査地点
- H25鳥類調査ライン

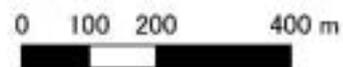


図 3.2 鳥類調査の調査地点・ルート（蒲生特別保護地区）

b) 井土浦特別保護地区

調査地点、ルートの設定理由を表 3.4 に示す。

表 3.4 鳥類調査の調査地点・ルートの設定理由

地点名	設定理由
St.1	名取川左岸に面した定点地点。名取川の左岸を中心に河口付近を眺望する。
St.2	井土浦干潟の中央西側の藤塚地区の湿地跡に配置した地点。干潟中央を西から東に、また干潟西側のクロマツ林の残存林を眺望する。
St.3	井土浦干潟の北側に配置した地点。保護区東側の海岸砂浜とクロマツ林跡地のハリエンジュの低木林を眺望する。
St.4	名取川右岸に面した定点地点。名取川の右岸を中心に河口付近を眺望する。
St.5	井土浦干潟の北西側の工事用道路に配置した地点。貞山運河と干潟北側のヨシ原などを東側に眺望する。
L1	St.1 を起点に工事用道路を南から北に通じ、東に貞山運河と井土浦干潟、西に旧クロマツ林の残存林を眺望するラインセンサスルート。



凡例

- 鳥獣保護区範囲
- H25鳥類調査地点
- H25鳥類調査ライン



0 162.5325 650 m

図 3.3 鳥類調査の調査地点・ルート（井土浦特別保護地区）

c) 阿武隈川河口域

調査地点、ルートの設定理由を表 3.5 に示す。

表 3.5 鳥類調査の調査地点・ルートの設定理由

地点名	設定理由
St.1	鳥の海の東の砂浜に面した定点地点。鳥の海の流出口から東側の砂浜、ヨシ原、干潟付近を眺望する。
St.2	鳥の海の南東の堤防上に配置した定点地点。鳥の海の東側の砂浜、ヨシ原、南側のクロマツ林付近を眺望する。
St.3	鳥の海南側中央の堤防上に配置した定点地点。北側に鳥の海の干潟、南側に旧住宅地の草地を眺望する。
St.4	鳥の海西端の堤防上に配置した定点地点。北東側に鳥の海の干潟、蛭塚、南西側に流入支川や旧住宅地の草地を眺望する。
St.5	鳥の海北西端の堤防上に配置した定点地点。東側に鳥の海の干潟、蛭塚、北西側に流入支川や農耕地の草地を眺望する。
L1	St.1 を起点に堤防上を東から西にとおり、砂浜と干潟、クロマツ林、旧住宅地の砂浜を眺望するラインセンサスルート。



凡例

- 鳥獣保護区範囲
- H25鳥類調査地点
- H25鳥類調査ライン



0 120 240 480 m

図 3.4 鳥類調査の調査地点・ルート（阿武隈川河口地区）

(2) 底生動物調査

1) 調査時期

調査時期は、既往調査時期と有識者ヒアリング結果を参考に、表 3.6に示す夏季1回、秋～冬季1回の合計2回に設定した。

表 3.6 調査時期

調査対象	調査時期・回数	調査方法	備考
1回目(夏季)	平成25年8月19～20日	ふるい掛け調査	15cm径コアサンプル
2回目(秋季)	平成25年11月14～15日	ふるい掛け調査	15cm径コアサンプル

2) 調査方法

調査方法は、ふるい掛け調査により表 3.7に示す調査内容を実施した。

表 3.7 調査方法

調査方法	調査内容	備考
ふるい掛け調査	干潟の調査地点において、15cm径のコアサンプラーにより深さ20cm程度までの砂泥を採集し、目合2mmのふるいを使い、底生動物を採集した。餌生物となりうるゴカイ類、二枚貝などは個体数、湿重量を記録した。 採集したサンプルは可能な限り分析し、個体数と湿重量を計測した。また、代表的な確認種については、写真撮影を行った。	コアサンプラーは1地点あたり10サンプル程度とした。 種名は可能な限り種名までを記録したが、分析が必要なものは、ゴカイ類、二枚貝類等とした。



図 3.5 調査実施状況(底生動物調査)

3) 調査地点

調査地点は、ヒアリング結果や平成24年度調査結果、平成25年度の7月鳥類調査結果をもとに、鳥類がまとまって生息・採餌が確認された箇所を中心に調査地点を設定した。調査地点は、調査地区ごとに5箇所を設定した。



凡例

- 鳥獸保護區範圍
- H25 底生動物調查地點





凡例

 鳥獣保護区範囲

 H25底生動物調査地点

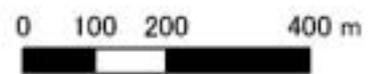


图 3.6 底生動物調査地点（蒲生特別保護地区）



凡例

 鳥獣保護区範囲

 H25 底生動物調査地点



0 162.5325 650 m



图 3.7 底生動物調査地点（井土浦特別保護地区）



凡例

 鳥獣保護区範囲

 H25 底生動物調査地点



0 120 240 480 m



図 3.8 底生動物調査地点 (阿武隈河口域)

3.2 調査結果

3.2.1 鳥類調査

(1) 確認種の状況

1回目～8回目の合計で、13目30科121種の鳥類が確認された。確認種の一覧を、表3.8と表3.9に示す。

確認された鳥類は、留鳥が46種と最も多く、次いで冬鳥が44種であり、夏鳥は旅鳥の19種よりも少ない12種のみであった。これは夏鳥が飛来する時期である5～6月よりも遅い7月後半から開始した調査時期設定に起因する。

生息環境区分では、カモメ類やセキレイ類等の水域周辺性種、カモ類やカイツブリ類等の水域性種が半数を占める結果となった。一方で、森林周辺に生息するアトリ科、アカゲラ等は残存したクロマツ林周辺において多く確認され、水鳥を中心とした多様な種構成が確認された。

地区ごとの確認種数では、蒲生特別保護地区が最も少ない結果となった。蒲生特別保護地区では周辺に森林がないこと、調査範囲面積が阿武隈河口域181ha、井土浦特別保護地区172.8haに対し、蒲生特別保護地区が40.5haと小さいことが一因として考えられる。

水域周辺性種については、阿武隈河口域が最も多く、蒲生特別保護地区と井土浦特別保護地区との間で大きな差は認められなかった。一方、純森林性種や森林周辺性種については、井土浦特別保護地区、阿武隈河口域の種数が多かった。両地区には堤内地にまとまったクロマツ林が残存していることが、森林性種が増加した一因として考えられる。

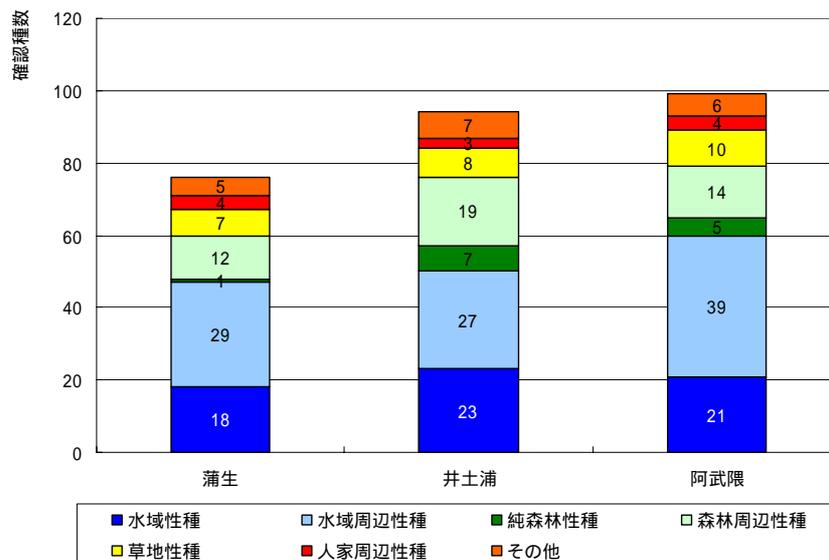


図 3.9 調査地区ごとの生息環境区分の種構成

(2) 調査地区ごとの確認状況

1) 蒲生特別保護地区

調査月ごとの確認種数は、7月が34種、8月が25種、9月が32種、10月が36種、11月が43種、12月が34種、1月上旬が40種、1月下旬が39種であり、11月が最も多く、8月が最も少ない結果となった。

渡り区分ごとの種数で見ると、留鳥は多少の増減があるものの毎月半数以上を占め、夏鳥は7月から9月には少数が確認されたが、9月以降には確認されなくなった。一方、冬鳥は9月から増加し、11月には約半数が冬鳥となり、以降も概ね全体の4割程度が確認された。

ガン・カモ類の種数は、9月以降から徐々に増加し、1月上旬に12種と最も多くなった。個体数は、1月上旬が突出して多く約1000羽確認された。10月から1月下旬は300羽前後であった。分布状況は、7月には調査地中央部のたまりや七北田川河口部でカルガモが多く確認されたが、8月、9月には七北田川河口部の利用が多く見られた。10月には調査範囲外の養魚場跡でコガモやカルガモなどが多く確認され、11月以降には七北田川河口部及び養魚場跡での確認が多くを占め、調査地中央部のたまりではほとんど確認されなくなった。コクガンは11月以降に七北田川河口部右岸の砂浜で確認された。

シギ・チドリ類の種数は、渡り時期である9月、10月が7種と最も多く、それ以降は冬鳥のミユビシギやハマシギなど、留鳥のシロチドリなど、2~5種の確認となった。個体数は1月上旬が最大であり、合計85羽のハマシギが確認された。分布状況は、7月、8月には調査地中央部の砂浜でシロチドリやメダイチドリ、養魚場跡でイソシギやキアシシギが確認され、9月、10月には調査地中央部の砂浜でオバンシギやホウロクシギなど旅鳥の利用が増加した。11月以降もダイゼンやハマシギは調査地中央部の砂浜で確認され、1月上旬、1月下旬にはハマシギの集団が調査地中央部の砂浜で確認された。

既往調査で確認されていたコアジサシは、調査に適した初夏に調査を行っておらず、飛来状況を把握することは出来なかった。

重要種では、コクガン、ミサゴ、オオタカ、ハヤブサ、シロチドリ、ハマシギ、オオソリハシギ、ホウロクシギの8種が確認された。特に、コクガンは11月から1月下旬まで七北田川河口部右岸の砂浜で休息する最大36羽の群れが確認された。また、シロチドリやハマシギは調査地中央部の砂浜で採餌をする個体が確認された。

表 3.10 調査月ごとの確認種数・個体数

区分	項目	H25.7.27	H25.8.22	H25.9.19	H25.10.23	H25.11.19	H25.12.16	H26.1.6	H26.1.27	集計
ガン・カモ類	種数	2	1	4	6	11	8	12	11	13
	個体数	185	37	69	292	346	335	1089	325	2678
シギ・チドリ類	種数	4	3	7	7	5	3	4	5	15
	個体数	13	18	47	38	47	36	135	118	452
その他 水鳥	種数	7	7	6	9	14	8	13	9	17
	個体数	766	445	407	375	249	271	794	620	3927
その他 陸鳥	種数	21	14	15	14	13	15	11	14	31
	個体数	106	150	100	141	91	113	116	115	932
総計	種数	34	25	32	36	43	34	40	39	76
	個体数	1070	650	623	846	733	755	2134	1178	7989

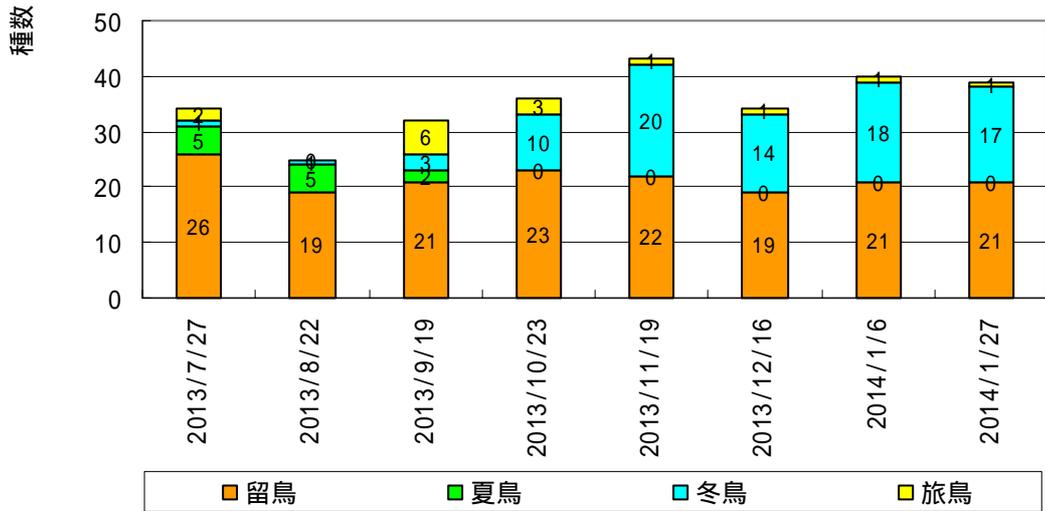


図 3.10 月別確認種数（渡り区分）

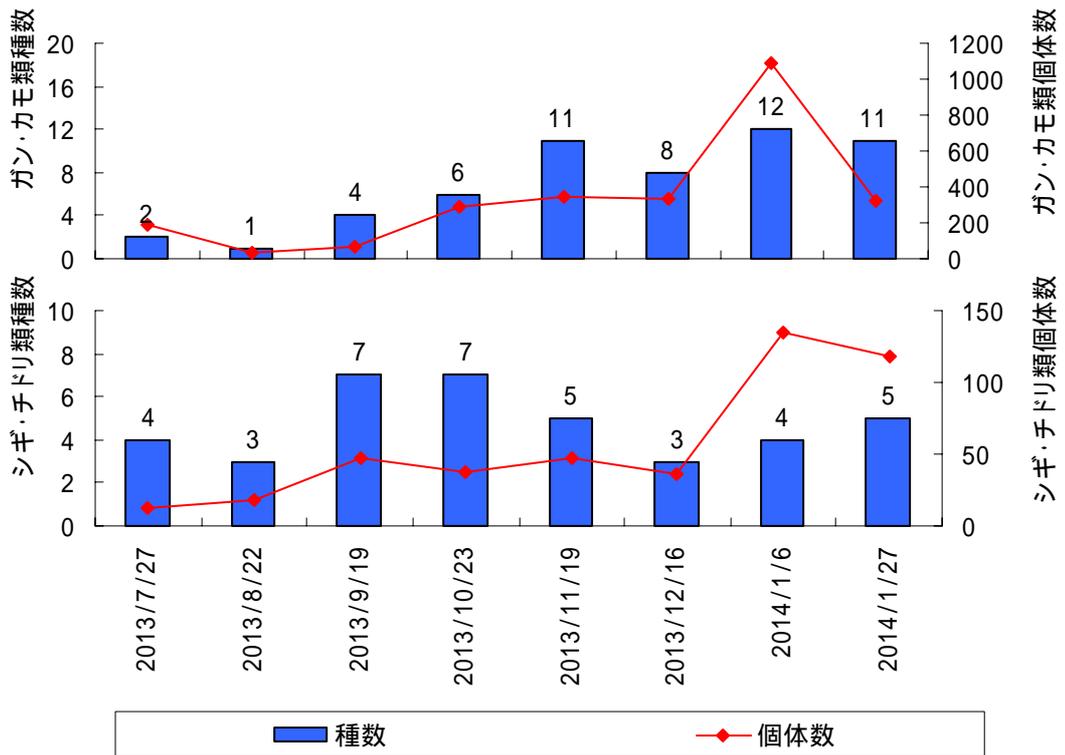


図 3.11 月別確認種数・個体数（ガン・カモ類、シギ・チドリ類）



図 3.12 代表的な確認種の写真



図 3.13 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（1回目 平成 25 年 7 月 27 日）



図 3.14 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（2回目 平成 25 年 8 月 22 日）



図 3.15 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（3回目 平成 25 年 9 月 19 日）



図 3.16 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（4回目 平成 25 年 10 月 23 日）



図 3.17 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布 (5回目 平成 25 年 11 月 19 日)



図 3.18 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布 (6回目 平成 25 年 12 月 16 日)



図 3.19 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（7回目 平成 26 年 1 月 6 日）



図 3.20 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（8回目 平成 26 年 1 月 27 日）

2) 井土浦特別保護地区

調査月ごとの確認種数は、7月が33種、8月が33種、9月が41種、10月が49種、11月が49種、12月が41種、1月上旬が54種、1月下旬が43種であり、1月上旬が最も多く、7月、8月が最も少ない結果となった。

渡り区分ごとの種数で見ると、留鳥は多少の増減があるものの毎月半数以上を占め、夏鳥は7月から9月には少数が確認されたが、9月以降には概ね確認されなくなった。一方、冬鳥は9月から増加し、1月下旬まで全体の3割程度が確認された。

ガン・カモ類の種数は、9月以降から徐々に増加し、1月上旬に12種と最も多かった。個体数は10月が約800羽と最大であり、それ以降400羽前後であった。分布状況は、7月、8月には貞山運河でカルガモが多く確認され、9月にはコガモやハシビロガモが貞山運河への流入部で確認された。10月、11月には貞山堀中央部でオカヨシガモやマガモなどが集団で確認されたが、12月以降には名取川河口部にカモ類の集団が確認されるようになり、貞山運河での確認は減少した。1月には貞山運河や保護区指定範囲外の旧藤塚地区湿地部でカルガモやスズガモが確認され、名取川河口部でクロガモやスズガモなどの集団が確認された。

シギ・チドリ類の種数は、渡り時期である9月、10月が5種と最も多く、それ以降は冬鳥のハマシギや留鳥のシロチドリなど、1~3種の確認となった。個体数は12月が約90羽と最大であり、そのうち74羽はハマシギであった。分布状況は、7月、8月には貞山運河や貞山運河への流入部でイソシギやクサシギが確認され、9月、10月には旅鳥のダイゼンやアオアシシギが調査地中央部の干潟と保護区指定範囲外の旧藤塚地区湿地部で確認された。11月は確認が少なくなり、12月には冬鳥のハマシギやシロチドリが調査地中央部の干潟で確認された。ハマシギは1月下旬まで確認された。

重要種はチュウサギ、ミサゴ、オオタカ、ハイタカ、ハヤブサ、シロチドリ、ハマシギ、オオソリハシギの8種が確認された。特に、オオタカは堤内地のクロマツ林で巣や巣立ちした幼鳥が確認された。また、ミサゴは堤内地のクロマツ林や井土浦の砂浜で採餌や休息をする個体が複数確認された。シロチドリやハマシギ、オオソリハシギは調査地中央部の干潟で採餌をする個体が確認された。

表 3.11 調査月ごとの確認種数・個体数

区分	項目	H25.7.27	H25.8.22	H25.9.19	H25.10.23	H25.11.19	H25.12.16	H26.1.6	H26.1.27	集計
ガン・カモ類	種数	1	1	4	9	11	10	12	11	17
	個体数	9	20	269	798	457	319	528	414	2814
シギ・チドリ類	種数	2	3	5	5	1	3	2	1	10
	個体数	7	6	20	56	1	92	38	20	240
その他 水鳥	種数	8	7	8	7	8	9	11	9	18
	個体数	511	71	311	152	180	298	159	56	1738
その他 陸鳥	種数	22	22	24	28	29	19	29	22	49
	個体数	129	199	229	251	400	175	253	236	1872
総計	種数	33	33	41	49	49	41	54	43	94
	個体数	656	296	829	1257	1038	884	978	726	6664

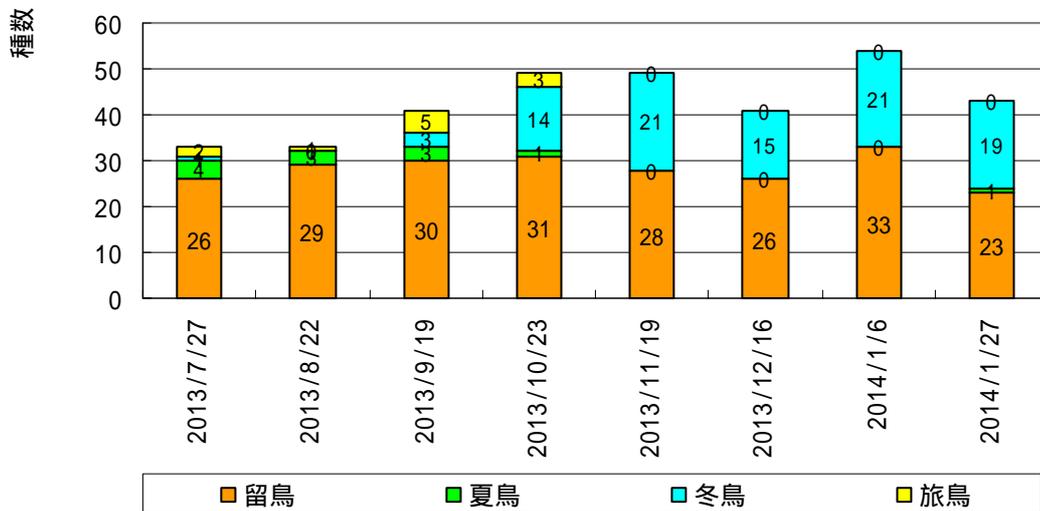


図 3.21 月別確認種数（渡り区分）

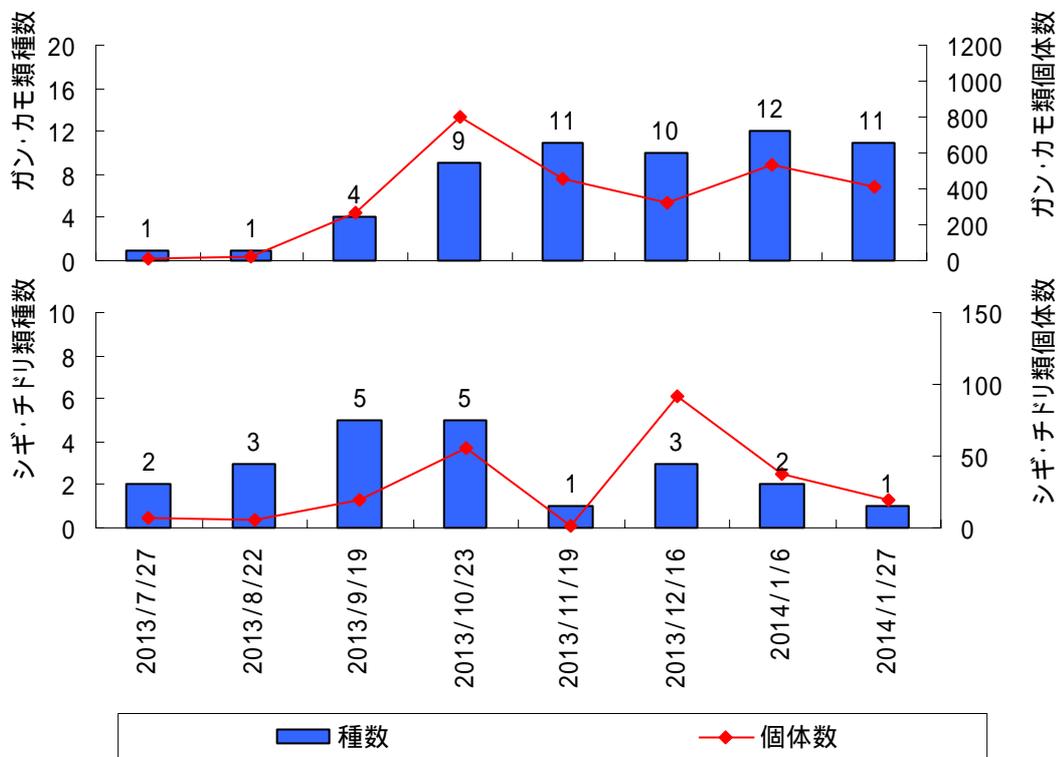


図 3.22 月別確認種数・個体数（ガン・カモ類、シギ・チドリ類）



図 3.23 代表的な確認種の写真



図 3.24 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（1回目 平成 25 年 7 月 27 日）



図 3.25 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（2回目 平成 25 年 8 月 22 日）



図 3.26 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（3回目 平成 25 年 9 月 19 日）



図 3.27 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（4回目 平成 25 年 10 月 23 日）



図 3.28 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布 (5回目 平成 25 年 11 月 19 日)



図 3.29 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布 (6回目 平成 25 年 12 月 16 日)



図 3.30 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（7回目 平成 26 年 1 月 6 日）



図 3.31 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（8回目 平成 26 年 1 月 27 日）

3) 阿武隈川河口域

調査月ごとの確認種数は、7月が45種、8月が39種、9月が41種、10月が55種、11月が52種、12月が55種、1月上旬が53種、1月下旬が50種であり、10月、12月が最も多く、8月が最も少ない結果となった。

渡り区分ごとの種数で見ると、留鳥は多少の増減があるものの毎月半数以上を占め、夏鳥は7月から9月には少数が確認されたが、9月以降には概ね確認されなくなった。一方、冬鳥は9月から増加し、11月には約半数が冬鳥となり、以降も概ね全体の4割程度が確認された。

ガン・カモ類の種数は、9月以降から徐々に増加し、11月が13種と最も多く、以降には10種前後となった。個体数は10月に2300羽と増加した後、11月には約3300羽と最大となった。12月に約1100羽、1月上旬に約3400羽、1月下旬に約900羽と毎月大きく変動した。分布状況は、7月には調査地中央部の蛭塚の構造物上でスズガモやカルガモ、8月、9月には調査地西側の水面でもスズガモやカルガモが確認された。10月以降には調査地全域でヒドリガモやオナガガモの集団が確認されたが、特に、調査地東側や調査地西側の湛水部で利用が多く確認された。調査地南側では堤防工事が行われており、カモ類の利用は少なかった。

シギ・チドリ類の種数は、1月上旬が7種と最も多く、11月が4種と最も少なかったが、概ね6種前後であった。確認種は、渡り時期にはトウネンやウズラシギなどの旅鳥が多く確認され、それ以降はハマシギやタンシギなどの冬鳥が多くなった。個体数は、12月が約380羽と最も多く、ハマシギの集団が確認された。分布状況は、7月には調査地中央部の蛭塚でキアシシギやチュウシャクシギ、8月、9月には調査地西側の干潟でアオアシシギやウズラシギ、10月以降には調査地西側の干潟でシロチドリやハマシギ、ミヤコドリなどの利用が確認された。

重要種は、チュウサギ、ヒシクイ、ミサゴ、オオタカ、ハイタカ、ハヤブサ、ウズラ、シロチドリ、ハマシギ、アカアシシギ、オオソリハシシギ、ホウロクシギの12種が確認された。特に、オオタカは堤内地のクロマツ林で巣や巣立ちした幼鳥が確認された。また、ミサゴは調査地内で採餌や休息をする個体が複数確認された。シロチドリやハマシギなどのシギ・チドリ類は調査地内の干潟で採餌や休息をする個体が確認された。

表 3.12 調査月ごとの確認種数・個体数

区分	項目	H25.7.27	H25.8.22	H25.9.19	H25.10.23	H25.11.19	H25.12.16	H26.1.6	H26.1.27	集計
ガン・カモ類	種数	5	3	7	10	13	11	11	9	16
	個体数	258	25	121	2345	3309	1133	3410	934	11535
シギ・チドリ類	種数	5	6	6	6	4	6	7	6	20
	個体数	10	85	53	96	36	378	211	27	896
その他 水鳥	種数	9	10	7	13	12	12	13	10	18
	個体数	173	186	154	239	270	378	684	225	2309
その他 陸鳥	種数	26	20	21	26	23	26	22	25	45
	個体数	170	769	183	245	295	164	202	610	2638
総計	種数	45	39	41	55	52	55	53	50	99
	個体数	611	1065	511	2925	3910	2053	4507	1796	17378

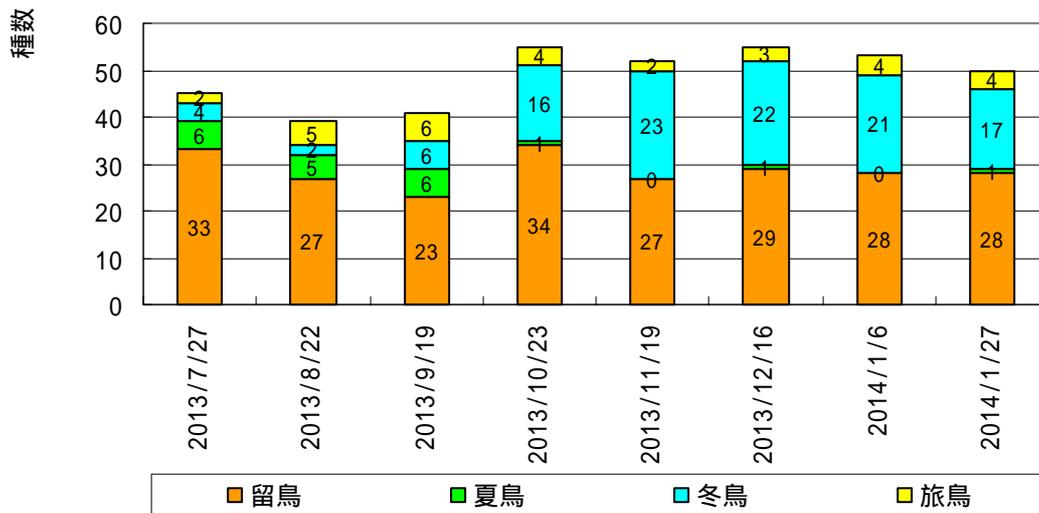


図 3.32 月別確認種数（渡り区分）

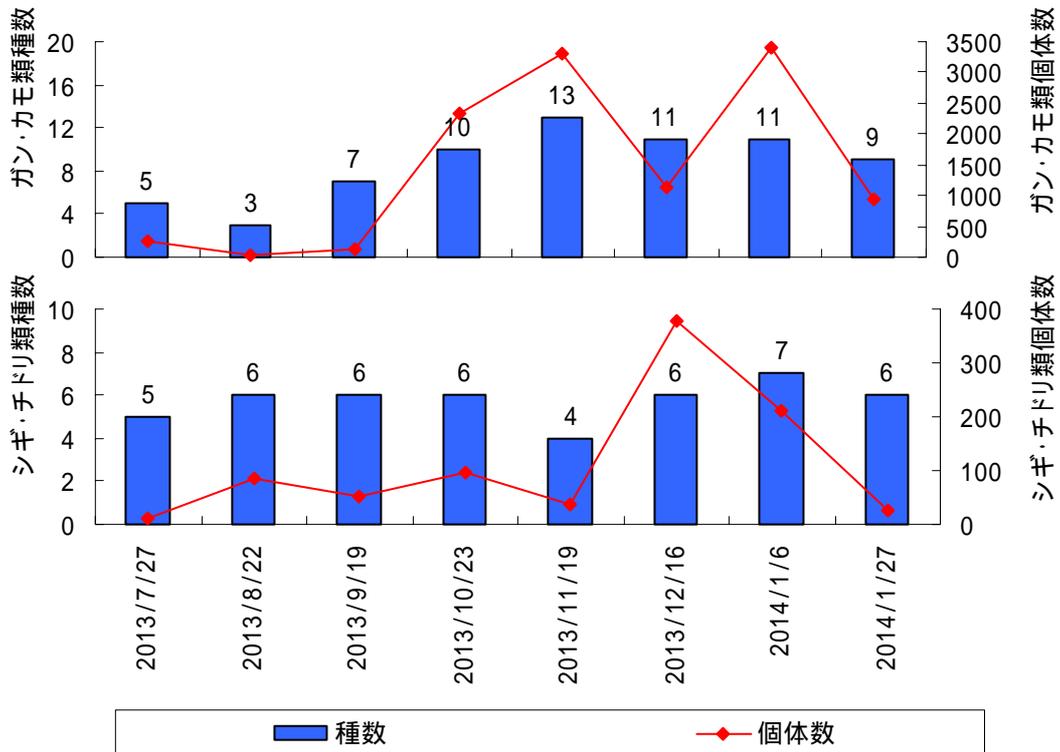


図 3.33 月別確認種数・個体数（ガン・カモ類、シギ・チドリ類）



図 3.34 代表的な確認種の写真



図 3.35 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（1回目 平成 25 年 7 月 28 日）



図 3.36 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（2回目 平成 25 年 8 月 23 日）



図 3.37 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布 (3回目 平成 25 年 9 月 20 日)



図 3.38 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布 (4回目 平成 25 年 10 月 24 日)



図 3.39 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布 (5回目 平成 25 年 11 月 20 日)



図 3.40 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布 (6回目 平成 25 年 12 月 17 日)



図 3.41 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（7回目 平成 26 年 1 月 7 日）



図 3.42 ガン・カモ類、シギ・チドリ類の分布（8回目 平成 26 年 1 月 28 日）

(3) 震災後の鳥類相の変化

- ・ 平成 24 年度に対し、平成 25 年度は生息環境区分ごとに全ての種数が増加した。
- ・ 蒲生特別保護地区と井土浦特別保護地区では水域性種と水域周辺性種、草地性種の増加が顕著であった。
- ・ 井土浦特別保護地区では純森林性種、森林周辺性種も増加した。
- ・ 優占種は変化しなかった。
- ・ 明らかに種数が増加した水辺、草地、樹林は、環境が再生、復元している可能性が示唆された。

網羅的な調査を実施した平成24年度と平成25年度の鳥類相の調査結果について、生息環境区分別の確認種数を集計した結果を図 3.43に示す。

平成25年度は7月から調査を開始したため平成24年度に比べて夏鳥が欠けているが、それでも平成24年度に対し平成25年度は全体的に種数が増加した。地区別では、蒲生特別保護地区では水域性種と水域周辺性種、草地性種の増加が顕著である。また井土浦特別保護地区でも同様であるほか、純森林性種、森林周辺性種でも増加傾向が認められた。

これらの増減では、優占種には概ね変化が無く、タシギやハジロコチドリ等の少数個体が偶発的に確認された結果、種数が増加した例が認められた。一方、水域性・水域周辺性種のオカヨシガモやアオアシシギ、ダイゼン等では、多数の個体が新規に確認された例もあり、水辺環境が改善した可能性も示唆された。同様に偶発的な増加とは考えづらい種では、草地性種のオオジュリン、チョウゲンボウ等、純森林性・森林周辺性種のオオタカ、カシラダカ、ベニマシコ等は確認個体数が多く、これらの新たな確認は草地、樹林環境の再生、復元を示唆する結果となった。

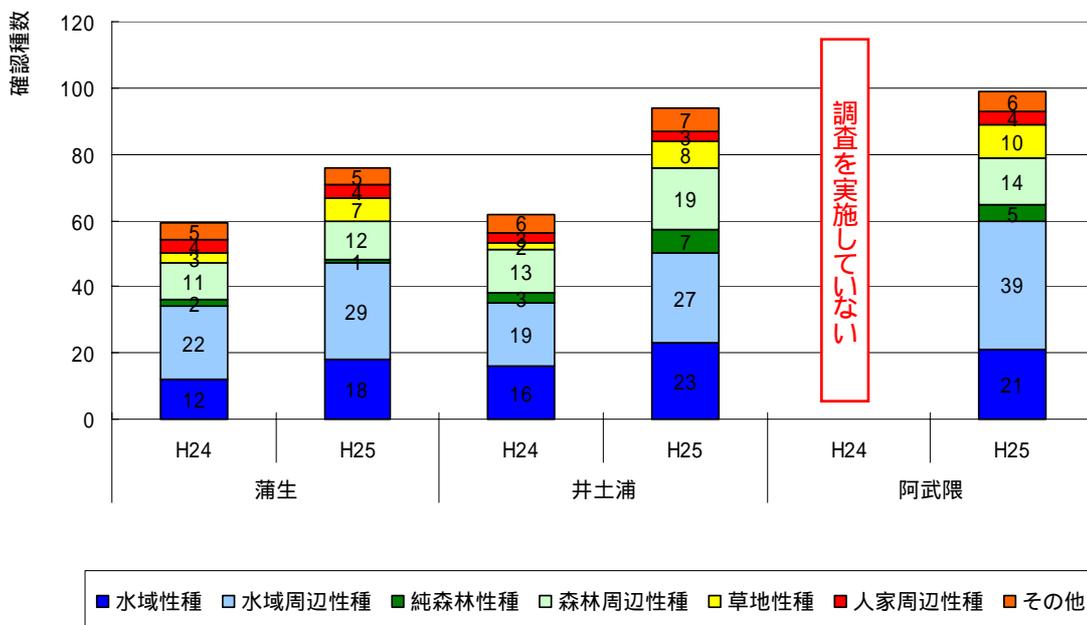


図 3.43 生息環境区分の種構成の年度変化

(4) 鳥類飛来数の経年推移

- ・ 蒲生特別保護地区のクマガリは、平成 25 年においてもこれまでと同様に確認された。
- ・ 種数の比較の結果、ガン・カモ類では、すべての地区で震災前後に大きな変化は認められなかった。
- ・ 種数の比較の結果、シギ・チドリ類でも、すべての地区において震災前後に大きな変化は認められなかった。

鳥類飛来数の経年推移は、比較的安定した調査結果が得られている平成10年度以降のガン・カモ類、シギ・チドリ類を対象に、年度ごとの確認種数を整理した。なお、確認種数は今回現地調査のほか、以下の文献の記録数を集計した。

【ガン・カモ類】

- ・ 平成 24 年度国指定仙台湾海浜鳥獣保護区 鳥類モニタリング調査報告書((財) 日本鳥類保護連盟, 2012)
- ・ ガンカモ類生息調査 (1968-2012) (環境省, 1968-2012)
- ・ モニタリングサイト1000 ガン・カモ類調査 (2004-2012) (環境省, 2005-2012)
- ・ 仙台海川国道事務所管内被災域水辺環境調査業務(株式会社 建設技術研究所, 2013)

【シギ・チドリ類】

- ・ 平成 24 年度国指定仙台湾海浜鳥獣保護区 鳥類モニタリング調査報告書((財) 日本鳥類保護連盟, 2012)
- ・ 定点調査報告書 シギ・チドリ類 (1989-2004) (環境省, 1989-2004)
- ・ モニタリングサイト1000 シギ・チドリ類調査 (2004-2012) (環境省, 2005-2012)
- ・ ガンカモ類生息調査 (1968-2012) (環境省, 1968-2012)
- ・ モニタリングサイト1000 ガン・カモ類調査 (2004-2012) (環境省, 2005-2012)
- ・ 仙台海川国道事務所管内被災域水辺環境調査業務(株式会社 建設技術研究所, 2013)

a) 蒲生特別保護地区

蒲生特別保護地区では、調査精度が安定した平成16年度以降で見ると、ガン・カモ類の確認種数は震災前に12～17種、震災後に13～17種で大きな違いは認められなかった。またシギ・チドリ類でも平成20年度以降で見ると、震災前11～16種、震災後9～15種で、震災の影響を示唆する結果とはならなかった。

なお、コクガンについては平成25年度においてもこれまでと同様に生息が確認された。また、平成18年度以降確認されていないコアジサシは、今回調査でも確認することは出来なかった。

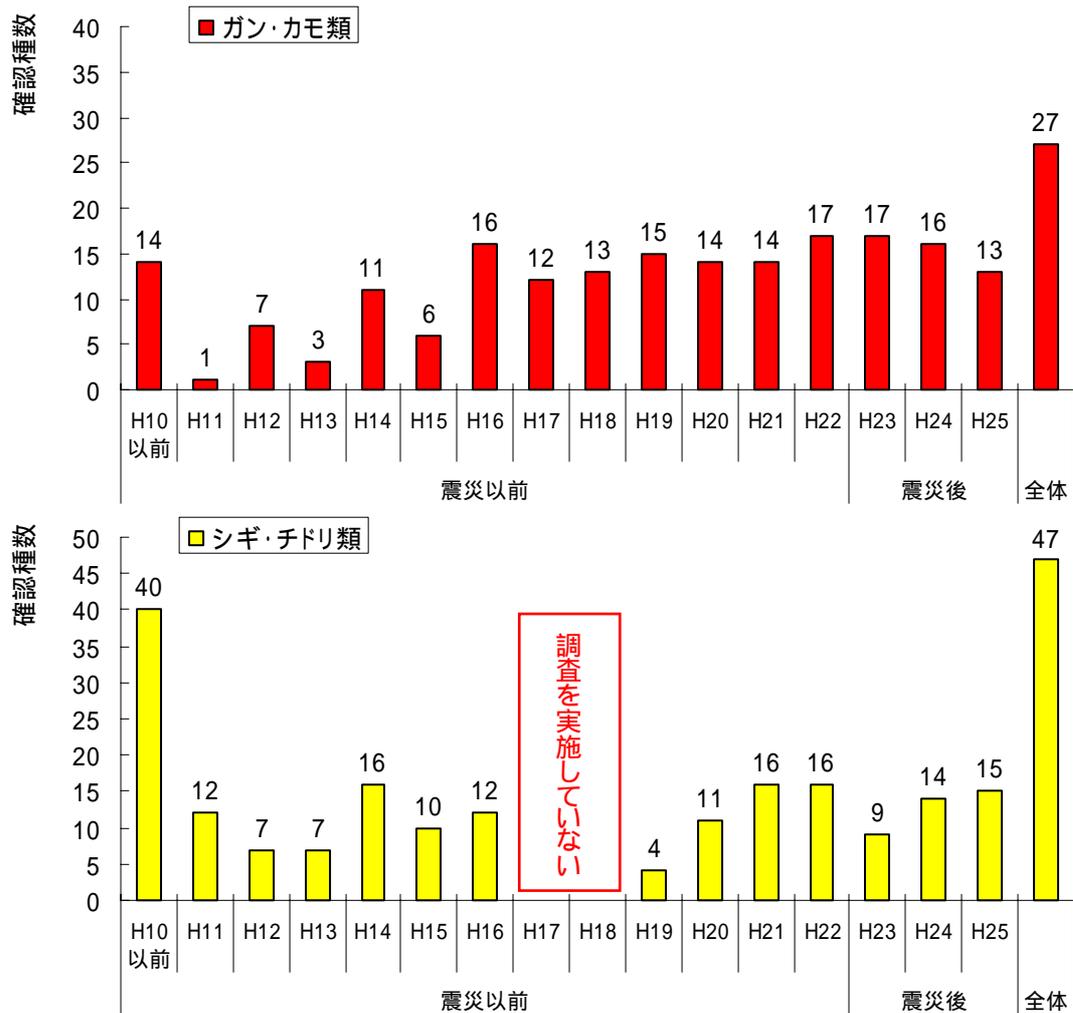


図 3.44 蒲生特別保護地区におけるガン・カモ類、シギ・チドリ類の確認種数

b) 井土浦特別保護地区

井土浦特別保護地区では、調査精度が安定した平成12年度以降でみると、ガン・カモ類の確認種数は震災前に3～19種、震災後に7～17種で大きな違いは認められなかった。当地区では平成12、21、24、25年度に網羅的な調査を実施しており、それ以外の年度では確認種数が少ない結果となっていることから、実際には10～20種程度が妥当な確認個体数であると推測される。

シギ・チドリ類では有効なデータが得られた年度が少ないが、震災前3～14種、震災後10～11種が確認され、震災の影響を示唆する結果とはならなかった。

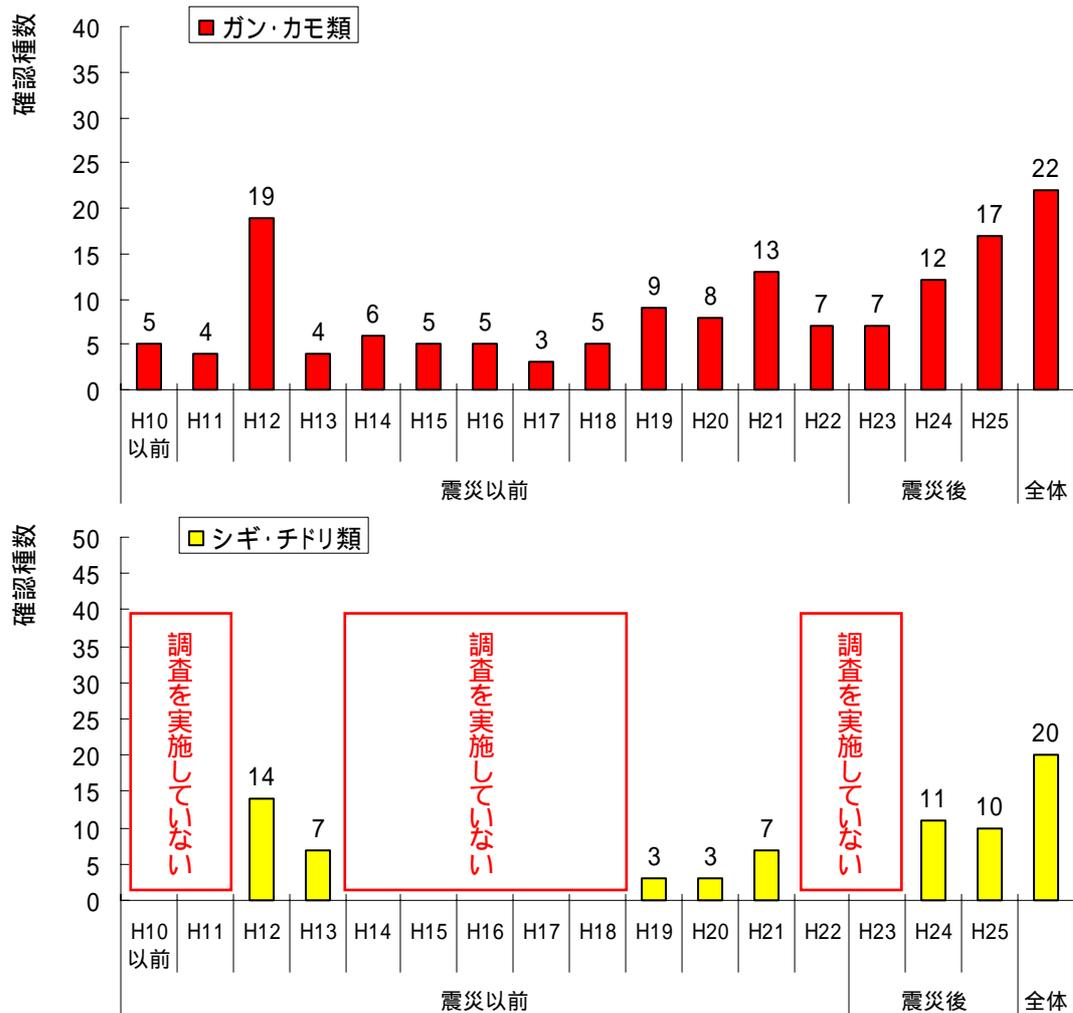


図 3.45 井土浦特別保護地区におけるガン・カモ類、シギ・チドリ類の確認種数

c) 阿武隈川河口域

阿武隈河口域では、ガン・カモ類の確認種数は震災前に6～10種、震災後に4～16種で、震災後に確認種数が増加する結果となった。

シギ・チドリ類では調査頻度が少ないが、震災前15～24種、震災後15～20種で、全体としては大きな変化は認められなかった。しかし平成22年度の24種に比較すると震災後は15～20種とやや減少傾向にある。

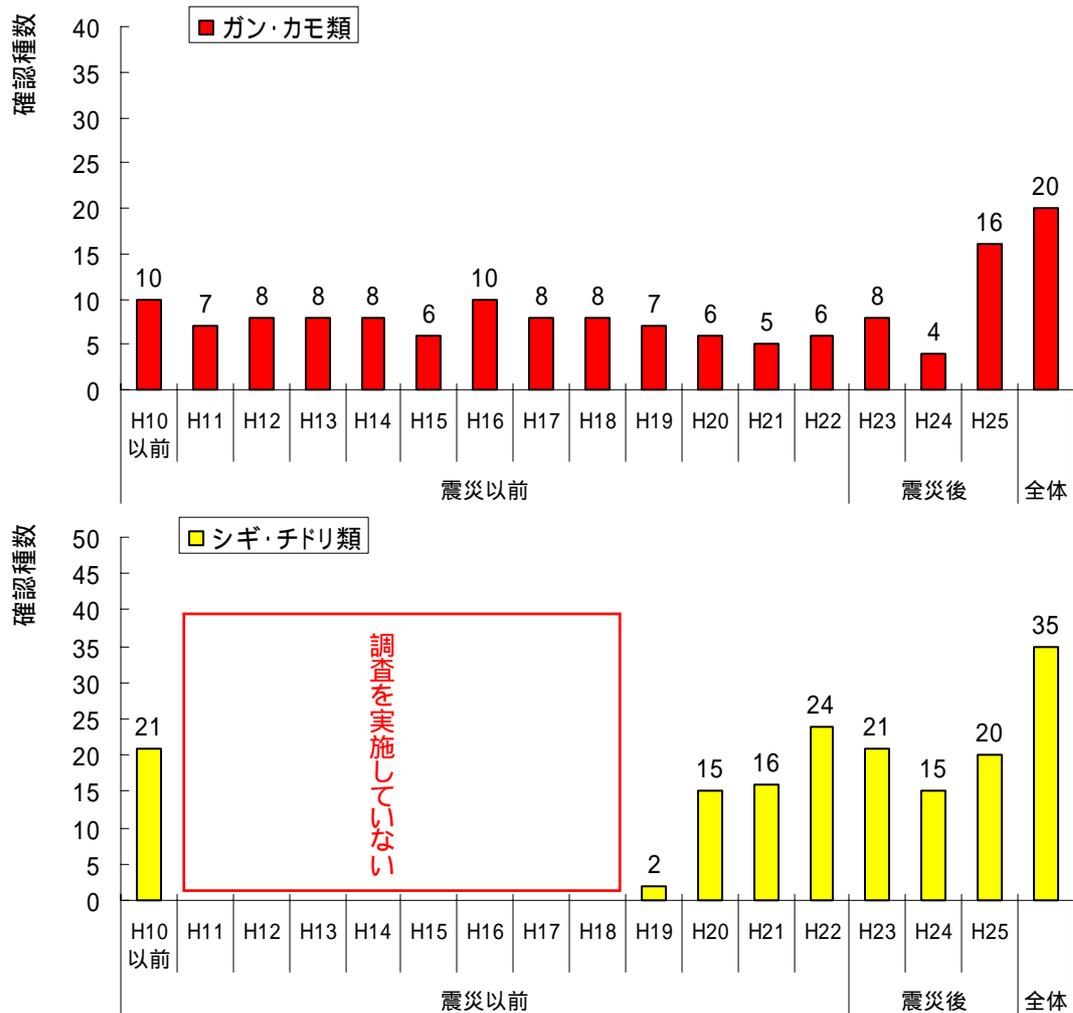


図 3.46 阿武隈河口域におけるガン・カモ類、シギ・チドリ類の確認種数

3.2.2 底生動物調査

(1) 確認種の状況

夏季調査結果で4綱11目28科28種類、秋季調査で6綱16目29科35種類、合計で6綱17目37科45種類の底生動物が確認された。確認種の一覧を表3.13、表3.14に示す。

確認された底生動物は、ニッポンドロソコエビ(ヨコエビ目)やコメツキガニ(エビ目)などの軟甲綱、カワゴカイ属(サシバゴカイ目)やイトゴカイ科(イトゴカイ目)などのゴカイ綱、イソシジミ(マルスダレガイ目)やソトオリガイ(ウミタケガイモドキ目)などの二枚貝綱を中心する、干潟の表面や底質に潜って生活する汽水性の種類であった。

底生動物のうち個体数で最も多かったのはカワゴカイ属(個体)、次いでイトゴカイ科とイソシジミであり、これらは全て砂や泥の底質に潜って生活する内在性の種類であった。一方、底質の表面で生活する表在型で優占していたのはコメツキガニ、次いでニッポンドロソコエビとスナウミナナフシ科で、全て軟甲綱に属する種類であった。

重量では各地点、各時季とも二枚貝綱の占める割合が顕著に高く、この中でも特に寄与していたのは比較的深い場所で生活することが知られているイソシジミであった。

なお、底生動物の整理には分類群のほか、以下に示す生息環境(内在性、表在性)についても着目した。

【底生動物の内在性と表在性について】

内在性:主に堆積物の中で生活する内在性ベントス(二枚貝類、ゴカイ類など)

表在性:主に堆積物や基盤の表面で生活する表在性ベントス(巻貝類、エビ・カニ類、ヨコエビ類など)

調査地区別の確認種類数では、阿武隈河口域がもっとも多く、31種類が確認された。井土浦特別保護地区と蒲生特別保護地区はともに21種類が確認された。

季節別の確認種類数では、夏季、秋季とも阿武隈河口域がもっとも多く、それぞれ21種類が確認された。次いで多かったのは蒲生特別保護地区、最も少なかったのは井土浦特別保護地区であり、これらの2地区では夏季から秋季にかけて種類数の増加が見られた。

個体数では夏季から秋季にかけて、阿武隈河口域を除いて特に大きな変化は見られなかった。個体数で最も多かったのは夏季、秋季ともに蒲生特別保護地区であり、これに寄与していたのはカワゴカイ属などゴカイ綱に属する内在性の種類であった。井土浦特別保護地区は両時季とも蒲生特別保護地区に次いで多く、夏季から秋季にかけてエビ・カニ類の増加が見られた。阿武隈河口域は夏季から秋季にかけて増加が見られ、増加に最も寄与していたのはカワゴカイ属などのゴカイ綱であった。

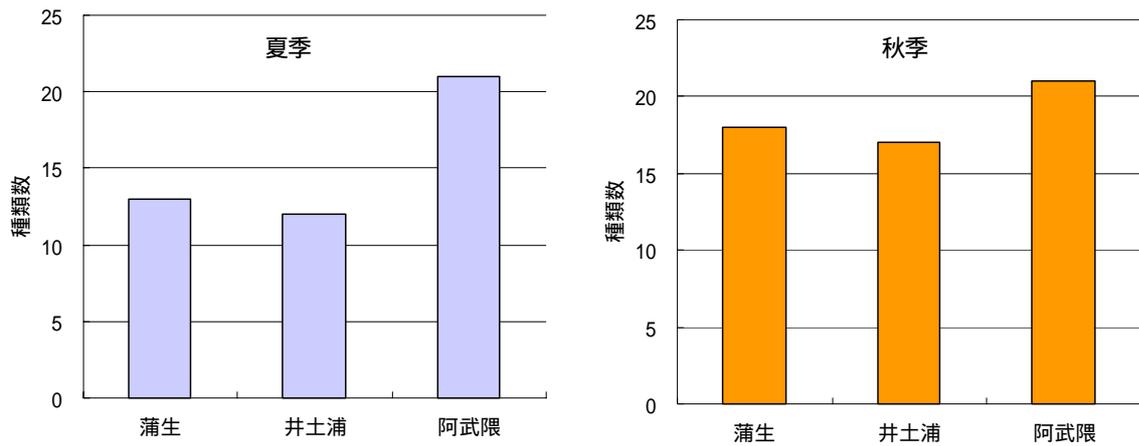


図 3.47 時季、調査地区別の底生生物の種類数

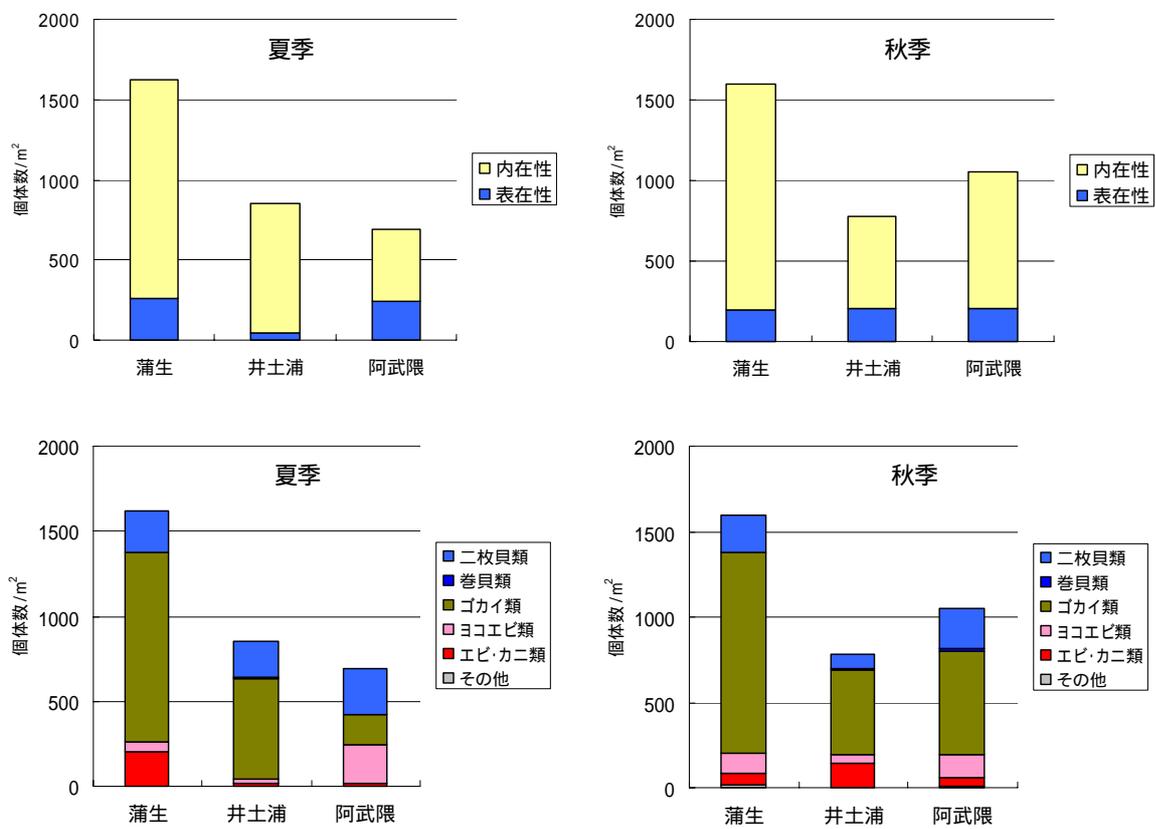


図 3.48 時季、調査地区別の底生生物の個体数 (個体数/m²)

重量では夏季から秋季にかけて、各地区ともほとんど変化は見られず、二枚貝綱に属するイソシジミがいずれの地区でも優占していた。重量が最も大きな地区は夏季、秋季ともに阿武隈河口域であった。次いで多かった蒲生特別保護地区では夏季から秋季にかけては顕著な増加が見られた。最も少なかった井土浦特別保護地区では時季別の大きな変化は見られなかった。

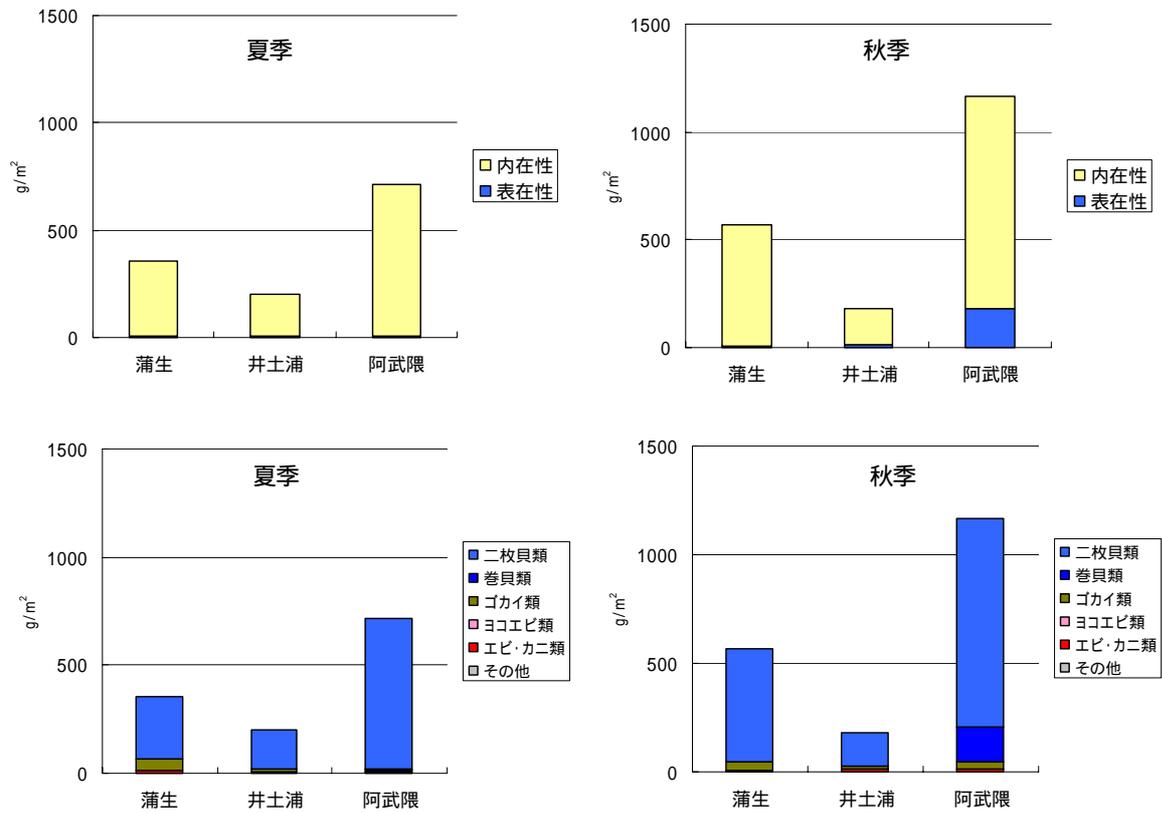


図 3.49 時季、調査地区別の底生生物の重量 (g/m²)

表 3.13 確認した底生生物の一覧(夏季調査)

門和名	綱和名	目和名	科和名	和名	学名	生活型	重要種			夏季										計
							保存法	NRL	宮嶋順一	井土浦					阿波郡					
							文化財	S1.1	S1.2	S1.3	S1.4	S1.5	計	S1.1	S1.2	S1.3	S1.4	S1.5	計	
1 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	担形動物門	NEBEREYNEA sp.	表在性														
2 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Bathypoda zanzibarica</i>	表在性														
3 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Zosomma japonica</i>	表在性														
4 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Tetradium sp.</i>	表在性														
5 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Mytilus sp.</i>	表在性														
6 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Crossostrea gigas</i>	表在性														
7 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Macoma contubunda</i>	表在性														
8 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Naturalia japonica</i>	表在性														
9 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Solen striatus</i>	表在性														
10 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Radixaphys philippinensis</i>	表在性														
11 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Mya arenaria coreana</i>	表在性														
12 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Laternula maritima</i>	表在性														
13 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Glycymeris sp.</i>	表在性														
14 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Hydrobia sp.</i>	表在性														
15 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Hydrobia heurichii</i>	表在性														
16 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Lumbricoides sp.</i>	表在性														
17 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Spongia sp.</i>	表在性														
18 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Chironomidae sp.</i>	表在性														
19 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Caprellidae sp.</i>	表在性														
20 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Obolidae sp.</i>	表在性														
21 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Polychaeta sp.</i>	表在性														
22 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Echinidea sp.</i>	表在性														
23 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>SPINULLA sp.</i>	表在性														
24 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Amphipoda sp.</i>	表在性														
25 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Conoscorabello japonica</i>	表在性														
26 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Caprellidae sp.</i>	表在性														
27 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Hydra sp.</i>	表在性														
28 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Hydra sp.</i>	表在性														
29 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Hydra sp.</i>	表在性														
30 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Amphipoda sp.</i>	表在性														
31 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Stomatopoda sp.</i>	表在性														
32 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Myxidae sp.</i>	表在性														
33 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Palaeomon macrodactylus</i>	表在性														
34 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Crangon affinis</i>	表在性														
35 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Upogebiidae sp.</i>	表在性														
36 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Phylla japonica</i>	表在性														
37 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Pinnotheridae sp.</i>	表在性														
38 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Deuteroheros cretensis</i>	表在性														
39 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Stomatopoda japonica</i>	表在性														
40 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Macropathus japonicus</i>	表在性														
41 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Enochel japonicus</i>	表在性														
42 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	表在性														
43 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>	表在性														
44 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Hemigrapsus sp.</i>	表在性														
45 担形動物門	節足綱	蠍目	ウミズナ科	ウミズナ	<i>Decapoda sp.</i>	表在性														
夏季	6門	28目	28科	28科	28科	28科														
林業	6門	28目	28科	28科	28科	28科														
会社	6門	17目	37科	46科	46科	46科														

注1) 数値は一平方メートルあたりに換算した個体数を示す。計は集計値であるため、平方換算は行っていない。

注2) 生活型の説明は以下のとおり。

内在性: 主に堆積物の中で生活する内在性ベントス(二枚貝類、ゴカイ類など)

表在性: 主に堆積物や基盤の表面で生活する表在性ベントス(巻貝類、エビ、カニ類、ヨコエビ類など)

表 3.14 確認した底生生物の一覧（秋季調査）

						秋季																																											
門別名	綱別名	目別名	科別名	和名	学名	生活型	文化財			重要種			重要種R1			発生														計																			
							保存法	NPL	国産種	重要種	重要種	重要種	S1.1	S1.2	S1.3	S1.4	S1.5	S1.6	S1.7	S1.8	S1.9	S1.10	S1.11	S1.12	S1.13	S1.14	S1.15	S1.16	S1.17		S1.18	S1.19	S1.20																
1 甲殻動物門	環足綱	環足目	メニエラ科	メニエラ属	NEREIDA sp.	環足型	保存法	NPL	国産種	重要種	重要種	重要種	S1.1	S1.2	S1.3	S1.4	S1.5	S1.6	S1.7	S1.8	S1.9	S1.10	S1.11	S1.12	S1.13	S1.14	S1.15	S1.16	S1.17	S1.18	S1.19	S1.20	計																
					45																															45													
					2 軟体動物門	環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Urtrogonia congo</i>	環足型						45																						45										
										8																																8							
										3 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Assiminea japonica</i>	環足型																													8					
														8																																	8		
														4 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Hydrobia</i> sp.	環足型																													11	
																		11																															
														5 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Assasirella gigas</i>	環足型																														11
																		11																															
					6 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Melampus contadanta</i>	環足型																															45								
									45																																		45						
					7 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Melampus japonica</i>	環足型																															11								
									11																																		11						
					8 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Skeneia striata</i>	環足型																														8									
									8																																	8							
					9 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Nacogona pilguyunum</i>	環足型																															11								
									11																																		11						
					10 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta imaiensis congo</i>	環足型																														8									
									8																																	8							
11 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta amara marinoi</i>	環足型																														8														
				8																																	8												
12 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Cyclonides</i> sp.	環足型																														34														
				34																																	34												
13 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														192														
				192																																	192												
14 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Polygona heterochelata</i>	環足型																														34														
				34																																	34												
15 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Polygona heterochelata</i>	環足型																														161														
				161																																	161												
16 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														23														
				23																																	23												
17 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Stenoides</i> sp.	環足型																														14														
				14																																	14												
18 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Stenoides</i> sp.	環足型																														34														
				34																																	34												
19 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Cyclonides</i> sp.	環足型																														1897														
				1897																																	1897												
20 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Cyclonides</i> sp.	環足型																														34														
				34																																	34												
21 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														14														
				14																																	14												
22 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														204														
				204																																	204												
23 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														34														
				34																																	34												
24 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														240														
				240																																	240												
25 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														464														
				464																																	464												
26 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														57														
				57																																	57												
27 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														34														
				34																																	34												
28 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														46														
				46																																	46												
29 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														23														
				23																																	23												
30 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属	<i>Uta sp.</i>	環足型																														23														
				23																																	23												
31 環足目	環足目	ウツボガイ科	ウツボガイ属																																														



図 3.50 代表的な確認種の写真



図 3.51 代表的な確認種の写真



図 3.52 代表的な確認種の写真

(2) 調査地区ごとの確認状況

1) 蒲生特別保護地区

底生動物調査の調査地点の調査結果概要を表 3.15 に示す。

表 3.15 調査地点の調査結果概要

地点	地形	底質の主な材料	主な確認種
St.1	河口部左岸のワンドの奥部	砂に泥が含まれる	夏季:イソシジミとカワゴカイ属 秋季:イトゴカイ科
St.2	河口部左岸のワンドの奥部	砂に泥が含まれる	夏季:イソシジミとカワゴカイ属 秋季:イソシジミとカワゴカイ属
St.3	河口部左岸のワンド入り口	砂に泥が含まれる	夏季:イソシジミとカワゴカイ属 秋季:イソシジミとカワゴカイ属、アサリ、オオノガイなどの二枚貝
St.4	河口部の左岸の水制周辺	砂に泥と植物質が含まれる	夏季:イソシジミとカワゴカイ属 秋季:イソシジミとカワゴカイ属
St.5	河口部右岸にある砂浜の内陸側	砂	夏季:イソシジミとカワゴカイ属、コメツキガニの幼体 秋季:イソシジミとカワゴカイ属、コメツキガニの幼体



図 3.53 底生動物調査地点（蒲生特別保護地区）

	
<p>【St.1 の状況】</p>	<p>【St.2 の状況】</p>
	
<p>【St.3 の状況】</p>	<p>【St.4 の状況】</p>
	<p>-</p>
<p>【St.5 の状況】</p>	

夏季の地点の状況



【St.1 の状況】



【St.2 の状況】



【St.3 の状況】



【St.4 の状況】



【St.5 の状況】

秋季の地点の状況

【種類数について】

蒲生特別保護地区では夏季に 13 種類、秋季に 18 種類、合計で 4 綱 11 目 18 科 21 種類の底生動物が確認された。地点別でも夏季に少なく秋季に多い傾向が見られ、最も多かったのは左岸のワンド状に入り組んだ干潟から本川に最も近い St.3、最も少なかったのは右岸に設定された St.5 であった。

【個体数について】

地点別個体数は夏季から秋季にかけて増減が見られたが、組成は St.5 を除いてカワゴカイ属などのゴカイ綱が優占する類似した傾向が見られた。St.5 ではエビ・カニ類の占める割合がほかの地点と比べて高かった。

【重量について】

地点別重量も個体数と同様、夏季から秋季にかけて増減が見られ、秋季の St.5 を除いて各地点とも優占していたのはイソシジミなどの二枚貝類であった。

【重要種について】

夏季調査では St.1 と St.2 で河川汽水域の泥質干潟や周辺の淺筋に生息するアリアケモドキがそれぞれ 1 個体確認された。秋季調査では St.3 で泥砂質干潟に生息するオオノガイが 2 個体、同じくマテガイが 1 個体それぞれ確認された。

注) 重要種で記載された個体数は、平方換算を行っていない実際の個体数である。

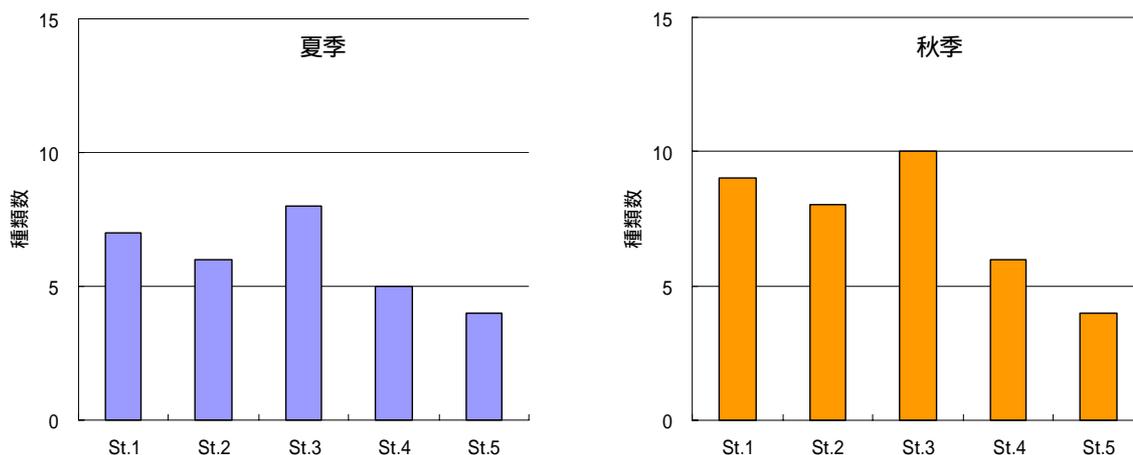


図 3.54 時季、調査地点別の底生生物の種類数（蒲生）

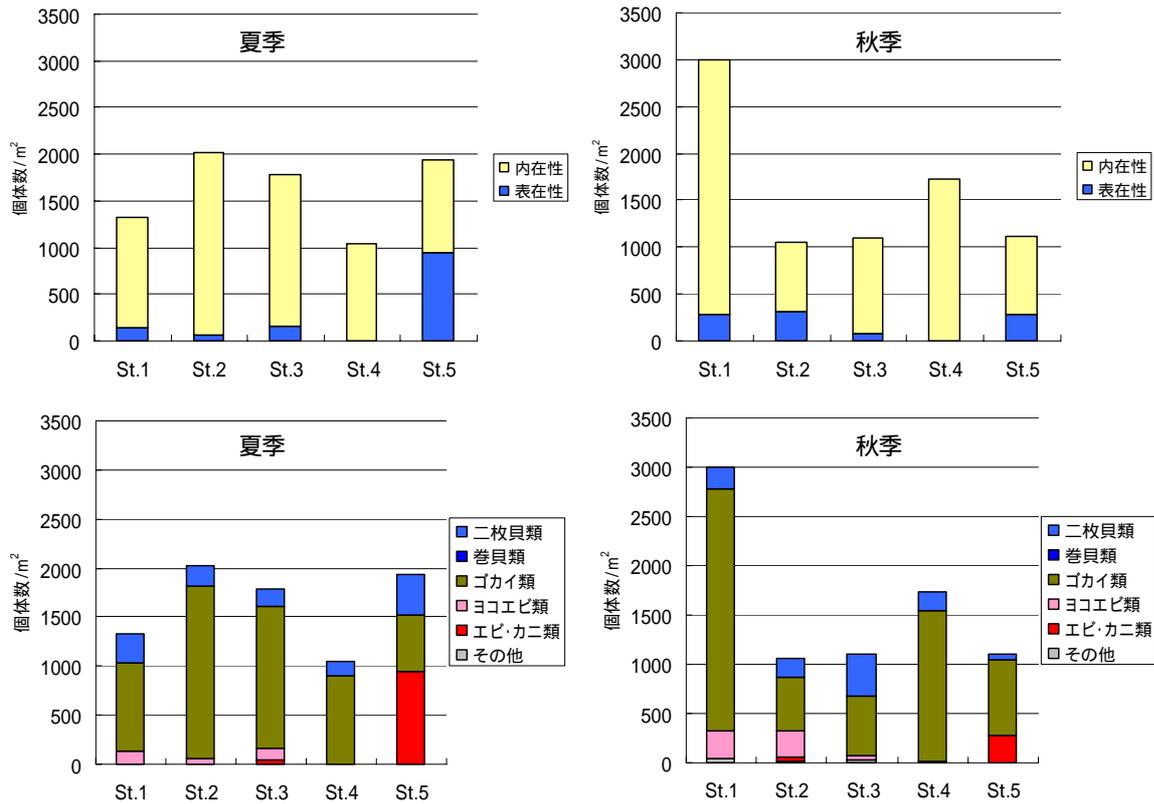


図 3.55 時季、調査地点別の底生生物の個体数 (個体数/m²) (蒲生)

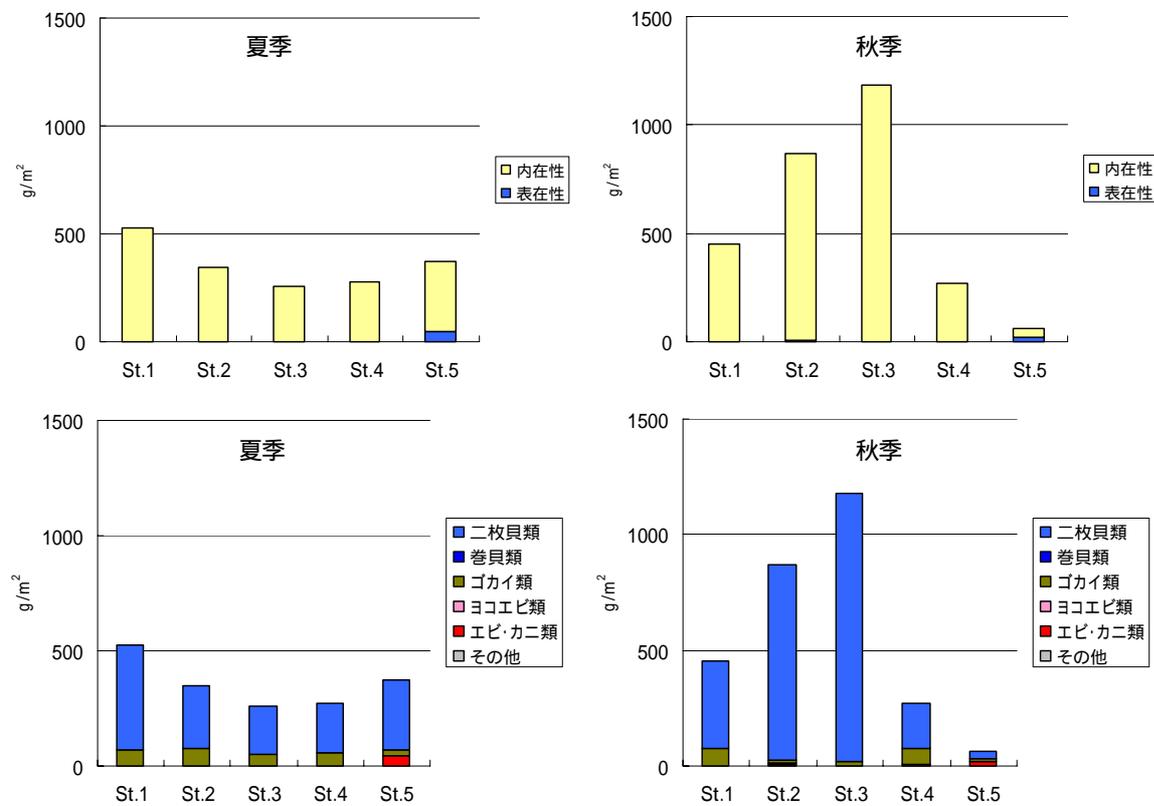


図 3.56 時季、調査地点別の底生生物の重量 (g/m²) (蒲生)

2) 井土浦特別保護地区

底生動物調査の調査地点の調査結果概要を表 3.16 に示す。

表 3.16 調査地点の調査結果概要

地点	地形	底質の主な材料	主な確認種
St.1	河口部左岸のワンド最奥部のヨシ群落に接する干潟	砂と泥で、そのほか植物質	夏季:カワゴカイ属、イトゴカイ科 秋季:カワゴカイ属、イトゴカイ科、イソコツブムシ
St.2	河口部左岸のワンド奥部の砂浜内陸側	砂に泥が含まれる	夏季:イソシジミ、カワゴカイ属 秋季:カワゴカイ属、コメツキガニの幼体
St.3	河口部左岸のワンドの砂浜内陸側	砂に泥が含まれる	夏季:イソシジミ、カワゴカイ属、イトゴカイ科 秋季:イトゴカイ科
St.4	河口部左岸のワンド入り口部のヨシ群落に接する干潟	砂に泥と植物質が含まれる	夏季:イソシジミ、カワゴカイ属 秋季:コメツキガニの幼体
St.5	河口部左岸のワンド入り口部	砂に泥が含まれる	夏季:カワゴカイ属、イトゴカイ科 秋季:カワゴカイ属、イトゴカイ科



図 3.57 底生動物調査地点（井土浦特別保護地区）



【St.1 の状況】



【St.2 の状況】



【St.3 の状況】



【St.4 の状況】



【St.5 の状況】

夏季の地点の状況



【St.1 の状況】



【St.2 の状況】



【St.3 の状況】



【St.4 の状況】



【St.5 の状況】

秋季の地点の状況

【種類数について】

井土浦特別保護地区では夏季に 12 種類、秋季に 17 種類、合計で 5 綱 17 目 37 科 21 種類の底生動物が確認された。地点別の種類数の変化に共通の傾向は見られなかったが、ワンド奥部の St.1 と St.2 では夏季から秋季にかけて増加した一方、本川に近い St.3 から 5 では夏季から秋季にかけて減少する傾向が見られた。

【個体数について】

夏季から秋季にかけての地点別個体数に共通した傾向は見られなかった。本川に最も近い St.5 では、両時季を通して特に多くの個体数が確認された。

夏季の地点別個体数で優占したのは内在性のイソシジミなどの二枚貝類とカワゴカイ属などのゴカイ綱であった。秋季には表在性のエビ・カニ類やヨコエビ類の占める割合の増加がほとんどの地点で見られた。

【重量について】

地点別の重量では、ほとんどの地点で優占していたのはイソシジミなどの二枚貝類であった。ワンドの最奥部にある St.1 では、両時季を通して二枚貝類が少なく、また、本川に最も近い St.5 で秋季には二枚貝類がほとんど確認されなかった。

【重要種について】

夏季調査において、河川汽水域の泥質干潟や周辺の滞筋に生息するアリアケモドキが St.3 で 1 個体、St.5 で 2 個体確認された。

注) 重要種で記載された個体数は、平方換算を行っていない実際の個体数である。

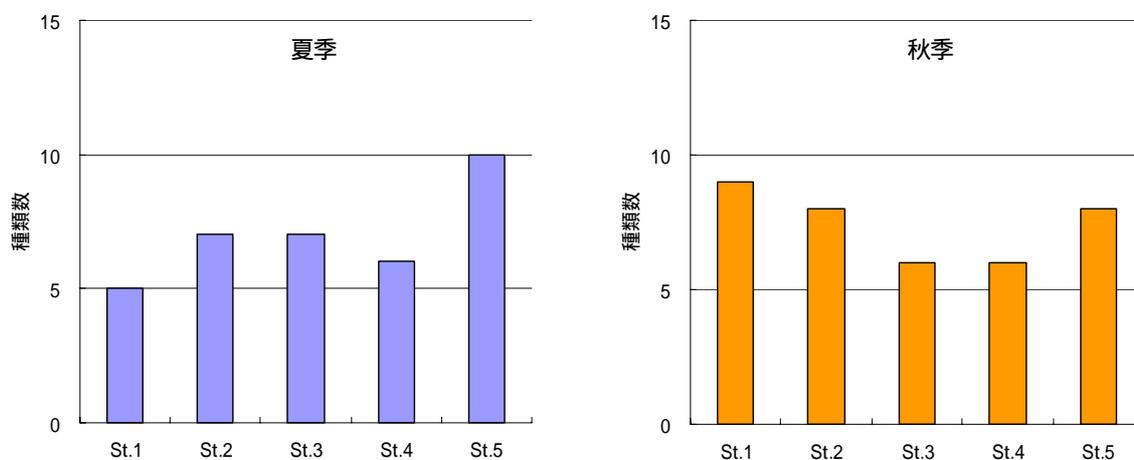


図 3.58 時季、調査地点別の底生生物の種類数（井土浦）

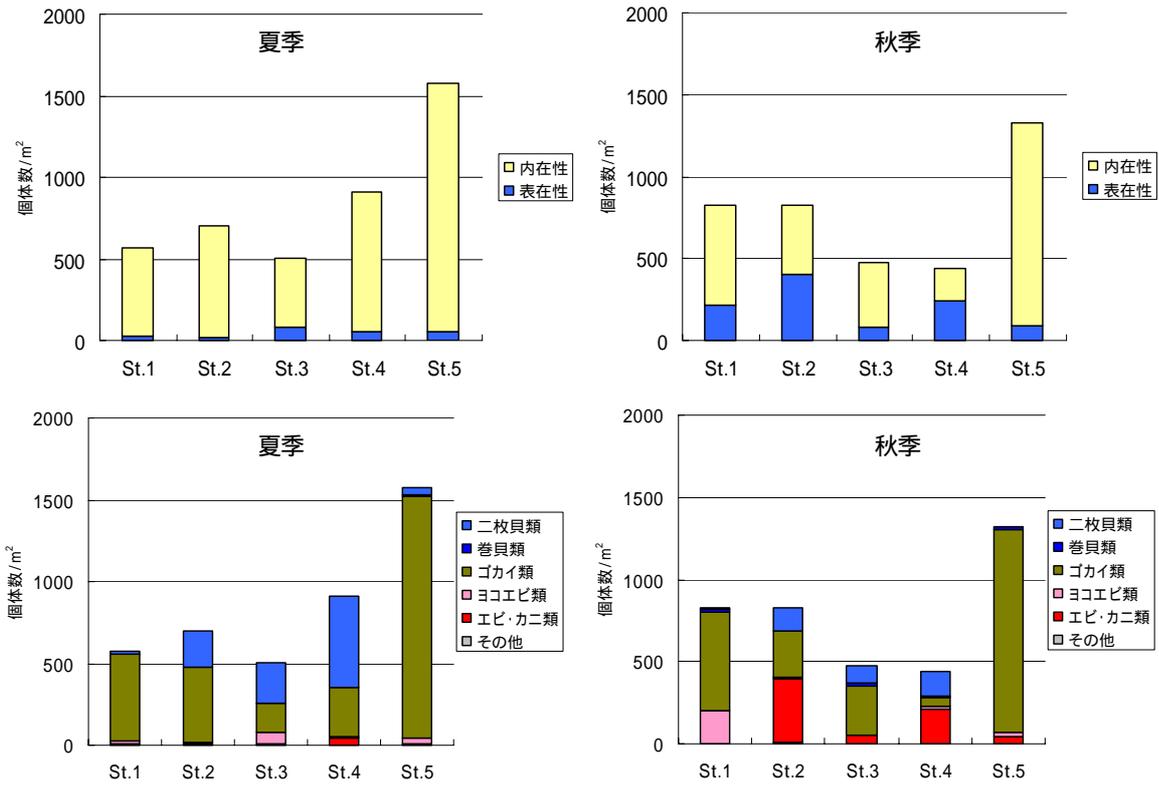


図 3.59 時季、調査地点別の底生生物の個体数 ($\text{個体数}/\text{m}^2$) (井土浦)

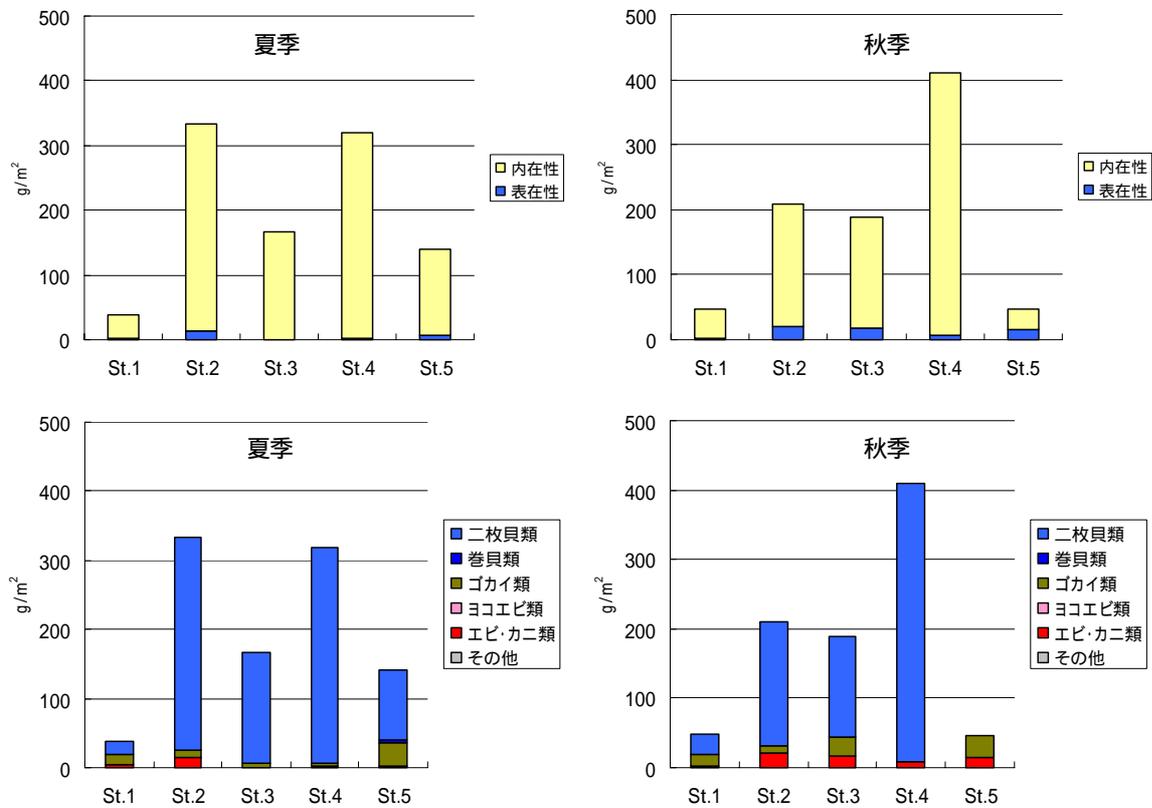


図 3.60 時季、調査地点別の底生生物の重量 (g/m^2) (井土浦)

3) 阿武隈川河口域

底生動物調査の調査地点の調査結果概要を表 3.17 に示す。

表 3.17 調査地点の調査結果概要

地点	地形	底質の主な材料	主な確認種
St.1	河口部付近の砂浜 内陸	砂に泥が含まれる	夏季: イソシジミ、カワゴカイ属、ニッポンド ロソコエビ 秋季: イソシジミ、カワゴカイ属
St.2	砂浜内陸側奥部	砂に泥が含まれる	夏季: イソシジミ、ニッポンドロソコエビ 秋季: カワゴカイ属、イトゴカイ科
St.3	右岸	砂に泥が含まれ る。カキ類が付着し た岩が点在	夏季: イソシジミ 秋季: イソシジミ、カワゴカイ属
St.4	河川流入部右岸	泥に砂と植物質が 含まれる	夏季: イソシジミ、イトゴカイ科 秋季: イソシジミ、カワゴカイ属、イトゴカイ 科
St.5	奥部の左岸	砂に泥が含まれ る。カキ類が付着し た岩が点在	夏季: カワゴカイ属、ニッポンドロソコエビ、 スナウミナナフシ科 秋季: イトゴカイ科、スナウミナナフシ科



図 3.61 底生動物調査地点（阿武隈河口域）



【St.1 の状況】



【St.2 の状況】



【St.3 の状況】



【St.4 の状況】



【St.5 の状況】

夏季の地点の状況



【St.1 の状況】



【St.2 の状況】



【St.3 の状況】



【St.4 の状況】



【St.5 の状況】

秋季の地点の状況

【種類数について】

阿武隈川河口域では夏季に 21 種類、秋季に 21 種類、合計で 5 綱 12 目 21 科 31 種類の底生動物が確認された。各地点で共通した傾向は特に見られなかったが、鳥の海上流側の底質に泥が多い St.4 と St.5 では夏季から秋季にかけて僅かな減少が見られたことに対し、下流側にある底質に砂が多い St.1 から St.3 では夏季から秋季にかけて増加が見られた。

【個体数について】

夏季の地点別個体数では秋季に比較してゴカイ類の占める割合は少なく、一方、ヨコエビ類の占める割合が高かった。また、地点別個体数は St.1 を除いて夏季から秋季にかけて個体数の増加が見られ、St.4 では特に顕著であった。これらの個体数増加に寄与していたのは、カワゴカイ属やイトゴカイ科などのゴカイ類であった。

【重量について】

夏季から秋季にかけての地点別重量は St.1 と St.5 を除いて顕著な増加が見られた。多くの地点別重量で優占していたのはイソシジミなどの二枚貝類であったが、秋季の St.2 では巻貝類の優占が見られた。

【重要種について】

夏季調査では St.5 で河川汽水域の泥質干潟や周辺の滞筋に生息するアリアケモドキが 1 個体確認された。秋季調査では St.2 で砂泥堆積物に埋没して生活するマガキ(ナガガキ)が 1 個体、高潮帯の砂泥底に生息するイトメが 3 個体それぞれ確認された。

注) 重要種で記載された個体数は、平方換算を行っていない実際の個体数である。

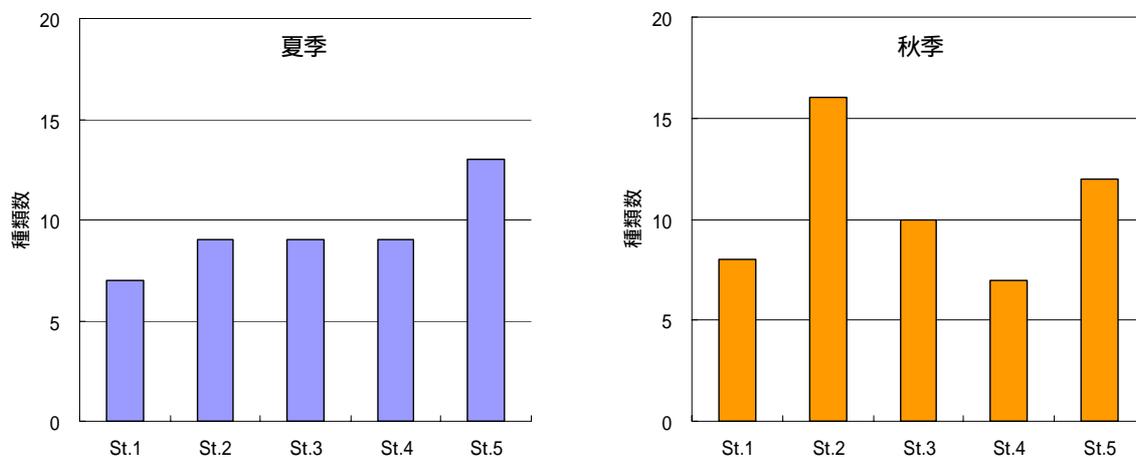


図 3.62 時季、調査地点別の底生生物の種類数 (阿武隈)

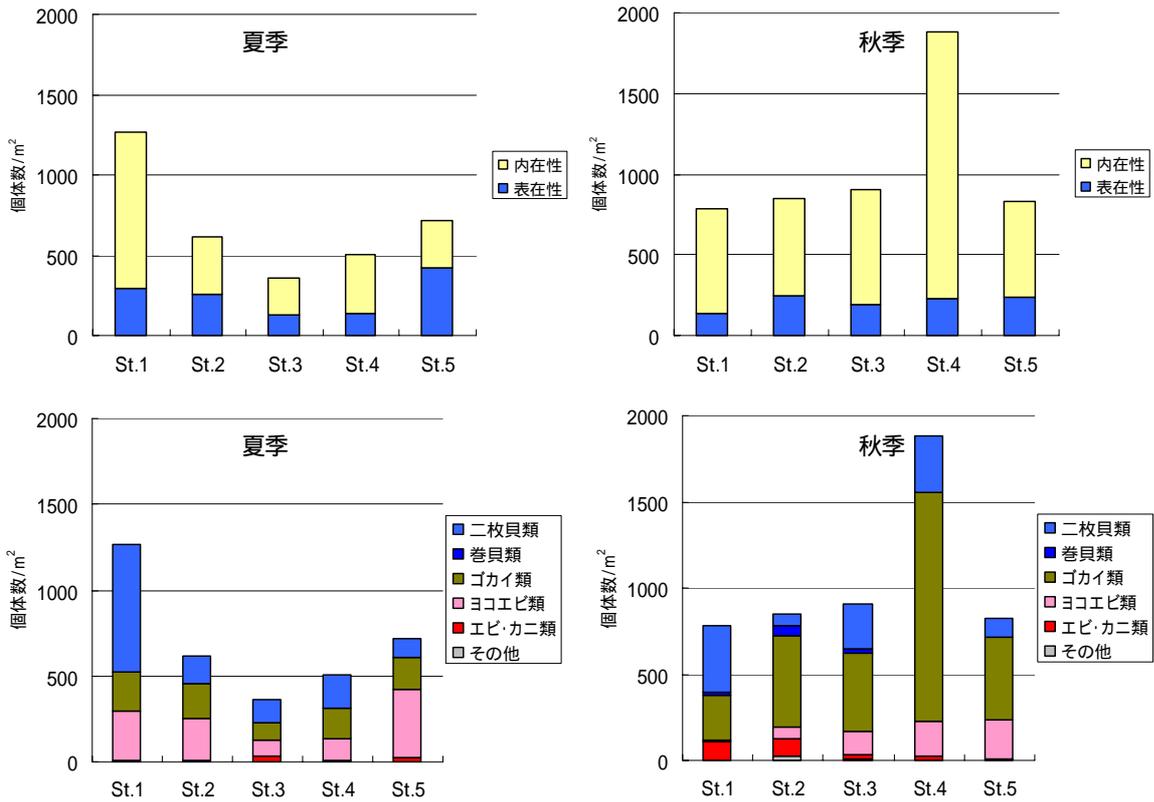


図 3.63 時季、調査地点別の底生生物の個体数 (個体数/m²) (阿武隈)

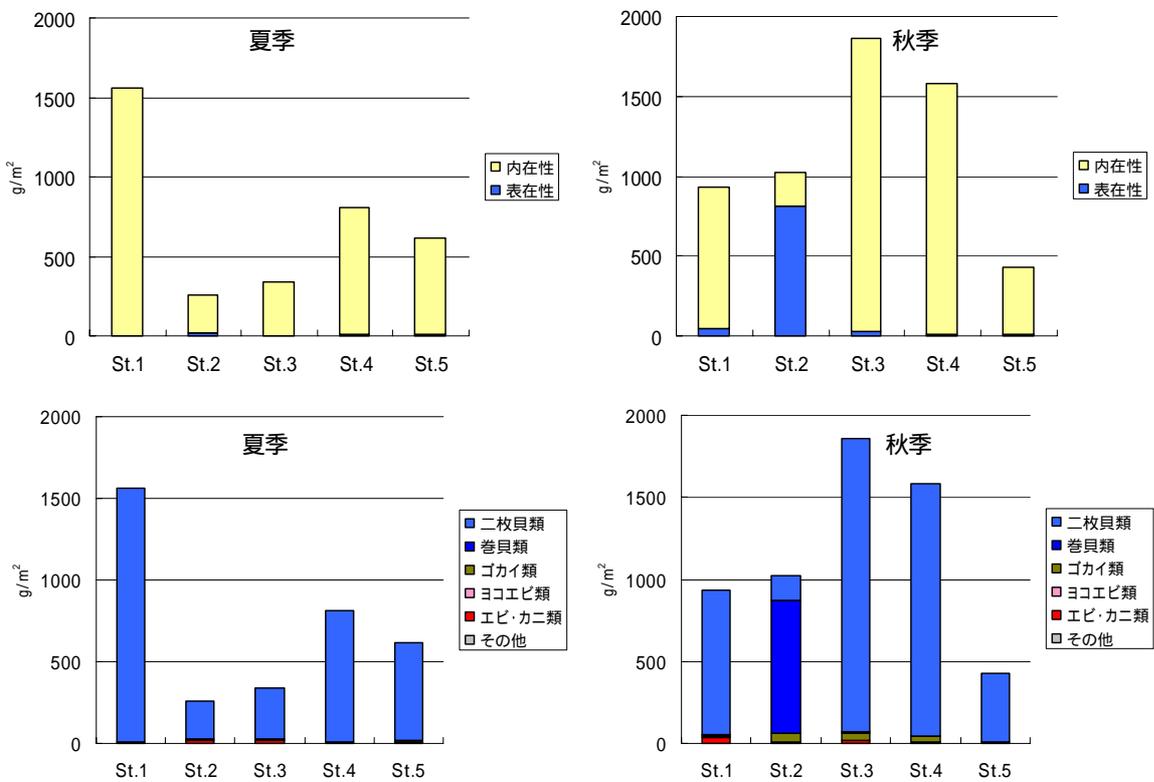


図 3.64 時季、調査地点別の底生生物の重量 (g/m²) (阿武隈)

(3) 震災前後の比較

1) 分類群による比較

- ・ 震災後いずれの分類群でも種類数が減少した。
- ・ 減少はエビ・カニ類、巻貝類が顕著で、二枚貝類、ゴカイ類では変化が小さかった。
- ・ エビ・カニ類ではコメツキガニなど震災前と共通した種による回復が見られた。
- ・ ヨコエビ類は震災前後で種類数の増減は小さいが、種構成は大きく変化した。
- ・ 巻貝類は震災後に大きく減少し、平成25年でも回復しなかった。
- ・ 二枚貝類は震災前後で種類数の増減は小さく、イソシジミなど震災前後で共通する種が多かった。

a) 蒲生特別保護地区

震災前の平成16年度と震災後の平成24、25年度の確認種類数について、分類群別に種類数を集計した結果を図3.65に示す。

震災直後の平成24年度では、平成16年度に比較して全ての分類群で確認種類数が減少した。とくにエビ・カニ類と巻貝類の減少が顕著で、二枚貝類とゴカイ類はあまり減少していなかった。また、平成25年度には、ヨコエビ類、エビ・カニ類の種類数が回復する傾向が認められた。

種の消長では、ヨコエビ類では震災前後で確認種がほとんど入れ替わった。平成16年度に確認されたAmpithoe属、ヒメハマトビムシなど7種は震災以降確認されず、新たにニッポンドロソコエビ、ウエノドロクダムシなどが確認された。平成24、25年度との比較でも共通して確認された種はニッポンドロソコエビのみであった。(ウエノドロクダムシは平成25年度のドロクダムシ科、シミズメリタヨコエビは平成25年度のMelita属にそれぞれ含まれていた可能性がある。)一方、エビ・カニ類とゴカイ類では確認種が比較的共通しており、平成16年度に確認されたエビ・カニ類9種のうちアリアケモドキ、コメツキガニが平成25年度に再確認されたほか、ケフサイソガニが今回新たに確認された。またゴカイ類では種名が確定していないものが多いが、カワゴカイ属、ヤマトスピオなどは震災前後に共通して確認された。

種類数の増減が少ない二枚貝類では、アサリやイソシジミが震災前から継続して確認されたほか、ホトトギスガイ、ユウシオガイなどは震災後の平成24年度のみで確認された。平成25年度はマテガイとソトオリガイが再確認され、生息種の回復傾向を示すものと考えられる。

一方、巻貝類は震災以降ほとんど確認されてない。震災以前に確認されたのはフトヘナタリなど干潟のヨシ原に依存する種類がほとんどで、これらの再確認には十分な植生の回復が必要な可能性が考えられた。

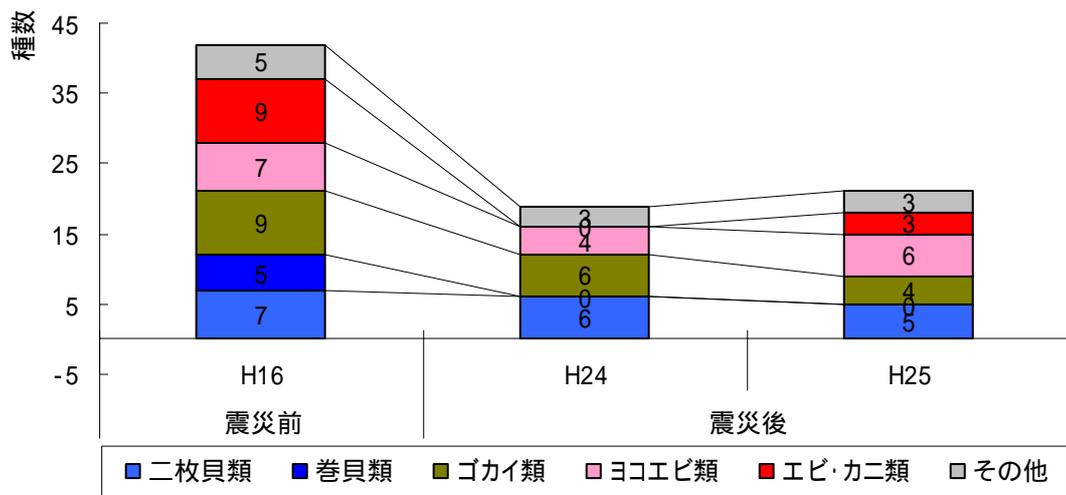


図 3.65 分類群別の確認種類数（蒲生特別保護地区）

b) 井土浦特別保護地区

震災前の平成16年度と震災後の平成24、25年度の確認種類数について、分類群別に種類数を集計した結果を図 3.66に示す。

震災直後の平成24年度では、平成16年度に比較してゴカイ類を除く分類群で確認種類数が減少し、平成25年度には増加に転じた。ただし巻貝類とエビ・カニ類は種類数があまり回復しなかった。

種の消長では、ヨコエビ類では震災前後で確認種がほとんど入れ替わった。平成16年度に確認されたヒゲツノメリタヨコエビ、ヒメハマトビムシなど9種は震災以降確認されず、新たにシミズメリタヨコエビ、モクスヨコエビ科などが確認された。平成24、25年度との比較で共通して確認された種はニッポンドロソコエビのみであった。(シミズメリタヨコエビはMelita属に含まれていた確認された可能性がある。)一方、エビ・カニ類で確認種が比較的共通しており、平成16年度に確認された9種のうちからアリアケモドキ、コメツキガニなどが平成25年度に再確認されたほか、マメコブシガニが新たに確認された。巻貝類で再確認されたのはホソウミニナ1種のみで、平成24年度以降新たに確認されたカワザンショウガイは、平成16年度に確認されているヒラドカワザンショウなどと近縁の種である。

種類数の増減が少ない二枚貝類では、ソトオリガイ、イソシジミは震災前後で共通して確認されたほか、アサリは震災後の平成25年度のみで確認された。

再確認されていない巻貝類とエビ・カニ類にはヒラドカワザンショウやアシハラガニなど、ヨシ原のような干潟に成立する植生を生息に利用する種が含まれる。

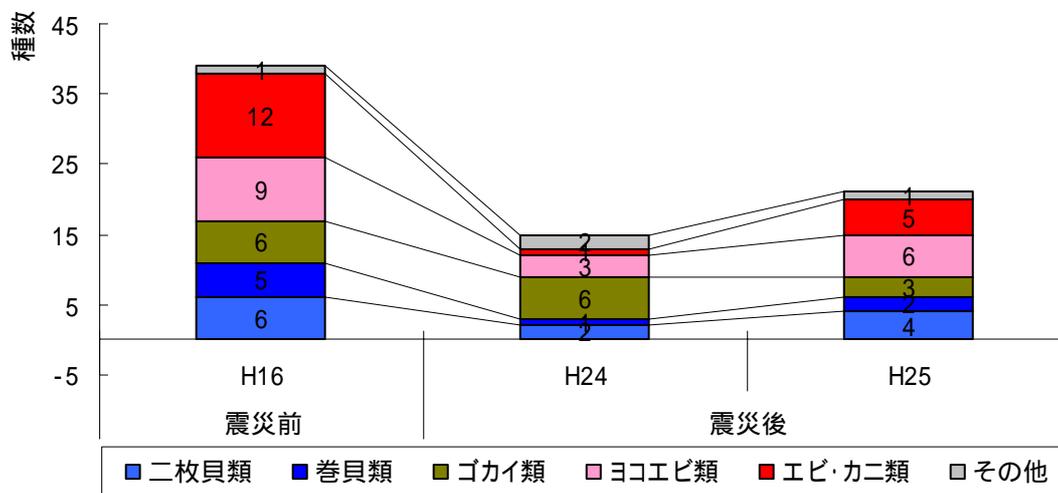


図 3.66 分類群別の確認種類数 (井土浦特別保護地区)

c) 阿武隈川河口域

震災前の平成16年度と震災後の平成24、25年度の確認種類数について、分類群別に種類数を集計した結果を図 3.67に示す。

震災直後の平成24年度では、平成16年度に比較しゴカイ類を除く分類群で確認種類数が減少した。特にエビ・カニ類と巻貝類の減少が顕著だが、ヨコエビ類と二枚貝類、ゴカイ類の種類数はあまり減少していなかった。また、平成25年度には、ヨコエビ類、エビ・カニ類の種類数が回復する傾向が認められた。

種の消長では、ヨコエビ類では震災前後で確認種がほとんど入れ替わった。平成16年度に確認されたAmpithoe属、ポシットトゲオヨコエビなど6種は震災以降確認されず、ヒゲツノメリタヨコエビ、スナウミナナフシ科などが確認された（Ampithoe属は平成25年度のヒゲナガヨコエビ科に、ヒメハマトビムシはハマトビムシ科に含まれている可能性がある）。平成24、25年度との比較でも共通して確認された種は無く、震災前後を通して確認された種はニッポンドロソコエビのみであった。一方、エビ・カニ類とゴカイ類では確認種が比較的共通しており、平成16年度に確認されたエビ・カニ類13種のうちアリアケモドキ、コメツキガニ、ヤマトオサガニなどは震災後にも再確認された。再確認されていない種はアカテガニ（ヨシ原に生息）やヨコヤアナジャコ（底質に深い巣穴を掘る）など、特定の環境に依存、もしくは特異的な生態の種であった。また、ユピナガスジエビ、エビジャコ、カクレガニ科などは震災後のみに確認された種である。なお、ゴカイ類では種名が確定していないものが多いが、カワゴカイ属などは震災前後で共通して確認された。

種類数の増減が少ない二枚貝類では、サビシラトリガイやイソシジミ、アサリ、ソトオリガイは震災前後で共通して確認された。また、ユウシオガイ、オニアサリなどは震災後の平成24年度のみで確認された。

巻貝類で確認されていないクリイロカワザンショウガイやフトヘナタリなどは、干潟のヨシ原を利用する種類である。

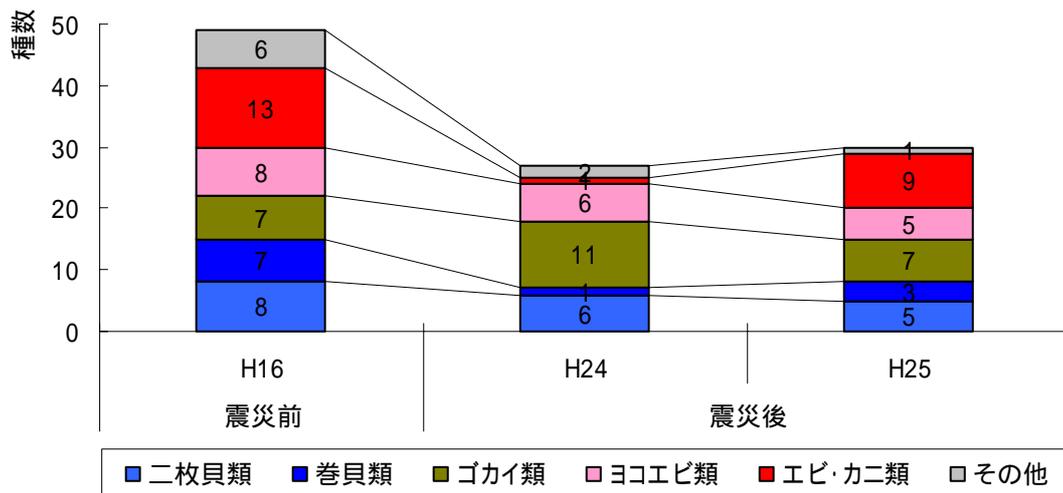


図 3.67 分類群別の確認種類数（阿武隈河口域）

2) 生活型別の種類数による比較

- ・ 震災後に表在性の種の減少が顕著であった。
- ・ 震災後2年経過した平成25年では、エビ・カニ類が回復していたが、巻貝類は回復していなかった。

震災前の平成16年度と震災後の平成24、25年度の確認種類数について、生息環境別に種類数を集計した結果を図 3.67に示す。

震災前の生息環境別種類数は、内在性の種よりも表在性の種の割合が高い。種類数の比（表在性の種類数）/（内在性の種類数）を見ると、最大は井土浦特別保護地区の1.79、最小は蒲生特別保護地区の1.2であった。

3地区とも震災後の平成24年度における生活型別の種類数減少の度合いは、内在性より表在性のほうが大きかった。内在性の構成種は二枚貝類やゴカイ類などの底質に潜る底生動物で、これらの種類数に大きな減少が見られなかったのは分類群別の種類数による比較で既述のとおりであるが、底質内部に潜ることにより、攪乱の影響が比較的少なかったものと考えられる。表在性の構成種は巻貝類やヨコエビ類、エビ・カニ類などであり、これらは干潟の表面で生活するため攪乱の影響が大きかったものと考えられる。また、これらの中にはフトヘナタリガイやアシハラガニなど、ヨシ原など干潟の植生に依存する種類も多い。

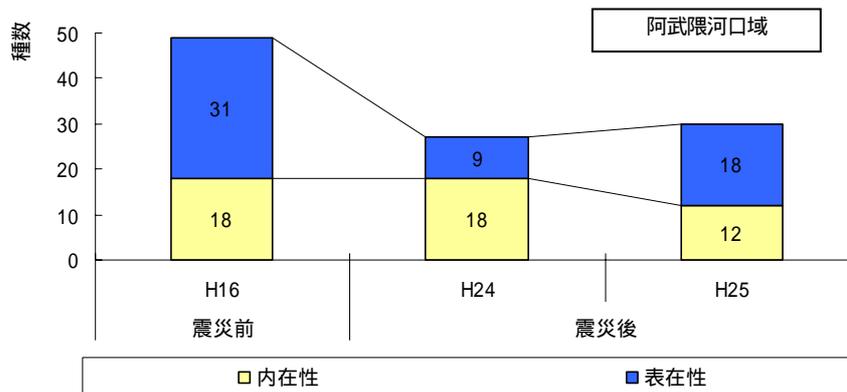
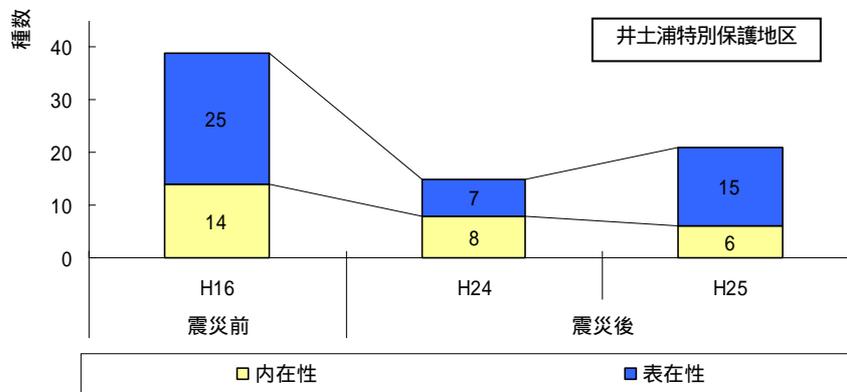
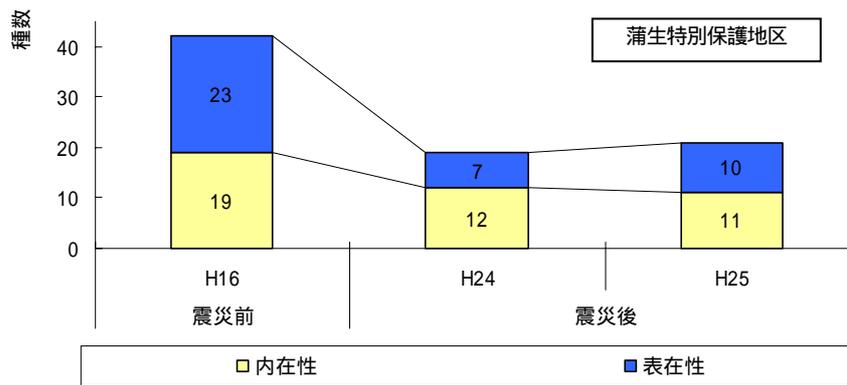


図 3.68 生息環境別の確認種数

4. 調査結果のGISデータ化ととりまとめ

4.1 調査結果のGISデータ化

調査によって得られた位置情報のあるデータについては、GISデータ（世界測地系 平面直角座標 JDG2000の10系）化し電子媒体にとりまとめた。

4.2 震災前後の生物相、植生、地形、土地利用等の変化

鳥獣保護区範囲における、震災前後の生物相、植生、地形、土地利用等の変化について表 4.1に整理した。

表 4.1 震災前後の生物相、植生、地形、土地利用等の変化

項目	震災前後の変化
鳥類相	<p>【全体】 震災後に阿武隈河口域のシギ・チドリ類がわずかに減少したが、全体としてはガン・カモ類、シギ・チドリ類の飛来種は維持されている。 底生動物では、震災後に表在性の種が減少したが、底生動物を採餌するシギ・チドリ類には影響が見られなかった。シギ・チドリ類は、ゴカイ類等の震災による影響が少ない内在性の種を餌資源として利用したため、餌が不足しなかった可能性が考えられる。 確認種数では水辺、樹林、草地の各環境で増加し、それぞれの環境が震災後に改善していると考えられた。</p> <p>【井土浦特別保護地区、阿武隈河口域】 平成25年度には、残存したクロマツ林周辺で猛禽類のオオタカ等が確認されており、これらの鳥類が生息可能な環境が維持されていると考えられる。</p> <p>【井土浦特別保護地区】 保護区指定範囲外に位置する旧藤塚地区湿地周辺の、震災後裸地化した場所においてシギ・チドリなどの水鳥が多数確認されており、水鳥等の飛来地の保全の観点上重要と考えられる。</p>
底生動物相	<p>【全体】 震災後、表在性の種を中心として種類数が減少した。 表在性のエビ・カニ類を中心とした回復が認められており、平成25年度の水域性・水域周辺性種の確認種数の増加は、こういった餌資源となる底生動物の増加も一因として考えられる。</p>
植物相	<p>【蒲生特別保護地区、阿武隈河口域】 鳥獣保護区を対象とした調査は、実施されているため、詳細が不明である。</p> <p>【井土浦特別保護地区】 震災後に林下に生育する種が消失しており、クロマツ林の消失が、植物相に与えた影響と考えられる。</p>
植生	<p>【全体】 海浜草地やヨシ原、クロマツ林などの植物群落などが減少した。その後、地形が急速に復元するなか、植生の復元には時間を要すると考えられる。</p> <p>【井土浦特別保護地区】 クロマツ林が大きく損なわれ、外来植物群落が新たに出現した。クロマツ林の消失と外来植物群落の侵入については、今後注意が必要と考えられる。</p>
地形	<p>【全体】 砂浜の消失、汀線の後退などが認められた。その後、自然の営力により地形が急速に復元するなか、河口域や砂浜の形状は刻々と変化し、地形は流動的である。震災前の安定した地形が復元するには時間を要すると考えられる。</p>
土地利用等	<p>【全体】 クロマツ植林を除き、概ね人手の入らない環境であったが、震災後は、復旧・復興事業の一環としての防災林の再造林や造成、防波堤などの海岸保全施設の整備による攪乱圧が増加している。</p> <p>【蒲生特別保護地区】 仙台市の蒲生北部地区の再整備事業として、新たな堤防建設が予定されていることから、鳥獣保護区範囲の再設定を含めた検討が必要と考えられる。</p>

4.3 鳥獣保護区の保護管理における課題

(1) 鳥獣保護区指定の目的に対する現況と課題

鳥獣保護区の指定の目的に対する平成25年度の現況を表 4.2に整理した。

表 4.2 鳥獣保護区指定の目的に対する現況と課題

地区	指定区分	注目される種	平成 25 年度の現況と課題
蒲生特別保護地区	集団渡来地の保護区	コクガン コアジサシ 水鳥類	<ul style="list-style-type: none"> ・コクガンは継続的に確認されており、蒲生特別保護地区がコクガンにとって重要な飛来地であると考えられる。 ・コアジサシの確認に適した初夏調査を行っておらず、現況の詳細は不明な点は課題として挙げられる。本種は平成 18 年度以降確認されておらず、衰退傾向にあるなかで、震災による砂浜の消失は影響が大きいと考えられる。一方、現在では砂浜は回復傾向にあり、本種の生息が回復する可能性は考えられる。 ・水鳥類では、ガン・カモ類、シギ・チドリ類の生息に大きな変化はなく、蒲生特別保護地区が水鳥類にとって重要な飛来地であると考えられる。
井土浦特別保護地区	集団渡来地の保護区	水鳥類	<ul style="list-style-type: none"> ・水鳥類では、ガン・カモ類、シギ・チドリ類の生息に大きな変化はなく、井土浦特別保護地区が水鳥類にとって重要な飛来地であると考えられる。
阿武隈河口域	集団渡来地の保護区	水鳥類	<ul style="list-style-type: none"> ・水鳥類では、ガン・カモ類、シギ・チドリ類の生息に大きな変化はなく、鳥獣保護区の中でももっとも水鳥類が多く確認された阿武隈河口域は、水鳥類にとって重要な飛来地であると考えられる。 ・平成 22 年度以降、コアジサシの飛来と営巣が確認されており、震災後も確認は継続している。以後のコアジサシの動向については注目する必要性が高い。

(2) 鳥獣保護区指定の範囲に対する現況と課題

鳥獣保護区指定の範囲に対する現況と課題を表 4.3に整理した。

表 4.3 鳥獣保護区指定の範囲に対する現況と課題

地区	平成 25 年度の現況
蒲生特別保護地区	・蒲生北部地区の再整備事業計画に関する事業計画「最終案」説明会資料(仙台市,2013)によると、鳥獣保護区の指定境界と交差する配置で堤防整備が計画されている。
井土浦特別保護地区	・井土浦特別保護地区では、クロマツ林が大きく損なわれ、外来植物群落が新たに出現した。 ・保護区指定範囲外に位置する旧藤塚地区の湿地で、震災後裸地化した場所においてシギ・チドリなどの水鳥が多数確認されており、水鳥等の飛来地の保全の観点上重要と考えられる。
阿武隈河口域	・保護区南東部分のラインは、地形、土地利用のいずれとも整合の取れない配置となっている。

5. モニタリング方針の検討

とりまとめた調査結果、考察をもとに、当該区域における鳥類・植物・底生動物に関するモニタリング方法を整理し、今後のモニタリング方針を検討した。また、当該区域の保護管理方法等による観点での整理を行った。

表 5.1 モニタリング方針の検討結果

項目	対象	モニタリング方法の課題	モニタリング方針
鳥類	コクガン、水鳥類	8～2月に8回(1回/月)の定点・ラインセンサス調査により、コクガン、水鳥類の実態は概ね把握されており、今後も同様な調査を継続することが望まれる。	平成 25 年度と同様の調査を維持する。
	コアジサシ	繁殖期である5～7月に調査を行っていないため、コアジサシの飛来・繁殖状況が不明である。	コアジサシの繁殖状況把握のための5～7月の調査を新たに追加する。
植物	植物相	平成 25 年度は調査を実施しておらず、震災以降は、阿武隈河口域の植物相調査が実施されていない。	震災後の植物相の実態を把握するため、阿武隈河口域での植物相調査を実施する。
	植生	震災直後に空中写真によって概略が把握されている。 外来種の新たな侵入は今後注意が必要である。 地形の回復や復旧・復興事業の完了後に、植生分布の把握を行うことが望ましい。	平成 24 年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 蒲生特別保護地区植生モニタリング業務(東北緑化環境保全 株式会社,2013)と同様に、現地調査を実施する。 5年おき程度に実施する。
底生動物	底生動物相	夏季、秋季の採集調査で、底生動物の実態は概ね把握されており、今後も同様な調査を継続することが望まれる。	平成25年度と同様な調査を維持する。

6. 資料編

< 調査結果詳細（生データ） >

- 鳥類調査票
- 鳥類調査地点の景観
- 底生動物調査票
- 写真帳

< 参考文献一覧 >

- 参考文献一覧

資料編 鳥類現地調査票

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 8:26	終了時刻 9:37	天候 曇	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	2	V		A2			倒木にとまる。
2	スズメ	3	VC		D1			
3	ササゴイ	1	VC		A3J1			幼鳥
4	コヨシキリ	1	S		E2			
5	スズメ	2	VC		E2			
6	コヨシキリ	1	S		E2			
7	ヒバリ	1	V		E1			
8	ダイサギ	1	V		J1			空中
9	ツバメ	1	V		J1			空中
10	コヨシキリ	1	S		E2			
11	アオジ	1	C		E2			
12	ササゴイ	1	V		D1			成鳥
13	ツバメ	1	VS		J1			空中
14	カワウ	1	V		A1			
15	カララヒワ	4	VC		E1			
16	キアシシギ	1	VC		D1			
17	イソシギ	1	VC		D1			
18	ハクセキレイ	4	VC		D1			
19	カワセミ	1	VC		A1			
20	カララヒワ	7	VC		E2			
21	ホオジロ	2	C		E2			
22	トビ	2	V		D2			
23	ウミネコ	1	V		J1			幼鳥
24	シロチドリ	7	V		D2			
25	メダイチドリ	1	V		D2			成鳥
26	ウミネコ	1	V		J1			空中
27	トビ	1	V		D2			倒木にとまる。
28	ハクセキレイ	3	VC		J1			空中
29	ツバメ	2	V		J1			空中
30	ダイサギ	1	V		D2			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 8:26	終了時刻 9:37	天候 曇	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ウミネコ	2	V		D2			
32	カルガモ	8	V		D2			
33	トビ	1	V		D2			倒木にとまる。
34	ハシボソガラス	1	V		D2			倒木にとまる。
35	チョウゲンボウ	1	V		D2			倒木にとまる。幼鳥
36	ハシボソガラス	2	V		D2			
37	オオセグロカモメ	1	V		D2			成鳥
38	ウミネコ	32	VC		J1			空中
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_B	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		30						10	20										20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 13:43	終了時刻 14:13	天候 曇	風の状況 普
------------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ウミネコ	29	√		D1			
2	カルガモ	12	√		D1			
3	オオセグロカモメ	1	√		D1			
4	ダイサギ	1	√		D1			
5	ウミネコ	29	√		A1			
6	オオセグロカモメ	3	√		A1			
7	ウミネコ	273	√		D2			
8	オオセグロカモメ	16	√		D2			
9	カワウ	17	√		D2			
10	カルガモ	4	√		D2			
11	コサギ	1	√		D2			
12	ダイサギ	1	√		D2			
13	アオサギ	8	√		D2			
14	ハシブトガラス	1	√		F2			倒木にとまる。
15	ミサゴ	1	√		F2			倒木にとまる。
16	ダイサギ	1	√		D1			
17	ウミネコ	1	√		D1			
18	ダイサギ	1	√		D1			
19	カルガモ	12	√		A2			
20	カルガモ	7	√		D2			
21	ササゴイ	1	√		A1			岸の倒木にとまる。幼鳥
22	カルガモ	3	√		D2			
23	カワウ	5	√		D2			
24	ササゴイ	1	√		D2			低空で岸の砂地に降り、探餌。成鳥
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_C	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		10		20		10	30											10

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 13:07	終了時刻 13:37	天候 曇	風の状況 普
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		J1			探餌飛翔
2	カルガモ	40	V		A2			
3	カルガモ	13	V		D2			
4	カワウ	2	V		A2			
5	ウミネコ	1	V		D2			
6	アオサギ	1	V		D2			
7	ダイサギ	1	V		D2			
8	ウミネコ	1	V		D2			
9	アオジ	1	S		E2			
10	コヨシキリ	1	S		E2			
11	スズメ	4	VC		E2			
12	ハシボソガラス	1	V		D1			
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視（Visual） S：さえずり（Song） C：地鳴き（Call） 他：その他（Other）

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_D	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		30		+		20		10	30											10

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 12:18	終了時刻 12:48	天候 曇	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	2	V		I2			
2	アオジ	1	S		E2			
3	カワラヒワ	1	VC		J1			空中
4	ササゴイ	1	V		A2			幼鳥
5	ササゴイ	1	V		A2			倒木上にとまる。成鳥
6	オオヨシキリ	1	VC		E2			
7	チョウゲンボウ	1	V		F3			飛翔途中で探餌。移動後クロマツにとまる。幼鳥。
8	ヨシキリ	1	S		E2			
9	カワラヒワ	1	VC		F3			No.7を警戒
10	カワウ	2	V		A2			飛翔移動後、着水
11	キジバト	1	V		J1			空中
12	ドバト	14	V		J1			空中
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_E	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		20		50		10												

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 10:18	終了時刻 10:48	天候 曇	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	√		F3			中州クロマツにとまる。成鳥。
2	アオサギ	2	√		F3			
3	ダイサギ	1	√		A2			
4	ウミネコ	1	√		J1			幼鳥
5	ウミネコ	1	√		J1			成鳥
6	ウミネコ	7	√		J1			空中
7	ウミネコ	3	√		J1			空中
8	ミサゴ	1	√		J1			成鳥、足に魚を保持して飛翔。
9	ハシボソガラス	2	√		F3			
10	シロチドリ	2	√		D2			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_F	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				10		70		+												

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 11:06	終了時刻 11:36	天候 曇	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	28	V		D2			
2	カルガモ	25	V		A2			
3	カワウ	2	V		D2			
4	ダイサギ	1	V		A2			
5	コサギ	1	V		A2			
6	ダイサギ	1	V		A2			
7	ウミネコ	1	V		D2			
8	ヒバリ	1	VC		J1			空中
9	カルガモ	9	V		A2			
10	アオサギ	2	V		A2			
11	ハシボソガラス	1	V		D2			
12	カルガモ	4	V		A2			
13	ウミネコ	1	V		D2			
14	トビ	1	V		D2			倒木にとまる。
15	ウミネコ	76	V		D2			
16	ハシボソガラス	2	V		D2			
17	ウミネコ	202	V		D2			
18	オオセグロカモメ	6	V		D2			
19	カワウ	16	V		D2			
20	カルガモ	1	V		D2			
21	カルガモ	3	V		D2			
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_G	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+								10

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 8:00	終了時刻 15:06	天候 曇	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	1	C		E2			
2	オオヨシキリ	1	VS	囀り	E2			
3	オオヨシキリ	1	VS	囀り	E2			
4	ヒヨドリ	1	VC		E2F3			
5	モズ	1	VC		F3			
6	モズ	1	VC		F3			
7	カラヒワ	6	VC		E2			
8	キジバト	1	V		I2			電線
9	カワセミ	1	VC		A2J1			幼鳥
10	キアシシギ	1	V		A2			倒木にとまる。成鳥
11	スズガモ	1	V		D1			
12	カルガモ	1	V		I2			
13	スズガモ	1	V		A2			遊泳、
14	ミサゴ	1	V		A2			水浴び後、飛翔
15	カルガモ	9	V	移動性の低い巣立ち雛	A2			雛6
16	コヨシキリ	1	VS	囀り	E2			
17	ホオアカ	1	VC		E2			
18	シジュウカラ	1	C		F3			
19	ササゴイ	1	VC		D1			
20	オオヨシキリ	1	C		E2			
21	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
22	コヨシキリ	1	S	囀り	E2			
23	ハシブトガラス	2	VC		F3			
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_H	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20								10

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 8:00	終了時刻 9:15	天候 曇	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	カワウ	2	V		F3			
2	トビ	1	V	移動性の低い巣立ち雛	F3			
3	ハシブトガラス	2	V		F3			
4	トビ	1	V		F3			
5	ハクセキレイ	2	V	移動性の高い巣立ち雛	I2			
6	アオサギ	1	V		J1			空中
7	モズ	1	C		E2			
8	スズメ	2	V		F3			
9	ホオジロ	1	C		J1			空中
10	モズ	2	C	移動性の高い巣立ち雛	E2			
11	キジバト	2	V	家族群	E1			
12	ホオジロ	1	S	囀り	F1			
13	モズ	1	V		F1			
14	キジバト	1	V		F3			
15	ホオジロ	1	S	囀り	F1			
16	ツバメ	1	V		J1			空中
17	アオジ	1	S	囀り	F1			
18	オオヨシキリ	2	C	移動性の高い巣立ち雛	E2			
19	カララヒワ	2	V		J1			空中
20	ハシブトガラス	3	V	家族群	F3			
21	ハクセキレイ	2	V	移動性の高い巣立ち雛	I2			
22	ツバメ	2	V		J1			空中
23	カルガモ	2	V		A3			
24	スズメ	1	V		E1			
25	ホオジロ	1	V		E1			
26	ハクセキレイ	2	V		I2			
27	ダイサギ	1	V		F3			
28	オオヨシキリ	2	V		E2			
29	カララヒワ	2	V		J1			空中
30	スズメ	2	V		F3			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_H	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		10		10					30	+		20							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 8:00	終了時刻 9:15	天候 曇	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
31	スズメ	1	V		J1			空中
32	カワラヒワ	7	V	家族群	E1			
33	アオサギ	1	V		J1			空中
34	スズメ	4	V		J1			空中
35	オオタカ	1	VC	移動性の高い巣立ち雛	F3			餌乞い
36	カルガモ	1	V		J1			空中
37	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_1	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 12:15	終了時刻 12:45	天候 曇	風の状況 普
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	25	V		A1			
2	ハシブトガラス	3	V	移動性の高い巣立ち雛	F2			
3	トビ	2	V	移動性の高い巣立ち雛	F2			
4	コサギ	1	V		D2			
5	キアシシギ	5	V		J1			空中
6	カワウ	1	V		J1			空中
7	アオジ	1	C		E2			
8	ウグイス	1	S	囀り	E2			
9	ウミネコ	5	V		J1			空中
10	キョウジョシギ	1	V		J1			空中
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_J	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+										

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 10:05	終了時刻 10:35	天候 曇	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	チュウサギ	1	V		A3			
2	ハクセキレイ	1	V		F3			枯れ木
3	ウミネコ	1	V		I2			
4	カルガモ	3	V		I2			
5	カワウ	1	V		A3			
6	カルガモ	3	V		D1			
7	ホオジロ	1	V		F3			枯れ木
8	カワラビフ	7	V		J1			空中
9	ウミネコ	3	V		J1			空中
10	スズメ	1	V		E1			
11	ダイサギ	1	V		J1			空中
12	ツバメ	2	V		J1			空中
13	トビ	1	V		J1			空中
14	ミサゴ	1	V		J1			空中
15	キアシシギ	1	C					
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_K	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						10		20	20		40								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 11:25	終了時刻 11:55	天候 曇	風の状況 普
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	1	V		F3			
2	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
3	スズメ	5	V		F3			
4	ハクセキレイ	2	V		F3			
5	カワラヒワ	1	C		J1			空中
6	ウグイス	1	S	囀り	F3			
7	シジュウカラ	1	S	囀り	F3			
8	ミサゴ	1	V		J1			空中
9	ツバメ	1	V		J1			空中
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_L	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 群 落 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ん ど ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20					10													30	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 13:10	終了時刻 13:40	天候 曇	風の状況 普
------------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ウミネコ	35	√		D2			
2	オオセグロカモメ	2	√		D2			
3	ウミネコ	400	√		D2			
4	オオセグロカモメ	10	√		D2			
5	トビ	1	√		J1			空中
6	カワウ	2	√		I2			
7	ミサゴ	1	√		J1			空中
8	ハシブトガラス	2	√		D2			
9	ウミネコ	10	√		J1			空中
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_M	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 10:45	終了時刻 11:15	天候 曇	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	オオタカ	2	VC	移動性の高い巣立ち雛	F3			
2	ホオジロ	1	S	囀り	F1			
3	スズメ	4	C		F3			
4	ハシブトガラス	2	V		F3			
5	ウグイス	1	S	囀り	F1			
6	カワラヒワ	1	S	囀り	F3			
7	アオサギ	2	V		A3			
8	ミサゴ	1	V		F3			
9	ハシボソガラス	1	V		F3			
10	アオジ	1	C		F1			
11	コゲラ	1	C		F3			
12	シジュウカラ	1	C		F3			
13	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
14	アオサギ	2	V		A3			
15	ダイサギ	1	V		A3			
16	カワウ	2	V		F3			
17	ツバメ	2	V		J1			空中
18	トビ	1	V		J1			空中
19	セグロセキレイ	1	V		J1			空中
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視（Visual） S：さえずり（Song） C：地鳴き（Call） 他：その他（Other）

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_N	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20								10

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月27日	開始時刻 9:00	終了時刻 14:00	天候 曇	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	キジ	3	V	移動性の低い巣立ち雛	E2			
2	セッカ	1	S	囀り	E2			
3	ムクドリ	5	C		F3			
4	ヒヨドリ	1	C	移動性の高い巣立ち雛	F3			
5	カンムリカイツブリ	1	V		A1			
6	オオタカ	3	V	移動性の高い巣立ち雛	F3			餌乞い
7	オオタカ	1	V	巣のみ	J1			空中
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_0	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+								20

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月28日	開始時刻 8:42	終了時刻 10:15	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	1	VS	囀り	F1			クロマツ立枯れにとまる。
2	スズメ	1	C		F1			
3	トビ	1	V		J1			空中
4	スズメ	2	VC		D2			
5	ハクセキレイ	1	VC		D2			
6	ヒバリ	1	VC		D2			
7	ハシブトガラス	1	V		I2			電柱
8	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
9	ウミネコ	2	V		A3			成鳥、幼鳥
10	アオジ	1	S	囀り	F3			
11	カワラヒワ	3	VC		F3			
12	ゴイサギ	1	V		F3			幼鳥
13	ウグイス	1	S	囀り	F3			
14	ササゴイ	1	V		F2F2			
15	ホオジロ	1	S	囀り	F2			
16	スズメ	5	VC		E2			モズを警戒
17	ホオアカ	1	VC		E2			モズを警戒
18	モズ	1	V		E2			
19	ウミネコ	1	V		A2J1			空中
20	カワウ	1	V		A2			
21	ハクセキレイ	1	V		I2			
22	ヒバリ	1	VC		D3			
23	キジバト	1	V		F1			
24	ホオジロ	2	VC		F1			
25	ウグイス	1	C		F1			
26	メジロ	1	C		F1			
27	ホオアカ	1	VS	囀り	F1			
28	カルガモ	2	V		J1			空中
29	セッカ	1	C		E2			
30	セッカ	1	C		E2			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_0	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
+	20			+		20		10	20		+	+								20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月28日	開始時刻 8:42	終了時刻 10:15	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ホオアカ	1	C		F1			
32	カワラヒワ	2	C		F1			
33	ホオジロ	1	VS	囀り	F1			
34	メジロ	1	C		F1			
35	ツバメ	1	V		J1			空中
36	スズメ	3	VC		F1			
37	スズメ	3	VC		I2			公園のあずまや
38	セグロセキレイ	1	VC		J1			空中
39	ウミネコ	1	V		J1			空中
40	スズメ	6	VC		E2			
41	カワラヒワ	4	VC		E2			
42	スズメ	2	C		F2			
43	ムクドリ	1	C		F2			
44	スズメ	1	C		E2			
45	ウミネコ	2	V		I2			
46	カワラヒワ	2	VC		I2			水浴び
47	ヒバリ	2	VC		I2			
48	ホオアカ	1	S	囀り	F1			
49	ウミネコ	1	V		A2			
50	スズメ	1	VC		I2			
51	ホオアカ	1	VS	囀り	I2			
52	イソシギ	1	VC		J1			空中
53	スズメ	2	VC		E2			
54	ウミネコ	1	V		J1			空中
55	ホオアカ	1	VS	囀り	E2			
56	スズメ	2	VC		E2			
57	ヒバリ	1	VC		E2			
58	ハクセキレイ	1	VC		D3			幼鳥
59	ウミネコ	1	V		D2			
60	スズメ	4	VC		E1			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名	地区名	調査年度
東北地方環境事務所	阿武隈川河口域	2013

調査地区	地点番号	地点名	調査方法
	B1_0	L-1	ラインセンサス法

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+								20

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	夏季	2013年7月28日	8:42	10:15	晴	弱

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
61	スズメ	2	VC		E1			
62	ウミネコ	3	V		I2			
63	コチドリ	1	VC		J1			空中
64	トビ	1	V		J1			空中
65	ハクセキレイ	1	V		D3			
66	ノスリ	1	V		J1			トビにモビング
67	カワラヒワ	3	VC		J1			空中
68	ホオアカ	1	C		E1			
69	ヒバリ	1	VC		E1			
70	スズメ	4	VC		E2			
71	ヒバリ	1	VC		E2			
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_P	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	20			10		30		10	20	10										

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月28日	開始時刻 8:40	終了時刻 9:10	天候 曇	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
2	スズメ	4	V		F3			
3	アオサギ	1	V		I2			
4	ウミネコ	1	V		J1			空中
5	カワウ	2	V		I2			
6	トビ	1	V		J1			空中
7	カワウ	6	V		I2			
8	ダイサギ	1	V		I2			
9	カワラヒワ	2	C		J1			空中
10	ハクセキレイ	1	V		D2			
11	ヒバリ	2	V		J1			空中
12	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
13	チュウサギ	1	V		J1			空中
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_Q	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	20							+	10	+		20								30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月28日	開始時刻 9:18	終了時刻 9:48	天候 曇	風の状況 普
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	10	V	移動性の高い巣立ち雛	D2			
2	ハクセキレイ	1	V		D2			
3	ダイサギ	1	V		A3			
4	スズメ	1	C		E2			
5	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
6	カワラヒワ	1	S	囀り	F3			
7	ハシボソガラス	1	V		F3			
8	スズメ	2	V	移動性の高い巣立ち雛	F3			
9	セグロセキレイ	2	V	移動性の高い巣立ち雛	I2			
10	ウミネコ	2	V		D2			
11	ハシブトガラス	1	V		F3			
12	ツバメ	2	V		J1			空中
13	アオサギ	1	V		D2			
14	セッカ	1	S	囀り	J1			空中
15	ミサゴ	1	V		J1			空中
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_R	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			+				10	20	+	20									10

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月28日	開始時刻 11:24	終了時刻 11:54	天候 晴	風の状況 普
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	アオジ	1	S	囀り	F2			
2	ホオジロ	1	S	囀り	F2			
3	ハシブトガラス	1	C		F2			
4	カワラヒワ	1	C		F2			
5	スズメ	2	C		F2			
6	ウグイス	1	S	囀り	F2			
7	カワウ	1	V		J1			空中
8	ウミネコ	1	V		J1			空中
9	コゲラ	1	C		F2			
10	ハシボソガラス	4	V	移動性の高い巣立ち雛	D2			
11	アオジ	1	V	移動性の高い巣立ち雛	F1			
12	アオサギ	1	V		D2			
13	シジュウカラ	1	S	囀り	F2			
14	モズ	1	C		F2			
15	ヒヨドリ	1	C		F2			
16	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
17	セッカ	1	S	囀り	J1			空中
18	ツバメ	3	V		J1			空中
19	ヒバリ	1	C		J1			空中
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_S	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	30				+				10	20										30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月28日	開始時刻 10:40	終了時刻 11:10	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	セッカ	1	S	囀り	E2			
2	スズメ	1	C		I2			
3	ホオアカ	1	C		E2			
4	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
5	ウミネコ	4	V		J1			空中
6	コサギ	1	V		J1			空中
7	アオサギ	1	V		J1			空中
8	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
9	トビ	1	V		J1			空中
10	カワウ	1	V		J1			空中
11	ホオアカ	1	S	囀り	I2			
12	カワラヒワ	1	C		J1			空中
13	ササゴイ	1	V		I2			
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_T	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			10				10	20	10									20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月28日	開始時刻 10:28	終了時刻 10:58	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒバリ	1	VC		E1J1			空中
2	スズメ	1	VC		E1J1			空中
3	ウミネコ	1	V		J1			空中
4	カワウ	71	V		I2			杭などにとまる。
5	カルガモ	5	V		D1			
6	スズガモ	5	V		D1			
7	カルガモ	142	V		I2			消波ブロック
8	ホシハジロ	1	V		I2			、消波ブロック(+杭)
9	マガモ	2	V		I2			消波ブロック
10	ウミネコ	1	V		I2			杭にとまる。
11	キアシシギ	3	V		I2			消波ブロック
12	アオサギ	4	V		I2			消波ブロック
13	セッカ	1	S	囀り	E1			
14	ハクセキレイ	1	VC		J1			空中
15	ダイサギ	1	V		I2			消波ブロック
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B1_U	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 1	時期 夏季	調査年月日 2013年7月28日	開始時刻 8:00	終了時刻 14:45	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	100	VC		A3			
2	キアシシギ	1	V		A3			
3	チュウシャクシギ	2	V		D1			越夏個体と考えられる。
4	セッカ	1	VS	囀り	E2			
5	ウミネコ	4	V		D3			
6	ミサゴ	1	V		A2			岩にとまり採餌
7	ヒバリ	1	VC	巣不明で餌運び	E1			
8	ハシボソガラス	2	V		I2			
9	ダイサギ	4	V		D1			
10	コサギ	1	V		D1			
11	ウミネコ	3	V		D1			
12	ムクドリ	5	VC		F3			
13	オオセグロカモメ	1	V		A2			魚の死体を摂食
14	ウミネコ	3	V		I2			
15	ハシボソガラス	1	V		I2			
16	キンクロハジロ	1	V		A2			
17	ドバト	1	V		I2			電線にとまる。
18	コチドリ	1	V		D3			
19	シロチドリ	1	V		D3			
20	ウスラ	1	S	囀り	E2			
21	ダイサギ	3	V		D1			
22	コサギ	1	V		D1			
23	ミサゴ	1	V		A2			水浴び
24	ダイサギ	1	V		D1			
25	オオタカ	2	VC	移動性の高い巣立ち雛	F3			餌乞い鳴き
26	オオタカ	1	V	巣のみ	F3			林床に糞痕あり
27	オオタカ	1	C	他Bランク	F3			餌運搬時の声と推測
28	アオサギ	15	V	巣のみ	F2			
29	アオサギ	7	V	巣内雛の目視	F2			
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 原田慈照

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 8:40	終了時刻 13:00	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワラヒワ	6	V		E1J1			空中
2	ヒバリ	1	C		E1			
3	ハクセキレイ	1	VC		E1			
4	イソシギ	1	VC		D1			
5	スズメ	30	V		E1			
6	セッカ	1	S		E1			
7	スズメ	10	V		E2			
8	カワウ	1	V		J1			空中
9	ハクセキレイ	5	V		D1			
10	カワウ	1	V		J1			空中
11	ミサゴ	2	V		J1			空中
12	セッカ	1	V		E2			
13	ダイサギ	1	V		A2			
14	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
15	アオサギ	1	V		F1			
16	スズメ	7	V		G1			
17	ホオジロ	1	C		E1			
18	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
19	コサギ	1	V		A2			
20	ダイサギ	1	V		A2			
21	ウミネコ	1	V		J1			空中
22	シロチドリ	1	V		D2			
23	ウミネコ	2	V		J1			空中
24	ハクセキレイ	2	V		D2			
25	カワウ	1	V		J1			空中
26	シロチドリ	4	V		D2			
27	カワウ	2	V		A2			
28	コサギ	1	V		A2			
29	ウミネコ	1	V		A2			
30	ウミネコ	1	V		A2			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 8:40	終了時刻 13:00	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ダイサギ	1	V		A2			
32	カワウ	1	V		D2			
33	カワウ	1	V		J1			空中
34	ウミネコ	1	V		J1			空中
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_B	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		30						10	20											20

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 8:00	終了時刻 8:30	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	5	V		I2			水門
2	トビ	1	V		I2			水門
3	ウミネコ	34	V		D1			
4	オオセグロカモメ	1	V		D1			
5	カルガモ	15	V		A1D1			
6	カルガモ	15	V		A1			導流堤ガレキ
7	ササゴイ	1	V		A1			
8	ツバメ	4	V		J1			空中
9	ムクドリ	30	V		E1			
10	カワウ	4	V		D1			
11	アオサギ	1	V		D2			
12	ダイサギ	1	V		A1			
13	アオサギ	1	V		A1			
14	カワウ	7	V		A1F3			クロマツ朽木
15	アオサギ	2	V		A1			
16	ダイサギ	3	V		A1			
17	コサギ	1	V		D2			
18	アオサギ	1	V		A1			
19	スズメ	10	V		D2E2			
20	ハクセキレイ	1	VC		D2			
21	ヒバリ	1	C		E1			
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_C	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た まり			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		10		20		10	30										10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 8:55	終了時刻 9:25	天候 晴	風の状況 普
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ハクセキレイ	1	V		D3			
2	ウミネコ	1	V		D2			
3	カワウ	1	V		J1			空中
4	ツバメ	1	V		J1			空中
5	ウミネコ	1	V		J1			空中
6	ウミネコ	1	V		D1			
7	トビ	1	V		J1			空中
8	スズメ	5	C		E1			
9	ノスリ	1	V		J1			空中
10	ハシボソガラス	2	V		D1			
11	カルガモ	2	V		D1			
12	アオサギ	1	V		D1			
13	ウミネコ	1	V		J1			空中
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_D	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		30		+		20		10	30										10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 9:43	終了時刻 10:13	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ツバメ	1	V		J1			空中
2	アオサギ	3	V		F3			
3	コサギ	1	V		G1			
4	アオサギ	1	V		A2			
5	オオヨシキリ	1	S		E2			
6	カワウ	3	V		A2			
7	アオサギ	1	V		J1			空中
8	カワウ	2	V		A2			
9	イソシギ	1	C		D1			
10	カルガモ	5	V		A2			
11	イソシギ	1	V		D1			
12	カワウ	1	V		A2			
13	ツバメ	3	V		J1			空中
14	ハクセキレイ	1	V		J1			ツバメに追われる
15	トビ	1	V		D1			
16	ダイサギ	1	V		A2			
17	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
18	トビ	1	V		J1			空中
19	イソシギ	1	V		D1			
20	オオヨシキリ	2	C		E2			
21	ミサゴ	1	V		J1			空中
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_E	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		20		50		10												

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 10:50	終了時刻 11:20	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオアカ	1	S		E2			
2	ミサゴ	1	V		D1			
3	ハシボソガラス	1	V		D1			ミサゴの食べるのを見ている
4	ミサゴ	2	V		F2			No.2と別個体
5	ハクセキレイ	1	V		D1			
6	スズメ	1	V		E1			
7	コサギ	1	V		A3			
8	トビ	1	V		E1			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_F	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				10		70		+												

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 11:58	終了時刻 12:28	天候 晴	風の状況 普
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	38	V		D2			
2	ウミネコ	244	V		D2			
3	オオセグロカモメ	14	V		D2			1羽が餌乞い
4	ダイサギ	1	V		A1			
5	ミユビシギ	9	V		D2			
6	ウミネコ	50	V		A1			海上
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_G	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 13:00	終了時刻 14:00	天候 晴	風の状況 普
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_H	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 7:50	終了時刻 9:10	天候 曇	風の状況 無
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ハクセキレイ	1	C		I2			
2	ツバメ	2	V		J1			空中
3	イソシギ	1	V		I2			
4	スズメ	2	V		I2			
5	キジバト	1	V		J1			空中
6	ムクドリ	50	V		J1			空中
7	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
8	ミサゴ	1	V		J1			空中
9	チョウゲンボウ	1	V		J1			空中
10	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
11	カワウ	2	V		J1			空中
12	ハシボソガラス	2	V		F2			
13	カルガモ	2	V		I2			
14	トビ	1	V		F3			
15	ミサゴ	2	VC		J1			空中
16	ホオジロ	1	S	囀り	E2			
17	スズメ	2	V		E2			
18	ハヤブサ	1	V		F3			
19	ウグイス	1	C		E2			
20	モズ	1	V		E2			
21	キジバト	1	VS	囀り	F2			
22	ハクセキレイ	2	V		F3			
23	スズメ	2	V		F3			
24	ハシブトガラス	3	V		F3			
25	シジュウカラ	1	C		F3			
26	コゲラ	1	C		F3			
27	アオサギ	9	V		D2			
28	カワラヒワ	1	C		J1			空中
29	トビ	1	V		F3			
30	ダイサギ	3	V		D2			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_H	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
20		10		10					30	+		20								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 7:50	終了時刻 9:10	天候 曇	風の状況 無
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	モズ	1	C		E2			
32	ホオジロ	1	C		E2			
33	ホオアカ	1	VS	囀り	E2			
34	カワラヒワ	1	V		F3			
35	トビ	1	V		F3			
36	ツバメ	2	V		J1			空中
37	カルガモ	8	V		D2			
38	カワセミ	1	V		F1			
39	カイツブリ	1	V		A1			
40	スズメ	20	V		E2			
41	ハクセキレイ	1	V		I2			
42	ハシブトガラス	6	V		F3			
43	ノスリ	1	V		F3			
44	ホオジロ	1	C		D1			
45	ハヤブサ	2	V		J1			空中
46	ミサゴ	2	V		F3			
47	コゲラ	1	C		F3			
48	アオサギ	2	V		D1			
49	ハシブトガラス	2	V		F3			
50	カワウ	1	V		J1			空中
51	ダイサギ	3	V		D1			
52	ハクセキレイ	4	V		F3			
53	シジュウカラ	2	C		F3			
54	スズメ	10	V		F3			
55	ホオジロ	1	S	囀り	E2			
56	モズ	1	C		D1			
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_1	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 12:00	終了時刻 12:30	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	イソシギ	2	V		I2			
2	カルガモ	4	V		A1			
3	カワラヒワ	1	C		J1			空中
4	ウミネコ	1	V		D1			
5	ハシボソガラス	1	V		D1			
6	ハシブトガラス	1	V		F2			
7	ダイサギ	1	V		F2			
8	スズメ	1	C		E2			
9	ツバメ	2	V		A1			
10	カワセミ	1	V		F2			
11	オオセグロカモメ	2	V		F2			
12	シロチドリ	1	C		D1			
13	トビ	1	V		J1			空中
14	ミサゴ	1	V		J1			空中
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_J	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+										

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 11:15	終了時刻 11:45	天候 晴	風の状況 普
------------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ハシブトガラス	5	V		D1			
2	ダイサギ	4	V		D1			
3	アオサギ	7	V	移動性の高い巣立ち雛	D1			
4	オオタカ	1	V	移動性の高い巣立ち雛	J1			空中
5	ハシブトガラス	8	V		D1			
6	ハクセキレイ	1	V		D1			
7	ホオジロ	2	C		E2			
8	ハシボソガラス	2	V		I2			
9	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
10	スズメ	1	V		E2			
11	ミサゴ	1	V		J1			空中
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_K	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
						10		20	20		40								10		

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 9:55	終了時刻 10:25	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	1	VS	囀り	F1			
2	モズ	1	C		F1			
3	ハシブトガラス	1	V		F3			
4	スズメ	2	C		F1			
5	カワラヒワ	1	C		J1			空中
6	ツバメ	2	V		J1			空中
7	カルガモ	3	V		J1			空中
8	オオタカ	1	V	移動性の高い巣立ち雛	J1			空中
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_L	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20					10													30	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 12:50	終了時刻 13:20	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	17	√		D2			
2	オオセグロカモメ	2	√		D2			
3	ミサゴ	1	√		F3			流木
4	ミサゴ	1	√		F3			流木
5	ウミウ	1	√		I2			テトラポッド
6	ハクセキレイ	1	√		I2			テトラポッド
7	イソシギ	1	√		I2			テトラポッド
8	トビ	1	√		F3			流木
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_M	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 10:35	終了時刻 11:05	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	アオサギ	2	V	移動性の高い巣立ち雛	D1			
2	ダイサギ	2	V		F3			
3	ホオジロ	1	V		E2			
4	ミサゴ	1	V		F3			
5	カルガモ	3	V		D1			
6	アオサギ	7	V	移動性の高い巣立ち雛	D1			
7	スズメ	2	V		J1			空中
8	ハクセキレイ	1	V		I2			
9	カワウ	2	V		F3			
10	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
11	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
12	トビ	2	V		J1			空中
13	モズ	1	S		E2			
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_N	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20								10

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月22日	開始時刻 9:20	終了時刻 14:00	天候 晴	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	オオタカ	1	V	移動性の高い巣立ち雛	F3			
2	オオタカ	1	V	移動性の高い巣立ち雛	F3			
3	キアシシギ	1	C		J1			空中
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_0	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+								20

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月23日	開始時刻 8:15	終了時刻 10:15	天候 曇	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	1	V		F3			
2	トビ	1	V		F3			
3	カワラヒワ	2	C		J1			空中
4	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
5	ツバメ	1	V		J1			空中
6	ハシボソガラス	1	V		F3			
7	スズメ	2	V		F3			
8	セッカ	1	S	囀り	J1			空中
9	ハシボソガラス	3	V		D2			
10	ハクセキレイ	1	V		D2			
11	ハクセキレイ	1	V	移動性の高い巣立ち雛	I2			
12	ハシボソガラス	1	V		F3			
13	スズメ	1	C		F3			
14	モズ	1	C		F3			
15	ホオジロ	1	S	囀り	E2			
16	スズメ	4	V		F2			
17	ウグイス	1	C		E2			
18	キジバト	1	S	囀り	F2			
19	ウミネコ	1	V		J1			空中
20	カワラヒワ	2	C		J1			空中
21	ウミネコ	1	V		A2			
22	ホオジロ	1	S	囀り	F1			
23	ムクドリ	20	V		J1			空中
24	ホオアカ	5	V	移動性の高い巣立ち雛	E2			
25	セッカ	7	V	移動性の高い巣立ち雛	E2			
26	ツバメ	10	V		J1			空中
27	カワラヒワ	3	V		E2			
28	ホオアカ	1	VS	囀り	F1			
29	スズメ	2	C		F1			
30	セッカ	1	VS	囀り	E2			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_0	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
+	20			+		20		10	20		+	+								20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月23日	開始時刻 8:15	終了時刻 10:15	天候 曇	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ダイサギ	1	V		A2			
32	ウミネコ	1	V		J1			空中
33	ホオアカ	1	V		E2			
34	セッカ	4	V		E2			
35	スズメ	3	V		F2			
36	コサギ	1	V		A2			
37	カイツブリ	1	V		A2			
38	シジュウカラ	2	C		F2			
39	ヒバリ	1	C		E2			
40	トビ	1	V		J1			空中
41	ハシボソガラス	3	V		D1			
42	オオセグロカモメ	1	V		D1			
43	ダイサギ	4	VS		A2			
44	カワラヒワ	1	C	囀り	F2			
45	カワセミ	1	V		F1			
46	スズメ	2	V		F1			
47	カワウ	1	V		J1			空中
48	ウミネコ	1	V		J1			空中
49	イソシギ	4	V		A1			
50	スズメ	10	V		E2			
51	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
52	ハクセキレイ	1	V		I2			
53	セグロセキレイ	1	V		H2			
54	アオサギ	1	V		A2			
55	ウミネコ	1	V		J1			空中
56	ヒバリ	1	V		E2			
57	カワラヒワ	1	C		J1			空中
58	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
59	トビ	1	V		I2			
60	ウミネコ	5	V		I2			水門

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名	地区名	調査年度
東北地方環境事務所	阿武隈川河口域	2013

調査地区	地点番号	地点名	調査方法
	B2_0	L-1	ラインセンサス法

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+								20

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2013年8月23日	8:15	10:15	曇	弱

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
61	スズガモ	4	√		A2			
62	ホシハジロ	2	√		A2			
63	イソシギ	3	√		D1			
64	ハクセキレイ	1	√		D1			
65	コサギ	1	√		D1			
66	アオアシシギ	9	√		D1			
67	ウミネコ	2	√		J1			空中
68	ソリハシシギ	5	√		D1			
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

√：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分¹」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_P	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	20			10		30		10	20	10										

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月23日	開始時刻 8:55	終了時刻 9:25	天候 曇	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	11	V		D1			
2	ダイサギ	4	V		A2			
3	コサギ	1	V		A2			
4	ウミネコ	2	V		D1			
5	カワラビウ	3	V		E2			
6	ダイサギ	3	V		A2			
7	ウミネコ	2	V		J1			空中
8	アオサギ	1	V		A2			
9	ウミネコ	1	V		D1			
10	コサギ	1	V		A2			
11	トビ	1	C		E2			
12	アオサギ	8	V		A2			
13	ダイサギ	2	V		A2			
14	コサギ	1	V		A2			
15	アオサギ	2	V		A2			防波堤跡
16	ダイサギ	2	V		A2			防波堤跡
17	カワウ	1	V		A2J1			防波堤跡
18	トビ	1	V		J1			空中
19	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
20	ウミネコ	1	V		A2			
21	オオセグロカモメ	1	V		A2			
22	オオヨシキリ	1	C		E2			
23	オオセグロカモメ	2	V		D2			
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_Q	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	20							+	10	+		20								30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月23日	開始時刻 8:10	終了時刻 8:40	天候 曇	風の状況 無
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	4	V		D1			
2	モズ	1	C		F3			
3	ハシブトガラス	1	C		F3			
4	ダイサギ	1	V		J1			空中
5	ダイサギ	1	V		A2			
6	ダイサギ	5	V		A2			
7	チュウサギ	1	V		A2			
8	コサギ	3	V		A2			
9	カルガモ	9	V		A2			
10	ミサゴ	1	V		A2			岩の上
11	ハシボソガラス	1	V		D1			
12	アオサギ	1	V		D1			
13	ツバメ	20	V		J1			空中
14	ハクセキレイ	1	VC		D1			
15	アオサギ	1	V		A2			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_R	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			+				10	20	+	20								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月23日	開始時刻 9:53	終了時刻 10:23	天候 曇	風の状況 無
------------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ダイサギ	14	V		A2			
2	コサギ	4	V		A2			
3	アオサギ	3	V		A2			
4	ウミネコ	2	V		D1			
5	ハシボソガラス	3	V		D1			
6	ハクセキレイ	1	V		D1			電線
7	ハシブトガラス	1	V		I2			
8	ツバメ	100	V		J1			空中
9	トビ	1	V		J1			空中
10	ホオアカ	1	S		E1			
11	ホオアカ	1	S		F1			
12	アオサギ	4	V		A2			
13	ダイサギ	2	V		A2			
14	コサギ	1	V		A2			
15	ツバメ	2	V		J1			空中
16	カワウ	1	V		A2			
17	セッカ	1	C		E2			
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_S	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	30				+				10	20										30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月23日	開始時刻 10:49	終了時刻 11:19	天候 曇	風の状況 無
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワセミ	1	V		A1			
2	アオアシシギ	11	V		D1			
3	アオサギ	1	V		D1			
4	セッカ	1	C		E1			
5	イソシギ	2	V		I2			水管
6	ホオアカ	1	S		E1			
7	ウミネコ	17	V		D1			
8	スズガモ	5	V		A2			
9	アオサギ	1	V		D1			
10	コサギ	1	V		A2			
11	アオサギ	2	V		D1			
12	ダイサギ	1	V		A2			
13	ウミネコ	1	V		J1			空中
14	ハシボソガラス	1	V		D1			
15	ウスラシギ	1	V		D1			
16	ダイサギ	7	V		A2			
17	コサギ	2	V		A2			
18	オオセグロカモメ	2	V		D1			
19	ダイサギ	1	V		A2			
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分¹」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_T	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			10				10	20	10									20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月23日	開始時刻 11:44	終了時刻 12:14	天候 曇	風の状況 普
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	オグロシギ	12	V		D1			
2	アオアシシギ	5	V		D1			
3	アオサギ	5	V		D1			
4	トウネン	1	V		D1			
5	ウスラシギ	2	V		D1			
6	ツバメ	2	V		J1			空中
7	ウミネコ	3	V		D1			
8	オオセグロカモメ	1	V		D1			
9	ハシブトガラス	3	V		D1			
10	ハシボソガラス	1	V		D1			
11	ウミウ	1	V		D1			
12	ウミネコ	18	V		D1			
13	ダイサギ	1	V		A2			
14	ダイサギ	1	V		A2			
15	ウミネコ	1	V		J1			空中
16	ホオアカ	1	S		E2			
17	ダイサギ	1	V		A2			
18	セッカ	1	S		E2			
19	トウネン	30	V		J1			空中
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B2_U	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 2	時期 夏季	調査年月日 2013年8月23日	開始時刻 10:15	終了時刻 14:00	天候 曇	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 8:30	終了時刻 13:02	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボトガラス	1	V		D1			
2	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
3	カワウ	1	V		J1			空中
4	スズメ	1	V		J1			空中
5	カワウ	1	V		J1			空中
6	スズメ	20	V		E2			
7	セッカ	1	V		J1			空中
8	オオヨシキリ	1	C		E2			
9	セッカ	1	C		E2			
10	セッカ	1	V		E2			
11	セッカ	1	C		E2			
12	ヒバリ	1	V		D3			
13	ヒバリ	1	V		D3			
14	カルガモ	3	V		A2I2			
15	アオサギ	1	V		F3			
16	カルガモ	4	V		A2I2			
17	コサギ	1	V		D1			
18	オオタカ	1	V		J1			ハシボトガラスに追われる
19	ハシボトガラス	1	V		J1			空中
20	ハクセキレイ	1	V		D1			
21	カルガモ	2	V		A2			
22	スズメ	30	V		E2			
23	アオアシシギ	1	V		A2			写真あり
24	オバシギ	1	V		D2			写真あり
25	オオソリハシシギ	2	V		D2			写真あり(H8のフラッグ付き)
26	トウネン	10	V		D2			写真あり
27	ウミネコ	1	V		D2			
28	ハシボトガラス	2	V		D2			
29	トビ	1	V		J1			空中
30	ダイゼン	1	V		D2			写真あり

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
10		20		10		20		10	10		+	+							10		

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 8:30	終了時刻 13:02	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	カワウ	2	√		J1			空中
32	オオセグロカモメ	1	√		J1			空中
33	カワウ	1	√		J1			空中
34	ハシボソガラス	1	√		D2			
35	ウミネコ	2	√		A1			
36	ウミネコ	1	√		J1			空中
37	ハシブトガラス	1	√		J1			空中
38	ウミネコ	2	√		J1			空中
39	オオセグロカモメ	2	√		D2			
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_B	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		30						10	20											20

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 8:00	終了時刻 8:30	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	3	√		D2			
2	コサギ	1	√		D1			
3	カルガモ	17	√		D1			
4	カルガモ	11	√		D1			
5	ウミネコ	48	√		D1			写真あり
6	カルガモ	5	√		D1			
7	アオサギ	1	√		D1			
8	カワウ	4	√		A1			
9	カルガモ	3	√		A1			
10	カワウ	13	√		A1D1			
11	ダイサギ	1	√		A1			
12	アオサギ	1	√		F3			クロマツ) 枯れ木
13	トビ	1	√		J1			空中
14	ハシボソガラス	3	√		F3			クロマツ) 枯れ木
15	オナガガモ	1	√		J1			空中
16	ミサゴ	2	√		J1			空中
17	ホウロクシギ	2	√		J1			空中
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_C	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		10		20		10	30										10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 8:44	終了時刻 9:14	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	カルガモ	5	V		A2			
2	カワウ	1	V		A2			
3	トビ	1	V		J1			空中
4	ミサゴ	1	V		J1			空中
5	ダイサギ	1	V		D1			
6	カルガモ	2	V		D1			
7	ウミネコ	1	V		D1			
8	スズメ	3	V		E1			
9	ハシボソガラス	2	V		F3			
10	ウミネコ	1	V		J1			空中
11	コサギ	1	V		A3D1			
12	カワウ	1	V		J1			空中
13	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
14	ウミネコ	1	V		J1			空中
15	カワウ	2	V		J1			空中
16	トビ	1	V		J1			空中
17	ホウロクシギ	1	V		D2			
18	ウミネコ	2	V		D2			
19	カルガモ	3	V		D2			
20	ヒバリ	1	C		D3			
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_D	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		30		+		20		10	30											10

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 9:26	終了時刻 10:06	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	セッカ	1	C		E2			
2	ホウロクシギ	3	V		J1			空中
3	ダイサギ	1	V		A2			
4	ハヤブサ	1	V		J1			空中
5	カワウ	13	V		A2I2			人工構造物)クイ/写真あり
6	コガモ	9	V		J1			空中
7	アオサギ	1	V		F3			
8	スズガモ	2	V		A2			写真あり
9	ダイサギ	1	V		A2			
10	ダイサギ	1	V		D1			
11	コサギ	1	V		A2			
12	アオサギ	1	V		A2			
13	アオサギ	1	V		D1			
14	カワセミ	1	VC		I2			人工構造物)水門/写真あり
15	カルガモ	2	V		A2			
16	キジ	1	C		G1			
17	ノスリ	1	V		F3			
18	ハシボソガラス	1	V		D1			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_E	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		20		50		10												

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 10:40	終了時刻 11:10	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	トウネン	3	V		D2			
2	コサギ	3	V		A2			写真あり
3	ダイサギ	1	V		A2			
4	カワウ	1	V		J1			空中
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_F	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				10		70		+												

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 12:12	終了時刻 12:42	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	2	√		J1			空中
2	ウミネコ	72	√		D2			
3	オオセグロカモメ	1	√		D2			
4	オオセグロカモメ	7	√		D2			
5	ウミネコ	200	√		D2			
6	ハシブトガラス	1	√		D2J1			空中
7	トビ	2	√		J1			空中
8	ミサゴ	1	√		J1			ダイビング
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_G	地点名 St.6	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 群 落 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						50		10	10	+	+	30								

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 13:03	終了時刻 13:33	天候 晴	風の状況 中
------------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	シロチドリ	23	√		D2			
2	ウミネコ	1	√		J1			空中
3	ハシボソガラス	1	√		F3			
4	オオセグロカモメ	3	√		J1			空中
5	チョウゲンボウ	1	√		J1			空中
6	ミサゴ	1	√		J1			写真あり
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_H	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た まり			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 8:03	終了時刻 9:33	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	スズメ	20	V		F3			
2	トビ	1	V		F3			
3	ハシブトガラス	1	V		F3			
4	ハクセキレイ	1	V		I2			
5	ヒバリ	1	V		E1			
6	モズ	1	C		E2			
7	アオアシシギ	1	V		J1			空中
8	イソシギ	1	V		I2			
9	アオサギ	1	V		J1			空中
10	ハクセキレイ	3	V		J1			空中
11	キジバト	1	V		F3			
12	ハヤブサ	2	V		F3			
13	アマツバメ	10	V		J1			空中
14	ショウドウツバメ	20	V		J1			空中
15	トビ	1	V		F3			
16	シジュウカラ	1	C		F3			
17	ヒヨドリ	1	C		F3			
18	ムクドリ	20	V		F3			
19	コムクドリ	10	V		F3			
20	ホオジロ	1	C		E2			
21	ミサゴ	1	V		F3			
22	ノスリ	1	V		F3			
23	ハシブトガラス	1	V		F1			
24	モズ	1	C		E2			
25	アオアシシギ	1	V		D1			
26	ツバメ	1	V		J1			空中
27	ミサゴ	1	V		F3			
28	ハクセキレイ	2	V		D1			
29	スズメ	5	V		F1			
30	アオサギ	10	V		D1			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_H	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
20		10		10					30	+		20								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 8:03	終了時刻 9:33	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ショウドウツバメ	30	V		J1			空中
32	トビ	1	V		J1			空中
33	カワウ	1	V		J1			空中
34	カルガモ	3	V		A3			
35	アマツバメ	1	V		J1			空中
36	キジバト	1	V		F3			
37	ダイサギ	1	V		D1			
38	ゴイサギ	3	V		E2			
39	コガモ	100	V		A3			
40	ハシビロガモ	2	V		A3			
41	カイツブリ	1	V		A3			
42	カルガモ	20	V		A3			
43	クサシギ	1	V		D1			
44	ホオジロ	1	V		F3			
45	ハシブトガラス	10	V		F3			
46	ミサゴ	1	V		F3			
47	ノスリ	1	V		F3			
48	カルガモ	20	V		I2			
49	イソシギ	1	V		I2			
50	トビ	1	V		J1			空中
51	ウグイス	1	C		E2			
52	スズメ	30	V		F1			
53	ホオジロ	1	C		F1			
54	カワラヒワ	1	C		F3			
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_1	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 12:10	終了時刻 12:40	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワラビロ	1	C		J1			空中
2	ハシボソガラス	1	V		I2			
3	ウミネコ	1	V		A1			
4	ハクセキレイ	1	V		D2			
5	イソシギ	1	V		I2			
6	ダイサギ	1	V		I2			
7	トビ	1	V		J1			空中
8	ホオジロ	1	C		E2			
9	チョウゲンボウ	1	V		J1			空中
10	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
11	ミサゴ	1	V		F3			
12	キアシシギ	5	V		D1			
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_J	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 落 群 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た まり			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+										

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 11:30	終了時刻 12:00	天候 晴	風の状況 普
------------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	アオサギ	12	V		D1			
2	ダイサギ	4	V		D1			
3	アオアシシギ	2	V		D1			
4	コガモ	40	V		A3			
5	カルガモ	20	V		D2			
6	ハシボソガラス	3	V		D1			
7	ハシブトガラス	2	V		E2			
8	ヒヨドリ	1	C		F3			
9	ホオジロ	1	C		E2			
10	ウミネコ	1	V		J1			空中
11	カルガモ	40	V		I2			
12	オナガガモ	4	V		I2			
13	カワウ	10	V		I2			
14	ミサゴ	1	V		F3			流木
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_K	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						10		20	20		40								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 10:20	終了時刻 10:50	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	モズ	1	C		F3			
2	スズメ	5	V		F3			
3	シジュウカラ	3	V		F3			
4	ホオジロ	1	V		F3			
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_L	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20					10														30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 12:50	終了時刻 13:20	天候 晴	風の状況 普
------------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ウミネコ	11	V		I2			
2	ハシボソガラス	1	V		D2			
3	オオセグロカモメ	20	V		D2			
4	ウミネコ	230	V		D2			
5	ミサゴ	1	V		F3			流木
6	トビ	1	V		J1			空中
7	イソヒヨドリ	1	V		I2			
8	ウミウ	1	V		I2			
9	トウネン	3	V		A2			
10	アオアシシギ	1	V		A2			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_M	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 11:00	終了時刻 11:30	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		D1			
2	アオサギ	1	V		D1			
3	アオアシシギ	2	V		D1			
4	カルガモ	20	V		I2			
5	ハシブトガラス	2	V		F3			
6	シジュウカラ	2	C		F3			
7	コゲラ	1	C		F3			
8	ホオジロ	1	C		E2			
9	イソシギ	1	V		I2			
10	ハクセキレイ	1	V		I2			
11	スズメ	1	V		J1			空中
12	トビ	1	V		J1			空中
13	ミサゴ	2	V		F3			
14	カワラヒワ	1	C		J1			空中
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_N	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月19日	開始時刻 12:40	終了時刻 14:00	天候 晴	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_0	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月20日	開始時刻 8:00	終了時刻 9:45	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	1	V		I2			
2	カワラヒワ	1	VC		F3			
3	スズメ	3	V		F3			
4	ハシブトガラス	1	V		F3			
5	スズメ	30	V		F3			
6	ハクセキレイ	1	V		F3			
7	シジュウカラ	1	C		F3			
8	ホオジロ	1	C		E2F3			
9	ヒヨドリ	1	C		F2			
10	オオヨシキリ	1	C		E2			
11	ウミネコ	1	V		J1			空中
12	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
13	セッカ	2	V		E2			
14	スズメ	2	V		E2			
15	ハシブトガラス	3	V		I2			
16	オオセグロカモメ	1	V		A2			
17	ホオアカ	1	V		E2			
18	ウグイス	1	C		F2			
19	ダイサギ	1	V		D1			
20	ハクセキレイ	1	V		I2			
21	ウグイス	1	C		E2			
22	トビ	1	V		J1			空中
23	コヨシキリ	1	C		E2			
24	ウグイス	3	V		E2			
25	ホオジロ	1	C		E2			
26	ハシボソガラス	2	V		I2			
27	ツバメ	5	V		J1			空中
28	ショウドウツバメ	1	V		J1			空中
29	ホオアカ	2	VC		E2			
30	コサギ	1	V		A2			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_0	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
+	20			+		20		10	20		+	+								20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月20日	開始時刻 8:00	終了時刻 9:45	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
31	ダイサギ	3	√		A2			
32	キジバト	1	√		I2			
33	ウミネコ	2	√		J1			空中
34	アオサギ	3	√		I2			
35	ツバメ	5	√		J1			空中
36	ヒバリ	1	√		J1			空中
37	アオアシシギ	7	√		D1			
38	ノスリ	1	√		J1			空中
39	ハクセキレイ	1	VC		A1			
40	トビ	1	√		J1			空中
41	ヒドリガモ	2	√		A2			
42	スズガモ	1	√		A2			
43	スズメ	3	√		E2			
44	アオサギ	3	√		A2			
45	コサギ	4	√		A2			
46	ダイサギ	3	√		A2			
47	カワウ	1	√		A2			
48	ヒバリ	4	√		E2			
49	イソシギ	2	√		D1			
50	カルガモ	10	√		A2			
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_P	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	20			10		30		10	20	10										

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月20日	開始時刻 8:35	終了時刻 9:05	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	カルガモ	26	√		A2D1			
2	カルガモ	16	√		A2D1			
3	カワウ	8	√		A2D1			
4	オオセグロカモメ	1	√		D2			
5	オオセグロカモメ	1	√		D2			
6	オオセグロカモメ	2	√		D2			
7	ウミネコ	1	√		D2			
8	オオセグロカモメ	1	√		D2			
9	ハシボソガラス	3	√		D2			
10	トウネン	19	√		D1			
11	オオソリハシシギ	4	√		D1			
12	オグロシギ	3	√		D1			
13	コガモ	7	√		D1			
14	カルガモ	21	√		A2D1			
15	マガモ	8	√		D1			
16	コサギ	1	√		D1			
17	ダイサギ	1	√		A2D1			
18	アオサギ	1	√		D1			
19	ハシボソガラス	1	√		D1			
20	ミサゴ	2	√		D1			
21	コサギ	1	√		D2			
22	ダイサギ	1	√		D2			
23	カワラヒワ	50	√		F1			
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_Q	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	20							+	10	+		20								30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月20日	開始時刻 7:50	終了時刻 8:20	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		D1			
2	ハクセキレイ	1	V		I2			構造物)電線
3	ダイサギ	5	V		A2D1			
4	コサギ	3	V		A2D1			
5	アオサギ	1	V		A2D1			
6	コサギ	1	V		D1			
7	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
8	ウミネコ	1	V		J1			空中
9	カワウ	2	V		D1I2			構造物)コンクリートブロック
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_R	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			+				10	20	+	20									10

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月20日	開始時刻 9:30	終了時刻 10:00	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	10	V		A2D1			
2	チュウサギ	2	V		A2D1			
3	アオサギ	2	V		A2			
4	コサギ	2	V		A2			
5	ウミネコ	1	V		A2			流木
6	ウミネコ	3	V		J1			空中
7	トビ	1	V		J1			空中
8	ハシボソガラス	1	C		F2			
9	ダイサギ	1	V		A2D1			
10	コサギ	1	V		D1			写真あり
11	オオセグロカモメ	1	V		D1			
12	ウミネコ	2	V		J1			空中
13	ウミネコ	1	V		A2			
14	ハシボソガラス	1	V		I2			構造物)電線
15	キアシシギ	3	V		A2D1			写真あり
16	アオアシシギ	2	V		A2D1			写真あり
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_S	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	30				+				10	20										30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月20日	開始時刻 10:17	終了時刻 10:37	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ノスリ	1	√		J1			空中
2	ハクセキレイ	1	√		J1			空中
3	ダイサギ	5	√		A2			
4	アオサギ	1	√		A2			
5	ダイサギ	3	√		A2			
6	コサギ	1	√		A2			
7	ダイサギ	7	√		A2			
8	ダイサギ	3	√		A2			
9	アオサギ	2	√		D1			
10	ダイサギ	5	√		D2			
11	ダイサギ	2	√		D2			
12	アオサギ	2	√		D2			
13	ハシブトガラス	2	√		J1			空中
14	アオアシシギ	3	√		D1			
15	オグロシギ	1	√		D1			
16	ウミネコ	2	√		D1			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_T	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			10				10	20	10									20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月20日	開始時刻 10:55	終了時刻 11:25	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	アオアシシギ	5	√		D1			
2	キアシシギ	2	√		D1			
3	アオサギ	4	√		D1			
4	カワウ	3	√		D1			
5	ダイサギ	2	√		A2			
6	ウミネコ	4	√		A2D1			
7	コサギ	1	√		A2			
8	ダイサギ	1	√		A2			
9	ウミネコ	1	√		A2			
10	アオアシシギ	2	√		D1			
11	ウミネコ	2	√		D1			
12	オナガガモ	2	√		D1			
13	アオサギ	3	√		D1			
14	コサギ	1	√		A2			
15	カルガモ	13	√		D1			
16	カワウ	2	√		I2			
17	カルガモ	11	√		D1			
18	ハシビロガモ	4	√		A2			
19	ダイサギ	1	√		D1			
20	アオサギ	1	√		D1			
21	ウミネコ	6	√		A2			
22	オオセグロカモメ	4	√		A2			
23	コサギ	1	√		A2			
24	コサギ	2	√		D1			
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B3_U	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 秋季	調査年月日 2013年9月20日	開始時刻 9:50	終了時刻 12:00	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+								10

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 8:35	終了時刻 13:04	天候 曇	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	1	V		A2			
2	ウミネコ	1	V		I2			
3	チョウゲンボウ	1	V		J1			空中
4	ヒバリ	3	V		J1			空中
5	ハシブトガラス	3	V		F3			
6	ウミネコ	1	V		D3			
7	コガモ	1	V		J1			空中
8	カルガモ	2	V		J1			空中
9	カルガモ	8	V		J1			空中
10	カルガモ	4	V		J1			空中
11	カルガモ	17	V		J1			空中
12	カワウ	1	V		J1			空中
13	オオジュリン	1	C		E2			
14	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
15	カワウ	1	V		J1			空中
16	ヒバリ	1	V		J1			空中
17	モズ	1	C		E2			
18	カワウ	1	V		J1			空中
19	カワウ	1	V		J1			空中
20	カワウ	1	V		J1			空中
21	コサギ	10	V		A2I2			
22	カルガモ	10	V		A2			
23	ヒドリガモ	7	V		A2			
24	スズメ	5	V		A2J1			空中
25	カルガモ	15	V		A2			
26	カルガモ	3	V		A2I2			
27	カワウ	9	V		A2			
28	アオサギ	1	V		A2			
29	コサギ	1	V		A2			
30	コサギ	1	V		A2J1			空中

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
10		20		10		20		10	10		+	+							10		

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 8:35	終了時刻 13:04	天候 曇	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ダイサギ	1	V		A2			
32	アオサギ	1	V		A2			
33	アオサギ	1	V		A2			
34	カワセミ	1	VC		A2			
35	タシギ	1	V		D1			
36	スズメ	5	V		E2			
37	スズメ	1	C		J1			空中
38	ウミネコ	3	V		J1			空中
39	ハクセキレイ	1	V		D2			
40	ハシブトガラス	2	V		J1			空中
41	トビ	2	V		D1			
42	オオソリハシシギ	6	V		D1			
43	オオソリハシシギ	5	V		D1			No.42とは別群れ
44	ハシブトガラス	2	V		D2			
45	ハクセキレイ	1	V		D2			
46	ダイサギ	1	V		D1			
47	ハシブトガラス	3	V		D2			
48	カワラヒワ	4	V		D2			
49	ハシブトガラス	9	V		D2			あそび
50	カワウ	1	V		J1			空中
51	ウミネコ	1	V		J1			空中
52	ウミネコ	3	V		D2			
53	ウミネコ	1	V		J1			空中
54	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
55	シロチドリ	3	V		D2			
56	ウミネコ	1	V		D2			
57	ウミネコ	1	V		J1			空中
58	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
59	ウミネコ	1	V		J1			空中
60	ハシボソガラス	1	V		D2			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎
------	----------------

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_B	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		30						10	20										20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 8:01	終了時刻 8:32	天候 曇	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	スズガモ	142	V		A1			
2	マガモ	12	V		A1			
3	ウミネコ	2	V		A1			
4	カワウ	4	V		D2			
5	ミサゴ	1	V		F3			
6	ウミネコ	73	V		D2			
7	オオセグロカモメ	1	V		D2			
8	カワウ	12	V		D2			
9	コサギ	1	V		D2			
10	ヨリカモメ	2	V		D2			
11	ウミネコ	88	V		D2			
12	オオセグロカモメ	3	V		D2			
13	ミサゴ	1	V		J1			空中
14	ハシブトガラス	2	V		F3			
15	ハシブトガラス	8	V		D2			
16	オオセグロカモメ	7	V		D2			
17	ウミネコ	3	V		D2			
18	ウミネコ	1	V		A1			
19	トビ	6	V		J1			空中
20	キンクロハジロ	7	V		A2			
21	スズガモ	2	V		A2			
22	コガモ	1	V		A2			
23	ハシブトガラス	1	V		F3			
24	ダイサギ	1	V		D2			
25	ヒバリ	1	C		E1			
26	ハクセキレイ	1	C		E1			
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_C	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		10		20		10	30										10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 8:53	終了時刻 9:23	天候 曇	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ハシボソガラス	6	V		D2			
2	ダイサギ	1	V		A2			
3	ウミネコ	1	V		D1			
4	オオバン	6	V		A2			
5	ヒドリガモ	3	V		A2			
6	ノスリ	1	V		F3			
7	スズメ	2	V		E1			
8	ハシブトガラス	1	V		D2			
9	カルガモ	4	V		J1			空中
10	ヒバリ	1	V		J1			空中
11	ヒバリ	2	V		J1			空中
12	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
13	ダイゼン	1	C		D2			
14	ダイゼン	1	V		D1			
15	ヒバリ	4	V		J1			空中
16	ヒバリ	7	V		J1			空中
17	カルガモ	3	V		J1			空中
18	ハシブトガラス	2	V		D2			
19	スズメ	3	V		F1			
20	スズメ	3	V		E1			
21	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
22	カワウ	1	V		J1			空中
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_D	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		30		+		20		10	30											10

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 9:42	終了時刻 10:12	天候 雨	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	オオジュリン	1	C		E2			
2	アオサギ	2	V		F3			
3	カルガモ	3	V		J1			空中
4	コガモ	4	V		A1			
5	カイツブリ	1	V		A1			
6	カルガモ	24	V		A2I2			
7	コサギ	1	V		I2			
8	ヒドリガモ	7	V		A2			
9	スズガモ	1	V		A2			
10	ウミネコ	1	V		J1			空中
11	モズ	1	C		E2			
12	カルガモ	5	V		J1			空中
13	カルガモ	7	V		J1			空中
14	スズメ	1	C		E2			
15	カワウ	4	V		A2			
16	ダイサギ	1	V		A2			
17	オオジュリン	10	V		J1			空中
18	トビ	1	V		J1			空中
19	カワウ	1	V		J1			空中
20	オオソリハシシギ	3	V		D1			
21	ダイゼン	7	V		D1			
22	ハマシギ	3	V		D1			
23	ウミネコ	1	V		D2			
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_E	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		20		50		10												

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 10:49	終了時刻 11:19	天候 曇	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒヨドリ	1	V		F3J1			空中
2	ハシブトガラス	1	C		F3			
3	ダイサギ	3	V		D1			
4	カワラビロ	7	V		J1			空中
5	トビ	1	V		J1			空中
6	ハクセキレイ	3	V		J1			空中
7	カワウ	1	V		J1			空中
8	トビ	1	V		J1			空中
9	ウミネコ	1	V		J1			空中
10	トビ	1	V		J1			空中
11	ハクセキレイ	1	C					
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_F	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				10		70		+												

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 12:00	終了時刻 12:30	天候 曇	風の状況 普
--------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	オオセグロカモメ	2	V		D2			
2	ウミネコ	88	V		D2			
3	ウミネコ	1	V		J1			空中
4	ミサゴ	1	V		J1			空中
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_G	地点名 St.6	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						50		10	10	+	+	30								

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 13:05	終了時刻 13:35	天候 雨	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	1	√		J1			空中
2	ウミネコ	2	√		J1			空中
3	ハシブトガラス	2	√		F3			
4	ウミネコ	1	√		F3J1			空中
5	ウミネコ	2	√		J1			空中
6	ハシボソガラス	2	√		F3			
7	トビ	2	√		F3J1			空中
8	ウミネコ	6	√		J1			空中
9	カワウ	1	√		J1			空中
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_H	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 8:00	終了時刻 13:30	天候 曇	風の状況 弱
--------	----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	キョウジョシギ	3	V		D2			
2	ミユビシギ	5	V		D2			
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B4-I	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20								10

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 8:15	終了時刻 9:35	天候 曇	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	2	V		I2			
2	ハクセキレイ	1	V		I2			
3	ホオジロ	1	C		E2			
4	スズメ	10	V		F3			
5	カルガモ	2	V		I2			
6	ビソズイ	1	C		J1			空中
7	ウグイス	1	C		E2			
8	カルガモ	3	V		A1			
9	キジ	1	V		E2			
10	モズ	1	C		E2			
11	スズメ	3	C		E2			
12	ハクセキレイ	1	V		I2			
13	オオタカ	1	V		F3			
14	トビ	1	V		J1			空中
15	カラハビロ	2	C		J1			空中
16	ホオジロ	1	C		E2			
17	ノスリ	1	V		F1			
18	ヒヨドリ	1	C		F3			
19	アカゲラ	1	V		F3			
20	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
21	ミサゴ	1	V		J1			空中
22	カルガモ	30	V		J1			空中
23	コガモ	40	V		J1			空中
24	ヒヨドリ	20	V		J1			空中
25	アオアシシギ	1	C		J1			空中
26	コゲラ	1	C		F3			
27	シジュウカラ	3	C		E2			
28	マヒワ	1	C		J1			空中
29	アオサギ	1	V		A2			
30	ダイサギ	1	V		A2			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_1	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
		10		10					30	+		20							10		

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 8:15	終了時刻 9:35	天候 曇	風の状況 普
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ウミネコ	1	V		J1			空中
32	カワウ	1	V		J1			空中
33	モズ	1	C		E2			
34	スズメ	100	VC		E2			
35	カルガモ	50	V		A3			
36	キジ	1	C		E2			
37	コガモ	30	V		A1			
38	ハクセキレイ	2	V		A1			
39	トビ	1	V		F3			
40	ホオジロ	1	C		E2			
41	ミサゴ	2	V		J1			空中
42	オオハクチョウ	4	V		J1			空中
43	ハシボソガラス	1	V		F3			
44	カルガモ	10	V		A1			
45	スズメ	10	V		E2			
46	オオジュリン	3	VC		E2			
47	セッカ	1	V		E2			
48	ハイタカ	1	V		E2			幼鳥
49	スズメ	2	V		F3			
50	アオジ	1	C		E2			
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_J	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 12:00	終了時刻 12:30	天候 雨	風の状況 普
--------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	1	V		J1			空中
2	カルガモ	3	V		A3			
3	コサギ	1	V		I2			
4	スズメ	5	C		E2			
5	イソシギ	1	V		I2			
6	ムクドリ	10	V		J1			空中
7	ウミネコ	5	V		D2			
8	マガモ	20	V		A1			
9	カワラヒワ	1	C		J1			空中
10	ハクセキレイ	1	V		D2			
11	ヒヨドリ	1	V		F3			
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_K	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+										

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 11:20	終了時刻 11:50	天候 曇	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	50	V		A3			
2	カルガモ	100	V		A3			
3	オナガガモ	100	V		A3			
4	ヒドリガモ	100	V		A3			
5	コガモ	200	V		A3			
6	オカヨシガモ	4	V		A3			
7	ハシビロガモ	1	V		A3			
8	アオアシシギ	20	V		D1			
9	ハシブトガラス	1	V		F3			
10	タヒバリ	3	C		J1			空中
11	オオジュリン	2	C		E2			
12	スズメ	10	V		J1			空中
13	カワウ	20	V		I2			
14	カルガモ	20	V		A3			
15	マガモ	20	V		A3			
16	カワラヒワ	2	C		D1J1			空中
17	ダイサギ	1	V		D1			
18	ダイゼン	8	V		D1			
19	オオソリハシシギ	1	V		D2			
20	ミサゴ	1	V		F3			
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_L	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						10		20	20		40								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 10:10	終了時刻 10:40	天候 雨	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	キジバト	1	V		J1			空中
2	スズメ	3	V		F3			
3	ホオジロ	5	V		E1			
4	ハイタカ	1	V		F3			
5	ハシブトガラス	3	V		F3			
6	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_M	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20					10													30	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 12:50	終了時刻 13:20	天候 雨	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	30	✓		D2			
2	オオセグロカモメ	40	✓		D2			
3	ウミネコ	20	✓		D2			
4	オオセグロカモメ	20	✓		D2			
5	トビ	2	✓		D2			
6	ウミネコ	1	✓		I2			
7	ハマシギ	25	✓		D2			
8	ハクセキレイ	1	✓		I2			
9	カワウ	1	✓		J1			空中
10	カンムリカイツブリ	1	✓		A1			
11	スズガモ	2	✓		A1			
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_N	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 10:45	終了時刻 11:15	天候 雨	風の状況 強
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	トビ	1	V		J1			空中
2	カワウ	1	V		J1			空中
3	アオサギ	1	V		I2			
4	ダイサギ	2	V		A3			
5	ミサゴ	1	V		J1			空中
6	マガモ	6	V		A3			
7	コガモ	1	V		A3			
8	ホオジロ	2	C		E2			
9	スズメ	5	V		F3			
10	カワラヒワ	1	V		F3			
11	カルガモ	2	V		J1			空中
12	ダイサギ	3	V		A3			
13	アオジ	1	C		F3			
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_0	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月23日	開始時刻 8:00	終了時刻 13:40	天候 曇	風の状況 普
--------	----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_P	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+								20

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月24日	開始時刻 8:05	終了時刻 9:55	天候 曇	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	4	V		A3			
2	カワウ	2	V		D2			
3	アオサギ	1	V		D2			
4	ハシボソガラス	2	V		F3			
5	トビ	1	V		F3			
6	カワラヒワ	1	C		J1			空中
7	ホオジロ	1	C		E2			
8	ホオジロ	3	VC		E1			
9	スズメ	10	V		E1			
10	カワラヒワ	5	V		E1			
11	ハクセキレイ	1	V		D2			
12	トビ	1	V		F3			
13	タヒバリ	1	C		J1			空中
14	アオジ	1	C		E2			
15	シジュウカラ	1	C		E2			
16	ウグイス	1	C		E2			
17	ヒヨドリ	1	C		F2			
18	モズ	1	V		F3			
19	スズメ	2	V		F3			
20	ウグイス	1	C		E2			
21	カイツブリ	1	V		A2			
22	ダイサギ	1	V		D2			
23	ヒバリ	2	V		J1			空中
24	カンムリカイツブリ	1	V		A3			
25	カワラヒワ	1	C		J1			空中
26	ホオジロ	1	C		E2			
27	カシラダカ	1	C		E2			
28	キジ	2	V		E2			
29	トビ	1	V		F3			
30	オオハン	16	V		A3			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志
------	--------------

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_P	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
+	20			+		20		10	20		+	+								20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月24日	開始時刻 8:05	終了時刻 9:55	天候 曇	風の状況 普
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ハシボソガラス	2	V		I2			
32	クサシギ	1	V		J1			空中
33	ウミネコ	1	V		J1			空中
34	スズメ	2	V		J1			空中
35	オオセグロカモメ	1	V		A3			
36	オオバン	5	V		A3			
37	スズガモ	1	V		A3			
38	ウグイス	1	C		E2			
39	オオバン	12	V		A3			
40	ウミネコ	1	V		J1			空中
41	ダイサギ	1	V		I2			
42	アオサギ	1	V		I2			
43	トビ	1	V		I2			
44	ハクセキレイ	1	V		D3			
45	タヒバリ	1	V		J1			空中
46	カワウ	2	V		J1			空中
47	ヒバリ	4	V		J1			空中
48	セグロセキレイ	1	V		I2			
49	スズメ	2	V		I2			
50	セグロセキレイ	1	V		J1			空中
51	スズメ	6	V		I2			
52	アオアシシギ	1	V		I2			
53	カイツブリ	1	V		A1			
54	ヒバリ	1	V		D3			
55	イソシギ	3	V		I2			
56	アオジ	1	C		E2			
57	ウミネコ	2	V		I2			
58	ハクセキレイ	1	V		I2			
59	スズメ	50	V		I2			
60	コサギ	1	V		I2			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名	地区名	調査年度
東北地方環境事務所	阿武隈川河口域	2013

調査地区	地点番号	地点名	調査方法
	B4_P	L-1	ラインセンサス法

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+								20

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	秋季	2013年10月24日	8:05	9:55	曇	普

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
61	カルガモ	30	√		I2			
62	マガモ	50	√		I2			
63	コガモ	30	√		I2			
64	ヒドリガモ	80	√		I2			
65	ホシハジロ	20	√		A3			
66	アオサギ	7	√		I2			
67	カワウ	10	√		I2			
68	アカアシシギ	5	√		I2			
69	オナガガモ	10	√		I2			
70	スズガモ	1	√		A3			
71	カンムリカイツブリ	1	√		A3			
72	ミサゴ	1	√		J1			空中
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

√：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分¹」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_Q	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 落 群 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	20			10		30		10	20	10										

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月24日	開始時刻 8:44	終了時刻 9:25	天候 曇	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ハシブトガラス	9	V		D2			あそび
2	トビ	1	V		D2			
3	カラヒワ	4	V		E2			
4	ヒシクイ	1	V		J1			空中
5	オオジュリン	1	VC		J1			空中
6	ウミウ	2	V		A2			
7	カワウ	5	V		A2			
8	マガモ	2	V		A2			
9	ダイサギ	1	V		J1			空中
10	ウミネコ	1	V		J1			空中
11	コサギ	1	V		A2			
12	マガモ	37	V		A2			
13	オナガガモ	3	V		A2			
14	カルガモ	17	V		A2			
15	コガモ	2	V		A2			
16	ヒドリガモ	10	V		A2			
17	カンムリカイツブリ	7	V		A2			
18	カイツブリ	1	V		A2			
19	マガモ	7	V		A2			
20	オナガガモ	1	V		A2			
21	スズガモ	1	V		A2			
22	ヒドリガモ	4	V		A2			
23	ハシビロガモ	2	V		A2			
24	ホシハジロ	3	V		A2			
25	ヒドリガモ	6	V		A2			
26	マガモ	7	V		A2			
27	オナガガモ	3	V		A2			
28	マガモ	2	V		A2			
29	カンムリカイツブリ	3	V		A2			
30	カルガモ	7	V		J1			空中

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_R	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈 水・ 群 落・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他	
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
10	20							+	10	+		20								30	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月24日	開始時刻 8:00	終了時刻 8:30	天候 曇	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	イソヒヨドリ	1	V		I2J1			空中
2	セグロセキレイ	1	VC		J1			空中
3	ウミネコ	1	V		D2			
4	ダイサギ	1	V		E1			
5	ミサゴ	1	V		E1			
6	カワラヒワ	1	C		F3			
7	アオジ	1	C		F3			
8	アオサギ	1	V		A2			
9	ミサゴ	1	V		A2			
10	ミサゴ	1	V		A2			
11	キセキレイ	1	V		I2J1			空中
12	マガモ	12	V		A2			
13	スズメ	1	C		F3			
14	ヒヨドリ	1	C		F3			
15	ウミウ	1	V		A2			
16	トビ	1	V		J1			空中
17	ハシブトガラス	3	V		F3			
18	カルガモ	10	V		A2			
19	ハシブトガラス	2	V		F3			
20	ダイサギ	1	V		E1			
21	ミミカイツブリ	1	V		A2			
22	ハシブトガラス	1	C		F3			
23	ダイサギ	2	V		E1			
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_S	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			+				10	20	+	20								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月24日	開始時刻 9:59	終了時刻 10:48	天候 曇	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	オオバン	31	V		A2			
2	コサギ	1	V		A2			
3	ダイサギ	1	V		A2			
4	ハシトガラス	1	V		I2			
5	スズガモ	54	V		A2			
6	ホシハジロ	6	V		A2			
7	カルガモ	6	V		A2			
8	オオセグロカモメ	1	V		A2I2			
9	ヒドリガモ	323	V		A2			
10	コガモ	31	V		A2			
11	マガモ	10	V		A2			
12	ホシハジロ	32	V		A2			
13	オナガガモ	1	V		A2			
14	スズガモ	1	V		A2			
15	オオバン	1	V		A2			
16	カルガモ	5	V		A2			
17	ハマシギ	52	V		D2			
18	アオサギ	2	V		I2			
19	カワウ	3	V		I2			
20	ウミネコ	2	V		A2			
21	オオセグロカモメ	1	V		A2			
22	オオジュリン	1	C		E2			
23	オオセグロカモメ	1	V		A2			
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_T	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	30				+				10	20										30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月24日	開始時刻 11:26	終了時刻 12:46	天候 曇	風の状況 無
------------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ハシボソガラス	1	V		I2			
2	マガモ	4	V		A1			
3	ヒドリガモ	46	V		A1			
4	コガモ	4	V		A1			
5	スズガモ	1	V		A1			
6	スズガモ	4	V		A1			
7	カイツブリ	1	V		A1			
8	カンムリカイツブリ	2	V		A1			
9	カンムリカイツブリ	6	V		A1			
10	ヒドリガモ	8	V		A1			
11	マガモ	6	V		A1			
12	カウウ	30	V		I2			
13	アオサギ	4	V		I2			
14	カルガモ	8	V		I2			
15	マガモ	1	V		I2			
16	スズガモ	18	V		A1			
17	ホシハジロ	174	V		A1			
18	ヒドリガモ	800	V		A1			
19	オナガガモ	14	V		A1			
20	キンクロハジロ	19	V		A1			
21	スズガモ	55	V		A1			
22	マガモ	6	V		A1			
23	ハシビロガモ	4	V		A1			
24	コガモ	3	V		A1			
25	ハクセキレイ	1	C		E2			
26	モズ	1	C		E2			
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_U	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			10				10	20	10									20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月24日	開始時刻 11:50	終了時刻 12:40	天候 曇	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	スズメ	50	V		E2			
2	アオアシシギ	25	V		I2			
3	アカアシシギ	3	V		I2			
4	コガモ	10	V		I2			
5	アオサギ	9	V		I2			
6	カワウ	29	V		I2			
7	カルガモ	10	V		I2			
8	マガモ	1	V		I2			
9	オグロシギ	6	V		I2			
10	ハジロカイツブリ	1	V		A3			
11	カンムリカイツブリ	2	V		A3			
12	ヒドリガモ	41	V		A3			
13	オナガガモ	2	V		A3			
14	ヒドリガモ	72	V		A3			
15	ミサゴ	1	V		A3			
16	ヒドリガモ	22	V		A3			
17	ヒドリガモ	90	V		A3			
18	コガモ	40	V		A3			
19	カルガモ	30	V		A3			
20	マガモ	20	V		A3			
21	カンムリカイツブリ	4	V		A2			
22	ハクセキレイ	1	V		I2			
23	ヒバリ	2	C		J1			空中
24	ムクドリ	10	V		J1			空中
25	スズメ	5	V		I2			
26	アオサギ	1	V		I2			
27	カワセミ	1	C		A1			
28	チョウゲンボウ	1	V		I2			
29	ハシブトガラス	2	V		I2			
30	ウミネコ	1	V		J1			空中

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_U	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			10				10	20	10									20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月24日	開始時刻 11:50	終了時刻 12:40	天候 曇	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	オオセグロカモメ	4	V		I2			
32	ウミネコ	3	V		I2			
33	タヒバリ	1	C		J1			空中
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B4_V	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 4	時期 秋季	調査年月日 2013年10月24日	開始時刻 8:00	終了時刻 13:00	天候 曇	風の状況 弱
--------	----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 8:22	終了時刻 12:06	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒバリ	6	V		A3			
2	スズメ	6	V		F2			
3	ハクセキレイ	1	V		I2			
4	オオジュリン	1	V		E1			
5	ジョウビタキ	1	V		E2			
6	カルガモ	3	V		J1			空中
7	ヒバリ	3	V		J1			空中
8	オオジュリン	2	V		J1			空中
9	カワラヒワ	1	V		J1			空中
10	トビ	1	V		J1			空中
11	カワセミ	1	V		J1			空中
12	ハクセキレイ	1	C		E1			
13	カルガモ	2	V		A2			
14	ミサゴ	1	V		J1			餌を持っている
15	スズガモ	3	V		A2			
16	オオジュリン	1	V		E2			
17	カワセミ	1	V		A2			
18	コガモ	6	V		A2			
19	ゴイサギ	1	V		A3			
20	ハシボソガラス	1	V		D2			
21	スズメ	15	V		E2			
22	ダイゼン	5	V		A3			
23	ハマシギ	1	V		A3			
24	ダイサギ	1	V		A2			
25	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_B	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		30						10	20										20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 7:47	終了時刻 8:20	天候 晴	風の状況 無
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	コクガン	5	V		D2			
2	スズメ	1	C		E1			
3	ジョウビタキ	1	C		D2			
4	ハシブトガラス	1	V		I2			堤
5	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
6	ヒドリガモ	1	V		A1			
7	スズガモ	1	V		A1			
8	ホシハジロ	3	V		A1			
9	カルガモ	4	V		A2			
10	ホオジロガモ	3	V		A1			
11	スズガモ	5	V		A1			
12	オオバン	1	V		A2			
13	スズガモ	2	V		A2			
14	ヒドリガモ	1	V		D1			
15	マガモ	1	V		A1			
16	マガモ	11	V		A1D2			
17	カワウ	7	V		D2			
18	ウミネコ	8	V		D2			
19	オオセグロカモメ	1	V		D2			
20	ユリカモメ	22	V		D2			
21	スズガモ	2	V		A2			
22	ヒドリガモ	1	V		A2			
23	ハジロカイツブリ	1	V		A1			
24	カワウ	4	V		F3			
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_C	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		10		20		10	30										10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 8:44	終了時刻 9:14	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	2	V		F2			
2	カルガモ	2	V		A2			
3	ホシハジロ	2	V		A2			
4	スズガモ	2	V		A2			
5	オオバン	2	V		A2			
6	キンクロハジロ	5	V		A2			
7	トビ	1	V		J1			空中
8	オオジュリン	1	C		E2			
9	ハシブトガラス	2	V		J1			空中
10	ダイゼン	3	V		A2D1			
11	ハマシギ	16	V		A2D1			
12	ウミネコ	1	V		J1			空中
13	ヒドリガモ	1	V		A2			
14	コサギ	1	V		A2			
15	オオジュリン	1	C		E1			
16	ヒヨドリ	5	V		J1			空中
17	スズメ	10	V		E1			
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_D	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		30		+		20		10	30											10

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 9:33	終了時刻 10:03	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		F3			
2	アオサギ	2	V		F3			
3	スズガモ	11	V		A2			
4	アオサギ	1	V		D1			
5	ミコアイサ	1	V		A1			
6	オオジュリン	1	V		E1			
7	トビ	1	V		J1			空中
8	カルガモ	5	V		A2			
9	オナガガモ	5	V		A2			
10	スズガモ	1	V		A2			
11	コガモ	9	V		A2			
12	スズガモ	1	V		A2			
13	オオバン	4	V		A2			
14	ヒドリガモ	2	V		A2			
15	カイツブリ	1	V		A2			
16	キンクロハジロ	6	V		A2			
17	スズガモ	3	V		A2			
18	ハジロカイツブリ	1	V		A2			
19	アオサギ	1	V		D1			
20	カルガモ	2	V		D1			
21	ジョウビタキ	1	C		E2			
22	カワウ	2	V		J1			空中
23	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
24	カワウ	1	V		J1			空中
25	ダイサギ	1	V		I2			
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_E	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		20		50		10												

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 10:32	終了時刻 11:02	天候 晴	風の状況 弱
--------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
2	アオサギ	2	V		D1			
3	シロチドリ	17	V		D2			
4	ミュビシギ	3	V		D2			
5	ハクセキレイ	1	C		D1			
6	ダイサギ	1	V		A2			
7	ヒヨドリ	1	C		F3			
8	トビ	1	V		J1			空中
9	ハシボソガラス	1	V		D2			
10	ハシボソガラス	1	V		D1			
11	ハシボソガラス	1	V		D1			
12	ノスリ	1	V		J1			空中
13	ジョウビタキ	1	C		E2			
14	トビ	6	V		J1			空中
15	ダイサギ	1	V		J1			空中
16	ハジロコチドリ	2	V		D2			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_F	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				10		70		+												

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 11:24	終了時刻 11:54	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	62	√		D2			
2	マガモ	104	√		A2			
3	ヒドリガモ	90	√		A2D2			
4	オオセグロカモメ	1	√		D2			
5	ユリカモメ	77	√		A2			
6	ウミネコ	24	√		A2			
7	カモメ	2	√		A2			
8	オオセグロカモメ	2	√		A2			
9	セグロカモメ	2	√		A2			
10	カンムリカイツブリ	4	√		A1			海上
11	マガモ	20	√		A1			海上
12	ヒドリガモ	20	√		A1			海上
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_G	地点名 St.6	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						50		10	10	+	+	30								

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 12:07	終了時刻 12:37	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カンムリカイツブリ	5	V		A1			海上
2	トビ	2	V		J1			空中
3	ミサゴ	1	V		J1			空中
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_H	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 12:37	終了時刻 14:00	天候 晴	風の状況 弱
--------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_1	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
20		10		10					30	+		20								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 8:00	終了時刻 9:20	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	スズメ	10	V		I2			
2	コサギ	2	V		I2			
3	ベニマシコ	1	C		E2			
4	ホオジロ	1	C		E2			
5	ハクセキレイ	1	V		I2			
6	ハシボソガラス	1	V		I2			
7	タヒバリ	2	V		J1			空中
8	カルガモ	2	V		J1			空中
9	オオジュリン	1	C		E2			
10	アオジ	1	C		E2			
11	ヒバリ	1	C		J1			空中
12	カワラヒワ	1	V		E2			
13	ミヤマガラス	120	V		F3			
14	カルガモ	20	V		A1			
15	マガモ	5	V		A1			
16	ヒドリガモ	2	V		A1			
17	カワウ	50	V		I2			
18	オオセグロカモメ	1	V		I2			
19	ヒヨドリ	2	C		F3			
20	モズ	1	C		E2			
21	スズメ	20	V		F1			
22	カシラダカ	1	C		E2			
23	トビ	1	V		J1			空中
24	シメ	1	C		J1			空中
25	ノスリ	1	V		F3			
26	ミサゴ	1	V		J1			空中
27	ハヤブサ	1	V		J1			空中
28	カワラヒワ	20	V		F3			
29	ノスリ	1	C		F3			
30	ベニマシコ	1	C		E2			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分¹」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志
------	--------------

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_1	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20								10

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 8:00	終了時刻 9:20	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	シロハラ	1	V		F1			
32	ダイサギ	20	V		A3			
33	カワアイサ	1	V		A3			
34	ツグミ	1	C		F3			
35	ホオジロ	15	C		E2			
36	ミサゴ	1	V		J1			空中
37	ハクセキレイ	2	V		E1			
38	トビ	1	V		F3			
39	ハシボソガラス	2	V		E1			
40	ダイサギ	10	V		A3			
41	アオサギ	2	V		A3			
42	カワウ	20	V		A3			
43	ミヤマガラス	30	V		F3			
44	カワアイサ	1	V		A3			
45	マガモ	10	V		A3			
46	コガモ	1	V		A3			
47	カワセミ	1	V		A3			
48	オオジュリン	1	C		E2			
49	ハシブトガラス	1	V		F3			
50	モズ	1	V		E2			
51	カイツブリ	1	V		A1			
52	カルガモ	1	V		A1			
53	スズメ	20	V		F1			
54	スズガモ	5	V		A1			
55	カルガモ	10	V		A1			
56	シジュウカラ	1	C		F3			
57	キジバト	2	V		J1			空中
58	トビ	3	V		F3			
59	キンクロハジロ	2	V		A1			
60	ハシブトガラス	1	V		F3			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_J	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアン ド・た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 11:55	終了時刻 12:25	天候 晴	風の状況 強
------------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ノスリ	1	√		J1			空中
2	カルガモ	50	√		A1			
3	コガモ	20	√		A1			
4	マガモ	10	√		A1			
5	イソシギ	1	√		I2			
6	ヒドリガモ	150	√		D2			
7	オオセグロカモメ	2	√		D2			
8	ホオジロガモ	2	√		A1			
9	ハシブトガラス	6	√		D2			
10	スズメ	5	√		J1			空中
11	カンムリカイツブリ	2	√		A1			
12	スズガモ	30	√		A1			
13	カワウ	1	√		J1			空中
14	トビ	1	√		J1			空中
15	ウミネコ	1	√		J1			空中
16	アメリカヒドリ	2	√		A1			
17	オオタカ	1	√		F3			幼鳥
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_K	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+										

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 11:15	終了時刻 11:45	天候 晴	風の状況 普
------------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	カワウ	30	V		I2			
2	コガモ	10	V		A3			
3	カルガモ	5	V		A3			
4	マガモ	7	V		A3			
5	スズガモ	3	V		A3			
6	オオセグロカモメ	4	V		D2			
7	ハシブトガラス	1	V		D2			
8	ハシブトガラス	3	V		D2			
9	カワラヒワ	1	C		J1			空中
10	スズメ	5	V		E2			
11	ダイサギ	1	V		D2			
12	ミサゴ	1	V		D2			枯れ木
13	マガモ	10	V		A3			
14	スズガモ	5	V		A3			
15	ハクセキレイ	1	V		D2			
16	ヒヨドリ	1	V		J1			空中
17	ベニマシコ	1	C		E2			
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_L	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						10		20	20		40								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 10:05	終了時刻 10:35	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	トビ	5	V		J1			空中
2	スズメ	20	V		F1			
3	ホオジロ	5	C		F1			
4	ハシブトガラス	2	V		F3			
5	カワウ	1	V		J1			空中
6	ノスリ	1	V		J1			空中
7	ミサゴ	1	V		F3			
8	タヒバリ	1	C		J1			空中
9	シジュウカラ	3	V		E2			
10	ジョウビタキ	1	V		E2			
11	ヒドリガモ	3	V		A1			
12	ハクセキレイ	1	V		I2			
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_M	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20					10													30	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 12:40	終了時刻 13:10	天候 晴	風の状況 強
--------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	20	✓		D2			
2	オオセグロカモメ	1	✓		J1			空中
3	ヒドリガモ	10	✓		J1			空中
4	オカヨシガモ	2	✓		J1			空中
5	ウミネコ	1	✓		J1			空中
6	コサギ	1	✓		J1			空中
7	ホシハジロ	10	✓		A1			
8	ヒドリガモ	20	✓		A1			
9	ミサゴ	1	✓		D2			枯れ木
10	ヒドリガモ	30	✓		J1			空中
11	ハクセキレイ	1	✓		J1			空中
12	カンムリカイツブリ	6	✓		A2			
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_N	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 10:40	終了時刻 11:10	天候 晴	風の状況 普
------------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	コガモ	6	V		A1			
2	スズガモ	10	V		A1			
3	トビ	2	V		F3			
4	スズメ	20	V		F3			
5	シジュウカラ	2	C		F3			
6	ハシブトガラス	1	V		F3			
7	ダイサギ	3	V		A3			
8	カルガモ	2	V		A1			
9	オオジュリン	1	C		E2			
10	ダイサギ	18	V		A3			
11	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
12	カワラヒワ	1	C		J1			空中
13	ベニマシコ	1	C		E2			
14	アオサギ	1	V		A3			
15	コサギ	1	V		A3			
16	ホオジロ	1	C		E2			
17	ヒヨドリ	1	C		F3			
18	ミサゴ	1	V		F3			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_0	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20								10

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月19日	開始時刻 9:20	終了時刻 14:00	天候 晴	風の状況 強
--------	----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハヤブサ	1	V		J1			空中
2	コチョウゲンボウ	1	V		F3			
3	キジ	1	V		E2			
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_P	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+								20

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月20日	開始時刻 7:55	終了時刻 9:30	天候 晴	風の状況 強
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	オナガガモ	100	V		A3			
2	マガモ	30	V		A3			
3	ハシブトガラス	2	V		F3			
4	スズメ	1	C		J1			空中
5	オオジュリン	1	C		E2			
6	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
7	カワラヒワ	1	C		J1			空中
8	ダイサギ	5	V		D2			
9	コサギ	3	V		D2			
10	トビ	1	V		F3			
11	ホオジロ	4	V		E1			
12	ハシボソガラス	1	V		D2			
13	シジュウカラ	1	C		F3			
14	ノスリ	1	V		F3			
15	ヒヨドリ	1	C		F3			
16	オオハクチョウ	5	V		J1			空中
17	モズ	1	C		F3			
18	ダイサギ	1	V		A1			
19	カワウ	1	V		J1			空中
20	スズメ	2	V		E2			
21	ハシブトガラス	1	V		F3			
22	ベニマシコ	1	C		E2			
23	シメ	1	C		J1			空中
24	オオジュリン	1	C		J1			空中
25	マガモ	20	V		A2			
26	コガモ	5	V		A2			
27	ヒドリガモ	7	V		A2			
28	カワウ	1	V		A2			
29	カワラヒワ	2	C		J1			空中
30	ヒバリ	1	C		J1			空中

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_P	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まり ワンド・た			土 泥地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
+	20			+		20		10	20		+	+								20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月20日	開始時刻 7:55	終了時刻 9:30	天候 晴	風の状況 強
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ミサゴ	1	V		J1			足に餌を持つ
32	ホオジロ	1	C		E2			
33	ミヤマガラス	7	V		J1			空中
34	トビ	1	V		J1			空中
35	ホオジロガモ	1	V		A2			
36	オオバン	2	V		A2			
37	ドバト	1	V		J1			空中
38	スズメ	200	V		I2			
39	ハクセキレイ	1	V		I2			
40	タヒバリ	1	C		E2			
41	ウミネコ	1	V		J1			空中
42	コチョウゲンボウ	1	V		J1			空中
43	イソシギ	2	V		I2			
44	マガモ	2	V		A2			
45	コサギ	1	V		I2			
46	ハシブトガラス	2	V		D3			
47	キジ	1	V		E1			
48	ヒバリ	1	C		J1			空中
49	オオバン	2	V		A2			
50	イソシギ	1	V		D3			
51	ユリカモメ	1	V		D1			
52	アオサギ	1	V		D1			
53	ホオジロガモ	1	V		A2			
54	コガモ	10	V		A2			
55	ホオジロ	1	C		E2			
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_Q	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	20			10		30		10	20	10										

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月20日	開始時刻 10:00	終了時刻 11:00	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	50	V		D2			
2	オナガガモ	350	V		D2			
3	マガモ	60	V		A2			
4	オナガガモ	300	V		A2			
5	カワウ	3	V		A2			
6	オカヨシガモ	1	V		A2			
7	ハマシギ	30	V		A2			
8	ホオジロガモ	1	V		A2			
9	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
10	ヒバリ	1	C		J1			空中
11	ヒドリガモ	5	V		A2			
12	カワラヒワ	1	C		J1			空中
13	カンムリカイツブリ	16	V		A2			
14	カワウ	100	V		I2			
15	マガモ	40	V		I2			
16	オオセグロカモメ	5	V		I2			
17	アオサギ	3	V		I2			
18	ウミネコ	10	V		I2			
19	オナガガモ	100	V		D2			
20	ウミアイサ	2	V		A2			
21	カワアイサ	3	V		A2			
22	タヒバリ	1	C		J1			空中
23	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
24	コサギ	1	V		D2			
25	ミヤコドリ	1	V		D2			
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_R	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	20							+	10	+		20								30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月20日	開始時刻 10:40	終了時刻 11:10	天候 晴	風の状況 普
------------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		A2			
2	コサギ	1	V		D2			
3	ミサゴ	2	V		I2			
4	マガモ	700	V		A2			
5	オナガガモ	800	V		D2			
6	カワアイサ	1	V		A2			
7	ホシハジロ	2	V		A2			
8	ヒドリガモ	3	V		A2			
9	オカヨシガモ	2	V		A2			
10	ホオジロガモ	2	V		A2			
11	トビ	2	V		J1			空中
12	ミサゴ	1	V		J1			空中
13	ヒヨドリ	1	C		F3			
14	ハシブトガラス	1	V		I2			
15	コガモ	20	V		D2			
16	アオサギ	1	V		A2			
17	ダイシャクシギ	1	V		A2			
18	ミヤコドリ	1	V		A2			
19	ミカイツブリ	1	V		A2			
20	カイツブリ	1	V		A2			
21	オカヨシガモ	1	V		A2			
22	キンクロハジロ	1	V		A2			
23	マガモ	40	V		A2			
24	オナガガモ	20	V		A2			
25	ヒドリガモ	5	V		A2			
26	ハイトカ	1	V		J1			空中
27	ベニマシコ	1	C		E1			
28	ホオジロ	1	C		E1			
29	カワラヒワ	1	C		J1			空中
30	カワウ	1	V		A2			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視（Visual） S：さえずり（Song） C：地鳴き（Call） 他：その他（Other）

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_S	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			+				10	20	+	20									10

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月20日	開始時刻 11:20	終了時刻 11:50	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒドリガモ	70	V		A2			
2	マガモ	30	V		A2			
3	コサギ	1	V		A2			
4	ハシボソガラス	1	V		I2			
5	オオバン	1	V		A2			
6	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
7	カイツブリ	1	V		A2			
8	コガモ	10	V		A2			
9	ミカイツブリ	1	V		A2			
10	スズガモ	1	V		A2			
11	ユリカモメ	2	V		I2			
12	ホオジロガモ	1	V		A2			
13	ハジロカイツブリ	1	V		A2			
14	ベニマシコ	1	C		E2			
15	カワウ	1	V		J1			空中
16	カワアイサ	1	V		J1			空中
17	トビ	1	V		J1			空中
18	カララヒワ	1	C		J1			空中
19	ダイサギ	1	V		J1			空中
20	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_T	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	30				+				10	20										30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月20日	開始時刻 12:00	終了時刻 12:30	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カンムリカイツブリ	2	V		A2			
2	マガモ	2	V		A2			
3	カワウ	60	V		A2			
4	コサギ	2	V		J1			空中
5	ホオジロ	2	C		E2			
6	ユリカモメ	1	V		A2			
7	カイツブリ	1	V		A2			
8	ミサゴ	1	V		J1			空中
9	トビ	1	V		J1			空中
10	カワラヒワ	1	C		J1			空中
11	マガモ	200	V		I2			
12	オナガガモ	30	V		I2			
13	コガモ	200	V		I2			
14	アオサギ	3	V		I2			
15	カワウ	10	V		I2			
16	カルガモ	30	V		I2			
17	ホオジロガモ	1	V		A2			
18	ヒドリガモ	5	V		A2			
19	トビ	5	V		J1			空中
20	スズメ	10	V		I2			
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_U	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			10				10	20	10									20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月20日	開始時刻 12:35	終了時刻 13:05	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カンムリカイツブリ	14	V		A2			
2	オオジュリン	1	C		E2			
3	コガモ	7	V		A2			
4	スズガモ	1	V		A2			
5	カルガモ	10	V		A2			
6	ホオジロガモ	1	V		A2			
7	ミミカイツブリ	2	V		A2			
8	スズガモ	10	V		A2			
9	マガモ	2	V		A2			
10	カワラヒワ	1	C		J1			空中
11	ハイタカ	1	V		J1			空中
12	スズメ	2	C		I2			
13	ヒバリ	1	C		E2			
14	カワウ	1	V		J1			空中
15	ノスリ	1	V		J1			空中
16	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
17	カイツブリ	1	V		A2			
18	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
19	オカヨシガモ	7	V		A2			
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B5_V	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 5	時期 秋季	調査年月日 2013年11月20日	開始時刻 8:00	終了時刻 13:10	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	チョウゲンボウ	1	V		F3			バッタを捕食
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 8:50	終了時刻 13:05	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒバリ	2	VC		D1			
2	カルガモ	5	V		J1			空中
3	トビ	1	V		J1			空中
4	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
5	スズメ	9	V		E1			
6	ヒバリ	2	V		E1			
7	ハクセキレイ	1	C		I2			
8	スズメ	3	V		I2			
9	カワウ	2	V		J1			空中
10	ホオジロ	1	V		E1			
11	ホオジロガモ	1	V		A2			
12	オオバン	1	V		A2			
13	オオジュリン	2	VC		J1			空中
14	カワラヒワ	2	V		D2E1			
15	オオジュリン	1	C		E2			
16	オオジュリン	2	VC		E2			
17	カワラヒワ	9	V		E2			
18	スズガモ	1	V		A2			
19	コガモ	7	V		A2			
20	オオバン	2	V		A2			
21	スズガモ	1	V		A2			
22	ホオジロガモ	1	V		A2			
23	オナガガモ	20	V		A2			
24	スズガモ	7	V		A2			
25	オオバン	15	V		A2			
26	ヒドリガモ	1	V		A2			
27	カイツブリ	1	V		A2			
28	スズガモ	4	V		A2			
29	アオサギ	1	V		J1			空中
30	カワラヒワ	1	C		E2			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 8:50	終了時刻 13:05	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	スズメ	8	V		E1			
32	カワラヒワ	2	V		J1			空中
33	オオジュリン	1	C		E2			
34	スズメ	25	V		E2			
35	ハシボソガラス	1	V		D2			
36	ミサゴ	3	V		J1			空中
37	ホオジロガモ	2	V		A2			
38	ハシブトガラス	1	V		D2			
39	カワラヒワ	3	V		J1			空中
40	ウミウ	1	V		J1			空中
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_B	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		30						10	20											20

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 8:15	終了時刻 8:45	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	トビ	1	V		J1			空中
2	スズガモ	10	V		A1			
3	ハシブトガラス	1	V		D2			
4	マガモ	1	V		A1			
5	ホオジロガモ	1	V		A1			
6	スズガモ	2	V		A1			
7	カワウ	187	V		D2			
8	カワウ	9	V		D2F3			
9	コクガン	25	V		D2			
10	マガモ	5	V		A1			
11	ヒドリガモ	2	V		A1			
12	マガモ	43	V		D2			
13	ヒドリガモ	21	V		A1D2			
14	カルガモ	9	V		D1			
15	ヒドリガモ	4	V		D1E1			
16	コガモ	2	V		D1			
17	ヒドリガモ	7	V		A2			
18	スズガモ	1	V		A2			
19	ミカイツブリ	1	V		A2			
20	カイツブリ	1	V		A2			
21	マガモ	81	V		A1			
22	ヒドリガモ	44	V		A2D2			
23	スズメ	1	C		E1			
24	ヒバリ	1	C		E1			
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_C	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		10		20		10	30										10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 9:05	終了時刻 9:25	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	5	✓		A2			
2	カイツブリ	1	✓		A2			
3	ダイゼン	2	✓		D2			
4	ホオジロガモ	1	✓		A2			
5	ハジロカイツブリ	1	✓		D2			
6	ダイゼン	3	✓		D2			
7	シロチドリ	23	✓		D1			
8	ハマシギ	8	✓		D1			
9	ヒバリ	1	✓		D1			
10	ハシボソガラス	3	✓		D1			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_D	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		30		+		20		10	30										10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 9:45	終了時刻 10:15	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ジョウビタキ	1	C		E2			
2	オオジュリン	1	C		E2			
3	コガモ	8	V		A2			
4	ミサゴ	1	V		F3			魚を持っている
5	アオサギ	3	V		D1			
6	トビ	1	V		F3			
7	ハシブトガラス	4	V		F3			
8	カイツブリ	2	V		A2			
9	ハシブトガラス	3	V		J1			空中
10	ツグミ	1	V		J1			空中
11	トビ	1	V		J1			空中
12	カルガモ	4	V		A2			
13	オオジュリン	1	C		E2			
14	カイツブリ	1	V		A2			
15	カワラヒワ	3	V		J1			空中
16	チョウゲンボウ	1	V		J1			空中
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_E	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		20		50		10												

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 10:50	終了時刻 11:20	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		D2			
2	ヒヨドリ	1	C		F3			
3	ハシブトガラス	2	V		J1			空中
4	アオサギ	19	V		D2			
5	ノスリ	1	V		J1			空中
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_F	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				10		70		+												

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 11:45	終了時刻 12:15	天候 晴	風の状況 強
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	3	√		I2			
2	アオサギ	1	√		J1			空中
3	マガモ	2	√		J1			空中
4	カンムリカイツブリ	3	√		A1			
5	マガモ	2	√		J1			空中
6	カワウ	1	√		J1			空中
7	カワウ	10	√		J1			空中
8	カワウ	1	√		J1			空中
9	マガモ	2	√		J1			空中
10	カワウ	2	√		J1			空中
11	カワウ	2	√		J1			空中
12	カワウ	3	√		J1			空中
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_G	地点名 St.6	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						50		10	10	+	+	30								

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 12:35	終了時刻 13:05	天候 晴	風の状況 強
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_H	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 13:05	終了時刻 14:00	天候 晴	風の状況 強
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_1	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た まり			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 8:05	終了時刻 9:15	天候 晴	風の状況 普
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ノスリ	1	V		F3			
2	イソシギ	1	V		I2			
3	カシラダカ	3	C		J1			空中
4	アオジ	1	C		E2			
5	カルガモ	19	V		A1			
6	スズメ	1	C		J1			空中
7	カワラヒワ	6	C		J1			空中
8	オオジュリン	1	C		E2			
9	カウウ	170	V		I2			
10	ウミネコ	1	V		J1			空中
11	ヒヨドリ	3	V		J1			空中
12	トビ	1	V		F3			
13	ホシハジロ	1	V		A1			
14	オナガガモ	100	V		A3			
15	キジ	2	V		E2			
16	ベニマシコ	1	C		E2			
17	ホオジロ	3	V		E1			
18	ハシボソガラス	2	V		F3			
19	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
20	アオジ	1	C		E2			
21	モズ	1	V		F1			
22	カシラダカ	1	C		E2			
23	ハマシギ	40	V		D2			
24	ミサゴ	2	V		F3			枯れ木
25	スズメ	10	V		E2			
26	カシラダカ	20	V		F3			
27	シロチドリ	3	V		D2			
28	ノスリ	1	V		F3			
29	ホオジロガモ	1	V		A1			
30	ミサゴ	1	V		J1			空中

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_1	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
		10		10					30	+		20								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 8:05	終了時刻 9:15	天候 晴	風の状況 普
------------	----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	カルガモ	17	V		A1			
32	コガモ	9	V		A1			
33	カワアイサ	2	V		A1			
34	アオサギ	1	V		A3			
35	ダイサギ	1	V		A3			
36	ホオジロ	5	V		E2			
37	スズガモ	9	V		A1			
38	ホシハジロ	1	V		A1			
39	キジバト	1	V		J1			空中
40	トビ	1	V		F3			
41	ハシブトガラス	1	V		F3			
42	カワラヒワ	2	V		F3			
43	コゲラ	1	C		F3			
44	スズメ	30	V		E1			
45	ホオジロ	10	V		E1			
46	カシラダカ	5	V		E1			
47	アオジ	1	C		E2			
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_J	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 11:55	終了時刻 12:25	天候 晴	風の状況 強
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	45	V		A1			
2	ヒドリガモ	13	V		A1			
3	ホオジロガモ	1	V		A1			
4	スズガモ	30	V		A1			
5	クロガモ	3	V		A1			
6	ホオジロガモ	3	V		A1			
7	コサギ	1	V		A1			
8	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
9	トビ	1	V		J1			空中
10	ヒドリガモ	5	V		A1			
11	オオバン	2	V		A1			
12	イソシギ	1	V		A1			
13	ウミネコ	1	V		A1			
14	カワウ	1	V		I2			
15	ノスリ	1	V		J1			空中
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_K	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+										

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 11:00	終了時刻 11:30	天候 晴	風の状況 強
------------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ハマシギ	34	V		D2			
2	シロチドリ	12	V		D2			
3	ダイサギ	1	V		J1			空中
4	カワウ	1	V		J1			空中
5	ヒヨドリ	1	C		F3			
6	スズメ	5	V		E2			
7	カワラヒワ	3	C		E2			
8	ハシボソガラス	2	V		D2			
9	アオサギ	2	V		I2			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_L	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						10		20	20		40								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 9:50	終了時刻 10:20	天候 晴	風の状況 強
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	7	V		E2			
2	スズメ	5	V		E2			
3	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
4	ヒドリガモ	2	V		A1			
5	カワラヒワ	1	C		J1			空中
6	ヒヨドリ	2	V		F3			
7	カワウ	5	V		J1			空中
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_M	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20					10													30	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 12:30	終了時刻 13:00	天候 晴	風の状況 強
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
2	ウミウ	10	V		I2			
3	ウミネコ	17	V		I2			テトラボット
4	セグロカモメ	7	V		I2			テトラボット
5	ハシボソガラス	2	V		J1			テトラボット
6	カワウ	70	V		A2			
7	マガモ	50	V		A2			
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_N	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 10:25	終了時刻 10:55	天候 晴	風の状況 普
------------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ダイサギ	2	V		A3			
2	カワウ	4	V		J1			空中
3	カンムリカイツブリ	1	V		A1			
4	ハシボソガラス	2	V		F3			
5	シジュウカラ	2	C		F3			
6	カワラヒワ	1	C		J1			空中
7	スズメ	10	V		E2			
8	ノスリ	1	V		F3			
9	トビ	1	V		F3			
10	イソシギ	1	C		A1			
11	ハシボソガラス	1	V		I2			
12	ハクセキレイ	1	V		E1			
13	ヒヨドリ	2	C		F3			
14	ベニマシコ	1	C		E2			
15	カルガモ	8	V		J1			空中
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_0	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月16日	開始時刻 13:00	終了時刻 14:00	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_P	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+								20

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月17日	開始時刻 8:10	終了時刻 9:30	天候 曇	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	オオジュリン	1	C		E2			
2	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
3	カララヒワ	1	V		E2			
4	ハクセキレイ	1	V		D2			
5	ホオジロ	1	C		E1			
6	ハマシギ	70	V		D2			
7	シロチドリ	10	V		D2			
8	コサギ	1	V		D2			
9	ノスリ	1	V		F3			
10	ホオジロ	2	C		E2			
11	タヒバリ	1	V		J1			空中
12	ハシブトガラス	1	V		I2			
13	ハシボソガラス	1	V		I2			
14	ハジロカイツブリ	2	V		A2			
15	ホオジロ	1	C		E2			
16	ベニマシコ	1	C		E2			
17	カララヒワ	1	C		E2			
18	トビ	1	V		F2			
19	スズメ	1	C		F2			
20	ヒバリ	1	C		J1			空中
21	アオジ	1	C		F2			
22	ヒドリガモ	1	V		A2			
23	ミサゴ	1	V		J1			空中
24	カイツブリ	1	V		A2			
25	マガモ	2	V		A2			
26	コガモ	9	V		A2			
27	カワウ	1	V		A2			
28	スズメ	100	VC		E2			
29	ヒバリ	1	V		J1			空中
30	ハクセキレイ	1	V		D3			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_P	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
+	20			+		20		10	20		+	+								20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月17日	開始時刻 8:10	終了時刻 9:30	天候 曇	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
31	カシラダカ	1	C		J1			空中
32	ハジロカイツブリ	1	V		A2			
33	カイツブリ	1	V		A2			
34	アオサギ	14	V		I2			
35	ダイサギ	1	V		I2			
36	マガモ	55	V		I2			
37	コガモ	9	V		A2			
38	カワウ	3	V		I2			
39	ミサゴ	1	V		J1			空中
40	ノスリ	1	V		I2			
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_Q	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	20			10		30		10	20	10										

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月17日	開始時刻 8:50	終了時刻 9:30	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	3	√		D2			
2	マガモ	250	√		A2			
3	カワアイサ	15	√		A2			
4	オナガガモ	29	√		A2			
5	ヒドリガモ	2	√		A2			
6	オカヨシガモ	2	√		A2			
7	オナガガモ	23	√		A2			
8	マガモ	12	√		A2			
9	オナガガモ	29	√		A2			
10	カワアイサ	3	√		A2			
11	オオセグロカモメ	2	√		A2J1			空中
12	マガモ	109	√		A2			
13	マガモ	54	√		A2			
14	ウミネコ	1	√		A2			
15	マガモ	2	√		A2			
16	ハシブトガラス	1	√		J1			空中
17	カワウ	228	√		I2			
18	ユリカモメ	34	√		I2			
19	ウミネコ	1	√		I2			
20	アオサギ	3	√		I2			
21	ダイサギ	2	√		I2			
22	コサギ	5	√		I2			
23	ハクセキレイ	1	√		D2			
24	カルガモ	75	√		A2			
25	マガモ	18	√		A2			
26	ヒドリガモ	2	√		A2			
27	カンムリカイツブリ	2	√		A2			
28	ミミカイツブリ	1	√		A2			
29	ホオジロガモ	1	√		A2			
30	ヒドリガモ	18	√		A2			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_R	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	20							+	10	+		20								30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月17日	開始時刻 7:55	終了時刻 8:25	天候 曇	風の状況 弱
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ノスリ	1	V		F3			
2	マガモ	73	V		A2D1			
3	ミヤコドリ	1	V		D1			
4	ミサゴ	1	V		D1			
5	シロチドリ	41	V		D2			
6	ハマシギ	250	V		D2			
7	アオサギ	1	V		D2			
8	カウウ	1	V		J1			空中
9	ハシブトガラス	1	V		I2			
10	オオタカ	1	V		J1			空中
11	ダイシャクシギ	1	V		D2			
12	コサギ	1	V		A2			
13	アオサギ	1	V		D2			
14	ハシブトガラス	1	C		F3			
15	ダイゼン	4	V		D2			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_S	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			+				10	20	+	20								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月17日	開始時刻 9:45	終了時刻 10:15	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	マガモ	41	√		A2I2			
2	コガモ	3	√		A2			
3	カワウ	2	√		A2			
4	オカヨシガモ	1	√		A2			
5	カンムリカイツブリ	1	√		A2			
6	ヒドリガモ	3	√		I2			
7	ヒドリガモ	4	√		A2			
8	カワアイサ	2	√		A2			
9	オオセグロカモメ	1	√		I2			
10	ホオジロガモ	1	√		A2			
11	スズガモ	16	√		A2			
12	ピロードキンクロ	1	√		A2			
13	ミミカイツブリ	1	√		A2			
14	カンムリカイツブリ	11	√		A2			
15	スズガモ	3	√		A2			
16	ハシブトガラス	2	√		A2I2			
17	ハジロカイツブリ	1	√		A2			
18	ホオジロガモ	1	√		A2			
19	カワアイサ	1	√		A2			
20	ユリカモメ	14	√		A2			
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_T	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マ リ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	30				+				10	20										30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月17日	開始時刻 10:33	終了時刻 11:03	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ハイロチュウヒ	1	√		J1			空中
2	マガモ	48	√		A2I2			
3	カワウ	6	√		I2			
4	コガモ	5	√		I2			
5	アオサギ	1	√		I2			
6	カルガモ	10	√		A2			
7	ミカイツブリ	2	√		A2			
8	コガモ	3	√		A2			
9	マガモ	12	√		A2			
10	マガモ	11	√		A2			
11	コガモ	9	√		A2			
12	コガモ	9	√		I2			
13	マガモ	12	√		A2I2			
14	ホオジロガモ	1	√		A2			
15	コサギ	1	√		I2			
16	カンムリカイツブリ	4	√		A2			
17	カワウ	2	√		J1			空中
18	カワウ	1	√		J1			空中
19	オオバン	1	√		A2			
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_U	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
	30			10				10	20	10										20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月17日	開始時刻 11:00	終了時刻 11:30	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	コガモ	54	V		A2			
2	カイツブリ	2	V		A2			
3	カルガモ	1	V		A2			
4	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
5	ヒバリ	1	C		J1			空中
6	カンムリカイツブリ	9	V		A2			
7	ハジロカイツブリ	2	V		A2			
8	マガモ	10	V		A2			
9	スズガモ	21	V		A2			
10	ホオジロガモ	2	V		A2			
11	オオバン	2	V		A2			
12	ヒドリガモ	3	V		A2			
13	カルガモ	6	V		A2			
14	スズメ	5	V		J1			空中
15	カシラダカ	1	C		E2			
16	コガモ	22	V		I2			
17	ヒドリガモ	6	V		I2			
18	マガモ	13	V		I2			
19	カワウ	1	V		I2			
20	ダイサギ	1	V		J1			空中
21	ノスリ	1	V		I2			
22	チョウゲンボウ	1	V		I2			No.21へ攻撃
23	ウミネコ	1	V		J1			空中
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B6_V	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2013年12月17日	開始時刻 9:30	終了時刻 12:40	天候 晴	風の状況 普
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒヨドリ	4	V		F2			
2	モズ	1	V		E2			
3	キジバト	6	V		F2			
4	シジュウカラ	2	C		E2			
5	キジ	2	V		E2			
6	オオハクチョウ	5	V		H3			
7	タシギ	1	V		H3			放棄水田
8	ホオアカ	1	V		E2			
9	オオタカ	1	V		J1			空中
10	ハイロチュウヒ	1	V		J1			空中
11	コチョウゲンボウ	1	V		I2			
12	ハヤブサ	1	V		J1			空中
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視（Visual） S：さえずり（Song） C：地鳴き（Call） 他：その他（Other）

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分¹」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 9:17	終了時刻 13:40	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	25	V		A2D2			
2	ハクセキレイ	1	V		D2			
3	ヒバリ	2	V		D1			
4	ハシブトガラス	3	V		J1			空中
5	ユリカモメ	1	V		J1			空中
6	カワウ	1	V		J1			空中
7	ミサゴ	1	V		J1			空中
8	キジ	1	V		J1			空中
9	オオジュリン	1	C		E2			
10	オオジュリン	3	V		J1			空中
11	ヒバリ	1	V		D3			
12	ハクセキレイ	1	V		D2			
13	カワウ	2	V		J1			空中
14	カワウ	2	V		J1			空中
15	コガモ	20	V		I2			
16	オナガガモ	17	V		I2			
17	ヒドリガモ	2	V		A2I2			
18	スズガモ	1	V		A2I2			
19	オオバン	23	V		A2			
20	オナガガモ	24	V		A2			
21	オカヨシガモ	2	V		A2			
22	スズガモ	4	V		A2			
23	ミコアイサ	4	V		A2			
24	カルガモ	2	V		A2I2			
25	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
26	ハシブトガラス	1	V		G1			
27	ゴイサギ	1	V		G1			
28	スズメ	1	V		E1			
29	ヒヨドリ	2	V		J1			空中
30	カワウ	1	V		J1			空中

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
10		20		10		20		10	10		+	+							10		

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 9:17	終了時刻 13:40	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	--------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ハシブトガラス	2	√		J1			空中
32	カラヒワ	13	√		D2			
33	トビ	13	√		D2J1			空中
34	ハシブトガラス	12	√		D2J1			空中
35	シロチドリ	2	√		D2			
36	ハマシギ	50	√		A2D1			
37	ダイゼン	7	√		A2D1			
38	アオサギ	1	√		J1			空中
39	ハシブトガラス	1	√		D2			
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7 B	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		30						10	20										20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 8:15	終了時刻 9:15	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	--------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	コクガン	36	√		D2			
2	ユリカモメ	120	√		A2D2			
3	キジ	2	√		E2			
4	カルガモ	14	√		D2			
5	ヒドリガモ	15	√		D2			
6	マガモ	1	√		D2			
7	ホシハジロ	3	√		A2			
8	カルガモ	16	√		D1			
9	オカヨシガモ	3	√		A2			
10	ヒドリガモ	2	√		A2			
11	ホシハジロ	15	√		A2			
12	ホオジロガモ	2	√		A1			
13	マガモ	8	√		A2D1			
14	カルガモ	2	√		A2D1			
15	マガモ	18	√		A2D2			
16	ヒドリガモ	7	√		D2			
17	ヒドリガモ	6	√		D2			
18	マガモ	27	√		A2D2			
19	ヒドリガモ	5	√		D2			
20	カワウ	86	√		D2			
21	ハクセキレイ	1	√		D2			
22	マガモ	66	√		D2			
23	オナガガモ	4	√		D2			
24	ヒドリガモ	13	√		A2D2			
25	ユリカモメ	5	√		D2			
26	カモメ	7	√		D2			
27	ハシソコガラス	2	√		D2			
28	カモメ	3	√		D2			
29	ダイサギ	1	√		I2			
30	カワウ	10	√		A2			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_B	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		30						10	20										20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 8:15	終了時刻 9:15	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	--------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ユリカモメ	5	√		D2			
32	カルガモ	8	√		D2			
33	ユリカモメ	100	√		D2			
34	ハシボトガラス	9	√		D2			
35	カルガモ	8	√		A2D2			
36	マガモ	3	√		A2			
37	ウミネコ	1	√		D2			
38	ユリカモメ	7	√		I2			
39	ヒドリガモ	30	√		A1			
40	マガモ	30	√		A1			
41	ハシボソガラス	7	√		D2I2			
42	カモメ	1	√		D2			
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_C	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		10		20		10	30											10

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 9:31	終了時刻 10:01	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ユリカモメ	70	√		A2D2			
2	ハシブトガラス	2	√		J1			空中
3	ハマシギ	4	√		D2			
4	シロチドリ	2	√		D2			
5	ユリカモメ	16	√		A2			
6	ハマシギ	3	√		D2			
7	ミユビシギ	1	√		D2			
8	ダイゼン	6	√		D2			
9	シロチドリ	17	√		D2			
10	ハマシギ	28	√		D2			
11	トビ	5	√		J1			空中
12	ハシブトガラス	2	√		D1			
13	ハシブトガラス	5	√		J1			空中
14	コサギ	1	√		J1			空中
15	ミユビシギ	6	√		D2			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_D	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		30		+		20		10	30										10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 10:26	終了時刻 10:56	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロガモ	3	✓		A2			
2	オナガガモ	12	✓		J1			空中
3	ミコアイサ	1	✓		A2			
4	ミカイツブリ	1	✓		A2			
5	ダイサギ	1	✓		A3			
6	ハシブトガラス	1	✓		J1			空中
7	アオサギ	14	✓		A3			
8	カイツブリ	4	✓		A2			
9	オオバン	1	✓		A2			
10	スズガモ	8	✓		A2			
11	オナガガモ	27	✓		A2			
12	カイツブリ	1	✓		A2			
13	カワアイサ	3	✓		A2			
14	ハジロカイツブリ	1	✓		A2			
15	カルガモ	5	✓		A2			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_E	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		20		50		10												

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 11:30	終了時刻 12:00	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	--------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	トビ	2	V		J1			空中
2	ミサゴ	1	V		J1			餌を持っている
3	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
4	ハクセキレイ	1	V		D2			
5	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7 F	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				10		70		+												

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 12:50	終了時刻 13:20	天候 晴	風の状況 中
--------	----------	----------	--------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒドリガモ	7	√		I2			
2	ウミネコ	2	√		J1			空中
3	オナガガモ	4	√		J1			空中
4	ヒドリガモ	22	√		D2			
5	ユリカモメ	300	√		D2			
6	マガモ	350	√		A1			
7	ヒドリガモ	200	√		A1			
8	オオセグロカモメ	1	√		D2			
9	アオサギ	1	√		D2			
10	ハシブトガラス	15	√		D2			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_G	地点名 St.6	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						50		10	10	+	+	30								

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 13:40	終了時刻 14:10	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ミユビシギ	9	V		D2			
2	カワウ	1	V		J1			空中
3	カルガモ	4	V		J1			空中
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_H	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 14:10	終了時刻 14:30	天候 晴	風の状況 中
--------	----------	----------	--------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B7-I	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20								10

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 7:57	終了時刻 9:10	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	アオサギ	1	V		I2			
2	スズメ	3	V		E2			
3	ホオジロ	1	C		E2			
4	カルガモ	5	V		A3			
5	ハシブトガラス	3	V		F3			
6	カワラヒワ	1	V		J1			空中
7	ホオジロガモ	1	V		A1			
8	トビ	2	V		F3			
9	アオジ	1	C		E2			
10	ジョウビタキ	1	V		E2			
11	ベニマシコ	3	V		E2			
12	オオジュリン	2	C		E2			
13	カワラヒワ	3	V		E2			
14	カワウ	5	V		I2			
15	スズガモ	4	V		A3			
16	コガモ	1	V		A3			
17	ヒヨドリ	1	V		F3			
18	ホオジロ	3	V		E2			
19	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
20	ムクドリ	3	V		F3			
21	トビ	5	V		F3			
22	ハシブトガラス	2	V		F3			
23	ジョウビタキ	1	V		E2			
24	アオジ	5	V		E2			
25	ベニマシコ	3	V		E2			
26	ツグミ	1	C		F3			
27	シジュウカラ	2	C		F3			
28	スズメ	3	V		F3			
29	オナガガモ	13	V		A3			
30	マガモ	2	V		A3			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_1	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	まり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 7:57	終了時刻 9:10	天候 晴	風の状況 中
------------	----------	----------	--------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
31	ノスリ	1	V		F3			
32	モズ	1	V		F3			
33	キジバト	1	V		J1			空中
34	ミサゴ	1	V		F3			
35	ハシボソガラス	2	V		F3			
36	カワラヒワ	2	C		F3			
37	カシラダカ	2	V		E2			
38	オオジュリン	1	C		E2			
39	ホオジロ	4	V		E2			
40	カワラヒワ	7	V		E1			
41	ハクセキレイ	1	V		D2			
42	スズメ	5	C		F3			
43	ツグミ	1	V		F3			
44	ホオジロ	2	V		F3			
45	マガモ	2	V		A1			
46	ハシボソガラス	5	V		J1			空中
47	ノスリ	1	V		F3			
48	ヒドリガモ	2	V		A1			
49	カルガモ	100	V		A1			
50	キジ	1	C		F3			
51	ミサゴ	1	V		J1			空中
52	ベニマシコ	2	C		E2			
53	カシラダカ	5	C		E2			
54	ホシハジロ	1	V		A1			
55	スズガモ	3	V		A1			
56	ホオジロガモ	1	V		A1			
57	モズ	1	C		F3			
58	スズメ	30	V		F3			
59	ホオジロ	5	V		F3			
60	アオゲラ	1	V		F3			
61	トビ	2	V		J1			空中

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分¹」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_J	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 11:40	終了時刻 12:10	天候 曇	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	50	V		A1			
2	ホオジロガモ	30	V		A1			
3	コガモ	70	V		A1			
4	ヒドリガモ	15	V		A1			
5	オカヨシガモ	5	V		A1			
6	クロガモ	4	V		A1			
7	スズガモ	40	V		A1			
8	ホシハジロ	5	V		A1			
9	ハジロカイツブリ	1	V		A1			
10	カワウ	1	V		J1			空中
11	セグロカモメ	3	V		A1			
12	オオセグロカモメ	2	V		A1			
13	スズメ	5	C		E2			
14	チョウゲンボウ	1	V		J1			空中
15	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
16	ハクセキレイ	1	V		D2			
17	コガモ	10	V		A1			
18	マガモ	20	V		A1			上流に数千の群れ
19	カワアイサ	1	V		A1			
20	ウミアイサ	1	V		A1			
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_K	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+										

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 11:00	終了時刻 11:30	天候 曇	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	トビ	3	V		J1			空中
2	ミサゴ	1	V		J1			空中
3	ハヤブサ	1	V		J1			空中
4	ヒヨドリ	3	C		F3			
5	シロチドリ	13	V		D1			
6	ハマシギ	25	V		D1			
7	ハシブトガラス	3	V		J1			空中
8	ハシボソガラス	1	V		F3			
9	カワウ	1	V		A3			
10	オナガガモ	23	V		A3			
11	ヒドリガモ	5	V		A3			
12	カワラヒワ	2	C		J1			空中
13	オオジュリン	1	C		E2			
14	マガモ	2	V		A1			
15	ホオジロ	1	C		E2			
16	ベニマシコ	2	C		E2			
17	ノスリ	1	V		E2			
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_L	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						10			20	20		40							10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 9:45	終了時刻 10:15	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	10	V		F3			
2	カシラダカ	10	V		F3			
3	スズメ	20	V		F3			
4	シジュウカラ	2	V		F3			
5	ハシブトガラス	3	V		J1			空中
6	トビ	1	V		J1			空中
7	カワアイサ	3	V		J1			空中
8	カイツブリ	1	V		A1			
9	キジバト	2	V		J1			空中
10	ヒバリ	2	C		F3			
11	ジョウビタキ	1	V		F3			
12	カワウ	1	V		J1			空中
13	ヒヨドリ	3	V		J1			空中
14	カワラヒワ	2	C		J1			空中
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_M	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20					10													30	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 12:25	終了時刻 12:55	天候 曇	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カモメ	80	√		D2			
2	オオセグロカモメ	50	√		D2			
3	セグロカモメ	2	√		D2			
4	シロカモメ	2	√		J1			空中
5	クロガモ	26	√		A1			
6	ヒドリガモ	15	√		I2			
7	ハクセキレイ	2	√		I2			
8	カルガモ	10	√		A1			
9	クロガモ	32	√		A1			
10	ウミウ	3	√		I2			
11	ハジロカイツブリ	3	√		A1			
12	カルガモ	5	√		A1			
13	ヒドリガモ	10	√		A1			
14	ハシボソガラス	1	√		D2			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_N	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 10:20	終了時刻 10:50	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	コゲラ	1	C		F3			
2	スズメ	10	V		F3			
3	トビ	1	V		F3			
4	ヒヨドリ	3	C		F3			
5	ホオジロ	3	C		F3			
6	アオジ	1	C		F3			
7	ウグイス	1	C		F3			
8	カルガモ	10	V		A1			
9	ダイサギ	1	V		A3			
10	ミサゴ	1	V		F3			
11	オオタカ	1	V		F3			
12	カワウ	1	V		J1			空中
13	ノスリ	1	V		F3			
14	ハヤブサ	1	V		F3			
15	キジバト	2	V		J1			空中
16	ホオジロガモ	1	V		A1			
17	ハシブトガラス	2	V		F3			
18	カララヒワ	3	V		F3			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分¹」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B7 0	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20								10

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月6日	開始時刻 9:20	終了時刻 13:40	天候 晴	風の状況 弱
--------	----------	----------	--------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワセミ	1	C		A3			
2	コサギ	1	V		J1			空中
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7 P	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月7日	開始時刻 7:40	終了時刻 9:10	天候 晴	風の状況 中
------------	----------	----------	--------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	オオジュリン	1	C		E2			
2	ハシボソガラス	1	V		I2			
3	ハシブトガラス	1	V		D2			
4	カワラヒワ	1	C		J1			空中
5	ダイサギ	1	V		J1			空中
6	アオサギ	1	V		D2			
7	ホオジロ	1	C		E2			
8	カワラヒワ	2	V		D2			
9	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
10	スズメ	10	C		F3			
11	トビ	1	V		F3			
12	アオジ	1	V		F3			
13	スズメ	2	V		I2			
14	ハシブトガラス	2	V		F2			
15	ホオジロ	1	C		E2			
16	カワウ	1	V		J1			空中
17	トビ	1	V		J1			空中
18	ホオジロ	3	V		F1			
19	カワラヒワ	3	V		F1			
20	カイツブリ	1	V		A2			
21	スズメ	10	V		F2			
22	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
23	ベニマシコ	5	V		E2			
24	スズメ	11	V		I2			
25	ミサゴ	1	V		I2			
26	ホオジロ	1	C		E2			
27	ヒバリ	2	C		E2			
28	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
29	スズメ	6	V		E1			
30	アオジ	1	C		E2			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_P	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
+	20			+		20		10	20		+	+								20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月7日	開始時刻 7:40	終了時刻 9:10	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
31	ホオジロ	2	V		E2			
32	カララヒワ	2	C		J1			空中
33	キジ	1	V		E1			
34	ベニマシコ	1	C		E1			
35	ハジロカイツブリ	1	V		A2			
36	カワウ	1	V		A2			
37	アオサギ	10	V		I2			
38	カルガモ	28	V		I2			
39	マガモ	12	V		I2			
40	コガモ	26	V		I2			
41	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
42	トビ	1	V		I2			
43	イソシギ	2	V		I2			
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7 Q	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	20			10		30		10	20	10										

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月7日	開始時刻 8:45	終了時刻 9:30	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハマシギ	200	✓		D2			
2	ダイゼン	4	✓		D2			
3	ホウロクシギ	1	✓		D2			
4	ミヤコドリ	1	✓		D2			
5	ハシトガラス	2	✓		F1			
6	カワウ	3	✓		A2			
7	マガモ	1200	✓		A2			
8	オナガガモ	800	✓		A2			
9	カワアイサ	2	✓		A2			
10	ホオジロガモ	3	✓		A2			
11	カンムリカイツブリ	1	✓		A2			
12	ミサゴ	1	✓		I2			
13	カワアイサ	7	✓		A2			
14	マガモ	150	✓		A2			
15	オナガガモ	60	✓		A2			
16	アオサギ	1	✓		A2J1			空中
17	ヒドリガモ	30	✓		A2			
18	マガモ	20	✓		A2			
19	オオセグロカモメ	7	✓		I2			
20	ユリカモメ	16	✓		I2			
21	カモメ	1	✓		I2			
22	ウミネコ	2	✓		I2			
23	ユリカモメ	7	✓		A2			
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_R	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	20							+	10	+		20								30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月7日	開始時刻 9:45	終了時刻 10:18	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	アオサギ	2	√		D1			
2	ダイサギ	1	√		D1			
3	トビ	2	√		F3			
4	コサギ	1	√		D1			
5	ユリカモメ	16	√		A2			
6	ハシブトガラス	1	√		E2			
7	ハシブトガラス	1	√		G1			
8	オオハシシギ	2	√		D1			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7 S	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			+				10	20	+	20								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月7日	開始時刻 7:40	終了時刻 8:25	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	--------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ウミアイサ	1	√		A2			
2	オナガガモ	1	√		A2			
3	カワアイサ	3	√		A2			
4	ホオジロガモ	1	√		A2			
5	カンムリカイツブリ	1	√		A2			
6	オカヨシガモ	2	√		A2			
7	マガモ	39	√		A2			
8	カンムリカイツブリ	1	√		A2			
9	ミカイツブリ	1	√		A2			
10	マガモ	11	√		A2			
11	ホオジロガモ	1	√		A2			
12	マガモ	11	√		A2			
13	マガモ	16	√		A2			
14	カンムリカイツブリ	9	√		A2			
15	ホオジロガモ	1	√		A2			
16	ハジロカイツブリ	15	√		A2			
17	ウミアイサ	1	√		A2			
18	オナガガモ	4	√		A2			
19	スズガモ	23	√		A2			
20	マガモ	30	√		A2			
21	カンムリカイツブリ	2	√		A2			
22	ハジロカイツブリ	90	√		A2			
23	マガモ	50	√		A2			
24	カワウ	450	√		A2			
25	アオサギ	6	√		A2			
26	ヒドリガモ	25	√		A2			
27	スズガモ	23	√		A2			
28	ホオジロガモ	1	√		A2			
29	オナガガモ	28	√		A2			
30	ウミネコ	1	√		A2			

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_S	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			+				10	20	+	20								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月7日	開始時刻 7:40	終了時刻 8:25	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
31	マガモ	25	√		A2			
32	ヒドリガモ	20	√		A2			
33	カンムリカイツブリ	2	√		A2			
34	カルガモ	2	√		A2			
35	マガモ	7	√		A2			
36	カルガモ	5	√		A2			
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

√：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7 T	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	30				+				10	20										30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月7日	開始時刻 10:40	終了時刻 11:10	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	--------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ウミネコ	1	√		A2			
2	マガモ	7	√		A2			
3	カンムリカイツブリ	1	√		A2			
4	アオサギ	14	√		I2			
5	コガモ	500	√		A2I2			
6	マガモ	150	√		A2			
7	カルガモ	60	√		A2			
8	カワアイサ	11	√		A2			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_U	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			10				10	20	10									20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月7日	開始時刻 9:45	終了時刻 10:15	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	オオバン	2	V		A2			
2	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
3	ホオジロガモ	7	V		A2			
4	カンムリカイツブリ	6	V		A2			
5	スズガモ	2	V		A2			
6	ハジロカイツブリ	3	V		A2			
7	トビ	1	V		J1			空中
8	アオサギ	1	V		J1			空中
9	カワラヒワ	1	C		J1			空中
10	カルガモ	1	V		A2			
11	オオハクチョウ	3	V		J1			空中
12	ハクセキレイ	1	C		D2			
13	ミサゴ	1	V		J1			空中
14	ノスリ	1	V		I2			
15	ハシボソガラス	2	V		I2			
16	オオバン	2	V		A2			
17	ミヤマガラス	50	V		J1			空中
18	ヒバリ	1	C		J1			空中
19	チョウゲンボウ	1	V		I2			
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B7_V	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年1月7日	開始時刻 9:10	終了時刻 12:00	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カシラダカ	20	V		E2			
2	タシギ	1	V		A3			
3	ヒバリ	20	V		E2			
4	モズ	1	V		I2			
5	カワセミ	1	C		A2			
6	オオタカ	1	V		J1			空中
7	キジバト	10	V		F2			
8	ムクドリ	5	V		I2			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_A	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 8:30	終了時刻 11:57	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	2	✓		A2			
2	ホオジロガモ	3	✓		A2			
3	ヒバリ	2	✓		D1			
4	ホオジロ	3	✓		D1			
5	カルガモ	2	✓		A2			
6	カワウ	11	✓		J1			空中
7	カワウ	1	✓		J1			空中
8	オナガガモ	3	✓		J1			空中
9	キンクロハジロ	2	✓		A2			
10	ホオジロガモ	4	✓		A2			
11	オオバン	7	✓		A2			
12	スズメ	30	✓		E2			
13	ホオジロ	1	✓		E2			
14	ハシブトガラス	1	✓		J1			空中
15	ジョウビタキ	1	✓		E2			
16	チョウゲンボウ	1	✓		J1			空中
17	カラヒワ	3	✓		E1			
18	トビ	2	✓		J1			空中
19	カワウ	1	✓		J1			空中
20	ミユビシギ	1	✓		D2			
21	ダイゼン	7	✓		D2			
22	マガモ	2	✓		A2			
23	ハクセキレイ	1	✓		D2			
24	カモメ	53	✓		A2D2			
25	ウミウ	1	✓		J1			空中
26	カワウ	1	✓		J1			空中
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_B	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		30							10	20										20

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 8:00	終了時刻 8:30	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	コクガン	29	√		D2			
2	マガモ	20	√		A1D2			
3	マガモ	34	√		D2			
4	ヒドリガモ	1	√		D2			
5	ヒドリガモ	2	√		D2			
6	カワウ	1	√		D2			
7	オオセグロカモメ	270	√		J1			空中
8	カワウ	1	√		F3			
9	マガモ	8	√		A1I2			
10	ヒドリガモ	2	√		A1			
11	ハシブトガラス	1	√		J1			空中
12	ヒドリガモ	7	√		J1			空中
13	カモメ	29	√		A1D2			
14	ユリカモメ	130	√		A1D2			
15	ウミネコ	1	√		A1			
16	ハクセキレイ	1	√		D2			
17	ユリカモメ	40	√		A1D2			
18	ヒドリガモ	1	√		A1			
19	カイツブリ	1	√		A1			
20	ホオジロガモ	1	√		A1			
21	スズガモ	1	√		A1			
22	ヒドリガモ	3	√		A2			
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_C	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		10		20		10	30										10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 8:44	終了時刻 9:14	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	8	√		D2			
2	ハクセキレイ	1	√		D2			
3	マガモ	3	√		A2			
4	オナガガモ	3	√		A2			
5	ハシブトガラス	1	√		F3			
6	カワウ	2	√		J1			空中
7	カワウ	4	√		J1			空中
8	ハシボソガラス	30	√		D1D2			
9	ハシブトガラス	1	√		D1			
10	カモメ	1	√		D1			
11	ミュビシギ	2	√		D1			
12	シロチドリ	12	√		D1D2			
13	ハマシギ	95	√		A2D2			
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_D	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		30		+		20		10	30											10

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 9:24	終了時刻 9:54	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	1	√		J1			空中
2	ハシブトガラス	2	√		J1			空中
3	モズ	1	√		E2			
4	ミコアイサ	2	√		A2			
5	ノスリ	1	√		F3			
6	カイツブリ	2	√		A2			
7	アオサギ	11	√		D1			
8	オオバン	5	√		A2			
9	コガモ	2	√		A2			
10	オナガガモ	2	√		D1			
11	ハクセキレイ	1	√		D1			
12	キンクロハジロ	8	√		A2			
13	ミコアイサ	1	√		A2			
14	ホシハジロ	1	√		A2			
15	ミコアイサ	2	√		A2			
16	オオバン	15	√		A2			
17	オナガガモ	1	√		A2			
18	オナガガモ	46	√		D1			
19	ミコアイサ	1	√		A2			
20	オオバン	1	√		A2			
21	オナガガモ	3	√		A2			
22	カイツブリ	1	√		A2			
23	キンクロハジロ	2	√		A2			
24	トビ	1	√		J1			空中
25	ハシブトガラス	3	√		J1			空中
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_E	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
		20		20		50		10												

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 10:11	終了時刻 10:41	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	アオサギ	16	√		D1			
2	ハジロコチドリ	1	√		D2			
3	マヒワ	13	√		J1			空中
4	ハシブトガラス	1	√		J1			空中
5	トビ	1	√		J1			空中
6	カワウ	9	√		J1			空中
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_F	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				10		70		+												

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 11:13	終了時刻 11:43	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒドリガモ	34	V		D2			
2	マガモ	85	V		D2			
3	オオセグロカモメ	1	V		A1			
4	ヒドリガモ	2	V		J1			空中
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_G	地点名 St.6	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						50		10	10	+	+	30								

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 11:57	終了時刻 12:27	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	3	√		J1			空中
2	ミサゴ	1	√		J1			空中
3	トビ	2	√		J1			空中
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	-----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_H	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		10		20		10	10		+	+							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 12:27	終了時刻 14:00	天候 晴	風の状況 弱
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_1	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 8:00	終了時刻 9:05	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	アオジ	1	C		E2			
2	ホオジロガモ	1	V		A3			
3	ホオジロ	2	C		E2			
4	スズメ	5	C		E2			
5	カワラヒワ	10	V		E1			
6	ノスリ	1	V		F3			
7	カワウ	4	V		I2			
8	スズガモ	5	V		A1			
9	オオセグロカモメ	1	V		I2			
10	オナガガモ	3	V		A3			
11	ベニマシコ	1	C		E2			
12	ハシボトガラス	1	V		F3			
13	トビ	1	V		F3			
14	オオジュリン	1	C		E2			
15	ツグミ	1	V		F3			
16	ヒヨドリ	2	C		F3			
17	スズメ	10	V		F3			
18	ホオジロ	2	V		F3			
19	カシラダカ	1	C		F3			
20	シジュウカラ	3	C		E2			
21	アカハラ	1	V		F1			
22	ハクセキレイ	1	C		F3			
23	ハシボソガラス	1	V		I2			
24	トビ	1	V		F3			
25	モズ	1	V		E2			
26	カワラヒワ	2	V		E1			
27	オオジュリン	1	C		E2			
28	カシラダカ	10	V		E1			
29	アオジ	1	C		E2			
30	ホオジロ	10	V		F3			

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分¹」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志
------	--------------

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_1	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
		10		10					30	+		20							10		

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 8:00	終了時刻 9:05	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
31	ツグミ	1	V		F3			
32	ホオジロガモ	1	V		A1			
33	カンムリカイツブリ	1	V		A1			
34	スズガモ	7	V		A1			
35	アオサギ	1	V		I2			
36	カルガモ	100	V		I2			
37	ホオジロ	5	C		E2			
38	カシラダカ	1	C		E2			
39	スズメ	2	V		F3			
40	ホオジロ	5	V		F3			
41	シジュウカラ	5	V		E2			
42	カワラヒワ	3	C		E1			
43	カワセミ	1	V		E2			
44	ダイサギ	2	V		I2			
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_J	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 11:35	終了時刻 12:05	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒドリガモ	30	V		I2			
2	マガモ	28	V		I2			
3	カワウ	5	V		I2			
4	アオサギ	1	V		I2			
5	カルガモ	40	V		I2			
6	ホオジロガモ	4	V		A1			
7	ミミカイツブリ	1	V		A1			
8	スズガモ	20	V		A1			
9	クロガモ	6	V		A1			
10	ホシハジロ	1	V		A1			
11	コガモ	2	V		I2			
12	ハクセキレイ	1	V		I2			
13	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
14	トビ	1	V		J1			空中
15	ヒバリ	1	C		J1			空中
16	オオセグロカモメ	1	V		A1			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_K	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+										

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 10:55	終了時刻 11:25	天候 晴	風の状況 中
--------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	1	V		F3			
2	カワウ	1	V		I2			
3	マガモ	1	V		A3			
4	トビ	1	V		J1			空中
5	ノスリ	1	V		F3			
6	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
7	ホオジロ	1	C		F3			
8	ヒヨドリ	1	C		F3			
9	カワラヒワ	1	C		F3			
10	コゲラ	1	C		F3			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_L	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 落 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
						10		20	20		40								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 9:40	終了時刻 10:10	天候 晴	風の状況 中
------------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	カルガモ	80	V		I2			
2	コガモ	7	V		I2			
3	カンムリカイツブリ	1	V		A1			
4	スズメ	100	V		F3			
5	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
6	ミサゴ	1	V		J1			空中
7	ホオジロ	2	C		F3			
8	カワラヒワ	5	C		F3			
9	トビ	1	V		J1			空中
10	カワウ	1	V		J1			空中
11	マガモ	3	V		I2			
12	オカヨシガモ	6	V		I2			
13	カワウ	2	V		A1			
14	カイツブリ	1	V		A1			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_M	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 群 落 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20					10													30	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 12:20	終了時刻 12:50	天候 晴	風の状況 中
------------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	クロガモ	7	√		A1			
2	ヒドリガモ	1	√		J1			空中
3	カワウ	2	√		A1			
4	オオセグロカモメ	7	√		D2			
5	カモメ	8	√		D2			
6	クロガモ	40	√		A1			
7	ミカイツブリ	2	√		A1			
8	ビロードキンクロ	1	√		A1			
9	カンムリカイツブリ	6	√		A1			
10	アカエリカイツブリ	1	√		A1			
11	ハマシギ	20	√		J1			空中
12	ハシボソガラス	1	√		D2			
13	ミサゴ	1	√		D2			流木上
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_N	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 10:15	終了時刻 10:45	天候 晴	風の状況 中
------------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		D1			
2	ハクセキレイ	1	V		I2			
3	カンムリカイツブリ	2	V		A1			
4	カイツブリ	2	V		A1			
5	ヒヨドリ	1	C		F3			
6	シジュウカラ	1	C		F3			
7	ホオジロ	3	C		E2			
8	アオジ	1	C		E2			
9	カワラヒワ	2	C		F3			
10	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
11	トビ	2	V		J1			空中
12	アオサギ	1	V		J1			空中
13	ミサゴ	1	V		F3			
14	カルガモ	20	V		A1			
15	カワウ	1	V		A1			
16	スズメ	3	V		F3			
17	カシラダカ	1	C		E2			
18	キジバト	1	V		J1			空中
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦特別保護地区	調査年度 2013
-------------------	------------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_0	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20		10		10					30	+		20							10	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月27日	開始時刻 12:50	終了時刻 14:00	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_P	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ま り ワ ン ド ・ た			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月28日	開始時刻 7:40	終了時刻 9:25	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	トビ	1	V		I2			
2	ハシブトガラス	2	V		I2			
3	ホオジロ	1	C		E2			
4	オオジュリン	2	C		E2			
5	ハシボソガラス	1	V		D2			
6	ハクセキレイ	1	V		D2			
7	アオサギ	6	V		A3			
8	カルガモ	1	V		A3			
9	ヒヨドリ	1	C		F3			
10	ホオジロ	1	C		F3			
11	コゲラ	1	C		F3			
12	ハシブトガラス	1	V		F3			
13	カワラヒワ	1	V		F3			
14	スズメ	1	V		E2			
15	ホオジロ	1	C		E2			
16	オオタカ	1	V		F2			
17	カワウ	1	V		J1			空中
18	ユリカモメ	1	V		J1			空中
19	マガモ	5	V		A2			
20	ホオジロガモ	1	V		A2			
21	カワアイサ	1	V		A2			
22	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
23	カワラヒワ	5	V		F1			
24	ホオジロ	10	VC		F1			
25	ヒヨドリ	1	C		F2			
26	スズメ	10	V		F2			
27	カシラダカ	1	C		E2			
28	キジバト	2	V		J1			空中
29	スズメ	5	V		I2			
30	ハクセキレイ	1	C		J1			空中

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_P	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	--------------	------------	------------------

調査対象環境区分 ¹																					
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他	
流水域	湛水域	まわり ワンド・た			土 泥地	砂地	礫地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造		
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1	
+	20			+		20		10	20		+	+								20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月28日	開始時刻 7:40	終了時刻 9:25	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
31	ドバト	3	V		J1			空中
32	オオバン	2	V		A2			
33	マガモ	56	V		I2			
34	カルガモ	48	V		I2			
35	コガモ	26	V		I2			
36	アオサギ	11	V		I2			
37	イソシギ	3	V		I2			
38	カワアイサ	1	V		A2			
39	ダイサギ	1	V		I2			
40	ハクセキレイ	2	V		J1			空中
41	カイツブリ	1	V		A2			
42	ヒバリ	1	C		J1			空中
43	カシラダカ	8	V		E1			
44	ヒバリ	4	V		E1			
45	ホオジロ	12	V		F1			
46	カワラヒワ	2	V		F1			
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_Q	地点名 St.1	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	20			10		30		10	20	10										

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月28日	開始時刻 9:15	終了時刻 10:02	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	ハマシギ	16	V		D2			
2	ダイゼン	4	V		D2			
3	トビ	1	V		I2			
4	マガモ	6	V		A1			
5	カワアイサ	9	V		A2			
6	マガモ	7	V		A2			
7	カワウ	1	V		A2			
8	マガモ	14	V		A2			
9	ユリカモメ	5	V		I2			
10	マガモ	280	V		A2			
11	カルガモ	1	V		A2			
12	ハシブトガラス	1	C		J1			空中
13	ミヤコドリ	1	V		I2			
14	ダイシャクシギ	1	V		I2			
15	コガモ	3	V		J1			空中
16	キアシシギ	2	V		I2			
17	オオセグロカモメ	1	V		I2			
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_R	地点名 St.2	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	20							+	10	+		20								30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月28日	開始時刻 8:35	終了時刻 9:05	天候 晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	56	V		A2			
2	マガモ	4	V		A2			
3	ホオジロガモ	5	V		A2			
4	カワアイサ	1	V		A2			
5	ホオジロガモ	3	V		A2			
6	マガモ	10	V		A2			
7	ミサゴ	1	V		I2			
8	ユリカモメ	16	V		A2			
9	カワアイサ	7	V		A2			
10	オナガガモ	2	V		A2			
11	マガモ	6	V		A2			
12	アオサギ	1	V		D2			
13	ハシブトガラス	1	V		I2			
14	ハシブトガラス	1	C		F3			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_S	地点名 St.3	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			+				10	20	+	20								10	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月28日	開始時刻 7:35	終了時刻 8:11	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	--------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ユリカモメ	17	√		A2			
2	マガモ	2	√		A2			
3	ハジロカイツブリ	6	√		A2			
4	カンムリカイツブリ	1	√		A2			
5	カイツブリ	1	√		A2			
6	マガモ	20	√		A2I2			
7	オカヨシガモ	2	√		A2			
8	カンムリカイツブリ	2	√		A2			
9	カンムリカイツブリ	1	√		A2			
10	ホオジロガモ	1	√		A2			
11	ホオジロガモ	1	√		A2			
12	マガモ	12	√		A2			
13	ホオジロガモ	1	√		A2			
14	スズガモ	5	√		A2			
15	カンムリカイツブリ	6	√		A2			
16	マガモ	2	√		A2			
17	カワウ	95	√		I2			
18	アオサギ	3	√		I2			
19	マガモ	15	√		I2			
20	ヒドリガモ	21	√		I2			
21	カルガモ	7	√		I2			
22	オナガガモ	2	√		A1			
23	スズガモ	5	√		A2			
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_T	地点名 St.4	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈 水 ・ 浮 葉 植 物 群 落	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た ま り			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10	30				+				10	20										30

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月28日	開始時刻 10:30	終了時刻 11:00	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	ミサゴ	1	√		J1			空中
2	マガモ	3	√		A2			
3	マガモ	23	√		A2			
4	コガモ	3	√		A2			
5	ハクセキレイ	1	√		I2			
6	オオバン	2	√		A2			
7	ミカイツブリ	1	√		A2I2			
8	マガモ	8	√		I2			
9	カワウ	1	√		I2			
10	コガモ	37	√		A2I2			
11	ヒドリガモ	8	√		A2I2			
12	マガモ	93	√		A2I2			
13	アオサギ	12	√		I2			
14	カワウ	5	√		I2			
15	ダイサギ	1	√		I2			
16	カワウ	1	√		A1			
17	ハシブトガラス	1	√		J1			空中
18	マガモ	10	√		A2			
19	ハジロカイツブリ	13	√		A2			
20	カワアイサ	1	√		A2			
21	コガモ	4	√		A2			
22	オカヨシガモ	4	√		A2			
23	コガモ	7	√		A2			
24	ホオジロガモ	1	√		A2			
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分¹」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山田洋次郎

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_U	地点名 St.5	調査方法 定点観察法
------	--------------	-------------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアン ド・た			土 泥地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
	30			10				10	20	10									20	

1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月28日	開始時刻 9:35	終了時刻 10:05	天候 晴	風の状況 弱
------------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手 段 ³	繁殖行動	確認環 境 ⁴	重要種	特定外 来生物	備考
1	カンムリカイツブリ	7	V		A2			
2	コガモ	6	V		A2			
3	ホオジロガモ	1	V		A2			
4	マガモ	48	V		A2			
5	コガモ	19	V		A2			
6	ヒドリガモ	2	V		A2			
7	ホオジロガモ	2	V		A2			
8	カルガモ	5	V		I2			
9	ハクセキレイ	1	C		J1			空中
10	スズメ	6	VC		I2			
11	ヒバリ	1	C		J1			空中
12	カワウ	1	V		J1			空中
13	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
14	カイツブリ	1	V		A2			
15	トビ	1	V		J1			空中
16	チョウゲンボウ	1	V		I2			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2013
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 B8_V	地点名 -	調査方法 任意観察法
------	--------------	----------	---------------

調査対象環境区分 ¹																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
+	20			+		20		10	20		+	+							20	

¹ 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 秋季	調査年月日 2014年1月28日	開始時刻 10:10	終了時刻 11:10	天候 晴	風の状況 中
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	---------	-----------

No.	和名 ²	個体数	同定手段 ³	繁殖行動	確認環境 ⁴	重要種	特定外来生物	備考
1	スズメ	500	V		E2			
2	アオジ	1	C		E2			
3	キジ	1	V		E2			
4	ノスリ	1	V		J1			空中
5	カワセミ	1	C		E2			
6	アカハラ	1	V		G2			
7	タヒバリ	1	C		H2			
8	ウグイス	1	C		G1			
9	ベニマシコ	1	C		E2			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

² 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

³ 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

⁴ 確認された主な環境を、「調査対象環境区分 1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 沖浩志

資料編 鳥類調査地点パノラマ写真

蒲生特別保護地区



1回目_St.1



1回目_St.2



1回目_St.3



1回目_St.4



1回目_St.5



2回目_St.1



2回目_St.2



2回目_St.3



2回目_St.4



2回目_St.5



3回目_St.1



3回目_St.2



3回目_St.3



3回目_St.4



3回目_St.5



3回目_St.6



4 回目_St.1



4 回目_St.2



4 回目_St.3



4 回目_St.4



4 回目_St.5



4 回目_St.6



5回目_St.1



5回目_St.2



5回目_St.3



5回目_St.4



5回目_St.5



5回目_St.6



6回目_St.1



6回目_St.2



6回目_St.3



6回目_St.4



6回目_St.5



6回目_St.6



7回目_St.1



7回目_St.2



7回目_St.3



7回目_St.4



7回目_St.5



7回目_St.6



8回目_St.1



8回目_St.2



8回目_St.3



8回目_St.4



8回目_St.5



8回目_St.6

井土浦特別保護地区



1回目_St.1



1回目_St.2



1回目_St.3



1回目_St.4



1回目_St.5



2回目_St.1



2回目_St.2



2回目_St.3



2回目_St.4



2回目_St.5



3回目_St.1



3回目_St.2



3回目_St.3



3回目_St.4



3回目_St.5



4 回目_St.1



4 回目_St.2



4 回目_St.3



4 回目_St.4



4 回目_St.5



5回目_St.1



5回目_St.2



5回目_St.3



5回目_St.4



5回目_St.5



6回目_St.1



6回目_St.2



6回目_St.3



6回目_St.4



6回目_St.5



7回目_St.1



7回目_St.2



7回目_St.3



7回目_St.4



7回目_St.5



8回目_St.1



8回目_St.2



8回目_St.3



8回目_St.4



8回目_St.5

阿武隈川河口域



1回目_St.1



1回目_St.2



1回目_St.3



1回目_St.4



1回目_St.5



2回目_St.1



2回目_St.2



2回目_St.3



2回目_St.4



2回目_St.5



3回目_St.1



3回目_St.2



3回目_St.3



3回目_St.4



3回目_St.5



4 回目_St.1



4 回目_St.2



4 回目_St.3



4 回目_St.4



4 回目_St.5



5回目_St.1



5回目_St.2



5回目_St.3



5回目_St.4



5回目_St.5



6回目_St.1



6回目_St.2



6回目_St.3



6回目_St.4



6回目_St.5



7回目_St.1



7回目_St.2



7回目_St.3



7回目_St.4



7回目_St.5



8回目_St.1



8回目_St.2



8回目_St.3



8回目_St.4



8回目_St.5

資料編 底生動物現地調査票

平成25年度 国指定仙台海鳥島獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 夏季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯	重量 分類群	m2換算	
	出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルステラガイ目	シオササナミ科	インシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	269	/	二枚貝類	457.14	
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルステラガイ目	マルステラガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	21		巻貝類		
3	環形動物門	コカイ綱	サシバコカイ目	コカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	906		コカイ類	66.11	
4	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロンコエビ	<i>Grandierella japonica</i>	113		ヨコエビ類	0.27	
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	メリタヨコエビ科	メリタヨコエビ属	<i>Melita</i> sp.	7		エビ・カニ類	1.27	
6	節足動物門	軟甲綱	ウラジムシ目	コツムシ科	イソコツムシ属	<i>Gnorimosphaeroma</i> sp.	7		その他		
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ムツリアリアケカニ科	アリアケモトキ	<i>Deiratonectus cristatus</i>	7		重量計/m2	524.79	
-							1331	個体数計/m2	-	-	
							7	種類数計	-	-	

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 夏季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m2換算	
	出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササナミ科	インシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	198	/	二枚貝類	266.71	
2	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	1281		巻貝類	76.99	
3	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	474		ゴカイ類	0.20	
4	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロコエビ	<i>Grandirella japonica</i>	50		ヨコエビ類	1.19	
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ドロクダムシ科	ドロクダムシ科	<i>Corophiidae</i> sp.	7		エビ・カニ類		
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ムツハリアアケカニ科	アリアケモドキ	<i>Deiratonotus cristatus</i>	7		その他		
-							2017	個体数計/m2	重量計/m2	345.09	
							6	種類数計	-	-	

平成25年度 国指定仙台海鳥島獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 夏季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m2換算	
	出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササナミ科	イソシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	170	/	二枚貝類	204.53	
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	マルスタレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	7		巻貝類		
3	環形動物門	ゴカイ綱	サシバコカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	382		ゴカイ類	50.96	
4	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	スピオ科	スピオ科	<i>Spionidae</i> sp.	580		ヨコエビ類	0.30	
5	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	474		エビ・カニ類	0.75	
-	環形動物門	ゴカイ綱	-	-	ゴカイ綱	<i>Polychaeta</i> sp.	14		その他		
6	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロコエビ	<i>Grandisetella japonica</i>	99		重量計g/m2	256.55	
7	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ハマトビムシ科	ハマトビムシ科	<i>Talitridae</i> sp.	7		-	-	
8	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	50	-	-		
-							1783	個体数計/m2			
							8	種数数計			

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 夏季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯	備考	重量 分類群	m2換算
				出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)							
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササナミ科	インシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	134			二枚貝類	220.14
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	マルスタレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	14			巻貝類	
3	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	778			ゴカイ類	55.08
4	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	113			ヨコエビ類	
5	節足動物門	軟甲綱	アミ目	アミ科	アミ科	<i>Mysidae</i> sp.	7			エビ・カニ類	0.07
-							1047			その他	
							種数計			重量計/m2	275.29

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 夏季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m2換算	
	出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササナミ科	インシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	425	/	二枚貝類	305.51	
2	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	340		巻貝類		
3	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	スピオ科	スピオ科	<i>Spionidae</i> sp.	212		ゴカイ類	21.38	
-	環形動物門	ゴカイ綱	-	-	ゴカイ綱	<i>Polychaeta</i> sp.	14		ヨコエビ類		
4	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	948	エビ・カニ類	47.00		
-							1939	その他			
							種数計/m2				
							4	重量計/m2		373.89	

平成25年度 国指定仙台海鳥島獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 夏季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯	重量 分類群	m2換算
		出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)								
1	軟体動物門	二枚貝綱	ウミケガシモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	11		二枚貝類	19.56
2	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	442		巻貝類	
3	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	96		ゴカイ類	14.57
4	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	コツムシ科	イソコツムシ属	<i>Groenopsphaeroma</i> sp.	11		ヨコエビ類	0.04
5	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopinera globosa</i>	11		エビ・カニ類	3.33
-							572		その他	
							5		重量計/m2	37.50

平成25年度 国指定仙台海鳥島獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 夏季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m2換算	
	出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルステラガイ目	シオササナミ科	インシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	159	/	二枚貝類	308.44	
2	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタケガイモドキ目	オキナガガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	62		巻貝類		
3	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	345		ゴカイ類	11.74	
4	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	113		ヨコエビ類	0.01	
-	環形動物門	ゴカイ綱	-	-	ゴカイ綱	<i>Polychaeta</i> sp.	6		エビ・カニ類	14.18	
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントロコエビ	<i>Granditierella japonica</i>	6		その他		
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コブシガニ科	マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i>	6		重量計/m2	334.36	
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopinera globosa</i>	6	-	-		
-	-							個体数計/m2	-	-	
								種類数計	-	-	
								7	-	-	

平成25年度 国指定仙台海鳥島獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 夏季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m2換算
				出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)						
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルステラガイ目	シオササナミ科	インシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	238	/	二枚貝類	161.48
2	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	11		巻貝類	4.75
3	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	102		ゴカイ類	0.49
4	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	51		ヨコエビ類	0.13
-	環形動物門	ゴカイ綱	-	-	ゴカイ綱	<i>Polychaeta</i> sp.	23		その他	-
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントロコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>	28		重量計/m2	166.85
6	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	<i>Anthuridae</i> sp.	45		-	-
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ムツハリアケカニ科	アリアケモドキ	<i>Deiratonotus cristatus</i>	6	-	-	
-							504	個体数計/m2	-	-
							7	種類数計	-	-

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 夏季調査

TFGAM	井土浦 S14
サイト代表者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)
調査者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)、伊賀雄一(同上)、遠藤謙(同上)、萩原英里奈(同上)
調査日	2013年8月19日
時刻	11:30-12:00
採集面積(m ² (回)、深さm、採集回数)	0.0177m ² 0.2m 10回

天候	晴れ
北緯(WGS84)	38.1804
東経(WGS84)	140.9592
水深(cm)	0-5cm
水深測定時間	11:50
底質	砂質、+泥・植物質
水温℃	35.2

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量	
									分類群	m ² 換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルステラガイ目	シオササナミ科	イソシジミ	<i>Nittalia japonica</i>	521	/	二枚貝類	313.48
2	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	34		巻貝類	
3	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	260		ゴカイ類	4.05
4	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	45		ヨコエビ類	0.11
5	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	<i>Polychaeta</i> sp.	6		エビ・カニ類	1.26
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Grandidierella japonica</i>	45		その他	
-							912	個体数計/m ²	重量計/m ²	318.90
							6	種類数計	-	-

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 夏季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数	定性観察	重量
				出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)					
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	ウミニナ科	ホノウミニナ	<i>Aetillaria cumingii</i>	11	干潟 植生帯	二枚貝類 99.61
2	軟体動物門	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	イガイ科	Mytilidae sp.	6		巻貝類 4.52
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササナミ科	イノシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	28		ゴカイ類 35.07
4	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	11		ヨコエビ類 0.16
5	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	1291		エビ・カニ類 1.25
6	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	Capitellidae sp.	187		その他
7	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントロンコエビ	<i>Grandiditerella japonica</i>	17		重量計/m2 140.60
8	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	Anthuridae sp.	11		-
9	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	コツブムシ科	イソコツブムシ属	<i>Groimosphaeroma</i> sp.	6		-
10	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ムツハリアアケカニ科	アリアケモドキ	<i>Deiratonotus cristatus</i>	11		-
-						個体数計/m2	1580		-
						種類数計	10		-

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務

2013(平成 25)年度

夏季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数	定性観察	重量
				出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)				干潟 植生帯	
							m2換算	備考	m2換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルステラガイ目	シオササナミ科	インシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	719		二枚貝類 1545.47
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルステラガイ目	マルステラガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	6		巻貝類 11.69
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	11		ゴカイ類 0.85
4	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	209		エビ・カニ類 0.32
-	環形動物門	ゴカイ綱	-	-	ゴカイ綱	<i>Polychaeta</i> sp.	23		その他
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントロコエビ	<i>Granditierella japonica</i>	283		重量計/m2 1558.33
6	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ハマトビムシ科	ハマトビムシ科	<i>Talitridae</i> sp.	6		-
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	エビジャコ科	エビジャコ	<i>Crangon affinis</i>	6		-
-							1263	個体数計/m2	-
							7	種類数計	-

天候	晴れ
北緯 (WGS84)	38.0326
東経 (WGS84)	140.9184
水深 (cm)	0-5cm
水深測定時間	8:40
底質	砂質、+泥
水温°C	31.8

TFGAM	阿武隈川河口域(鳥の海) St.1
サイト代表者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)
調査者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)、伊賀雄一(同上)、遠藤瞳(同上)、荻原英里奈(同上)
調査日	2013年8月19日
時刻	8:30-8:50
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2 10回

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務

2013(平成 25)年度

TFGAM 阿武隈川河口域(鳥の海) St.2

夏季調査

サイト代表者(所属) 細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)

調査者(所属) 細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)、伊賀雄一(同上)、遠藤瞳(同上)、荻原英里奈(同上)

調査日 2013年8月19日

時刻 8:00-8:20

採集面積(m²(回)、深さm、採集回数) 0.0177m² 0.2m 10回

天候	晴れ
北緯(WGS84)	38.0282
東経(WGS84)	140.9157
水深(cm)	0-5cm
水深測定時間	8:10
底質	砂質、+泥
水温℃	31.8

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量	
									分類群	m ² 換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	ニッコウガイ科	サビシラトリガイ	<i>Macoma contabulata</i>	719	/	二枚貝類	226.50
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	インジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	6		巻貝類	
3	環形動物門	ゴカイ綱	サシバコカイ目	チロリ科	チロリ科	Glyceiridae sp.	11		ゴカイ類	8.77
4	環形動物門	ゴカイ綱	サシバコカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	209		ヨコエビ類	1.59
5	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	ミズヒキゴカイ科	ミズヒキゴカイ科	Chrratulidae sp.	23		エビ・カニ類	18.00
6	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	Capitellidae sp.	283		その他	
7	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントロンコエビ	<i>Grandisetella japonica</i>	6		重量計/m ²	254.86
8	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	Anthuridae sp.			-	-
9	節足動物門	軟甲綱	エビ目	オサガニ科	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	6		-	-
-							617	個体数計/m ²	-	
							9	種類数計	-	

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務

2013(平成 25)年度 夏季調査

TFGAM	阿武隈川河口域(鳥の海) St.3
サイト代表者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)
調査者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)、伊賀雄一(同上)、遠藤謙(同上)、萩原英里奈(同上)
調査日	2013年8月19日
時刻	7:30-8:00
採集面積(m ² (回)、深さm、採集回数)	0.0177m ² 0.2m 10回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数	定性観察	重量
					出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)		m ² 換算	干潟 植生帯	m ² 換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルダレガイ目	シオササナミ科	インシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	119	晴天	二枚貝類
2	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	17		巻貝類
3	環形動物門	ゴカイ綱	サシハコカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	17		ゴカイ類
4	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	ミスヒキゴカイ科	ミスヒキゴカイ科	<i>Chirratulidae</i> sp.	51		ヨコエビ類
-	環形動物門	ゴカイ綱	-	-	ゴカイ綱	<i>Polychaeta</i> sp.	34		エビ・カニ類
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントロノコエビ	<i>Grandierella japonica</i>	57		その他
6	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	<i>Anthuridae</i> sp.	34		重量計/m ²
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	エビジャコ科	エビジャコ	<i>Crangon affinis</i>	11		-
8	節足動物門	軟甲綱	エビ目	アナジャコ科	アナジャコ科	<i>Upogebiidae</i> sp.	11		-
9	節足動物門	軟甲綱	エビ目	イワガニ科	イワガニ科	<i>Grapsidae</i> sp.	11		-
-						個体数計/m ²	362		-
						種類数計	9		-

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務

2013(平成 25)年度

TFGAM 阿武隈川河口域(鳥の浜) St.4

サイト代表者(所属) 細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)

調査者(所属) 細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)、伊賀雄(同上)、遠藤謙(同上)、荻原英里奈(同上)

調査日 2013年8月19日

時刻 9:00-9:30

採集面積(m²(回)、深さm、採集回数 0.0177m² 0.2m 10回

天候	晴れ
北緯(WGS84)	38.0320
東経(WGS84)	140.8985
水深(cm)	0-5cm
水深測定時間	9:10
底質	泥質、+砂・植物質
水温℃	31.8

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量	
									分類群	m ² 換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	ニッコウガイ科	サビシラトリガイ	<i>Macoma contabulata</i>	51	/	二枚貝類	796.77
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	インジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	125		巻貝類	3.73
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	11		ゴカイ類	0.82
4	軟体動物門	二枚貝綱	ウミケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	6		ヨコエビ類	8.76
5	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	34		その他	
6	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	119		重量計/m ²	810.07
-	環形動物門	ゴカイ綱	-	-	ゴカイ綱	<i>Polychaeta</i> sp.	23		-	-
7	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロコエビ	<i>Grandierella japonica</i>	79		-	-
8	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	<i>Anthuridae</i> sp.	51		-	-
9	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	タカノケアサインガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>	6	-	-	
-						個体数計/m ²	504	-	-	
						種類数計	9	-	-	

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務

2013(平成 25)年度

夏季調査

TFGAM	阿武隈川河口域(鳥の海) St-5
サイト代表者(所属)	天候 北緯(WGS84) 東経(WGS84)
調査者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所) 伊賀雄一(同上)、遠藤瞳(同上)、荻原英里奈(同上)
調査日	2013年8月19日
時刻	9:00-9:30
採集面積m ² (回)、深さm、採集回数	0.0177m ² 0.2m 10回

天候	晴れ
北緯(WGS84)	38.0371
東経(WGS84)	140.9021
水深(cm)	0-5cm
水深測定時間	9:10
底質	砂質、泥質
水温℃	31.8

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量	
									分類群	m ² 換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	ニッコウガイ科	サビシラトリガイ	<i>Macoma contabulata</i>	34		二枚貝類	592.48
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササナミ科	インジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	62		巻貝類	
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	17		ゴカイ類	10.92
4	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	147		ヨコエビ類	4.41
5	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	スピオ科	スピオ科	Spionidae sp.	6		エビ・カニ類	4.60
6	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	Capitellidae sp.	17		その他	
-	環形動物門	ゴカイ綱	-	-	ゴカイ綱	Polychaeta sp.	17		重量計/m ²	612.40
7	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロソコエビ	<i>Grandierella japonica</i>	153		-	-
8	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ドロクダムシ科	ドロクダムシ科	Corophiidae sp.	34		-	-
9	節足動物門	軟甲綱	ウラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	Anthuridae sp.	209		-	-
10	節足動物門	軟甲綱	エビ目	テナガエビ科	ユビナガスジエビ	<i>Palaeomon macrodactylus</i>	6		-	-
11	節足動物門	軟甲綱	エビ目	アナジャコ科	アナジャコ科	Upogebiidae sp.	6		-	-
12	節足動物門	軟甲綱	エビ目	カクレガニ科	カクレガニ科	Pinnotheridae sp.	6		-	-
13	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ムツアリアアケガニ科	アリアアケガニ科	<i>Deiratonotus cristatus</i>	6		-	-
-						個体数計/m ²	719		-	-
						種類数計	13		-	-

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 秋季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m ² 換算
	出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)									
1	紐形動物門	-	-	-	紐形動物門	NEMERTINEA sp.	11		二枚貝類	375.75
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	192		巻貝類	
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	34		ゴカイ類	75.37
4	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	861		ヨコエビ類	0.96
5	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	1597		エビ・カニ類	
6	星口動物門	-	-	-	星口動物門	SIPUNCULA sp.	34		その他	1.34
7	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>	204		重量計/m ²	453.41
8	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	メリタヨコエビ科	メリタヨコエビ属	<i>Melita</i> sp.	34		-	-
9	節足動物門	軟甲綱	アミ目	アミ科	アミ科	<i>Mysidae</i> sp.	34		-	-
-							3001	個体数計/m ²		
							9	種類数計		

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 秋季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数	定性観察	重量
				出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)					
1	紐形動物門	-	-	-	紐形動物門	NEMERTINEA sp.	11	干潟 植生帯	二枚貝類 841.86
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	159		巻貝類 16.12
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	34		ココエビ類 1.43
4	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	476		エビ・カニ類 8.21
5	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	スピオ科	スピオ科	Spionidae sp.	23		その他 0.43
6	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	45		重量計/m2 868.05
7	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロコエビ	<i>Granditarella japonica</i>	260		-
8	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	ケフサイノガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	23		-
-	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	Hemigrapsus属	<i>Hemigrapsus</i> sp.	23		-
-	-	-	-	-	-	個体数計/m2	1053		-
-	-	-	-	-	-	種類数計	8		-

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 秋季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m ² 換算
出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
1	紐形動物門	-	-	-	紐形動物門	NEMERTINEA sp.	23		二枚貝類	1162.95
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	362		巻貝類	17.66
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マテガイ科	マテガイ	<i>Solen strictus</i>	11		ゴカイ類	0.05
4	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	23		エビ・カニ類	0.67
5	軟体動物門	二枚貝綱	オオノガイ目	オオノガイ科	オオノガイ	<i>Mya arenaria oonogai</i>	23		その他	1181.33
6	環形動物門	ゴカイ綱	サシハコカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	215		重量計/m ²	-
7	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	スピオ科	スピオ科	<i>Spionidae</i> sp.	57		-	-
8	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	294		-	-
9	環形動物門	ゴカイ綱	オフエリアゴカイ目	オフエリアゴカイ科	オフエリアゴカイ科	<i>Ophelidae</i> sp.	34		-	-
10	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ドロクダムシ科	ドロクダムシ科	<i>Corophiidae</i> sp.	57		-	-
-	-						個体数計/m ²	1098	-	-
							種類数計	10	-	-

平成25年度 国指定仙台海鳥島獣保地区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 秋季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m2換算	
	出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	インシジミ	<i>Nittalia japonica</i>	156		二枚貝類	194.23	
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	71		巻貝類		
3	環形動物門	ゴカイ綱	サシバコカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hadiste</i> sp.	849		ゴカイ類	65.60	
4	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	1019		ヨコエビ類		
5	環形動物門	ゴカイ綱	オフエリアゴカイ目	オフエリアゴカイ科	オフエリアゴカイ科	<i>Opheliidae</i> sp.	57		エビ・カニ類		
6	ゆわし動物門	ユムシ綱	-	-	ユムシ綱	<i>Echiuroidea</i> sp.	14		その他	8.46	
-							2166	個体数計/m2	重量計/m2	268.29	
							6	種類数計	-	-	

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 秋季調査

TFGAM		浦生干潟 S+5		天候		曇り				
サイト代表者(所属)		細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)		北緯(WGS84)		38.2520				
調査者(所属)		賀子(同上)		東経(WGS84)		141.0113				
調査日時		2013年11月15日		水深(cm)		10-20cm				
時刻		10:00-10:30		水深測定時間		10:15				
採集面積(m ² (回)、深さm、採集回数)		0.0177m ² 0.2m 5回		底質		砂質				
水温℃		14.8								
出現種(H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	分類群	重量 m ² 換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササナミ科	イソシジミ	<i>Nittalia japonica</i>	68	/	二枚貝類	26.62
2	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	238		巻貝類	
3	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	スピオ科	スピオ科	<i>Spionidae</i> sp.	521		ゴカイ類	14.20
4	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	283		ヨコエビ類	
-	-	-	-	-	-	-	-		エビ・カニ類	19.70
-	-	-	-	-	-	-	1110		その他	
							個体数計/m ²		重量計/m ²	60.52
							種類数計	4		

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 秋季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m2換算
				出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)						
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	カワサンショウガイ科	カワサンショウガイ	<i>Assiminea japonica</i>	11		二枚貝類	29.46
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルダレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	11		巻貝類	0.16
3	環形動物門	コカイ綱	サシバコカイ目	コカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	351		コカイ類	16.92
4	環形動物門	コカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	249		ヨコエビ類	1.54
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロコエビ	<i>Grandierella japonica</i>	23		エビ・カニ類	
6	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	メリタヨコエビ科	メリタヨコエビ属	<i>Melita</i> sp.	11		その他	
7	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	モクスヨコエビ科	モクスヨコエビ科	<i>Hyalidae</i> sp.	45		重量計/m2	48.08
8	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	<i>Anthuridae</i> sp.	23		-	-
9	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	コツブムシ科	イソコツブムシ属	<i>Gnorimosphaeroma</i> sp.	102		-	-
-						個体数計/m2	827		-	-
						種類数計	9		-	-

平成25年度 国指定仙台海鳥島獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 秋季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m2換算
				出現種(H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)						
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルステラガイ目	シオササナミ科	インシジミ	<i>Nittalia japonica</i>	57		二枚貝類	178.11
2	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタケガイモドキ目	オキナガガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	79		巻貝類	
3	環形動物門	コカイ綱	サシハコカイ目	コカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	204		コカイ類	10.42
4	環形動物門	コカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	Capitellidae sp.	79		ヨコエビ類	0.06
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ハマトビムシ科	ハマトビムシ科	Talitridae sp.	11		エビ・カニ類	20.55
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	260		その他	0.03
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	モクスガニ	<i>Ericocheir japonicus</i>	125		重量計/m2	209.17
8	節足動物門	昆虫綱	ハエ目(双翅目)	-	ハエ目	DIPTERA sp.	11		-	-
-							827	個体数計/m2	-	-
							8	種類数計	-	-

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 秋季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m2換算	
	出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	カワサンショウガイ科	カワサンショウガイ	<i>Assiminea japonica</i>	23	/	二枚貝類	145.53	
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	インジジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	91		巻貝類	0.18	
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	11		ゴカイ類	25.52	
4	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	45		ヨコエビ類		
5	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	249		エビ・カニ類	17.77	
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	57		その他		
-							476	重量計/m2		189.00	
							6	種類数計		-	

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 秋季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m ² 換算
				出現種 (H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)						
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	カワサキシヨウガイ科	カワサンショウガイ	<i>Assiminea japonica</i>	11		二枚貝類	401.35
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルダレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	147		巻貝類	0.10
3	環形動物門	コカイ綱	サシバコカイ目	コカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	34		コカイ類	0.62
4	環形動物門	コカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	23		ヨコエビ類	0.01
5	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	コツムシ科	イソツブムシ属	<i>Groenopsphaeroma</i> sp.	11		エビ・カニ類	7.71
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	215		その他	
-							442		重量計/m ²	409.79
							6		種類数計	-

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2013(平成 25)年度 秋季調査

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量 分類群	m ² 換算
	出現種(H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)									
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	カワサンショウウガイ科	カワサンショウウガイ	<i>Assiminea japonica</i>	23	/	二枚貝類	
2	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	736		巻貝類	0.22
3	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	スピオ科	スピオ科	<i>Spionidae</i> sp.	34		ゴカイ類	31.47
4	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	464		ヨコエビ類	0.06
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	メリタヨコエビ科	メリタヨコエビ属	<i>Melita</i> sp.	11		エビ・カニ類	15.47
6	節足動物門	軟甲綱	ウラジムシ目	コソブムシ科	イソコソブムシ属	<i>Gnirimosphaeroma</i> sp.	11		その他	
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	オサガニ科	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	23		重量計/m ²	47.21
8	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	モクスガニ	<i>Eriocheir japonicus</i>	23		-	-
-							1325	個体数計/m ²	-	-
							8	種類数計	-	-

平成25年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務

2013(平成 25)年度

秋季調査

TFGAM	阿武隈川河口域(鳥の浜) St.1
サイト代表者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)
調査者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)、伊賀雄一(同上)、遠藤謙(同上)
調査日	2013年11月14日
時刻	10:10-10:40
採集面積(m ² (回)、深さm、採集回数)	0.0177m ² 0.2m 7回

整理番号	出現種(H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)				定性観察 干潟 植生帯	重量		
	門	綱	目	科		学名	個体数 m ² 換算	分類群
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	ウミニナ科	和名	8	二枚貝類	880.12
2	軟体動物門	腹足綱	新腹足目	タケノコガイ科	ホノウミニナ	8	巻貝類	3.28
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	イノシジミ	380	ゴカイ類	9.76
4	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	アサリ	8	ヨコエビ類	0.15
5	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	251	エビ・カニ類	38.86
-	環形動物門	ゴカイ綱	-	-	ゴカイ綱	8	その他	
6	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントンコエビ	8	重量計/m ²	932.18
7	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	8	-	-
8	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	105	-	-
-						785	個体数計/m ²	-
						8	種類数計	-

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務

2013(平成 25)年度

秋季調査

TFGAM	阿武隈川河口域(鳥の海) St.2
サイト代表者(所属)	天候 北緯(WGS84) 東経(WGS84) 水深(cm) 水深測定時間 底質 水温℃
調査者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)
調査日	2013年11月14日
時刻	10:35-11:25
採集面積(m ² (回)、深さm、採集回数)	0.0177m ² 5回 0.2m

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数	定性観察	重量	
									分類群	m ² 換算
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	ウミニナ科	ホソウミニナ	<i>Batillaria cumingii</i>	34	干潟 植生帯	二枚貝類	153.96
2	軟体動物門	腹足綱	盤足目	カワザンショウガイ科	カワザンショウガイ	<i>Assiminea japonica</i>	23		巻貝類	804.78
3	軟体動物門	二枚貝綱	カキ目	イタボカキ科	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	11		ゴカイ類	53.20
4	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオサザナミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	11		ヨコエビ類	0.85
5	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	11		エビ・カニ類	11.04
6	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	34		その他	0.16
7	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	226		重量計g/m ²	1023.99
8	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	イトメ	<i>Tylosrhynchus heterochaetus</i>	34		-	-
9	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	ミズヒキゴカイ科	ミズヒキゴカイ科	Chirratulidae sp.	11		-	-
10	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	Capitellidae sp.	260		-	-
11	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ヒゲナガヨコエビ科	ヒゲナガヨコエビ科	Ampithoidae sp.	11		-	-
12	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンヨコエビ	<i>Grandiderella japonica</i>	34		-	-
13	節足動物門	軟甲綱	ウラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	Anthuridae sp.	23		-	-
14	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コムシガニ科	コムシガニ	<i>Scopimera globosa</i>	68		-	-
15	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	Hemigrapsus属	<i>Hemigrapsus</i> sp.	34		-	-
16	節足動物門	昆虫綱	ハエ目(双翅目)	-	ハエ目	DIPTERA sp.	23		-	-
-	-	-	-	-	-	-	849		個体数計/m ²	-
-	-	-	-	-	-	-	16		種数計	-

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務

2013(平成 25)年度

秋季調査

TFGAM	阿武隈川河口域(鳥の海) St.3
サイト代表者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)
調査者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)、伊賀雄一(同上)、遠藤謙(同上)
調査日	2013年11月14日
時刻	9:00-9:30
採集面積(m ² (回)、深さm、採集回数)	0.0177m ² 0.2m 5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数	定性観察	重量		
									分類群	m ² 換算	
				出現種(H24年度版 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)							
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	ウミニナ科	ホソウミニナ	<i>Batillaria cumingii</i>	23	干潟 植生帯	二枚貝類	1793.00	
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	ニコウガイ科	サビシラトリガイ	<i>Macoma contabulata</i>	11		巻貝類	5.57	
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	249		ゴカイ類	40.20	
4	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	419		ヨコエビ類	2.92	
5	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	34		エビ・カニ類	18.39	
6	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントロンコエビ	<i>Granditierella japonica</i>	34		その他	0.10	
7	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	<i>Anthuridae</i> sp.	102		重量計/m ²	1860.18	
8	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopinera gibbosa</i>	11		-	-	
9	節足動物門	軟甲綱	エビ目	-	ヤドカリ類	<i>Decapoda</i> sp.	11		-	-	
10	節足動物門	昆虫綱	ハエ目(双翅目)	-	ハエ目	DIPTERA sp.	11		-	-	
-							906		個体数計/m ²	-	
							10		種類数計	-	

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務

2013(平成 25)年度 秋季調査

TFGAM	阿武隈川河口域(鳥の海) St.4
サイト代表者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)
調査者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)、伊賀雄一(同上)、遠藤謙(同上)
調査日	2013年11月15日
時刻	8:40-9:10
採集面積(m ² (回)、深さm、採集回数)	0.0177m ² 0.2m 5回

天候	晴れ
北緯(WGS84)	38.0320
東経(WGS84)	140.8985
水深(cm)	20-30cm
水深測定時間	9:00
底質	泥質 + 砂・植物質
水温℃	11.4

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	重量	
									分類群	m ² 換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	ニッコウガイ科	サビシラトリガイ	<i>Macoma contabulata</i>	45	/	二枚貝類	1540.26
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	249		巻貝類	
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	34		ゴカイ類	35.14
4	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	600		ヨコエビ類	4.95
5	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capitellidae</i> sp.	725		エビ・カニ類	0.50
6	節足動物門	軟甲綱	ウラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科	<i>Anthuridae</i> sp.	204		その他	
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	Hemigrapsus 属	<i>Hemigrapsus</i> sp.	23		重量計/m ²	1580.74
-							1880	個体数計/m ²	-	-
							7	種類数計	-	-

平成25年度 国指定仙台海鳥獣保護区 自然環境調査業務

2013(平成 25)年度

秋季調査

TFGAM	阿武隈川河口域(鳥の海) St.4
サイト代表者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)
調査者(所属)	細谷治夫(株式会社 建設技術研究所)、伊賀雄一(同上)、遠藤謙(同上)
調査日	2013年11月15日
時刻	8:00-8:30
採集面積m ² (回)、深さm、採集回数	0.0177m ² 0.2m 5回

天候	晴れ
北緯(WGS84)	38.0371
東経(WGS84)	140.9021
水深(cm)	20-30cm
水深測定時間	8:15
底質	砂質、泥質
水温℃	11.4

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数	定性観察	重量	
									m ² 換算	分類群
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	ニッコウガイ科	サビシラトリガイ	<i>Macoma contabulata</i>	57			418.64
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	11			7.25
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	11			4.71
4	軟体動物門	二枚貝綱	ウミケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	34			0.46
5	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	113			
6	環形動物門	ゴカイ綱	イソメ目	ギボシイソメ科	ギボシイソメ科	Lumbrineridae sp.	23			
7	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	スピオ科	スピオ科	Spionidae sp.	79			431.06
8	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	ミスヒキゴカイ科	ミスヒキゴカイ科	Chrratulidae sp.	11			
9	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ科	Capitellidae sp.	249			
10	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボコエビ科	ニッポンドロコエビ	<i>Granditarella japonica</i>	11			
11	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナシ科	スナウミナナシ科	Anthuridae sp.	215			
12	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	Hemigrapsus属	<i>Hemigrapsus</i> sp.	11			
-							827			
							12			

資料編 写真帳

写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 3回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 3回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 4回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 4回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 5回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 5回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 6回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 6回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 7回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 7回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 8回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 8回目

写真タイトル: KY活動状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 3回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 4回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 6回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 7回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 8回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.6

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

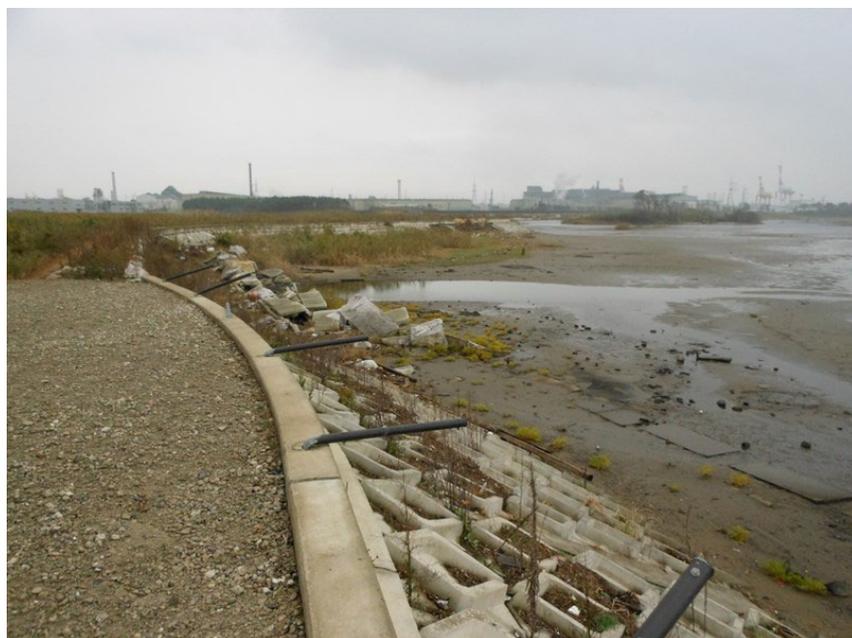
種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.6

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.6

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.6

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.6

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.6

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ササゴイ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ダイサギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: カルガモ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: カルガモ・雛

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: チョウゲンボウ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: メダイチドリ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ウミネコ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ハシボソガラス

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: シロチドリ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

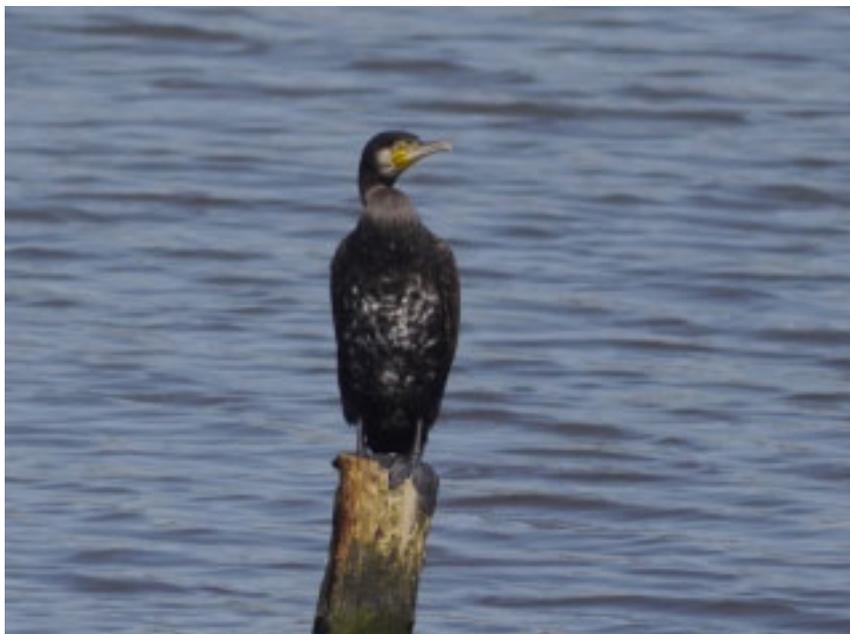
種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: カワウ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: コサギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: アオサギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: スズガモ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: ダイゼン

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: トウネン

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: オバシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: アオアシシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: オオソリハシシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: ホウロクシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: ウミネコ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: カワウ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ダイサギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: アオサギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: カルガモ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ヒドリガモ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ホシハジロ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: スズガモ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ノスリ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: チョウゲンボウ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ダイゼン

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: キョウジョシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ハマシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ミコビシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: オオソリハシシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ウミネコ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ハジロカイツブリ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ヨクガン

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: スズガモ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ホオジロガモ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ミコアイサ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: オオバン

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ハジロコチドリ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: シロチドリ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ダイゼン

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ミヨビシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: カワウ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: コクガン

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: マガモ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ハジロカイツブリ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: カモ類

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ハマシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ミユビシギ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ユリカモメ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: キンクロハジロ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ミコアイサ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ハジロコチドリ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: シロチドリ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ユリカモメ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: カモメ

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 3回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 3回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 4回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 4回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 5回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 5回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

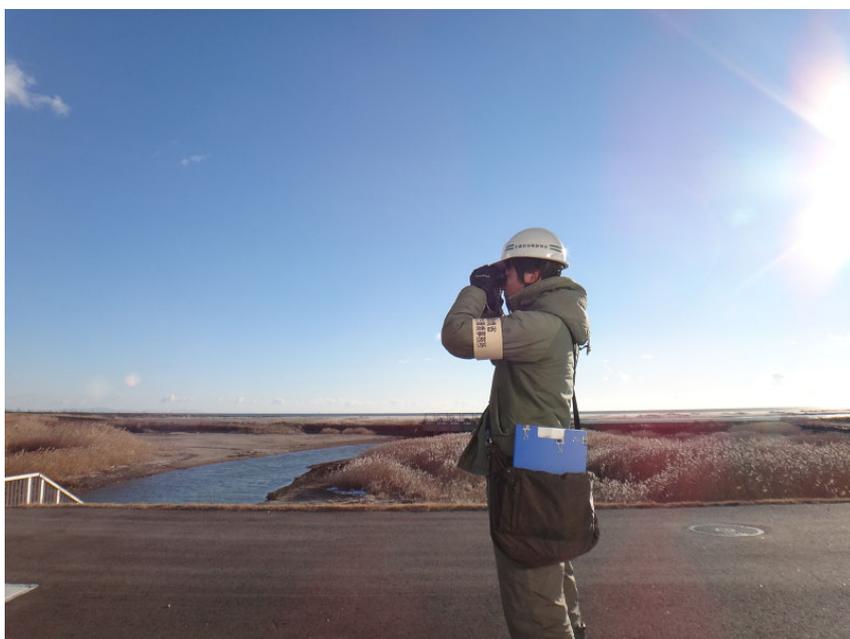
種別: 調査実施状況

細別: 6回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 6回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 7回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 7回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 8回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 8回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: 上-1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: カンムリカイツブリ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ダイサギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: コサギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: アオサギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: オオタカ・巣

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: オオタカ・幼鳥

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: キジ・雛

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: キアシシギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ハクセキレイ・幼鳥

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ホオジロ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: カワラヒフ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ハシブトガラス

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年7月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: カイツブリ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: アオサギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: カルガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: オオタカ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ハヤブサ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: チョウゲンボウ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: オオセグロカモメ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: キジバト

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: カワセミ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ムクドリ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

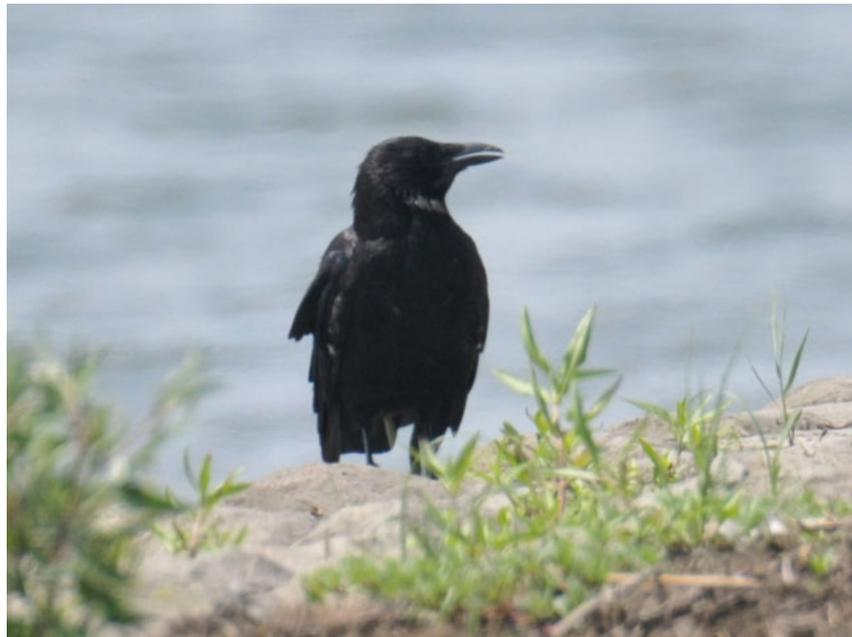
種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ハシボンガラス

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ハシブトガラス

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月22日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: コガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: キジバト

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: アマツバメ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年9月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ダイサギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: アオサギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: カルガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: オオタカ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ハイタカ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ノスリ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: セッカ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ベニヒワ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年10月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: コサギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: カルガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

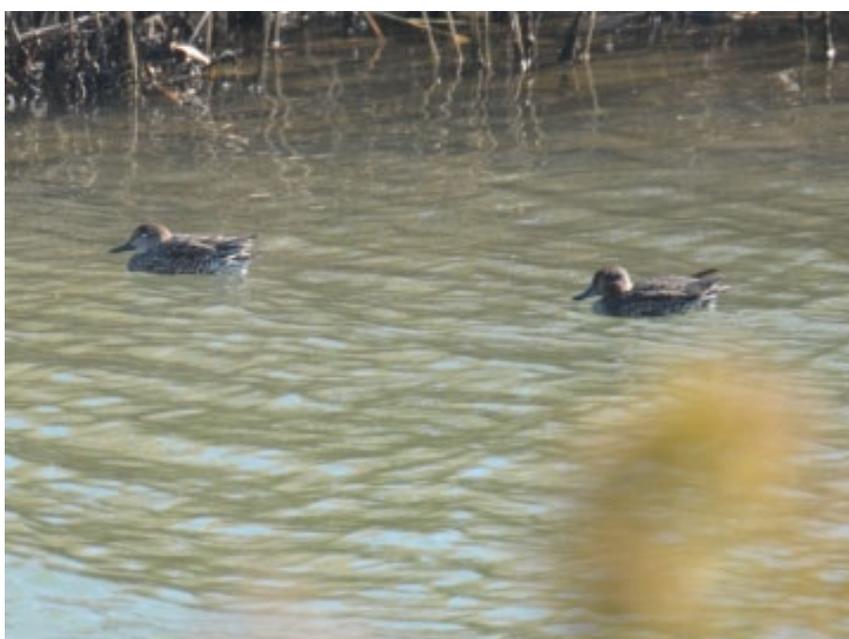
種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: コガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ヒドリガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: スズガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: オオタカ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ノスリ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ハヤブサ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: コチョウゲンボウ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: シジュウカラ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ミヤマガラス

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ハシブトガラス

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月19日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: カワウ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ダイサギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

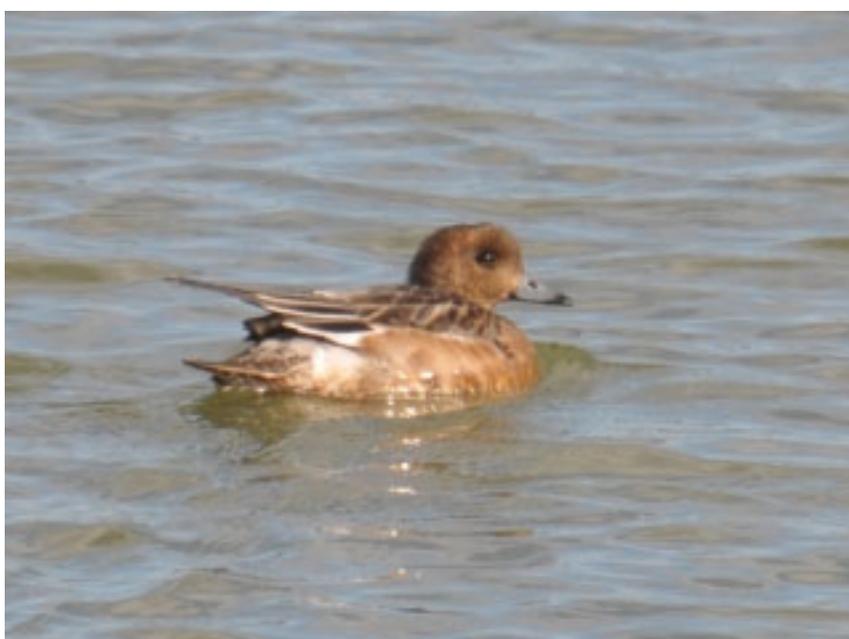
種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ヒドリガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

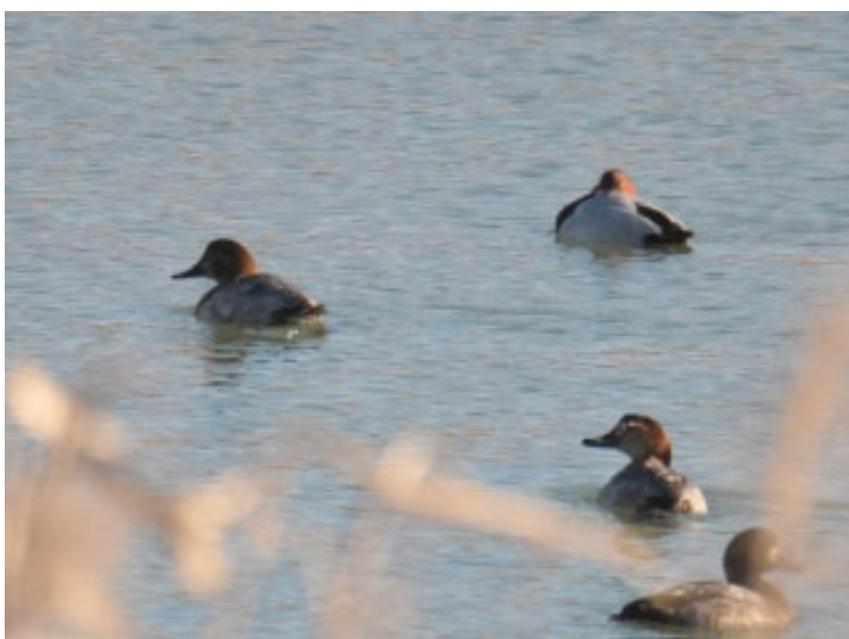
種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ホシハジロ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: スズガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ノスリ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: シロチドリ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ハマシギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ホオジロ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: スズメ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年12月16日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

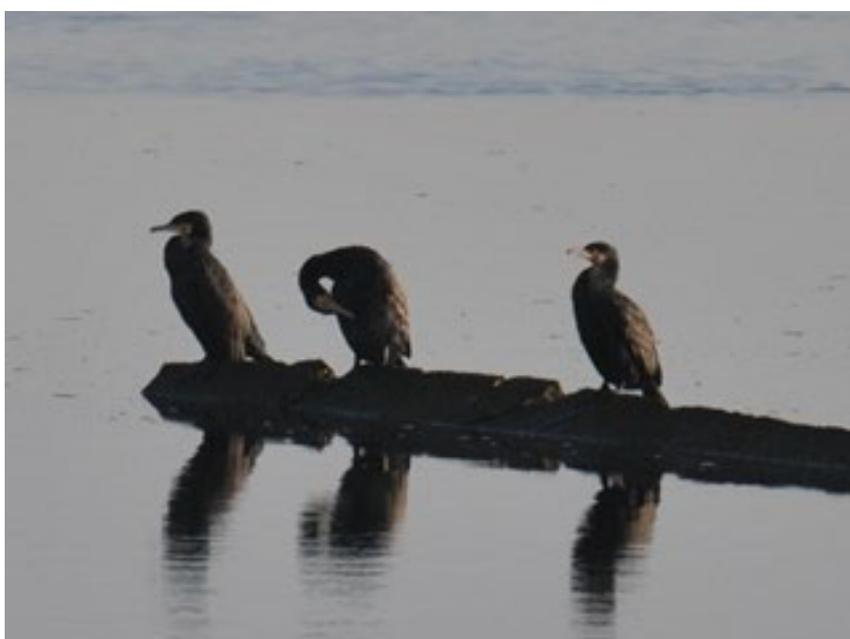
種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: カワウ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

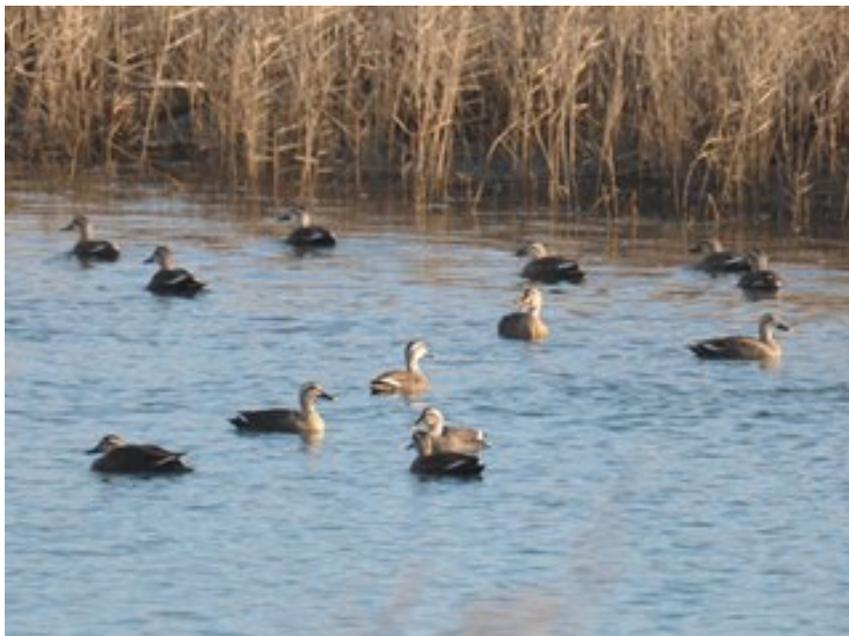
種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: カルガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: オカシガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ヒドリガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: スズガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: クロガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ホオジロガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: オオタカ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ノスリ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ハヤブサ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: アオゲラ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ジョウビタキ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ツグミ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: アオジ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: スズメ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ハシボソガラス

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月6日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ミミカイツブリ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: カンムリカイツブリ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

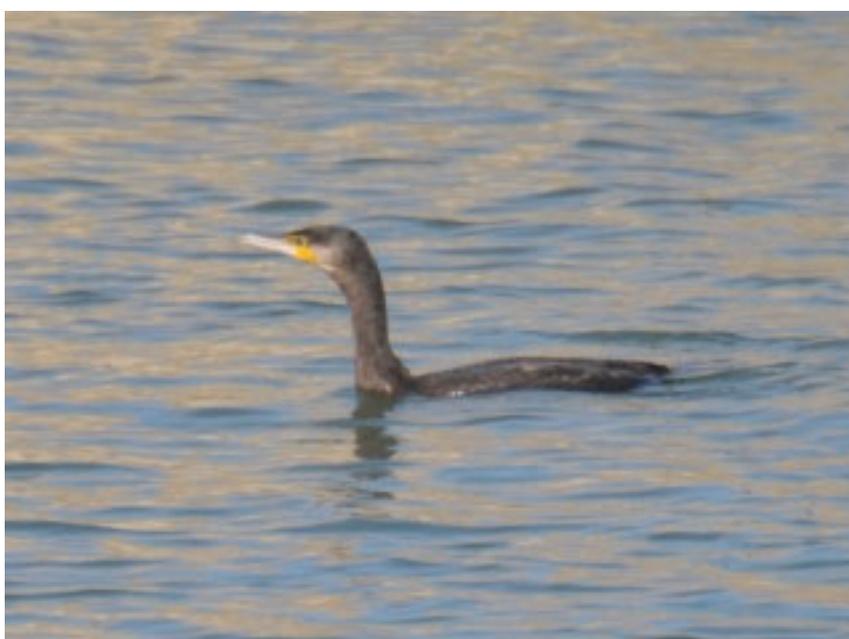
種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: カワウ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: カルガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: コガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ヒドリガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

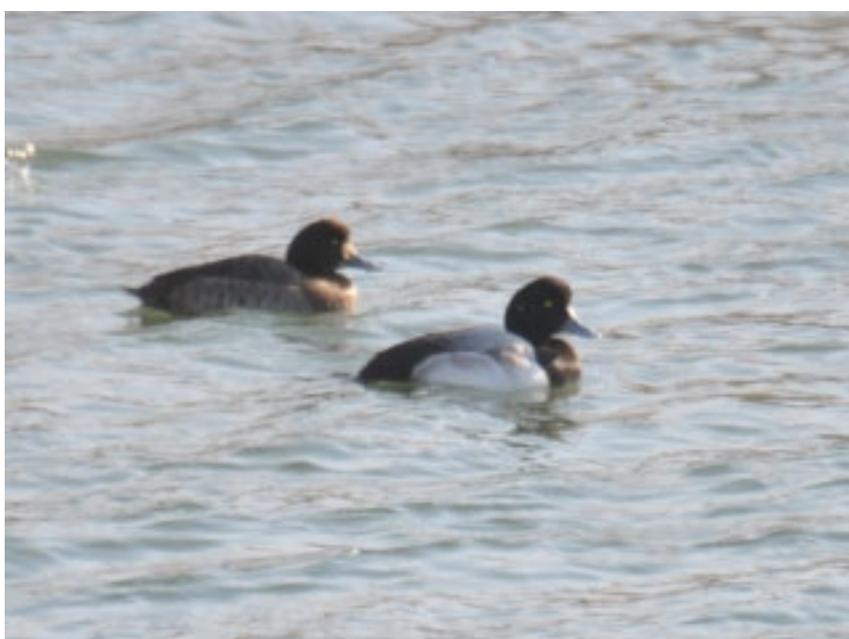
種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: スズガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ホオジロガモ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ハマシギ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

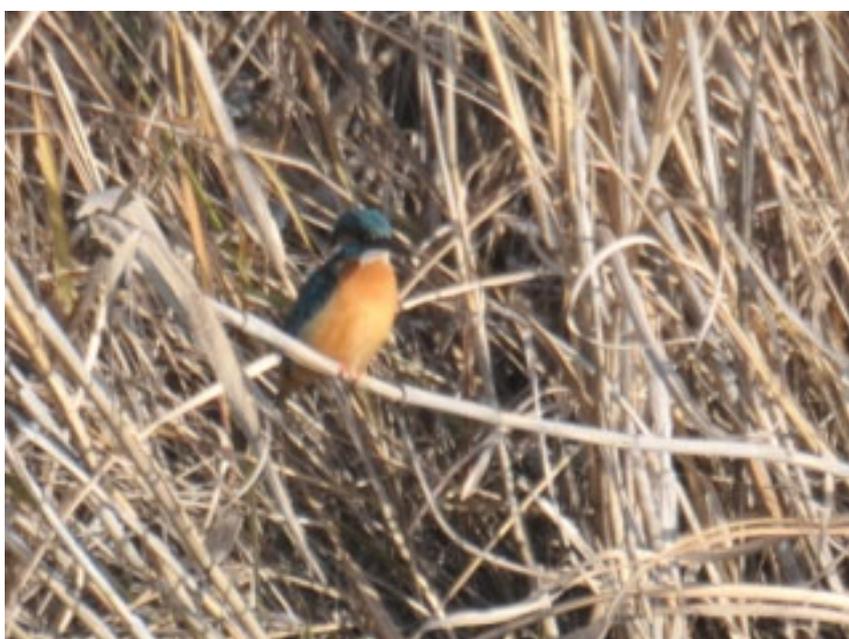
種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: カワセミ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 井土浦特別保護地区

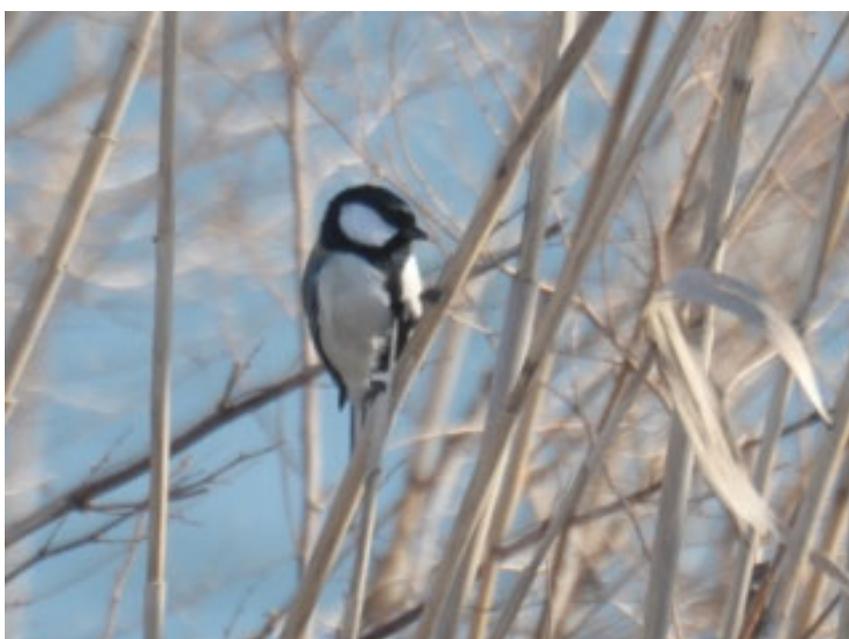
種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: シジュウカラ

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2014年1月27日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 3回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月25日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 3回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 4回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 4回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 5回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 5回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 6回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 6回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 7回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 7回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 8回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(ライン)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 8回目

写真タイトル: 鳥類調査風景(定点)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 3回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 4回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

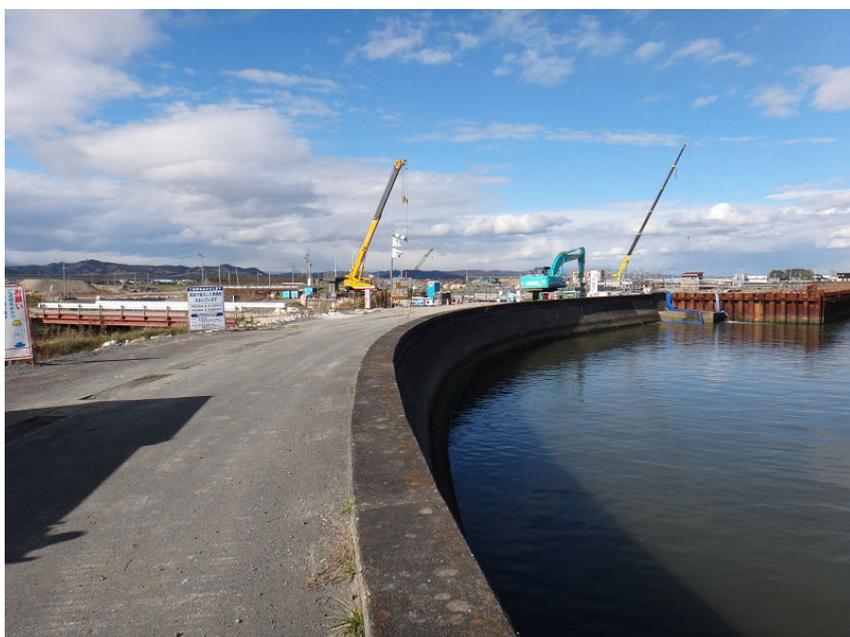
種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 5回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 6回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 7回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: L-1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 8回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: カワウ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ゴイサギ: 幼鳥

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: アオサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: アオサギ: 集団繁殖地

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: アオサギ: 集団繁殖地

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: オオタカ・巣

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: オオタカ・幼鳥

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: シロチドリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ウミネコ・幼鳥

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: セグロセキレイ: 幼鳥

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ホオジロ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ホオアカ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: アオジ: 幼鳥

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: カワラヒワ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: スズメ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ハシボソガラス: 幼鳥

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年7月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: カイツブリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ダイサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: コサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: カルガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: スズガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: トウネン

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: エリマキシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: アオアシシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: イソシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ソリハシシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: オグロシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ハクセキレイ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: セグロセキレイ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: セツカ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

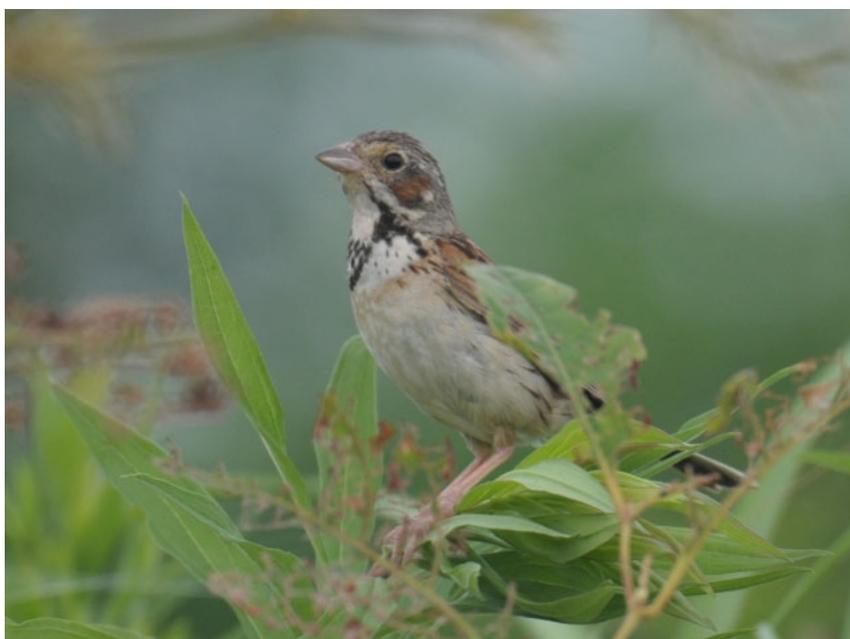
種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ホオアザ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月23日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: ダイサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: コサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: アオサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: マガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: コガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: スズガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: オオタカ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

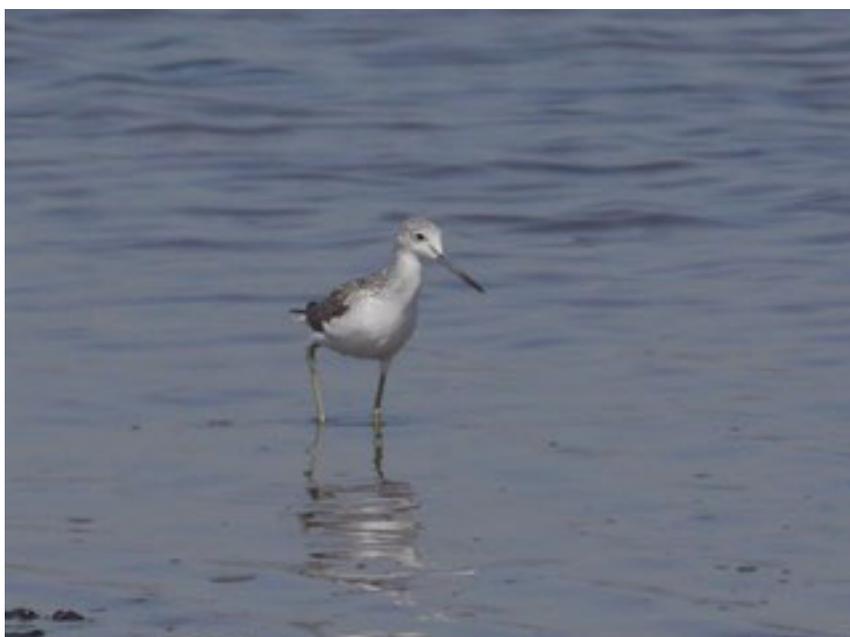
種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: アオアシシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: キアシシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: ウミネコ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: ショウドウツバメ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: ウグイス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 3回目

写真タイトル: セツカ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年9月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: カイツブリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ハジロカイツブリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: カムムリカイツブリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ダイサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: マガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ヒドリガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: オナガガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: スズガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ノスリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: バン

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: オオバン

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: イソシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: オオセグロカモメ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: コゲラ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ヒバリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ハクセキレイ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: シジュウカラ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ホオジロ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: スズメ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ハシボンガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 4回目

写真タイトル: ハシトガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年10月24日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ダイサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: コサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: オオハクチョウ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: マガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

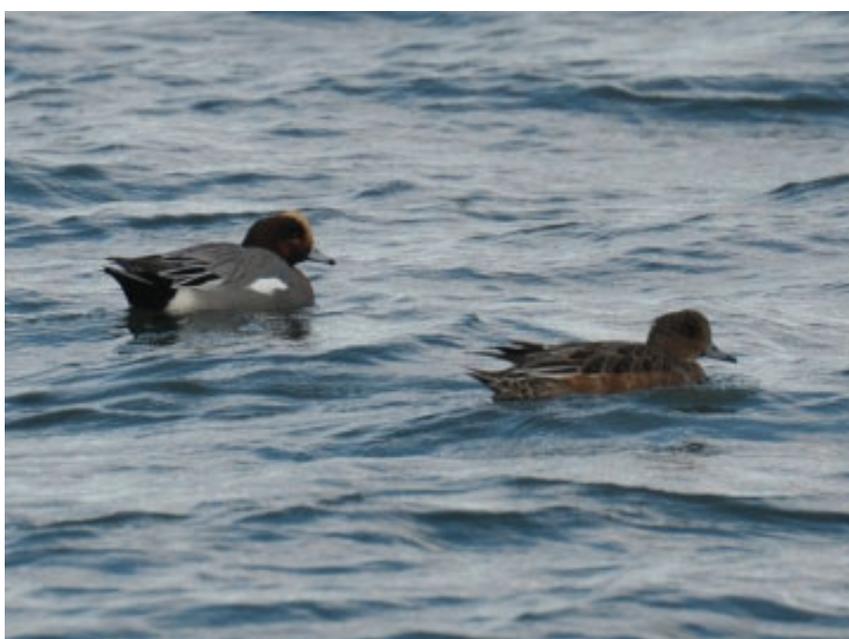
種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ヒドリガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: オナガガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ホオジロガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

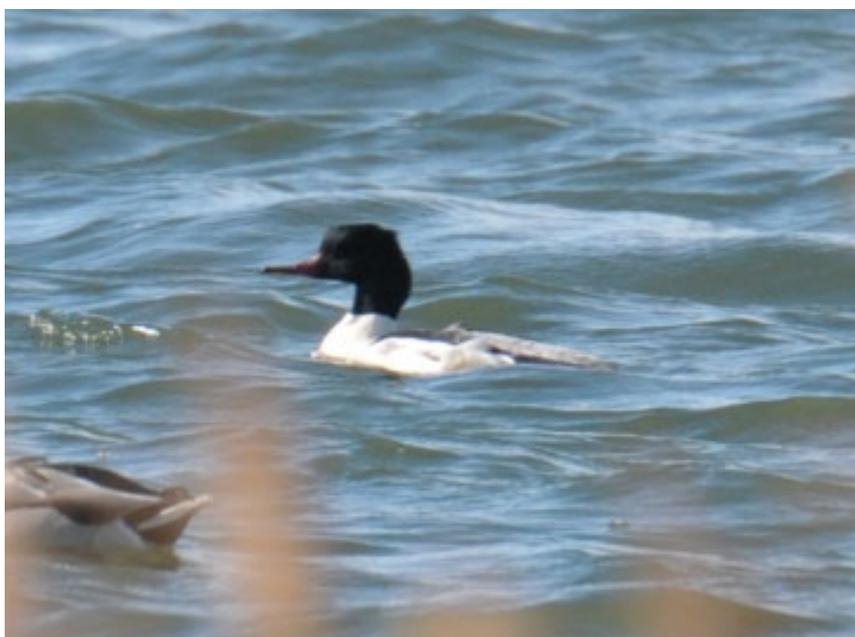
種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: カワアイサ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ノスリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: チョウゲンボウ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: オオバン

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ミヤコドリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: イソシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ダイシャクシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ハクセキレイ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ホオジロ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: スズメ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ハシボソガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 5回目

写真タイトル: ハシブトガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月20日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: カイツブリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ハジロカイツブリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: カワウ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: コサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: アオサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: オオハクチョウ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: マガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: コガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ビロードキンクロ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: カワアイサ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: オオタカ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ノスリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ハイロチョウヒ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: チョウゲンボウ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ミヤコドリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ハマシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ダイシャクシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: タシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ヒバリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ハクセキレイ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: シジュウカラ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ホオジロ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ホオアカ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

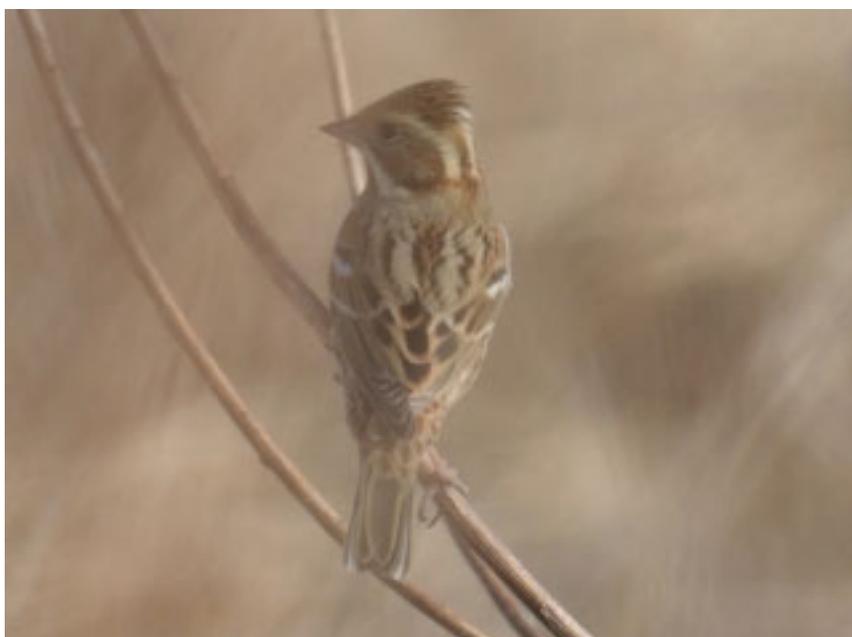
種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: カシラダカ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: オオジュリン

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: カワラヒフ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: スズメ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ハシボンガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 6回目

写真タイトル: ハシトガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年12月17日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: カイツブリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ハジロカイツブリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

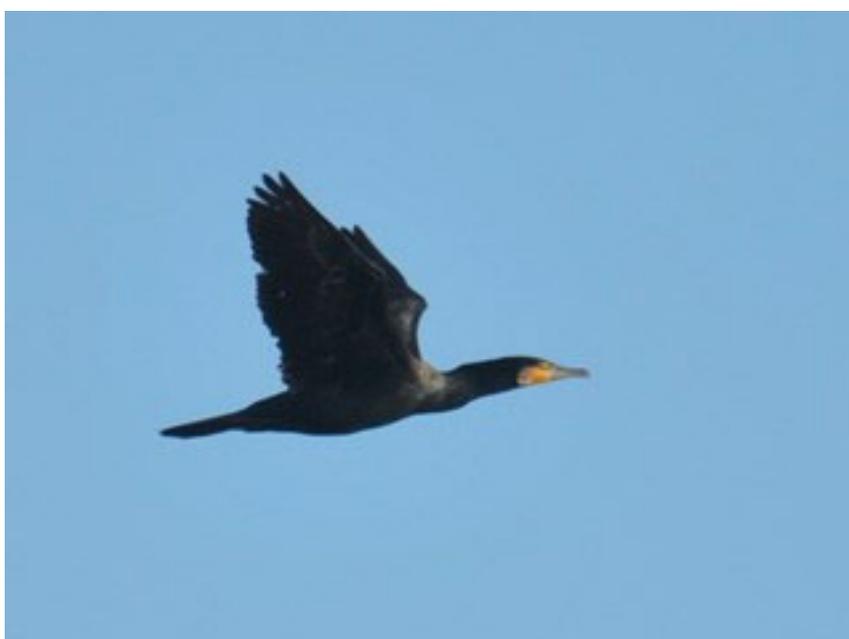
種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: カワウ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ダイサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: オオハクチョウ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ミサゴ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ノスリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: チョウゲンボウ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: キジ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ミヤコドリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: シロチドリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ハマシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: オオハシシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: イソシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ハクセキレイ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: カワラヒワ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

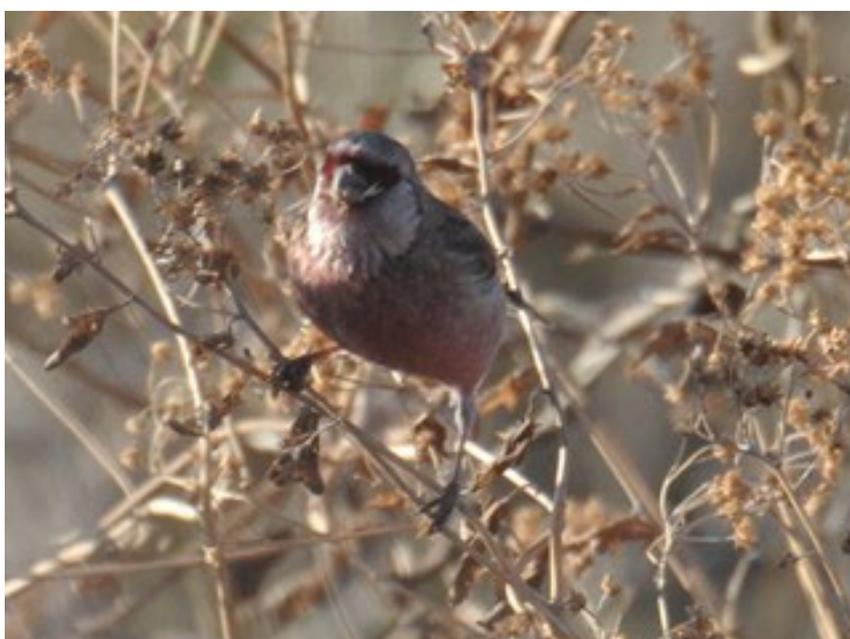
種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ベニマシコ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

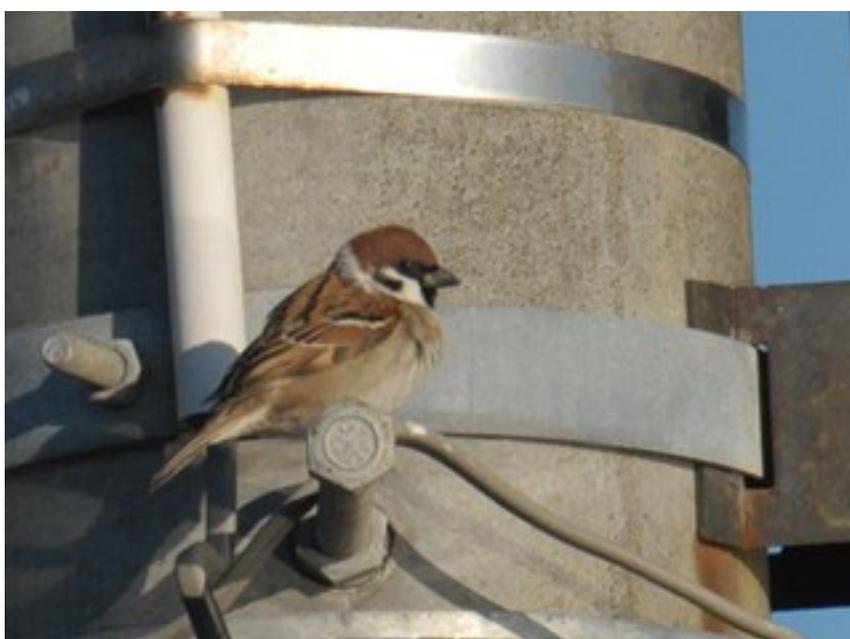
種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: スズメ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ミヤマガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ハシボソガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 7回目

写真タイトル: ハシボトガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月7日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: カイツブリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

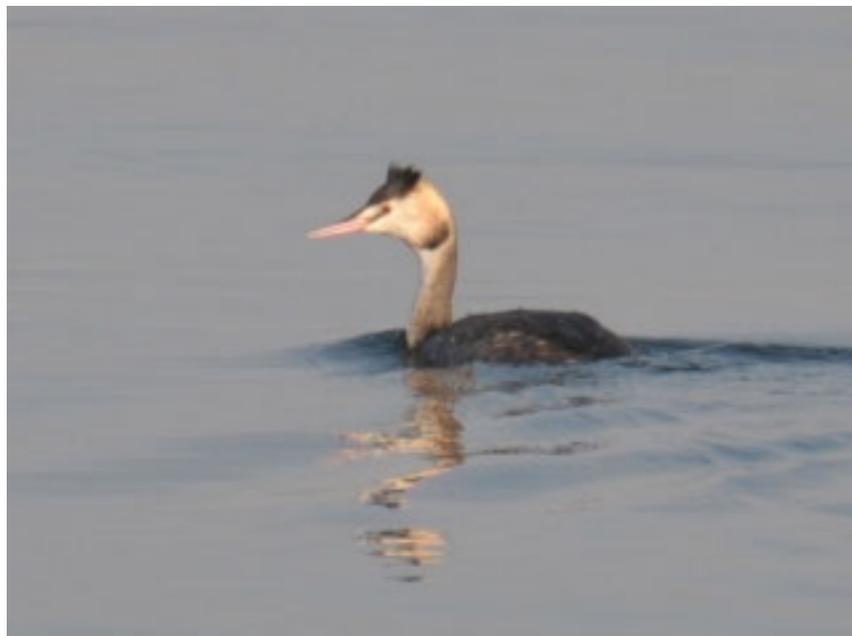
種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: カンムリカイツブリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

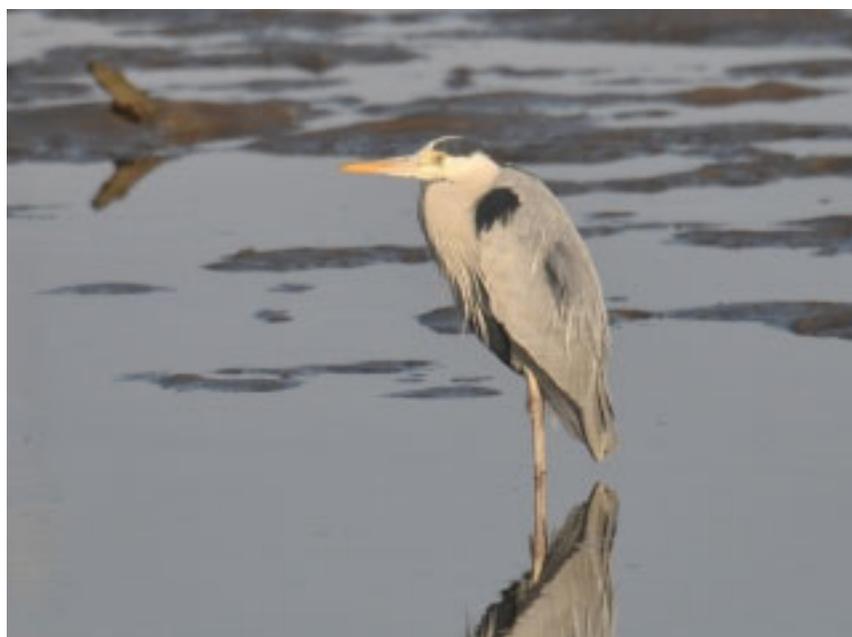
種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: アオサギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

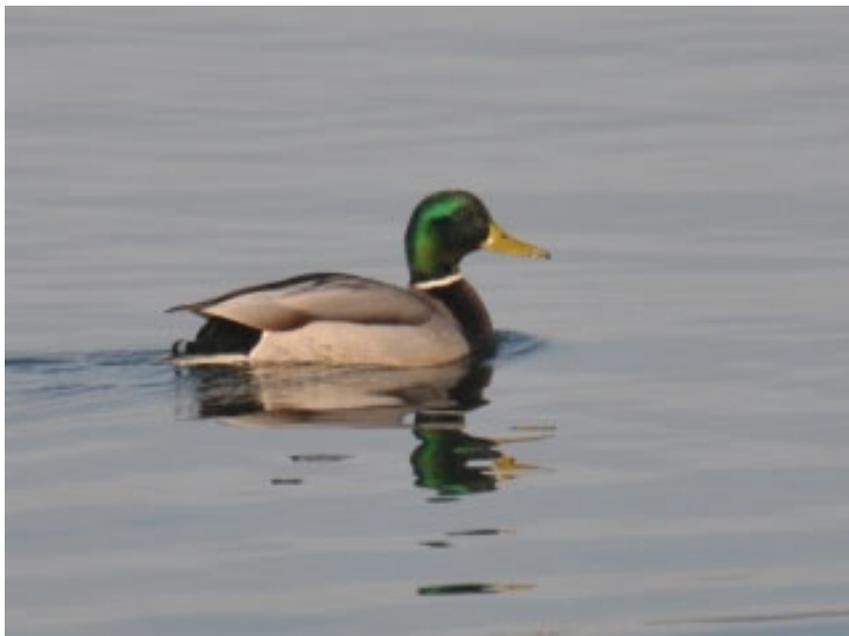
種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: マガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ホオジロガモ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

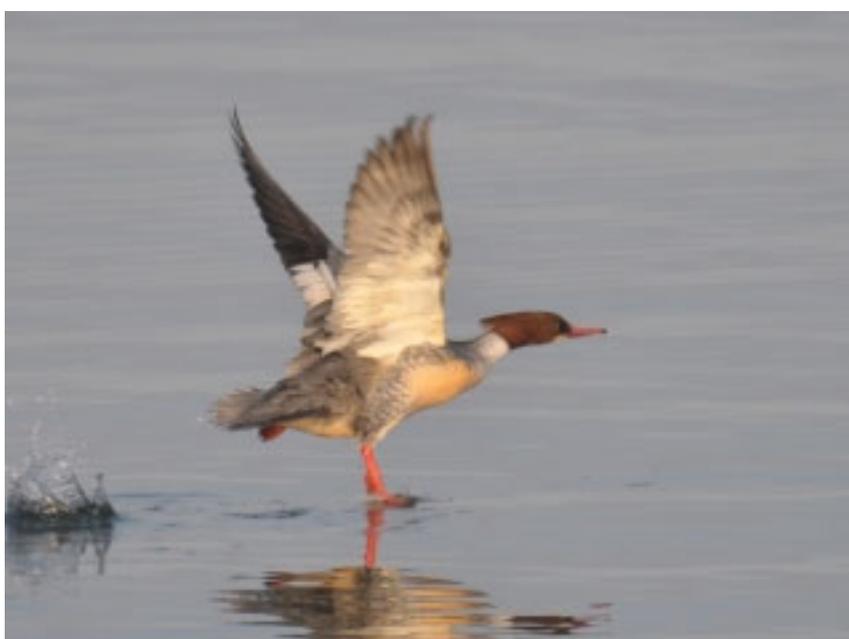
種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: カワアイサ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: トビ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

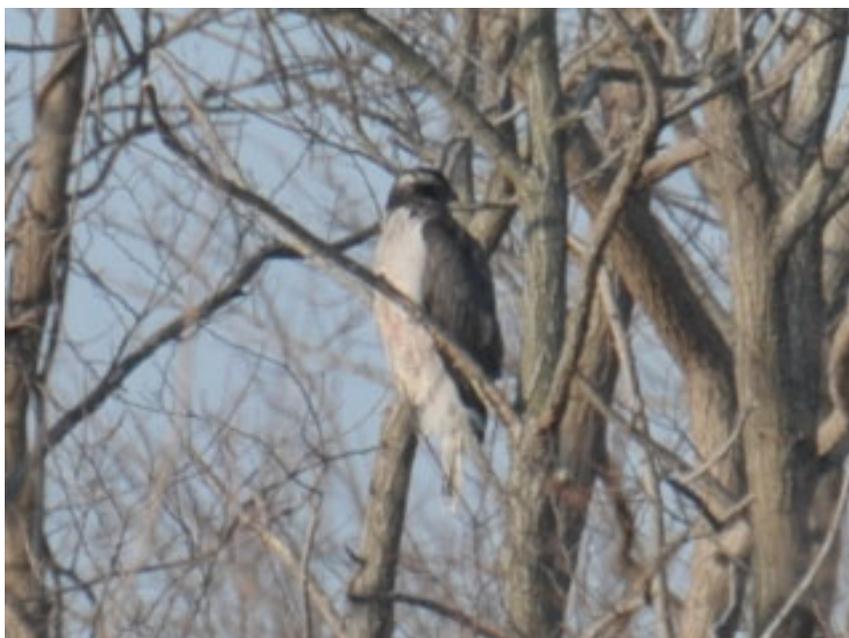
種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: オオタカ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

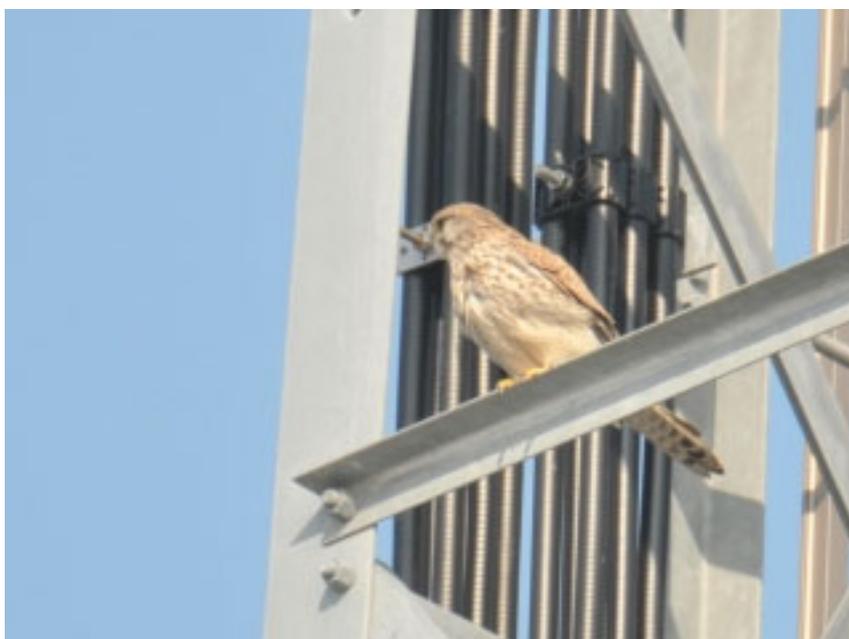
種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: チョウゲンボウ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: オオバン

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ミヤコドリ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ダイゼン

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ハマシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ダイシャクシギ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ユリカモメ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: キジバト

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ハクセキレイ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ホオジロ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: カシラダカ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: スズメ

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ハシボソガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 鳥類調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 生物種

細別: 8回目

写真タイトル: ハシブトガラス

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2014年1月28日



写真区分: 底生動物調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: KY活動実施状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: KY活動実施状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年11月14日



写真区分: 底生動物調査

工種: KY活動実施状況

種別: KY活動実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: KY活動実施状況

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年11月15日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: 底生動物調査風景(ふるい掛

け)

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月20日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: 底生動物調査風景(ふるい掛

け)

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月15日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月20日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月20日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月20日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月20日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月20日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月15日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月15日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月15日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月15日



写真区分: 底生動物調査

工種: 蒲生特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 蒲生特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月15日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: 底生動物調査風景(ふるい掛
け)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: 底生動物調査風景(ふるい掛
け)

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月14日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月14日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月14日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月14日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月14日



写真区分: 底生動物調査

工種: 井土浦特別保護地区

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 井土浦特別保護地区

撮影年月日: 2013年11月14日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 1回目

写真タイトル: 底生動物調査風景(ふるい掛

け)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査実施状況

細別: 2回目

写真タイトル: 底生動物調査風景(ふるい掛

け)

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月15日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 1回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.1

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月14日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.2

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月14日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.3

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月14日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.4

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月15日



写真区分: 底生動物調査

工種: 阿武隈川河口域

種別: 調査地点の環境

細別: 2回目

写真タイトル: St.5

撮影箇所: 阿武隈川河口域

撮影年月日: 2013年11月15日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: オサガニ類

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: イソシジミ類

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ケフサイソガニ

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: ゴカイ科

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 1回目

写真タイトル: コムツキガニ

撮影箇所: -

撮影年月日: 2013年8月19日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ホソウミミナ

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年2月6日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: マテガイ

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年2月6日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: アサリ

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年2月6日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: オオノガイ

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年2月6日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ソトオリガイ

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年2月6日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: イトズ

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年2月6日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: イトゴカイ科

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年2月6日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: ニッポンドロソコエビ

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年2月6日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: スナウミナナシ科

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年2月6日



写真区分: 底生動物調査

工種: 現地同定種

種別: 生物種

細別: 2回目

写真タイトル: アリアケモドキ

撮影箇所: -

撮影年月日: 2014年2月6日



資料編 参考文献一覧

- 文献 No.1 : 平成 24 年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務 (環境省自然環境局
生物多様性センター,2012)
- 文献 No.2 : 第七回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査 (干潟)(環境省,2007)
- 文献 No.3 : 平成 24 年度国指定仙台湾海浜鳥獣保護区 鳥類モニタリング調査報告書 (公
益財団法人 日本鳥類保護連盟,2012)
- 文献 No.4 : 平成 24 年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 蒲生特別保護地区植生モニタリング
業務 (東北緑化環境保全 株式会社,2013)
- 文献 No.5 : コアジサシ等定点調査業務報告書 (2000-2009)(環境省,2005-2009)
- 文献 No.6 : コアジサシ保全方策検討調査業務報告書 (2010-2011)(環境省,2010-2011)
- 文献 No.7 : 定点調査報告書 シギ・チドリ類 (1989-2004)(環境省,1989-2004)
- 文献 No.8 : モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ類調査(2004-2012)(環境省,2005-2012)
- 文献 No.9 : ガンカモ類生息調査 (1968-2012)(環境省,1968-2012)
- 文献 No.10 : モニタリングサイト 1000 ガン・カモ類調査(2004-2012)(環境省,2005-2012)
- 文献 No.11 : 東日本大震災に係る陸域に生息する鳥類への影響把握調査 (公益財団法人 日
本鳥類保護連盟,2012)
- 文献 No.12 : 仙台河川国道事務所管内被災域水辺環境調査業務 (株式会社 建設技術研究
所,2013)
- 文献 No.13 : 地図と写真で見る荒浜の歴史 (千葉宗久,2003)
- 文献 No.14 : 亘理町の 50 年 (亘理町,2005)
- 文献 No.15 : 仙台市史 特別編 1 自然 (仙台市史編さん委員会,1994)
- 文献 No.16 : 塩竈の地形図 2 万 5000 分の 1 塩竈 (国土地理院,1912-1998)
- 文献 No.17 : 仙台の地形図 2 万 5000 分の 1 仙台東南部 (国土地理院,1912-1995)
- 文献 No.18 : 荒浜の地形図 2 万 5000 分の 1 荒浜 (国土地理院,1928-1995)
- 文献 No.19 : 国指定仙台海浜鳥獣保護区蒲生特別保護地区指定計画書 (環境省案)(環境
省,2007)
- 文献 No.20 : 国指定仙台海浜鳥獣保護区井土浦特別保護地区指定計画書 (環境省案)(環境
省,2007)

発行年が複数年度にまたがる文献は、その期間中に発行された文献を全て整理対象とした。